

第 15 回

教育用コンピュータ等に関するアンケート調査

報告書

令和 8 年 6 月



一般社団法人 日本教育情報化振興会

URL: <https://www.japet.or.jp/>

はじめに

一般社団法人日本教育情報化振興会会長
山西 潤一（やまにし じゅんいち）

日本教育情報化振興会が実施している、教育の情報化に関わるアンケート調査の結果を、皆様にお届けできることを大変嬉しく思います。この調査は、教育の情報化に関わる企業・団体の集まりである当会の特色を生かし、現場目線で教育委員会・学校における教育の情報化の実態や意識を把握し、その結果を皆さんで共有することで、望ましい教育の情報化を進めようとするものです。20 年以上前から隔年で実施してきました。今回は全国市区町村の 1,741 自治体教育委員会から回答のあった約 350 の教育委員会、小学校については児童数が 80 以上 800 未満、中学校については生徒数 140 以上 700 未満を対象とし、結果として小・中学校 5,359 校から回答のあった約 2,000 校のデータをもとに、実情や課題を分析いたしました。

GIGA スクール構想から 6 年が経過し、学校現場では 1 人 1 台端末の活用が「特別な取組」から「日常的な学習基盤」へと変化しつつあります。本調査からも、多くの学校で端末の日常利用や家庭への持ち帰りが定着し、大型提示装置やクラウドサービスを活用した授業改善が進んでいる様子がうかがえます。一方で、ネットワーク環境の不安定さ、自治体間格差、ICT 支援体制の不足、校務負担の増加など、教育 DX を持続的に進める上での課題も浮き彫りとなりました。特に、小規模自治体における情報セキュリティ対策やクラウド活用の遅れ、ICT 支援員不足などは、今後の重点的な支援が求められる課題です。

また、今回の調査では、「データ利活用」や「生成 AI」に関する設問を新たに加えました。生成 AI については、授業や校務での活用を検討する自治体が急速に増えており、教育現場が新たな技術革新の入り口に立っていることを示しています。AI は単なる業務効率化の道具ではなく、個別最適な学びや協働的な学びを支える新たな教育基盤となる可能性を持っています。しかし同時に、情報モラルやデータ活用能力、真偽を見抜く力など、これまで以上に高度な情報活用能力が求められる時代になったとも言えるでしょう。教育の情報化は、単に ICT 機器を整備することが目的ではありません。子供たち一人ひとりの可能性を引き出し、多様な学びを支え、誰一人取り残さない教育を実現するための基盤整備です。

本調査が、教育委員会、学校、企業、研究者、そして教育に関わるすべての方々にとって、今後の教育 DX を考えるための基礎資料となり、新たな教育の創造につながることを期待します。

最後に、本調査にご協力いただいた全国の教育委員会、学校関係者の皆様に、心より感謝申し上げ、本報告書が、これからの教育の情報化をさらに前進させる一助となれば幸いです。

令和 8 年 5 月

目次

第Ⅰ部 調査概要編	1
調査の概要	2
1. 調査目的	2
2. 調査計画	3
3. 回答状況	5
4. 調査内容	6
5. 調査結果の分析及び課題	6
第Ⅱ部 教育委員会編	12
1 全国の自治体教育委員会の調査結果	13
1-0 プロフィール	13
1-1 教育 DX に関する項目	14
1-1-1 ネットワーク及び ICT 環境整備に関する項目	14
1-1-2 ハードウェアに関する項目	22
1-1-3 ソフトウェアに関する項目	42
1-2 校務 DX 等についての項目	49
1-3 保守サポートに関する項目	53
1-4 データの利活用に関する項目	60
1-5 情報セキュリティに関する項目	72
1-6 教育の情報化に対する意識に関する項目	79
第Ⅲ部 学校編	84
2 全体的傾向（小中学校別の集計）	85
2-0 回答者プロフィール	85
2-1 教育 DX に関する項目	87
2-1-1 ネットワーク及び校務に関する項目	87
2-1-2 ハードウェアに関する項目	90
2-1-3 ソフトウェアに関する項目	107
2-2 ICT に関する保守サポートの項目	119
2-3 データの利活用に関する項目	122
2-4 教育の情報化に対する意識に関する項目	135
3 先進地域／一般地域別の集計比較	145
3-1 教育 DX に関する項目	145
3-1-1 ネットワーク及び校務に関する項目	145
3-1-2 ハードウェアに関する項目	146
3-1-3 ソフトウェアに関する項目	154
3-2 ICT に関する保守サポートの項目	156
3-3 データの利活用に関する項目	158
3-4 教育の情報化に対する意識に関する項目	160
あとがき	161

第Ⅰ部 調査概要編

調査概要編は、今回の調査の概要について整理しまとめた要約編である。本編は、次の5つの項目で構成している。

- 1 調査目的
- 2 調査計画
- 3 回答状況
- 4 調査内容
- 5 調査結果の分析および課題

調査の概要

一般社団法人日本教育情報化振興会の国内調査部会では、これまで四半世紀にわたり、全国自治体の教育委員会および公立小中学校に対して、隔年で大規模なアンケート調査を実施してきた。主な調査内容は、ICT 環境整備状況、ICT 活用状況、ICT 推進体制・サポート体制、ICT 利活用に関する意識についてなど、多岐にわたっている。近年は、「教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」が短期間で改訂され、GIGA スクール構想で学校の ICT 環境は大きく変化している。また。文部科学省内に DX 関係の部署が設置され、デジタル庁も教育分野に関わるなど行政機関の新しい動きに加え、クラウドや AI の活用と教育現場に求められることも増えており、今回新たにデータ利活用を加える等で時代の変化にも対応している。

教育委員会や、学校の変化を知るうえで本調査の重要性が増している。今回の本調査は GIGA スクール構想の整備後、活用状況や周辺機器、学習者用デジタル教科書などの普及、データの利活用等を確認するには貴重な資料になるものと考ええる。

本調査に近いものとして、文部科学省による「学校における教育の情報化の実態等に関する調査」が、国内の全学校を対象とする悉皆調査として毎年実施されている。この文部科学省による調査は、統計法に基づいた政府統計の一つとして、調査体制や調査項目の規定に従っており、信頼度も高く、経年の変化を知るうえで基本的な情報が得られる貴重なものである。当会の調査は文部科学省の調査対象とならないような、最新の整備動向や ICT 環境の活用状況に加え、導入されている学習者用デジタル教科書の教科や情報化に対する意識など独自の項目を有するものである。これまでに、当調査の報告内容が、文部科学省をはじめとする各種機関や団体の資料・文献に引用されてきた実績を持っている。

この調査で提供するデータは、技術の変化や教育の変化に応じた観点から、学校における教育の情報化の実態と進展状況をとらえたものであり、教育委員会等の内部で具体的な整備計画や対応策を立案するために役立てる資料としても、重要なデータとなっている。

近年、学校教員の負担の大きな要因の一つとして、学校外からの様々な調査に対応する負荷が挙げられており、働き方改革が進められている。当会としても、この点については早くから意識し、学校現場には、あくまで任意でのご協力をお願いするものである点を依頼状に明記強調するとともに、実施は2年に1回とし、調査対象もできるだけ全国的な傾向が分かるように絞り込んで行っている。また、回答フォーマットや回答の受取方法についても、できるだけ学校の負担が大きくなるよう、学校の実態に即して行っている。

1. 調査目的

本調査は、以下の3つを目的としている。

- ① 教育の情報化に関わる企業・団体の集まりである当会の特色を生かし、現場目線での教育委員会・学校における教育の情報化の実態や意識を把握すること。
- ② 調査結果を国や自治体への政策提案に反映するとともに、教育の情報化の進展に向けた提言として活用すること。
- ③ ICT 環境整備に関する教育委員会の施策状況等を調査することで、当会の会員企業の教育ビジネスに役立つ情報を収集し提供すること。

2. 調査計画

(1) 調査対象

全国自治体の教育委員会の情報教育担当及び全国の公立小中学校の情報担当教諭

(2) 調査地域

全国自治体の教育委員会及び全国の公立小中学校

(3) 標本調査

- ① 全国市区町村の 1,741 自治体教育委員会すべて。(全数対象調査)
- ② 全国公立小中学校のリストから、一定規模の児童・生徒数※を有する範囲の学校を選出。

※小学校・中学校の調査にあたっては、学校の規模（児童・生徒数）を基準にして調査対象範囲を決定している。本調査の設問は、1 学年が複数の学級から構成されるような規模の学校を想定した調査となっており、複式学級となるような小規模校は調査対象から外すことにしている。また、1 学年の児童・生徒数があまりにも大きい学校についても、調査対象としてはやや特殊な状況にあることが推察される点や、回収結果が平均的な学校規模から大きく変わってしまう可能性を考慮し、対象から外すこととした。今回の調査では、小学校については児童数が 80 以上 800 未満、中学校については生徒数 140 以上 700 未満を対象とし、結果としては、小学校 3,749 校、中学校 1,610 校の合計 5,359 校を標本として選択した（図 1）。この作業には、学校の住所と児童・生徒数が記載されている市販の住所録を使用した。なお、学校の分割・統合・廃校・新設などもあるため、得られた結果のデータは、必ずしも意図された範囲の中に収まらないものも存在した。

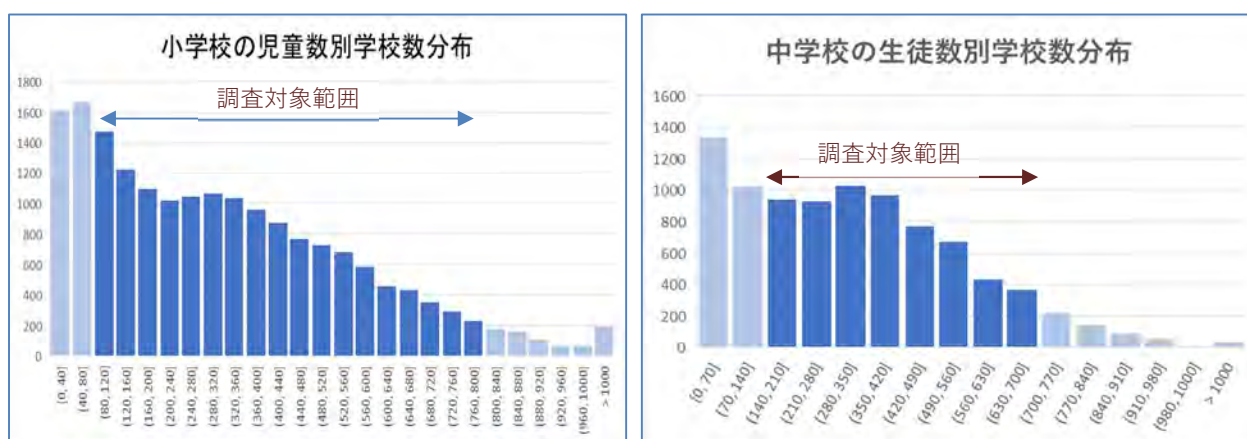


図 1 全国の小学校・中学校の児童・生徒数別の学校数分布と今回の調査範囲

(4) 調査時期

令和 7 年 8 月～9 月

(5) 調査方法

アンケートの実施は、以下のような手順によって行った。

- ①調査対象（教育委員会・学校）への回答依頼状の送付
- ②依頼状に記載された URL から回答フォーム（Google フォーム）への入力（図 2）
- ③回答の集計と分析

上記のうち②が調査対象者の作業となる。この作業は、学校及び教育委員会の情報担当者に実施いただくことを想定し、極力担当される方の作業負担が大きくなるように、以下の点に留意した。

- ・質問項目を厳選し、可能な限り項目数を増やさないようにした。
- ・回答結果をメールで返信し回答内容を確認できるようにした。同時に回答修正用のリンクを返信し、回答の修正や回答を途中まで入力し再開することを可能とした。

第15回 学校アンケート

平素より一般社団法人日本教育情報化振興会（JAPET&CEC）の事業活動に多大なご協力を賜りまして厚く御礼申し上げます。

本会は、日本のより良い学校教育の実現に向けて、教育の情報化を進めている団体です。これまでに皆様のご協力をいただき、隔年で通算14回にわたって学校教育の情報化の状況を調査し、その調査結果を国への政策提言・予算獲得や教育ICT関連製品の改善に反映してまいりました。

この度は、最新の教育の情報化の進捗状況を調査いたしたく、下記の要領でアンケートをお願いする次第でございます。ご多忙の折、大変お手数をおかけいたしますが、ご協力いただけますようお願い申し上げます。

令和7年8月 日本教育情報化振興会

*必須の質問です

メールアドレス*

メールアドレス

次へ 1/10 ページ フォームをクリア

Google フォームでパスワードを送信しないでください。

このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。 - フォームのオーナーに問い合わせる、利用規約・プライバシーポリシー

このフォームが不審だと思われる場合 報告

Google フォーム

第15回 学校アンケート

2-1-1 ネットワーク及び校務に関する項目

2-1-1-1 ネットワークの利用で感じていることについて伺います。
(いくつでも)

☐ ①ネットワーク(インターネット)が不安定で、利用に支障が生じる

☐ ②ネットワーク(インターネット)の速度が遅い

☐ ③セキュリティが厳しく、利用に支障が生じる(フィルタリングによるアクセス制限等)

☐ ④セキュリティの設定が緩く、不安を感じる

☐ ⑤端末起動・ログインの際に支障が生じる

☐ ⑥動画やデジタル教科書等を使用する際に支障が生じる

☐ ⑦校内で繋がりにくい（もしくは繋がらない）場所・時間がある

☐ ⑧課題を感じていない

2-1-1-2 統合型校務支援システムを活用していますか。

☐ ①多くの校務を統合型校務支援システムだけで行っている

☐ ②他の業務支援システムと合わせて統合型校務支援システムを使っている

☐ ③一部の校務を統合型校務支援システムで行っている

☐ ④統合型校務支援システムを導入していない

図 2 回答フォームの例

過去には、一部の自治体でセキュリティポリシーにより Google フォームなどの Web からのデータ入力を禁止する設定がなされており、エクセルで回答いただいたデータをこちらで入力することもあったが、今回はすべて、Google フォームにて回答いただいた。

3. 回答状況

回答状況は、教育委員会の回答率 19.7%、学校の回答率 36.9%との数値結果となった（表 1・図 3）。学校は Web での回答とした前回調査で回答率が大きく伸び、今回もそれを維持しているが、教育委員会は回答率が下がっている。Web での回答とはいえ、質問数が増加したことによる負担増や回答前に上席確認などの手順を取る必要があるなど、手間がそれほど軽減されていないことが考えられる。

表 1 過去の回答状況

		第5回	第6回	第7回	第8回	第9回	第10回	第11回	第12回	第13回	第14回	第15回
		2005	2007	2009	2011	2013	2015	2017	2019	2021	2023	2025
教育委員会	回答数	246	218	176	183	146	298	614	419	463	455	343
	回答率	61.5%	54.5%	44.0%	10.5%	36.5%	17.1%	35.3%	24.1%	26.6%	26.1%	19.7%
	発信数	400	400	400	1,743	400	1,740	1,738	1,741	1,741	1,741	1,741
小中学校	回答数	1,375	900	860	2,988	983	780	1,815	1,281	1,832	1,945	1,975
	回答率	34.4%	30.0%	28.7%	11.3%	23.4%	13.0%	34.6%	24.4%	34.9%	36.4%	36.9%
	発信数	4,000	3,000	3,000	26,442	4,200	6,000	5,250	5,244	5,250	5,344	5,359

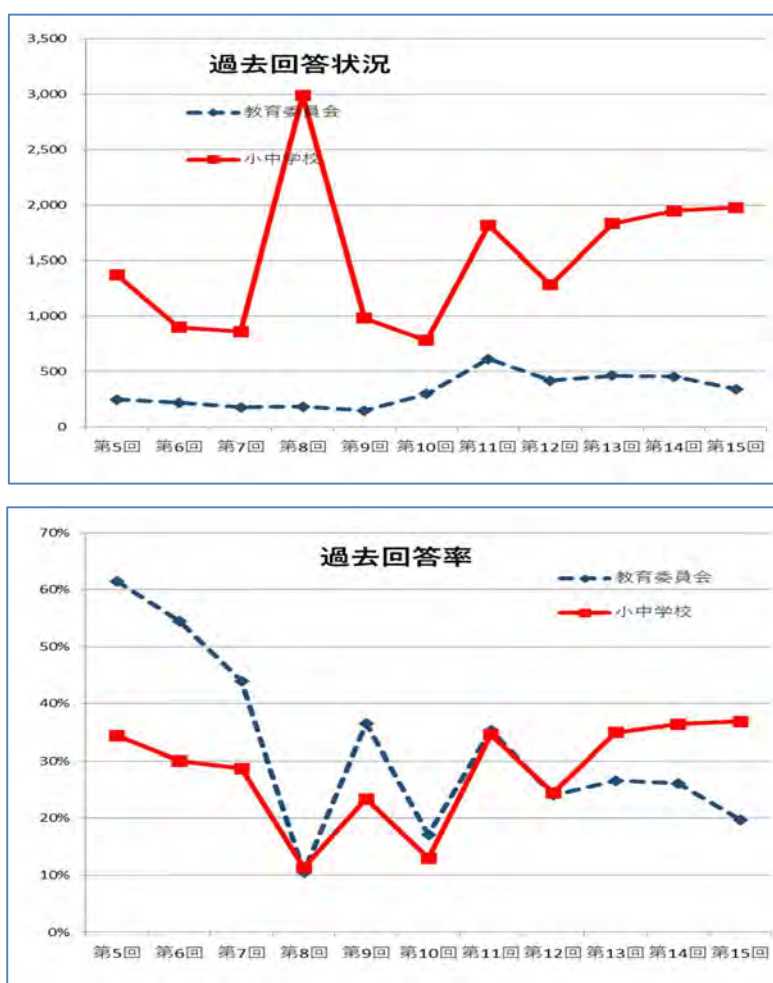


図 3 過去の回答状況・回答率

4. 調査内容

今回の設問の項目数を、以下の表 2 に示す。

表 2 教育委員会及び学校への調査のカテゴリ別設問項目数

(教育委員会)		(学校)	
設問カテゴリ	項目数	設問カテゴリ	項目数
回答者プロフィール	18	回答者プロフィール	12
ネットワーク及び ICT 環境整備に関する項目	11	ネットワーク及び校務に関する項目	4
ハードウェアに関する項目	30	ハードウェアに関する項目	23
ソフトウェアに関する項目	9	ソフトウェアに関する項目	16
校務DX等についての項目	8	ICTに関する保守サポートの項目	3
ICTに関する保守サポートの項目	8	データの利活用に関する項目	18
データの利活用に関する項目	21	教育の情報化に対する意識に関する項目	17
情報セキュリティに関する項目	11	合計	93
教育の情報化に対する意識に関する項目	9		
合計	125		

5. 調査結果の分析及び課題

(1) ネットワーク環境の整備状況

【特徴】

大規模自治体とそれ以外の自治体で大きな差がある。校務データ・学習用データを保存するサーバは、外部のデータセンターやクラウドサービスを利用しているところが市・町・村で前回調査に比べて増えている。その内訳は、校務データは民間事業者等のデータセンター、学習用データは民間のクラウドサービスの利用が多くなっている。

【課題】

ネットワーク整備に関して課題と感じた点は、予算の確保、ネットワーク等の技術的な知識等多岐にわたっており、教育委員会の苦労が見て取れる。無線 LAN の整備にあたっては教育委員会としては事前調査や接続テストを十分に実施したとしている所が多いが、学校では繋がらないところがあるなどネットワークに満足していない現状がある。

校務データの保存場所に関しては、自治体規模で大きな差が出ており、町・村で5割以上が学校内のサーバで保存している。セキュリティの観点からも外部のデータセンターやクラウドサービスの利用の検討が必要である。

(2) ハードウェアの整備状況

【特徴】

GIGA スクール構想第二期整備真っ直中の調査となり、機器整備の変更点を確認する調査とした。児童・生徒の1人1台端末は令和7年度までに6割を超える自治体が更新を行ったが、WindowsPCを選択する自治体が12%程度にまで減少した。コンピュータ教室については、小学校でわずか9.0%が残っているが53.0%がすでに廃止している。中学校は20.7%が残っているが、39.7%が廃止している。大型提示装置の普通教室整備は進んだが、カラープリンタや実物投影機など周辺機器の整備は遅れている。オン

ライン授業については、不登校児童・生徒向けに 59.0%が実施しており、不登校対策として取り入れている。

学校での 1 人 1 台端末の活用は本調査から日常化していることが伺えるが、自宅への持ち帰り利用においても 77.9%が日々の学習で利用していると回答があった。持ち帰り利用はしていないが 7.9%で、学校の活用方法の変化が感じられる。授業における大型提示装置の利用は、授業の半分以上で使っているが 8 割を超えており、すでに定着している状態である。

【課題】

教員の指導者用端末は、学校向けの調査で 83.0%が個人専用のものを配布されているが、15.5%が他者と共用であると回答された。共用での端末利用は業務の非効率を招きかねず、改善が求められる。私物の端末利用も授業用途が 31.1%、校務用途が 23.1%と依然として多い。端末整備とセットで私物利用を無くすことが求められる。機器整備に伴い、授業の配信が一般化してきたことが今回の調査で確認できている。不登校対応に授業の配信を用いるならば、専用のマイクやスピーカーを含めた環境整備が求められる。

(3) 学習用ソフトウェア・コンテンツの導入・活用状況

【特徴】

学習者用デジタル教科書の導入について、自治体予算による整備は小学校・中学校ともに算数・数学が最も多い。前回調査と比較すると、小学校低学年（52.1%→55.6%）、中学年（49.6%→57.4%）、高学年（59.7%→64.8%）、中学校（57.4%→61.7%）といずれも増加している。しかし、他教科の導入は依然として進んでいない。デジタルドリル・AI ドリルと紙のドリルを併用しているという学校は、全体で（74.9%→90.5%）となっている。また、保護者負担が多い紙のドリルとは違い、デジタルドリル・AI ドリルは自治体負担が多い結果が出ている。

【課題】

国の予算により導入されている外国語及び算数・数学以外で、学習者用デジタル教科書を導入しているという自治体はまだまだ少ない状況である。しかしながら、教科指導において必要だと思うアプリ・ツールについてたずねると、70.5%の教員が学習者用デジタル教科書・教材を選択している。次版の教科書改訂ではデジタル教科書が紙の教科書と同等の扱いとなる。新たな形態の教科書が現場で有効に活用されるためにも、現段階からあらゆる教科で学習者用デジタル教科書を活用できる環境整備が望まれる。

また、導入はされているものの活用が進んでいないアプリ・ツールについては、利活用促進のための策を講じるか、もしくは継続利用の可否を検討する必要がある。

(4) 校務 DX の推進状況

【特徴】

県域での統合型校務支援システムの導入について、「既に実施されている」「次年度以降に予定されている」は 5 割程度である。指導要録などを電子保存している自治体は前回調査と大きな変化はなく電子化はまだ進んでいない。校務システム導入にあたり文書規定やルールを変更した自治体は大規模自治体ほど多く、町・村では 2 割程度に留まっている。

今回初めて教員用連絡ツール等としてスマートフォンの導入について調査した。国の整備指針にはないが全体で6%ほどが既に導入を済ませている。

【課題】

学校外での校務処理については、5割を超える自治体が認めていない。その理由としては「セキュリティ確保のため」が9割を超えている。学校現場では「学校外での校務処理が必要」とする意見がおおく、アンケートに回答していただいた教育委員会の担当者の多くも「学校外での校務処理が必要」と考えており、規則が現場の実情に合っていない。

(5) ICT に関する保守サポート体制

【特徴】

ICT 支援員の整備状況については、前回調査と大きな変化はないものの、4校に1人程度以上配置している自治体は31.8%と、前回の36.7%から若干の減少傾向となった。また、ICT 支援員の学校訪問は、7割近くが巡回型（週または月に数回）で実施されている。

教育委員会としてはICT 支援員によるサポートについて、全ての支援内容で4割～9割超の高い期待を示している。学校が期待・依頼する具体的なサポートとしては、ICT 機器を利用した授業の技術的支援やICT 活用方法についての支援が70%を超え、校務処理支援や端末の年度更新作業についても5割を超えており、現場のニーズは高い。一方で、今後必要となるプログラミング教育導入やAI 活用方法など新たな領域へのサポートの期待・要望は1割程度と、まだ限定的である。

【課題】

GIGA スクール構想によるICT 活用が進展する中、技術的サポートやICT 活用アドバイスへの現場からの要望が一層高まっているものの、ICT 支援員配置の主流が巡回型に留まり、十分な人員配置には至っていない。とくに、支援員に係る予算化の難しさが考えられ、今後の学校サポートの在り方については、実態把握とニーズの深掘りが必要である。

運用・保守面では、年度更新作業や端末故障時の対応・管理、1人1台端末の持ち帰りへの問い合わせ対応など、教育委員会および学校負担の大きさが引き続き課題となっている。負担軽減策として、運用業務の分担や外部委託、サポート体制の強化が求められる。

さらに、児童生徒の卒業・転校時における個人用端末およびクラウド上のデータの取扱いについては、「データの引き渡しや削除は特に行わない」「特にルールは定めていない」とする自治体が23.6%にのぼり、情報管理の整備および現場周知の徹底が必要である。

(6) データの利活用に関する状況

【特徴】

本調査から新たに追加した調査項目で、「ダッシュボード」「学習eポータル」「生成AI」の3要素の利活用を中心に設問を設定した。

生成AIについては、1割の自治体が授業での活用を推奨し、6割が検討段階にあった。また、業務の効率化への活用では、3割の自治体が活用を推奨し、5割の自治体が検討段階にあった。一方、生成AIの利用を明確に禁止・制限している自治体は1割程度であった。

【課題】

ダッシュボードの導入自治体は3割程度であり、導入した上で「有効活用できている」と実感している学校は1割にも満たない結果であった。また、学習eポータルについても、「全国学力・学習状況調査の時だけ使用している」もしくは「有効活用できていない」学校が合わせて7割と形式的な利用に留まっているケースが多い。

ダッシュボード・学習eポータルともに現場での有効な活用方法の周知が強く望まれる。

(7) 情報セキュリティ**【特徴】**

セキュリティ事故に備えて、教育委員会内に統一的な窓口を設置し、報告ルールや対応手順等をさだめているところは全体で45.2%と増えたが、まだ5割に届いていない。令和7年3月の「教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン」にある情報資産の分類が完了しているところは、大規模自治体では6割ほどであるが、町・村では3割強と自治体規模で差が出ている。2要素認証の導入もほぼ同様である。小規模自治体で対応・対策が遅れている項目が多くなっている。

児童・生徒用端末へのセキュリティ対策では、MDMやWebフィルタリングが自治体規模にかかわらず9割前後で導入されている。

【課題】

文部科学省の教育情報セキュリティポリシーに関するガイドラインで示されている対策が、必ずしも進んでいるとは言えない。また、GIGAスクール構想によって整備された端末や環境が、教育委員会の下で適切に管理されている状況ではない。これまでの調査同様に、規模の大きな自治体ほど情報セキュリティ対策を実施している傾向が強い。対策が遅れている自治体への早急な予算補助や支援が望まれる。

(8) 教育委員会や学校現場の意識**【特徴】**

教育委員会は、1人1台端末を有効活用するために新たな教員研修が必要という問いに対して、「強くそう思う」「そう思う」を合わせて全体で9割を超えている。学校によりICT活用に差が出ていると考えている。各種端末のセキュリティ強化も望まれている。

学校では、大型提示装置に関してはより大きなサイズが望まれており6割近くが黒板の役割を果たしていると考えている。業務用ディスプレイやスマートフォンの導入も望まれている。ICT環境の整備で授業の進め方や方法が変わったと9割以上が感じ、児童生徒の学習意欲が増したと8割以上が感じている。

先進地機と一般地域での意識の差はほとんどなくなった。

【課題】

教育委員会、学校とも研修やICT支援員等の充実、より大きな大型提示装置や業務用ディスプレイなどICT環境整備が必要と考えているが、実態はそうではない。より一層のICT環境整備とその活用が望まれる。

※本調査で設問もしくは選択肢に一部不明確なところがあり、正確な調査結果と判断できなかったものなどは本報告書に掲載していない。このため設問番号が抜けている箇所がある。

※本報告書で、表現や表記が統一されていないところがある。国内調査部会メンバーが各々分担して執筆し、限られた時間の中で取りまとめた結果であり、ご容赦いただきたい。

第Ⅱ部 教育委員会編

教育委員会編は、全国の教育委員会に対して調査を行い、得られた結果を自治体（市区町村）の規模別に集計し、掲載している。本編は、以下の7つの節からなる。

- 1-0 プロフィール
- 1-1 教育 DX に関する項目
 - 1-1-1 ネットワーク及び ICT 環境整備に関する項目
 - 1-1-2 ハードウェアに関する項目
 - 1-1-3 ソフトウェアに関する項目
- 1-2 校務 DX 等についての項目
- 1-3 ICT に関する保守サポートの項目
- 1-4 データの利活用に関する項目
- 1-5 情報セキュリティに関する項目
- 1-6 教育の情報化に対する意識に関する項目

1 全国の自治体教育委員会の調査結果

1-0 プロフィール

教育委員会を対象とする調査は、1,741 の自治体教育委員会に依頼を発信し、343(19.7%)の教育委員会から回答が得られた。以下に、回答が得られた教育委員会の内訳を、自治体規模別に示す。また、各教育委員会の所管する小学校・中学校の平均校数も自治体規模別に示す。

	自治体数	比率	平均 小学校数	平均 中学校数
政令市	4	1.2%	138.3	66.5
中核市	18	5.2%	48.6	22.0
特別区	2	0.6%	31.0	15.5
市	142	41.4%	12.5	6.1
町	142	41.4%	3.1	1.7
村	35	10.2%	0.9	0.8
合計	343	100.0%	10.9	5.3

以下の2つの表は、回答が得られた教育委員会が所管する学校数の分布を示したものである。

小学校	政令市		中核市		特別区		市		町		村		総計	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率
～3校							1	0.7%	93	65.5%	35	100.0%	129	37.6%
4校～10校							64	45.1%	49	34.5%			113	32.9%
11校～20校							59	41.5%					59	17.2%
21校～30校					1	50.0%	14	9.9%					15	4.4%
31校～80校			18	100.0%	1	50.0%	4	2.8%					23	6.7%
81校～160校	3	75.0%											3	0.9%
161校～	1	25.0%											1	0.3%
総計	4	100.0%	18	100.0%	2	100.0%	142	100.0%	142	100.0%	35	100.0%	343	100.0%

中学校	政令市		中核市		特別区		市		町		村		総計	
	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率	実数	比率
～3校							34	23.9%	137	96.5%	35	100.0%	206	60.1%
4校～10校					1	50.0%	93	65.5%	5	3.5%			99	28.9%
11校～20校			7	38.9%			14	9.9%					21	6.1%
21校～30校			11	61.1%	1	50.0%	1	0.7%					13	3.8%
31校～80校	3	75.0%											3	0.9%
81校～160校	1	25.0%											1	0.3%
総計	4	100.0%	18	100.0%	2	100.0%	142	100.0%	142	100.0%	35	100.0%	343	100.0%

本報告書の次頁以降における集計では、上記の政令市・中核市・特別区を合わせて「政令市等」とし、また町と村を合わせて「町・村」とした。

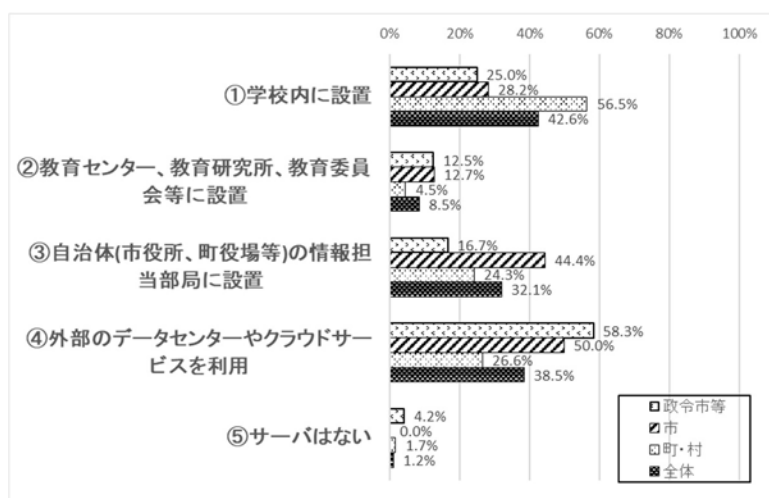
※本報告書において、各項目のグラフ下にあるコメントで、(XX.X%→XX.X%)となっている場合は、前回調査の結果→今回調査の結果という変化を表している。

1-1 教育 DX に関する項目

1-1-1 ネットワーク及び ICT 環境整備に関する項目

1-1-1-1(1) 校務データを保存するサーバの設置場所について伺います。(いくつでも)

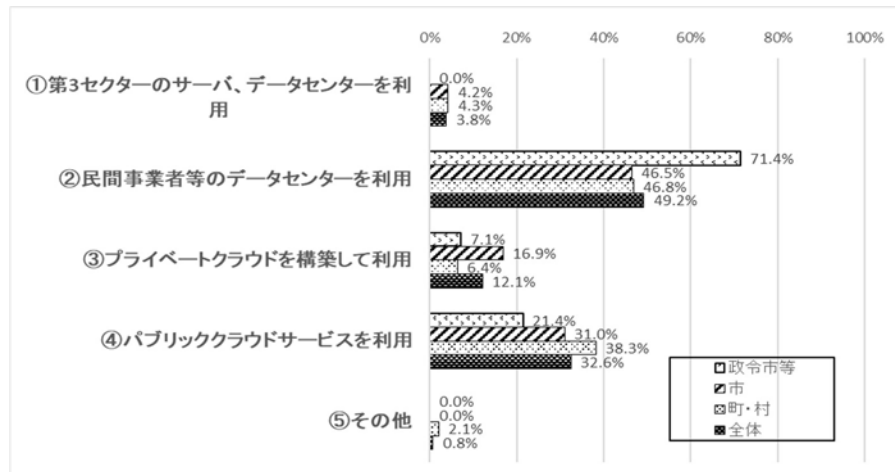
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①学校内に設置	6	25.0%	40	28.2%	100	56.5%	146	42.6%
②教育センター、教育研究所、教育委員会等に設置	3	12.5%	18	12.7%	8	4.5%	29	8.5%
③自治体(市役所、町役場等)の情報担当部局に設置	4	16.7%	63	44.4%	43	24.3%	110	32.1%
④外部のデータセンターやクラウドサービスを利用	14	58.3%	71	50.0%	47	26.6%	132	38.5%
⑤サーバはない	1	4.2%			3	1.7%	4	1.2%
無回答								
回答数合計	28	116.7%	192	135.2%	201	113.6%	421	122.7%
回答者数(母数)	24		142		177		343	



※「①学校内に設置」は町・村が 56.5%、「③自治体(市役所、町役場等)の情報担当部局に設置」は市が 44.4%と最も多い。「④外部のデータセンターやクラウドサービスを利用」は、政令市等が 58.3%、市が 50.0%と半数を超えている。自治体規模で差が出ている。

1-1-1-1(2) 「1-1-1-1(1)」で④と回答された方に伺います。どのような形態での利用ですか。

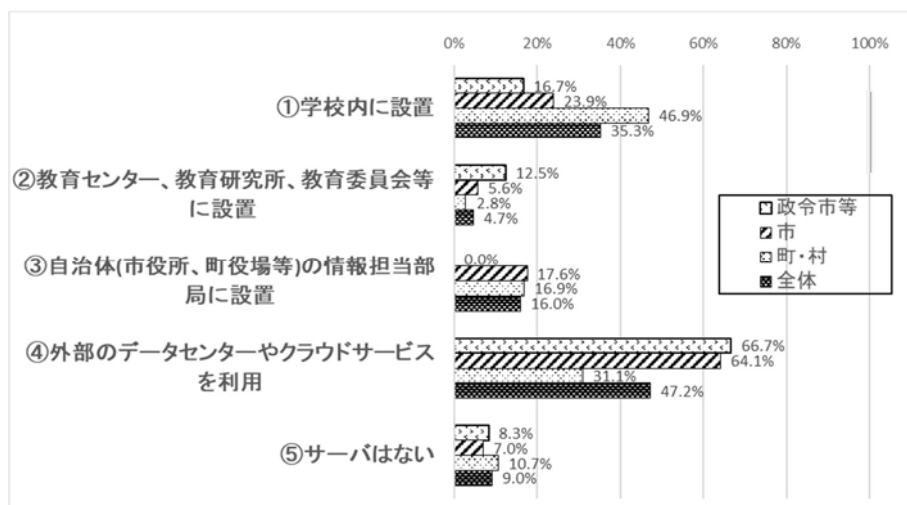
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①第3セクターのサーバ、データセンターを利用			3	4.2%	2	4.3%	5	3.8%
②民間事業者等のデータセンターを利用	10	71.4%	33	46.5%	22	46.8%	65	49.2%
③プライベートクラウドを構築して利用	1	7.1%	12	16.9%	3	6.4%	16	12.1%
④パブリッククラウドサービスを利用	3	21.4%	22	31.0%	18	38.3%	43	32.6%
⑤その他					1	2.1%	1	0.8%
無回答			1	1.4%	1	2.1%	2	1.5%
回答者数(母数)	14	100.0%	71	100.0%	47	100.0%	132	100.0%



※「②民間事業者等のデータセンターを利用」が多く、政令市等では7割を超えている。

1-1-1-1(3) 学習用データを保存するサーバはどこに設置していますか。(いくつでも)

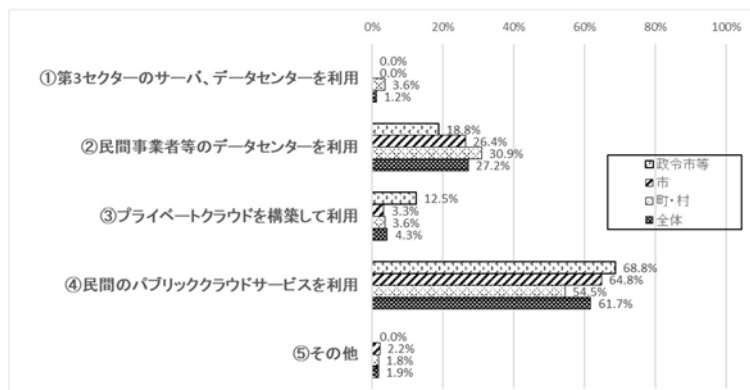
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①学校内に設置	4	16.7%	34	23.9%	83	46.9%	121	35.3%
②教育センター、教育研究所、教育委員会等に設置	3	12.5%	8	5.6%	5	2.8%	16	4.7%
③自治体(市役所、町役場等)の情報担当部に設置			25	17.6%	30	16.9%	55	16.0%
④外部のデータセンターやクラウドサービスを利用	16	66.7%	91	64.1%	55	31.1%	162	47.2%
⑤サーバはない	2	8.3%	10	7.0%	19	10.7%	31	9.0%
無回答	1	4.2%	1	0.7%	3	1.7%	5	1.5%
回答数合計	26	108.3%	169	119.0%	195	110.2%	390	113.7%
回答者数(母数)	24		142		177		343	



※「④外部のデータセンターやクラウドサービスを利用」が政令市等で66.7%、市で64.1%と高いが、町・村では31.1%に留まっている。

1-1-1-1(4) 「1-1-1-1(3)」で④と回答された方に伺います。 どのような形態での利用ですか。

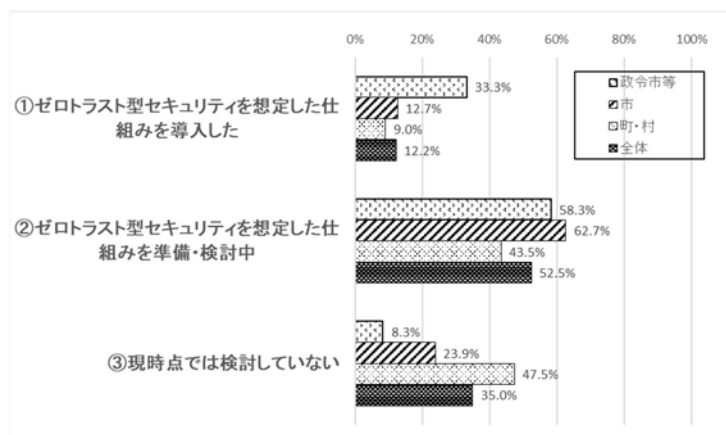
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①第3セクターのサーバ、データセンターを利用					2	3.6%	2	1.2%
②民間事業者等のデータセンターを利用	3	18.8%	24	26.4%	17	30.9%	44	27.2%
③プライベートクラウドを構築して利用	2	12.5%	3	3.3%	2	3.6%	7	4.3%
④民間のパブリッククラウドサービスを利用	11	68.8%	59	64.8%	30	54.5%	100	61.7%
⑤その他			2	2.2%	1	1.8%	3	1.9%
無回答			3	3.3%	3	5.5%	6	3.7%
回答者数(母数)	16	100.0%	91	100.0%	55	100.0%	162	100.0%



※「④民間のパブリッククラウドサービスを利用」が自治体規模に関わらず多く、全体で61.7%となっている。

1-1-1-2(1) 「アクセス制御による対策」(=ゼロトラスト型セキュリティを想定した仕組みの導入)について検討していますか。※ゼロトラスト：クラウドサービスの登場によりいつでもどこでもサービスの利用ができるようになったことを背景に、接続後のネットワークは安全だと信頼するのではなく、「全てのアクセスにはセキュリティリスクが潜んでいる」という前提の上で、IAM を用いてアクセス時に本人の認証や安全性の確認を毎回行い、管理・監視する方式。旧来の方式(VPN 等)では不十分なセキュリティを置き換える技術。

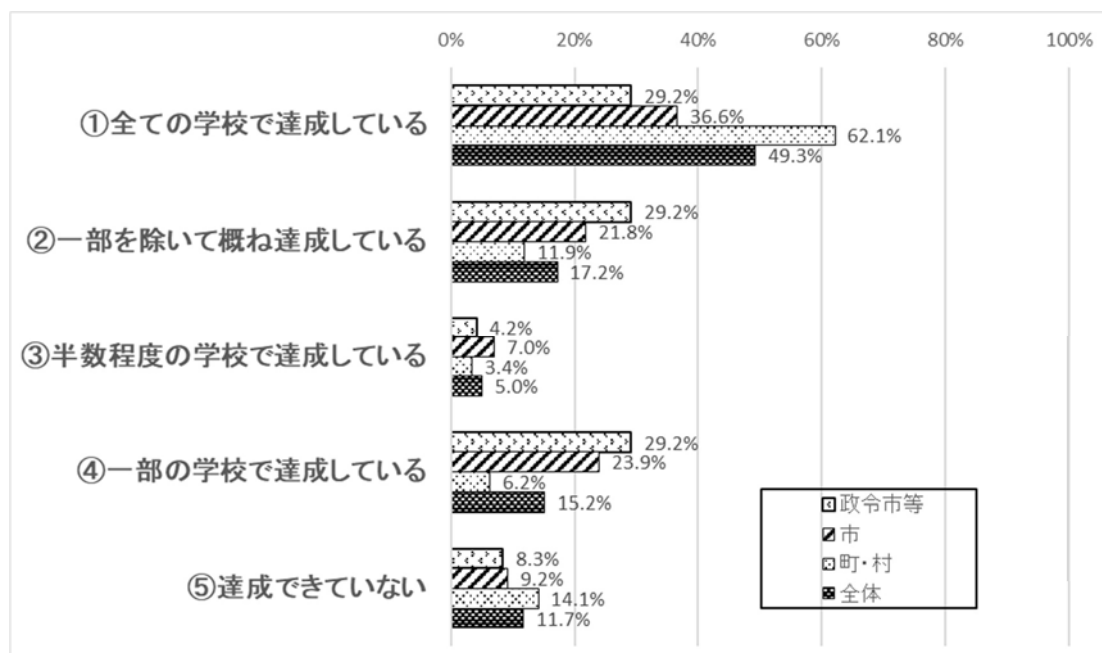
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①ゼロトラスト型セキュリティを想定した仕組みを導入した	8	33.3%	18	12.7%	16	9.0%	42	12.2%
②ゼロトラスト型セキュリティを想定した仕組みを準備・検討中	14	58.3%	89	62.7%	77	43.5%	180	52.5%
③現時点では検討していない	2	8.3%	34	23.9%	84	47.5%	120	35.0%
無回答			1	0.7%			1	0.3%
回答者数(母数)	24	100.0%	142	100.0%	177	100.0%	343	100.0%



※「②ゼロトラスト型セキュリティを想定した仕組みを準備・検討中」が全体で 52.5%である。町・村では「③現時点では検討していない」が47.5%となっており、ゼロトラスト型セキュリティを想定した仕組みの普及はもう少し時間がかかるものと思われる。

1-1-1-2(2) 文部科学省が「学校規模ごとの帯域の目安（当面の推奨帯域）」を示していますが、その目安を達成していますか。

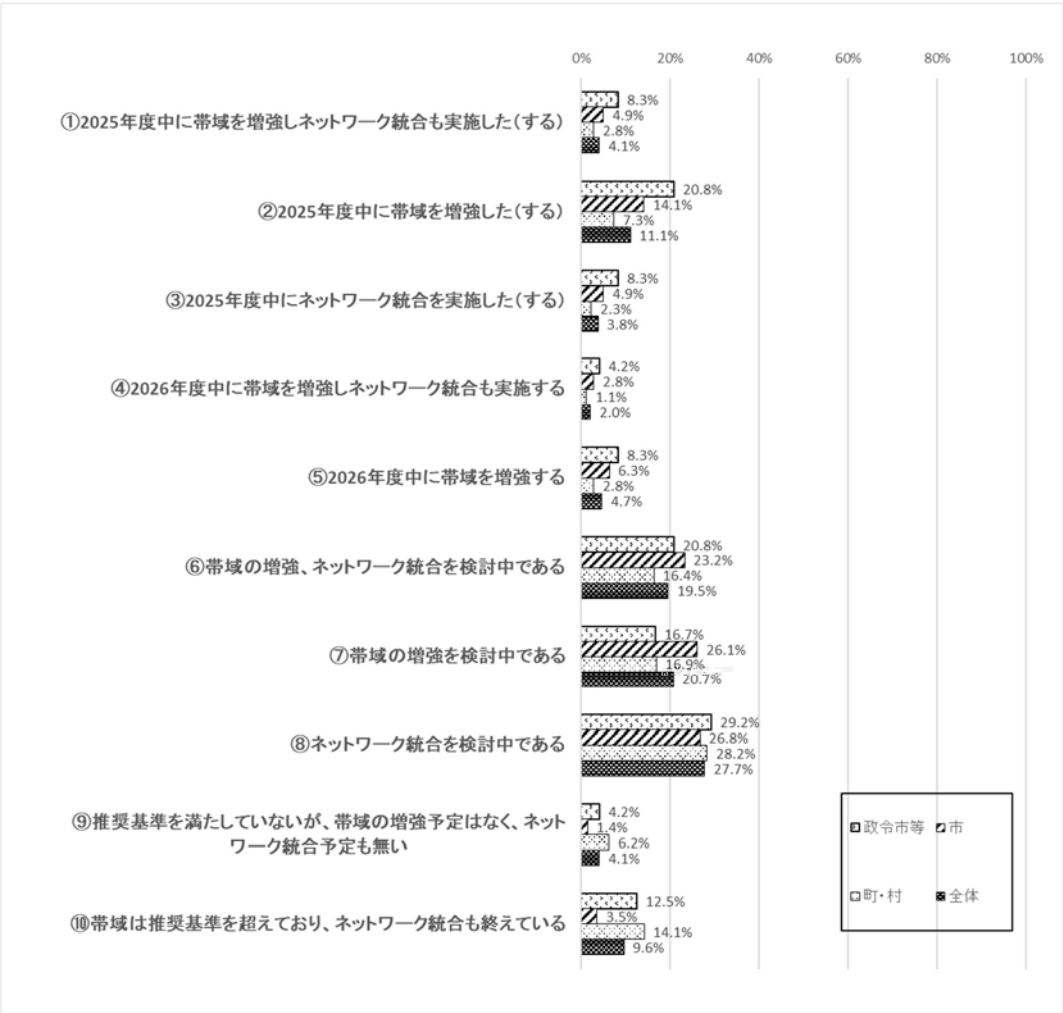
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①全ての学校で達成している	7	29.2%	52	36.6%	110	62.1%	169	49.3%
②一部を除いて概ね達成している	7	29.2%	31	21.8%	21	11.9%	59	17.2%
③半数程度の学校で達成している	1	4.2%	10	7.0%	6	3.4%	17	5.0%
④一部の学校で達成している	7	29.2%	34	23.9%	11	6.2%	52	15.2%
⑤達成できていない	2	8.3%	13	9.2%	25	14.1%	40	11.7%
無回答			2	1.4%	4	2.3%	6	1.7%
回答者数(母数)	24	100.0%	142	100.0%	177	100.0%	343	100.0%



※「①全ての学校で達成している」は全体で 49.3%、概ね半数である。ネットワーク環境整備のより一層の促進が望まれる。

1-1-1-2(3) 文部科学省が目安とした当面の推奨帯域を踏まえてネットワークの更新・増強の予定はありますか。また、学習系と校務系ネットワークの統合の予定はありますか。(いくつでも)

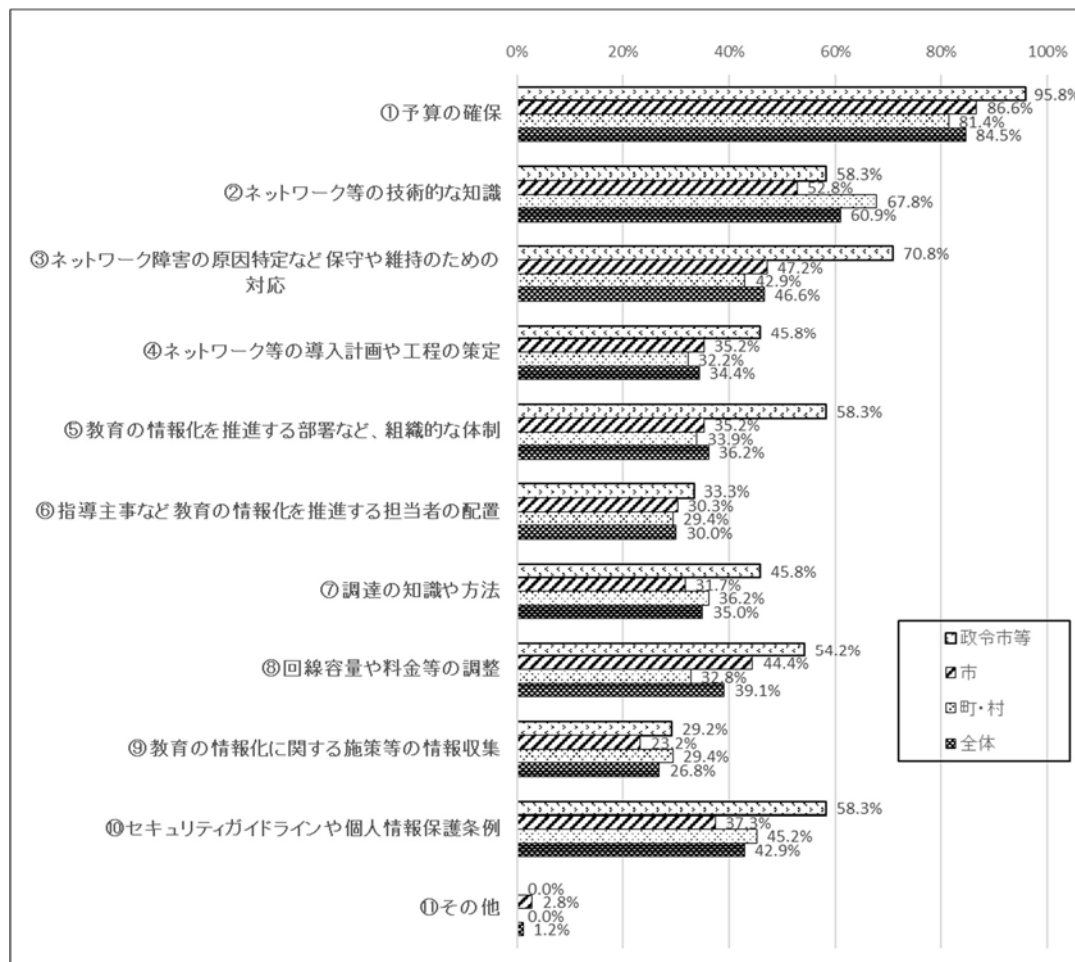
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①2025年度中に帯域を増強しネットワーク統合も実施した(する)	2	8.3%	7	4.9%	5	2.8%	14	4.1%
②2025年度中に帯域を増強した(する)	5	20.8%	20	14.1%	13	7.3%	38	11.1%
③2025年度中にネットワーク統合を実施した(する)	2	8.3%	7	4.9%	4	2.3%	13	3.8%
④2026年度中に帯域を増強しネットワーク統合も実施する	1	4.2%	4	2.8%	2	1.1%	7	2.0%
⑤2026年度中に帯域を増強する	2	8.3%	9	6.3%	5	2.8%	16	4.7%
⑥帯域の増強、ネットワーク統合を検討中である	5	20.8%	33	23.2%	29	16.4%	67	19.5%
⑦帯域の増強を検討中である	4	16.7%	37	26.1%	30	16.9%	71	20.7%
⑧ネットワーク統合を検討中である	7	29.2%	38	26.8%	50	28.2%	95	27.7%
⑨推奨基準を満たしていないが、帯域の増強予定はなく、ネットワーク統合予定も無い	1	4.2%	2	1.4%	11	6.2%	14	4.1%
⑩帯域は推奨基準を超えており、ネットワーク統合も終えている	3	12.5%	5	3.5%	25	14.1%	33	9.6%
無回答			2	1.4%	10	5.6%	12	3.5%
回答数合計	32	133.3%	164	115.5%	184	104.0%	380	110.8%
回答者数(母数)	24		142		177		343	



※「⑩帯域は推奨基準を超えており、ネットワーク統合も終えている」は全体で 9.6%に留まっている。「⑨推奨基準を満たしていないが、帯域の増強予定はなく、ネットワーク統合予定も無い」が 4.1%ある。

1-1-1-2(4) ネットワークの整備にあたり課題と感じた点についてあてはまるものをすべて選択してください。(いくつでも)

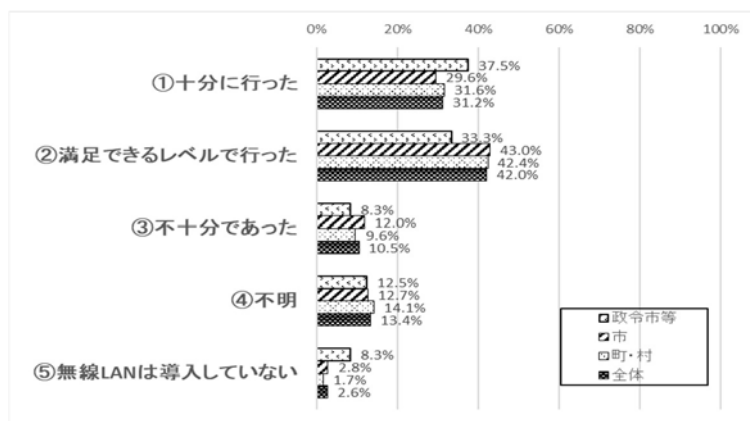
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①予算の確保	23	95.8%	123	86.6%	144	81.4%	290	84.5%
②ネットワーク等の技術的な知識	14	58.3%	75	52.8%	120	67.8%	209	60.9%
③ネットワーク障害の原因特定など保守や維持のための対応	17	70.8%	67	47.2%	76	42.9%	160	46.6%
④ネットワーク等の導入計画や工程の策定	11	45.8%	50	35.2%	57	32.2%	118	34.4%
⑤教育の情報化を推進する部署など、組織的な体制	14	58.3%	50	35.2%	60	33.9%	124	36.2%
⑥指導主事など教育の情報化を推進する担当者の配置	8	33.3%	43	30.3%	52	29.4%	103	30.0%
⑦調達の知識や方法	11	45.8%	45	31.7%	64	36.2%	120	35.0%
⑧回線容量や料金等の調整	13	54.2%	63	44.4%	58	32.8%	134	39.1%
⑨教育の情報化に関する施策等の情報収集	7	29.2%	33	23.2%	52	29.4%	92	26.8%
⑩セキュリティガイドラインや個人情報保護条例	14	58.3%	53	37.3%	80	45.2%	147	42.9%
⑪その他			4	2.8%			4	1.2%
無回答					2	1.1%	2	0.6%
回答数合計	132	550.0%	606	426.8%	765	432.2%	1,503	438.2%
回答者数(母数)	24		142		177		343	



※「①予算の確保」が自治体規模に関わらず最も多く、全体で 84.5%、政令市等では 95%を超えている。「③ネットワーク障害の原因特定など保守や維持のための対応」が政令市等で 70.8%と高く、「⑤教育の情報化を推進する部署など、組織的な体制」「⑩セキュリティガイドラインや個人情報保護条例」が続いている。町・村では「②ネットワーク等の技術的な知識」が 67.8%と高くなっている。

1-1-1-3(1) 無線 LAN は、十分に設計および現地調査(現地サーベイ)をしてから導入したと思いますか。
 あてはまるものを一つ選択してください。

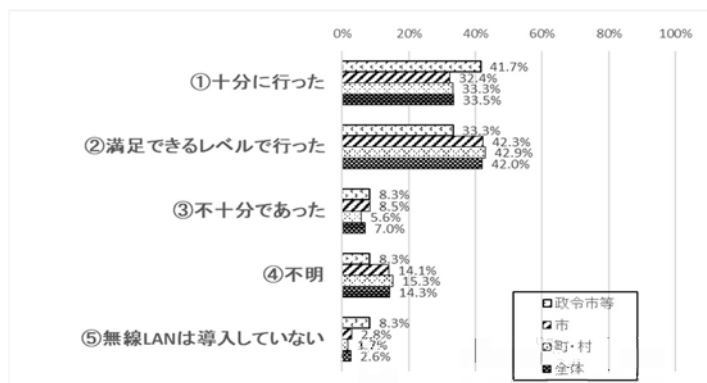
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①十分に行った	9	37.5%	42	29.6%	56	31.6%	107	31.2%
②満足できるレベルで行った	8	33.3%	61	43.0%	75	42.4%	144	42.0%
③不十分であった	2	8.3%	17	12.0%	17	9.6%	36	10.5%
④不明	3	12.5%	18	12.7%	25	14.1%	46	13.4%
⑤無線LANは導入していない	2	8.3%	4	2.8%	3	1.7%	9	2.6%
無回答					1	0.6%	1	0.3%
回答者数(母数)	24	100.0%	142	100.0%	177	100.0%	343	100.0%



※「①十分に行った」「②満足できるレベルで行った」を合わせて、全体で 73.2%である。

1-1-1-3(2) 無線 LAN 導入後、十分に接続試験を実施しましたか。

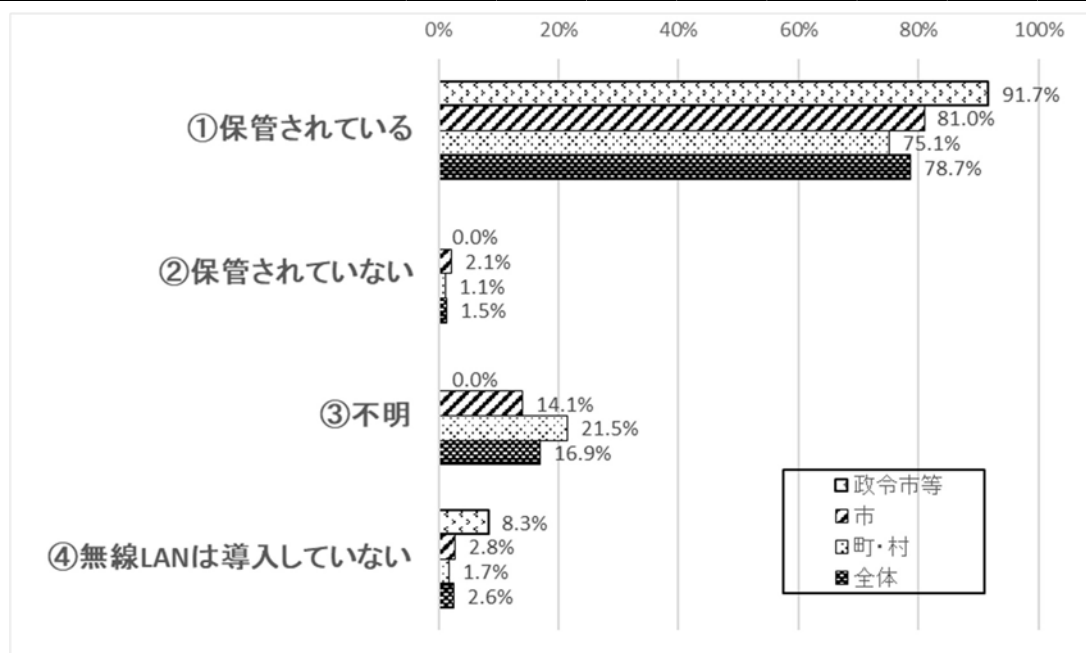
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①十分に行った	10	41.7%	46	32.4%	59	33.3%	115	33.5%
②満足できるレベルで行った	8	33.3%	60	42.3%	76	42.9%	144	42.0%
③不十分であった	2	8.3%	12	8.5%	10	5.6%	24	7.0%
④不明	2	8.3%	20	14.1%	27	15.3%	49	14.3%
⑤無線LANは導入していない	2	8.3%	4	2.8%	3	1.7%	9	2.6%
無回答					2	1.1%	2	0.6%
回答者数(母数)	24	100.0%	142	100.0%	177	100.0%	343	100.0%



※「①十分に行った」「②満足できるレベルで行った」を合わせて、全体で 75.5%である。

1-1-1-3(3) 無線 LAN 整備時の初期導入資料は保管されていますか。(設計資料や現地サーベイ資料、現地接続試験結果資料等のドキュメント資料)

	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①保管されている	22	91.7%	115	81.0%	133	75.1%	270	78.7%
②保管されていない			3	2.1%	2	1.1%	5	1.5%
③不明			20	14.1%	38	21.5%	58	16.9%
④無線LANは導入していない	2	8.3%	4	2.8%	3	1.7%	9	2.6%
無回答					1	0.6%	1	0.3%
回答者数(母数)	24	100.0%	142	100.0%	177	100.0%	343	100.0%

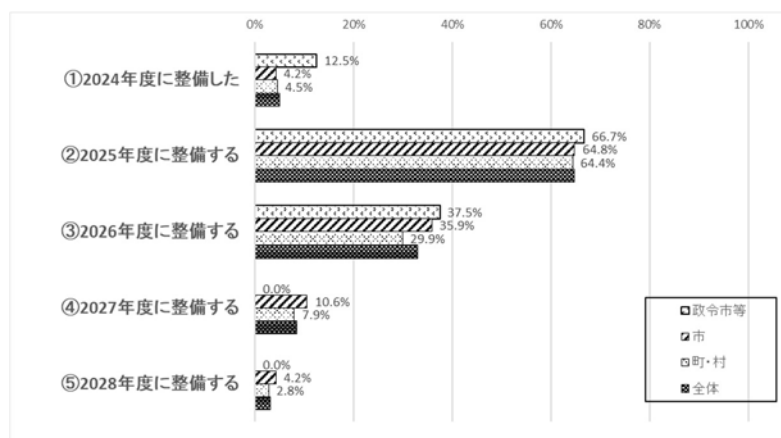


※「①保管されている」は全体で 78.7%である。町・村では「③不明」が 21.5%もあり、障害発生時や更新時が不安である。

1-1-2 ハードウェアに関する項目

1-1-2-1 GIGA スクール構想第2期の端末更新において、小学校に整備した（する）1人1台端末について伺います。(いくつでも)

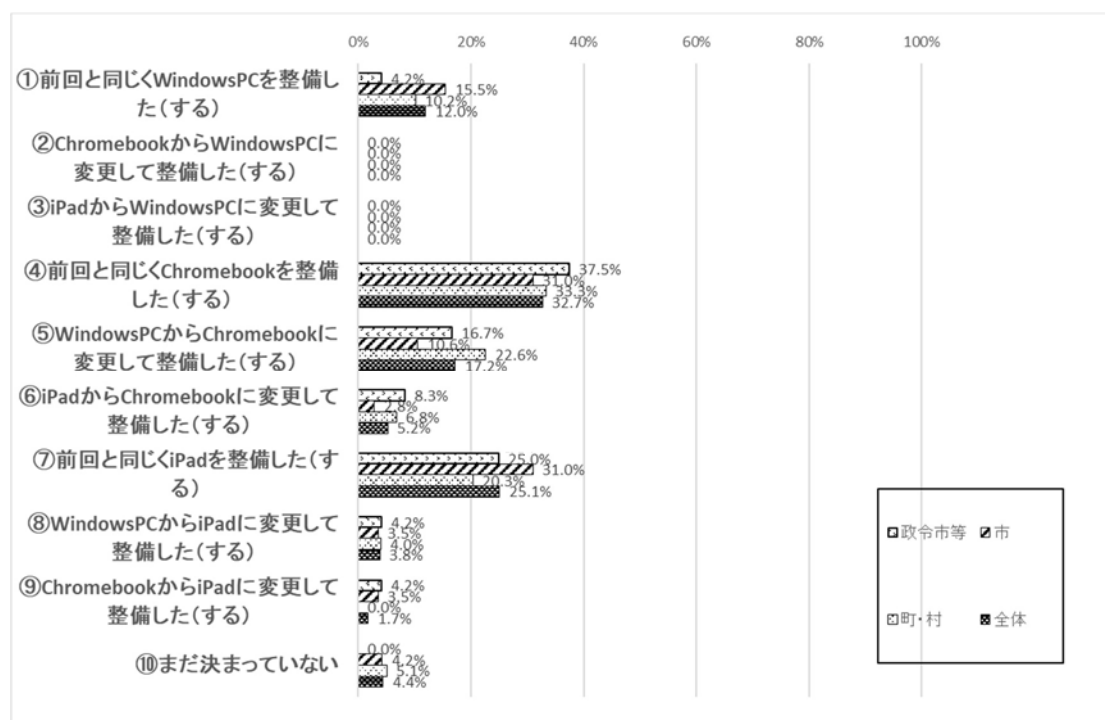
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①2024年度に整備した	3	12.5%	6	4.2%	8	4.5%	17	5.0%
②2025年度に整備する	16	66.7%	92	64.8%	114	64.4%	222	64.7%
③2026年度に整備する	9	37.5%	51	35.9%	53	29.9%	113	32.9%
④2027年度に整備する			15	10.6%	14	7.9%	29	8.5%
⑤2028年度に整備する			6	4.2%	5	2.8%	11	3.2%
無回答					1	0.6%	1	0.3%
回答数合計	28	116.7%	170	119.7%	195	110.2%	393	114.6%
回答者数(母数)	24		142		177		343	



※「②2025年度に整備する」が全体で64.7%、次いで「③2026年度に整備する」が32.9%と多くなっている。

1-1-2-2 GIGA スクール構想第2期の端末更新において、小学校に整備した(する)1人1台端末について伺います。(いくつか)

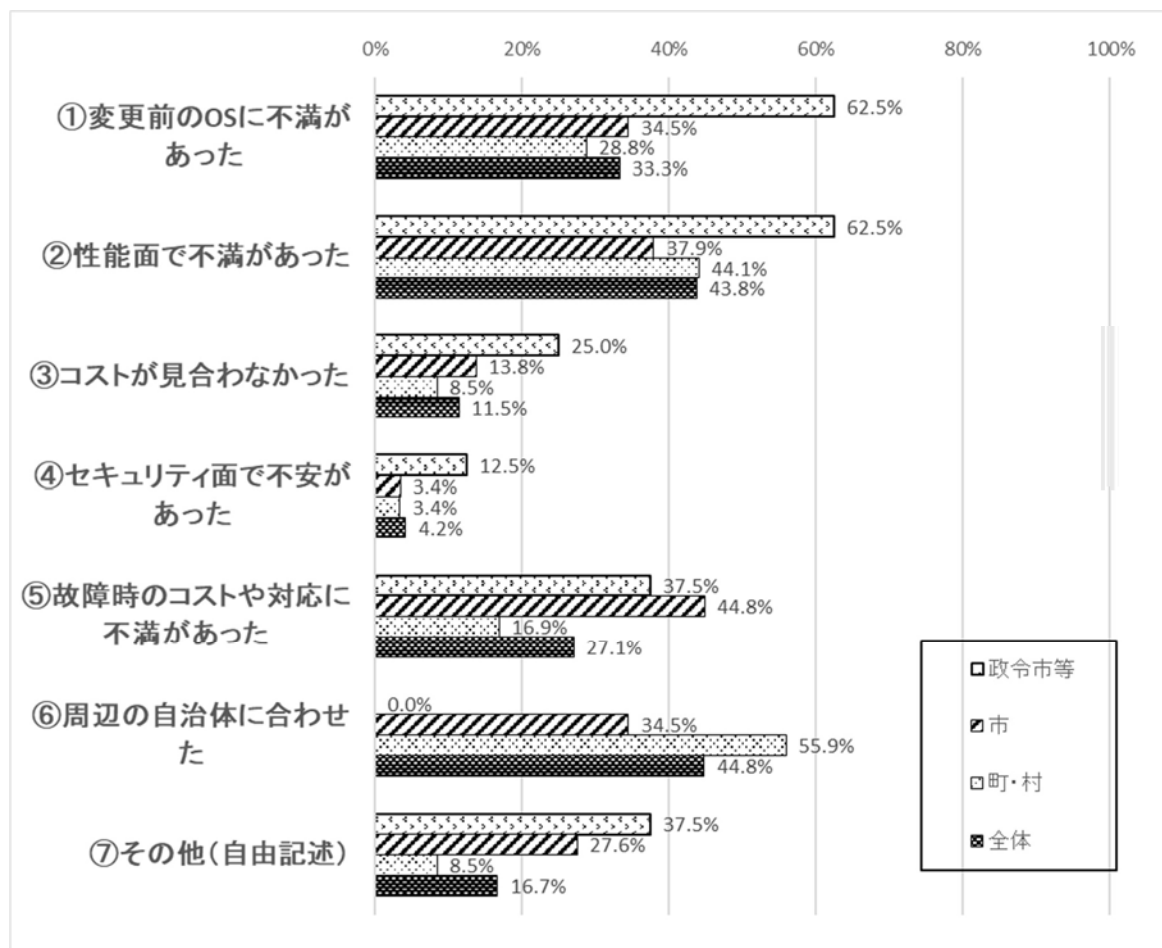
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①前回と同じくWindowsPCを整備した(する)	1	4.2%	22	15.5%	18	10.2%	41	12.0%
②ChromebookからWindowsPCに変更して整備した(する)								
③iPadからWindowsPCに変更して整備した(する)								
④前回と同じくChromebookを整備した(する)	9	37.5%	44	31.0%	59	33.3%	112	32.7%
⑤WindowsPCからChromebookに変更して整備した(する)	4	16.7%	15	10.6%	40	22.6%	59	17.2%
⑥iPadからChromebookに変更して整備した(する)	2	8.3%	4	2.8%	12	6.8%	18	5.2%
⑦前回と同じくiPadを整備した(する)	6	25.0%	44	31.0%	36	20.3%	86	25.1%
⑧WindowsPCからiPadに変更して整備した(する)	1	4.2%	5	3.5%	7	4.0%	13	3.8%
⑨ChromebookからiPadに変更して整備した(する)	1	4.2%	5	3.5%			6	1.7%
⑩まだ決まっていない			6	4.2%	9	5.1%	15	4.4%
無回答					1	0.6%	1	0.3%
回答数合計	24	100.0%	145	102.1%	182	102.8%	351	102.3%
回答者数(母数)	24		142		177		343	



※Chromebook での整備は④⑤⑥を合計すると全体で(36.3%→55.1%)と増えている。Windows は①②③を合計すると全体で(35.6%→12.0%)と減っている。iPad は⑦⑧⑨を合計すると全体で(33.4%→30.6%)とわずかな減少となった。

1-1-2-3 「1-1-2-2」で端末 OS を変更して整備された方（②③⑤⑥⑧⑨を選択）に伺います。変更された理由を教えてください。（いくつでも）

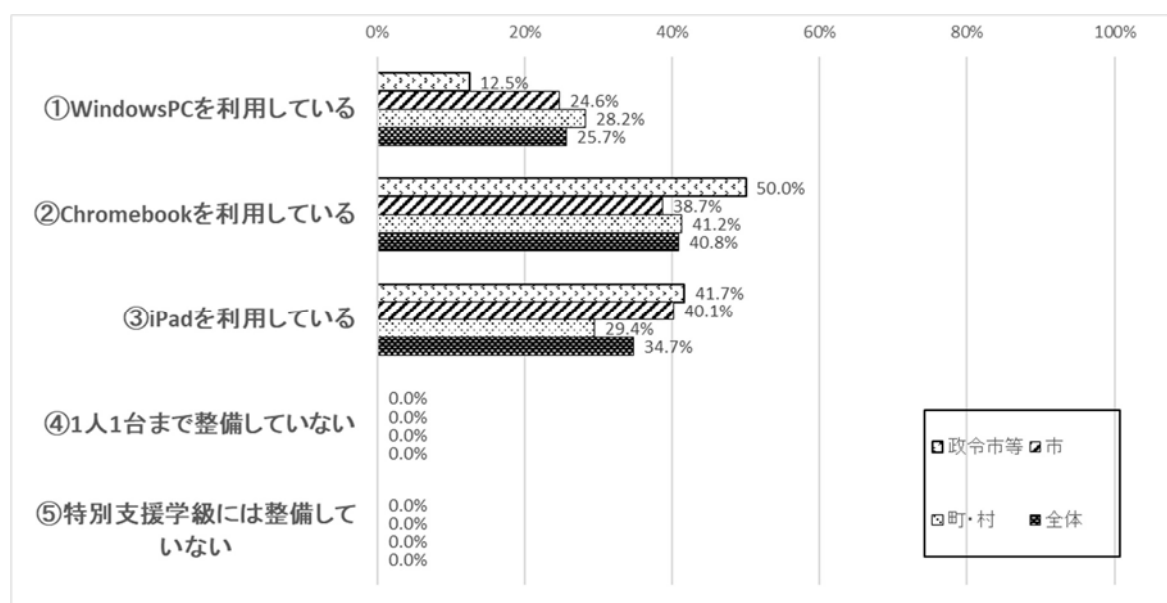
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①変更前のOSに不満があった	5	62.5%	10	34.5%	17	28.8%	32	33.3%
②性能面で不満があった	5	62.5%	11	37.9%	26	44.1%	42	43.8%
③コストが見合わなかった	2	25.0%	4	13.8%	5	8.5%	11	11.5%
④セキュリティ面で不安があった	1	12.5%	1	3.4%	2	3.4%	4	4.2%
⑤故障時のコストや対応に不満があった	3	37.5%	13	44.8%	10	16.9%	26	27.1%
⑥周辺の自治体に合わせた			10	34.5%	33	55.9%	43	44.8%
⑦その他(自由記述)	3	37.5%	8	27.6%	5	8.5%	16	16.7%
無回答	1	12.5%	1	3.4%	1	1.7%	3	3.1%
回答数合計	20	250.0%	58	200.0%	99	167.8%	177	184.4%
回答者数(母数)	8		29		59		96	



※端末の OS の変更理由としては、「⑥周辺の自治体に合わせた」が 44.8%と最も多い。この選択肢は町・村に偏っており、小規模自治体が周辺に合わせる整備となっていることがわかる。次いで「②性能面で不満があった」が 43.8%と多い。性能が OS 変更に至る要因として大きな理由となったことが分かる。

1-1-2-4 小学校の特別支援学級における児童・生徒用の1人1台端末について伺います。端末は次のどれですか。(いくつでも)

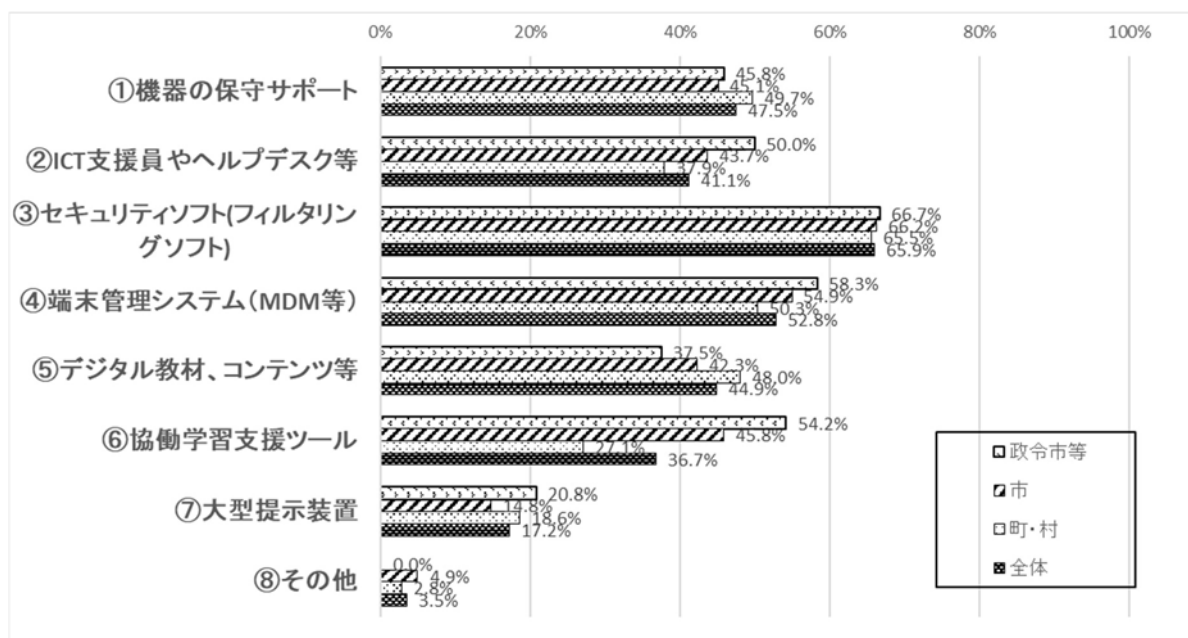
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①WindowsPCを利用している	3	12.5%	35	24.6%	50	28.2%	88	25.7%
②Chromebookを利用している	12	50.0%	55	38.7%	73	41.2%	140	40.8%
③iPadを利用している	10	41.7%	57	40.1%	52	29.4%	119	34.7%
④1人1台まで整備していない								
⑤特別支援学級には整備していない								
無回答					5	2.8%	5	1.5%
回答数合計	25	104.2%	147	103.5%	180	101.7%	352	102.6%
回答者数(母数)	24		142		177		343	



※「1-1-2-2」の小学校に整備したWindowsPC(全体で12.0%)と比べWindowsPCが多くなり、Chromebookが少なくなっている。

1-1-2-5 今回の GIGA 端末整備時に、小学校に対して自治体予算により整備する予定のものを教えてください。(いくつでも)(それまでに整備したものは除く)

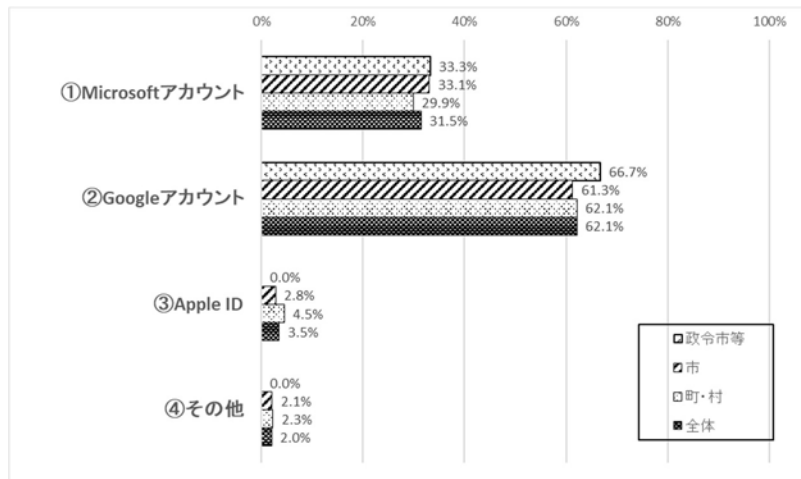
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①機器の保守サポート	11	45.8%	64	45.1%	88	49.7%	163	47.5%
②ICT支援員やヘルプデスク等	12	50.0%	62	43.7%	67	37.9%	141	41.1%
③セキュリティソフト(フィルタリングソフト)	16	66.7%	94	66.2%	116	65.5%	226	65.9%
④端末管理システム(MDM等)	14	58.3%	78	54.9%	89	50.3%	181	52.8%
⑤デジタル教材、コンテンツ等	9	37.5%	60	42.3%	85	48.0%	154	44.9%
⑥協働学習支援ツール	13	54.2%	65	45.8%	48	27.1%	126	36.7%
⑦大型提示装置	5	20.8%	21	14.8%	33	18.6%	59	17.2%
⑧その他			7	4.9%	5	2.8%	12	3.5%
無回答	4	16.7%	18	12.7%	28	15.8%	50	14.6%
回答数合計	84	350.0%	469	330.3%	559	315.8%	1,112	324.2%
回答者数(母数)	24		142		177		343	



※「③セキュリティソフト(フィルタリングソフト)」が最も多い。

1-1-2-6 小学校の児童用アカウントは主に何を利用されていますか。

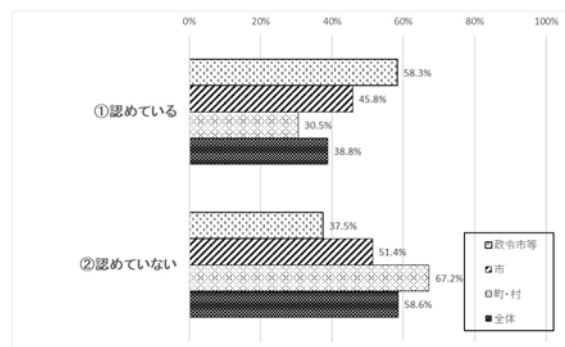
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①Microsoftアカウント	8	33.3%	47	33.1%	53	29.9%	108	31.5%
②Googleアカウント	16	66.7%	87	61.3%	110	62.1%	213	62.1%
③Apple ID			4	2.8%	8	4.5%	12	3.5%
④その他			3	2.1%	4	2.3%	7	2.0%
無回答			1	0.7%	2	1.1%	3	0.9%
回答者数(母数)	24	100.0%	142	100.0%	177	100.0%	343	100.0%



※「②Google アカウント」が全体で 62.1%と最も多く、次いで「①Microsoft アカウント」が 31.5%となっている。

1-1-2-7 「1-1-2-6」で選択されたアカウントを、他の端末で利用することを認めていますか。

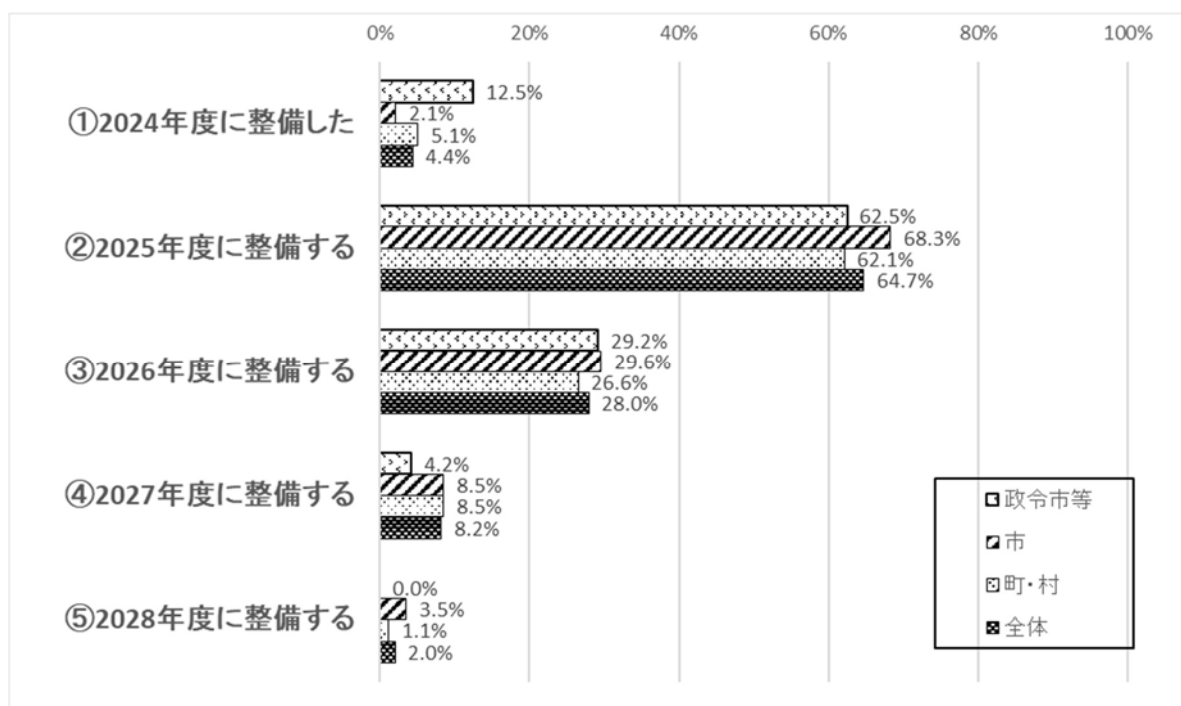
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①認めている	14	58.3%	65	45.8%	54	30.5%	133	38.8%
②認めていない	9	37.5%	73	51.4%	119	67.2%	201	58.6%
無回答	1	4.2%	4	2.8%	4	2.3%	9	2.6%
回答者数(母数)	24	100.0%	142	100.0%	177	100.0%	343	100.0%



※「①認めている」が自治体規模の大きい順になっており、政令市等が全体で 58.3%と最も多い
「②認めていない」は自治体規模の小さい順になっており、町・村で 67.2%となっている。自治体規模による判断の違いが顕著である。

1-1-2-8 GIGA スクール構想第2期の端末更新において、中学校に整備した（する）1人1台端末について伺います。(いくつでも)

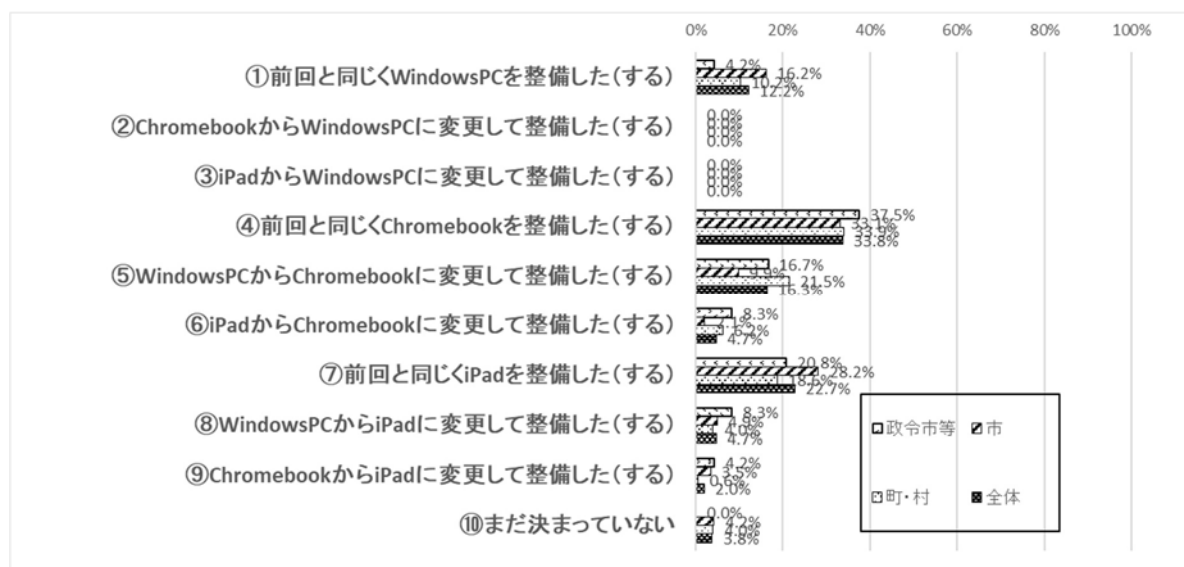
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①2024年度に整備した	3	12.5%	3	2.1%	9	5.1%	15	4.4%
②2025年度に整備する	15	62.5%	97	68.3%	110	62.1%	222	64.7%
③2026年度に整備する	7	29.2%	42	29.6%	47	26.6%	96	28.0%
④2027年度に整備する	1	4.2%	12	8.5%	15	8.5%	28	8.2%
⑤2028年度に整備する			5	3.5%	2	1.1%	7	2.0%
無回答					4	2.3%	4	1.2%
回答数合計	26	108.3%	159	112.0%	187	105.6%	372	108.5%
回答者数(母数)	24		142		177		343	



※「1-1-2-1」の小学校とほぼ同じ傾向となった。

1-1-2-9 GIGA スクール構想第2期の端末更新において、中学校に整備した(する)1人1台端末について伺います。(いくつかでも)

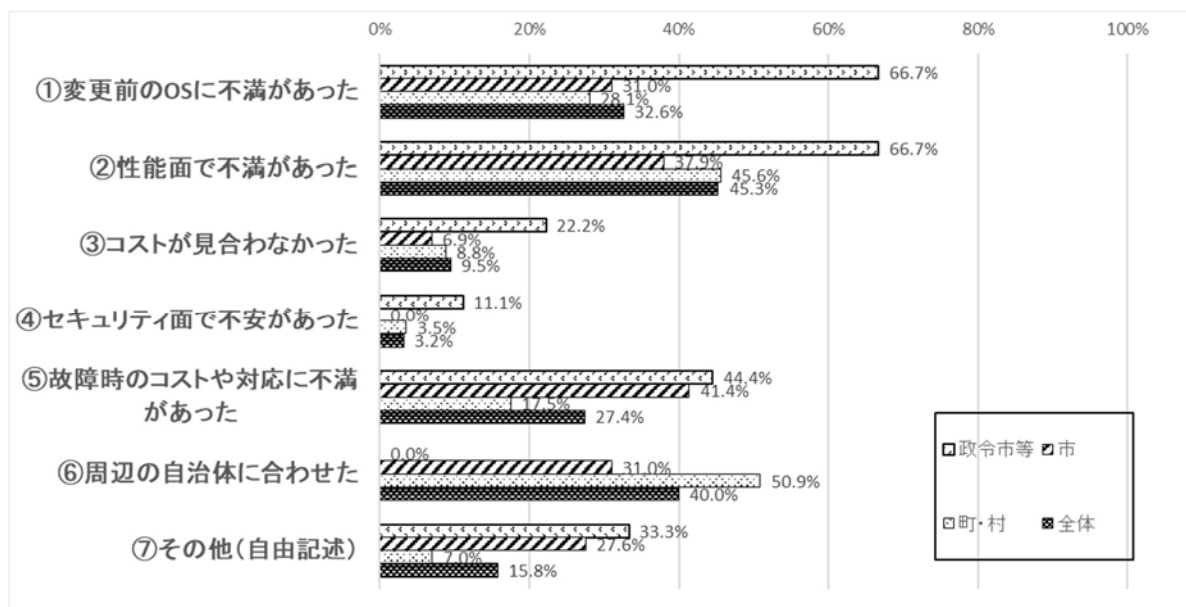
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①前回と同じくWindowsPCを整備した(する)	1	4.2%	23	16.2%	18	10.2%	42	12.2%
②ChromebookからWindowsPCに変更して整備した(する)								
③iPadからWindowsPCに変更して整備した(する)								
④前回と同じくChromebookを整備した(する)	9	37.5%	47	33.1%	60	33.9%	116	33.8%
⑤WindowsPCからChromebookに変更して整備した(する)	4	16.7%	14	9.9%	38	21.5%	56	16.3%
⑥iPadからChromebookに変更して整備した(する)	2	8.3%	3	2.1%	11	6.2%	16	4.7%
⑦前回と同じくiPadを整備した(する)	5	20.8%	40	28.2%	33	18.6%	78	22.7%
⑧WindowsPCからiPadに変更して整備した(する)	2	8.3%	7	4.9%	7	4.0%	16	4.7%
⑨ChromebookからiPadに変更して整備した(する)	1	4.2%	5	3.5%	1	0.6%	7	2.0%
⑩まだ決まっていない			6	4.2%	7	4.0%	13	3.8%
無回答					5	2.8%	5	1.5%
回答数合計	24	100.0%	145	102.1%	180	101.7%	349	101.7%
回答者数(母数)	24		142		177		343	



※「1-1-2-2」の小学校と同じ傾向となった。小学校・中学校で同じOSの端末を入れる自治体が多い。

1-1-2-10 「1-1-2-9」で端末 OS を変更して整備された方（②③⑤⑥⑧⑨を選択）に伺います。変更された理由を教えてください。（いくつでも）

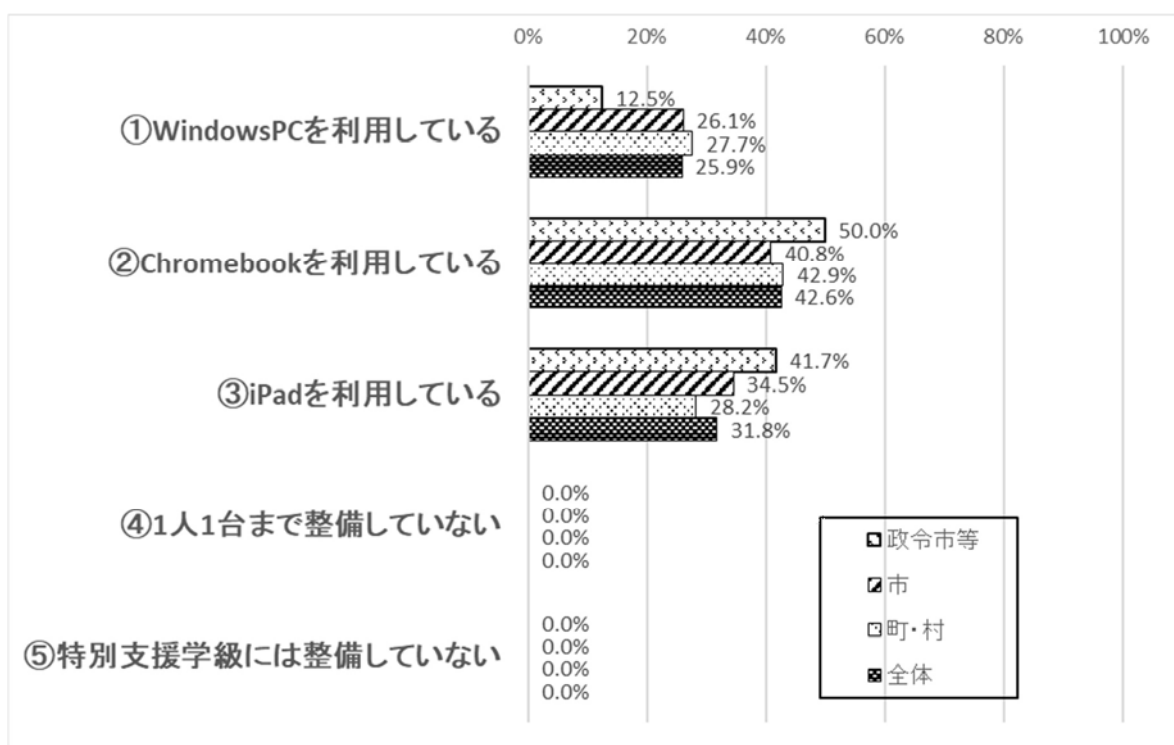
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①変更前のOSに不満があった	6	66.7%	9	31.0%	16	28.1%	31	32.6%
②性能面で不満があった	6	66.7%	11	37.9%	26	45.6%	43	45.3%
③コストが見合わなかった	2	22.2%	2	6.9%	5	8.8%	9	9.5%
④セキュリティ面で不安があった	1	11.1%			2	3.5%	3	3.2%
⑤故障時のコストや対応に不満があった	4	44.4%	12	41.4%	10	17.5%	26	27.4%
⑥周辺の自治体に合わせた			9	31.0%	29	50.9%	38	40.0%
⑦その他(自由記述)	3	33.3%	8	27.6%	4	7.0%	15	15.8%
無回答	1	11.1%	2	6.9%	2	3.5%	5	5.3%
回答数合計	23	255.6%	53	182.8%	94	164.9%	170	178.9%
回答者数(母数)	9		29		57		95	



※「②性能面で不満があった」が全体で 45.3%と最も多い。次いで「⑥周辺の自治体に合わせた」が 40.0%となった。

1-1-2-11 中学校の特別支援学級における児童・生徒用の1人1台端末について伺います。端末は次のどれですか。(いくつでも)

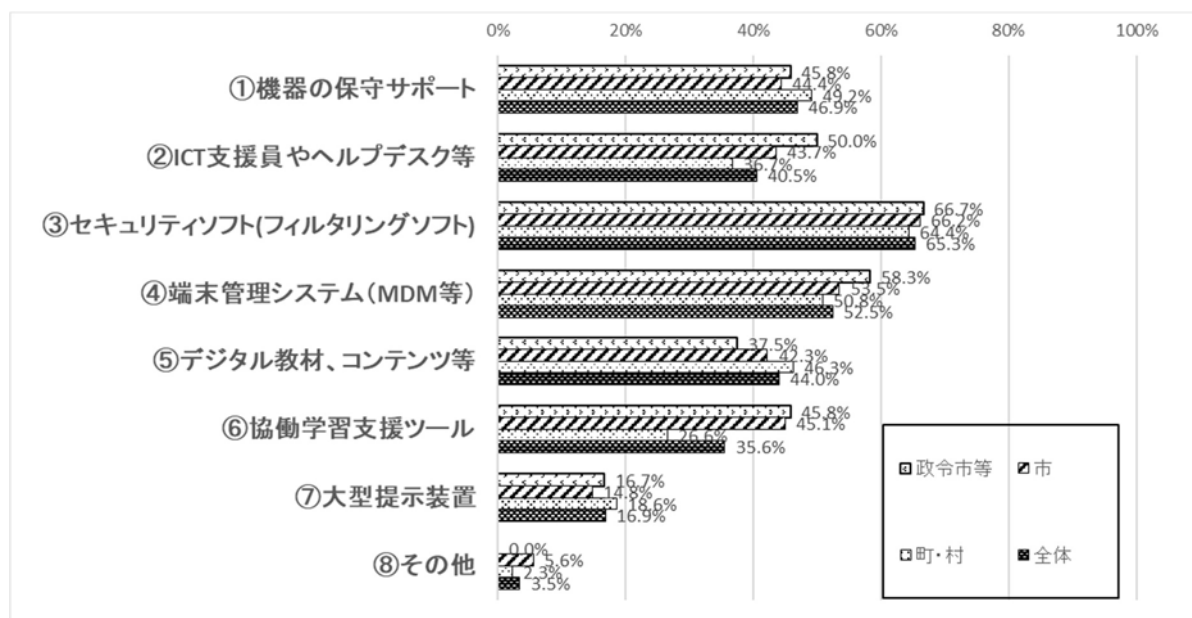
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①WindowsPCを利用している	3	12.5%	37	26.1%	49	27.7%	89	25.9%
②Chromebookを利用している	12	50.0%	58	40.8%	76	42.9%	146	42.6%
③iPadを利用している	10	41.7%	49	34.5%	50	28.2%	109	31.8%
④1人1台まで整備していない								
⑤特別支援学級には整備していない								
無回答					6	3.4%	6	1.7%
回答数合計	25	104.2%	144	101.4%	181	102.3%	350	102.0%
回答者数(母数)	24		142		177		343	



※「1-1-2-9」の中学校全体に整備した WindowsPC(全体で 12.2%)と比べ、25.9%と多くなり、Chromebook が少なくなっている。

1-1-2-12 今回の GIGA 端末整備時に、中学校に対して自治体予算により整備する予定のものを教えてください。(それまでに整備したものは除く)(いくつでも)

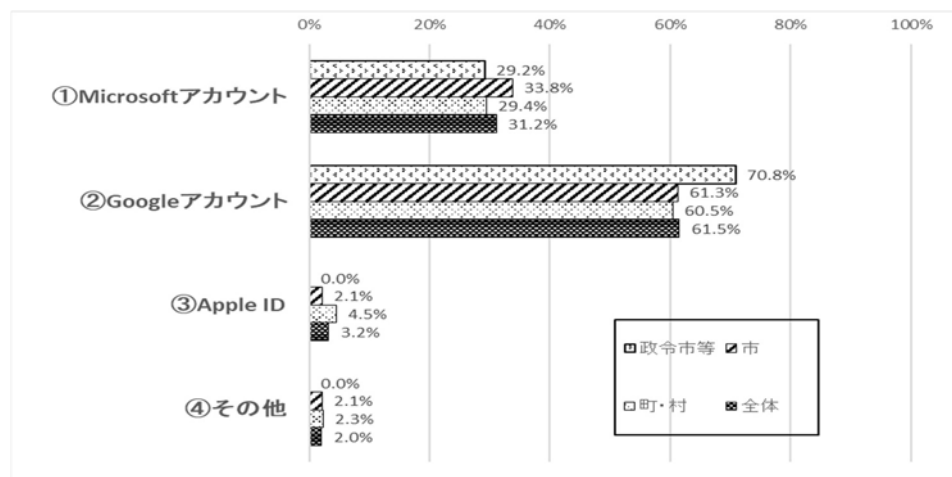
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①機器の保守サポート	11	45.8%	63	44.4%	87	49.2%	161	46.9%
②ICT支援員やヘルプデスク等	12	50.0%	62	43.7%	65	36.7%	139	40.5%
③セキュリティソフト(フィルタリングソフト)	16	66.7%	94	66.2%	114	64.4%	224	65.3%
④端末管理システム(MDM等)	14	58.3%	76	53.5%	90	50.8%	180	52.5%
⑤デジタル教材、コンテンツ等	9	37.5%	60	42.3%	82	46.3%	151	44.0%
⑥協働学習支援ツール	11	45.8%	64	45.1%	47	26.6%	122	35.6%
⑦大型提示装置	4	16.7%	21	14.8%	33	18.6%	58	16.9%
⑧その他			8	5.6%	4	2.3%	12	3.5%
無回答	4	16.7%	19	13.4%	32	18.1%	55	16.0%
回答数合計	81	337.5%	467	328.9%	554	313.0%	1,102	321.3%
回答者数(母数)	24		142		177		343	



※「③セキュリティソフト(フィルタリングソフト)」が最も多く、前回比(60.7%→65.3%)で増えている。「④端末管理システム」は全体で52.5%と高い数値となっており、セキュリティに費用をかけている。

1-1-2-13 中学校の生徒用アカウントは主に何を利用されていますか。

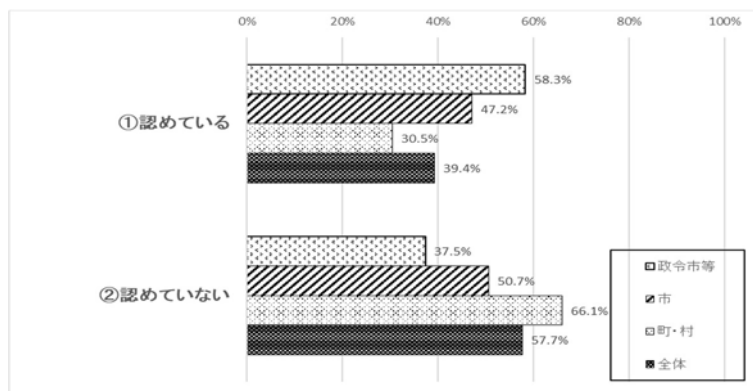
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①Microsoftアカウント	7	29.2%	48	33.8%	52	29.4%	107	31.2%
②Googleアカウント	17	70.8%	87	61.3%	107	60.5%	211	61.5%
③Apple ID			3	2.1%	8	4.5%	11	3.2%
④その他			3	2.1%	4	2.3%	7	2.0%
無回答			1	0.7%	6	3.4%	7	2.0%
回答者数(母数)	24	100.0%	142	100.0%	177	100.0%	343	100.0%



※「②Google アカウント」が全体で(56.0%→61.5%)増えており、「①Microsoft アカウント」が全体で(36.0%→31.2%)減っている。

1-1-2-14 「1-1-2-13」で選択されたアカウントを、他の端末で利用することを認めていますか。

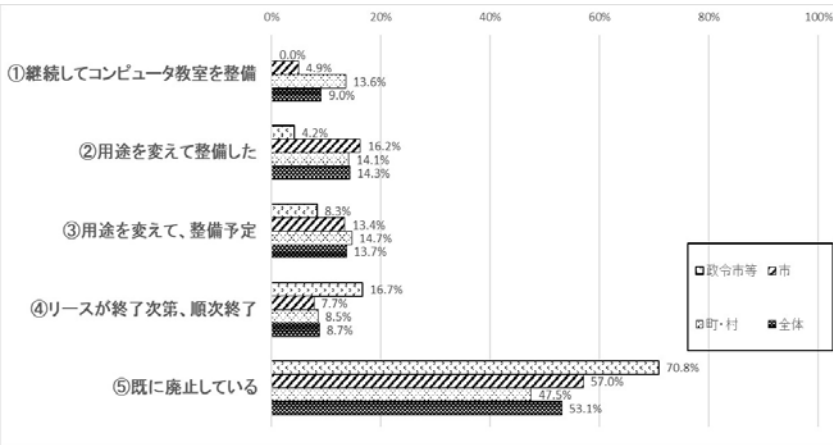
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①認めている	14	58.3%	67	47.2%	54	30.5%	135	39.4%
②認めていない	9	37.5%	72	50.7%	117	66.1%	198	57.7%
無回答	1	4.2%	3	2.1%	6	3.4%	10	2.9%
回答者数(母数)	24	100.0%	142	100.0%	177	100.0%	343	100.0%



※「1-1-2-7」の小学校と同じ傾向となっている。

1-1-2-15 小学校のコンピュータ教室について伺います。

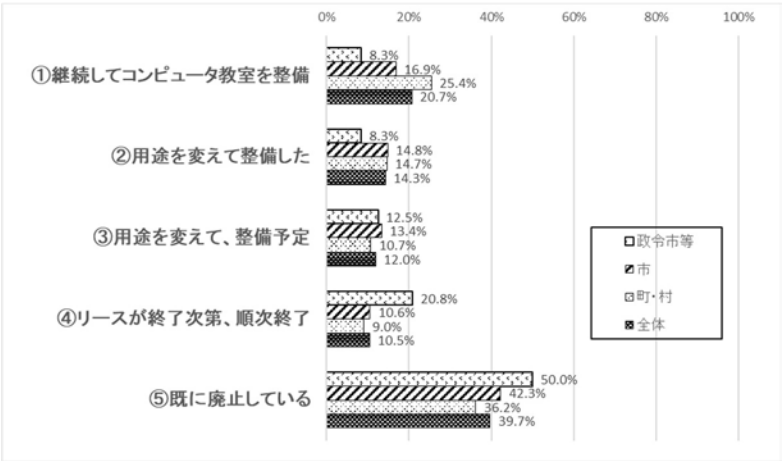
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①継続してコンピュータ教室を整備			7	4.9%	24	13.6%	31	9.0%
②用途を変えて整備した	1	4.2%	23	16.2%	25	14.1%	49	14.3%
③用途を変えて、整備予定	2	8.3%	19	13.4%	26	14.7%	47	13.7%
④リースが終了次第、順次終了	4	16.7%	11	7.7%	15	8.5%	30	8.7%
⑤既に廃止している	17	70.8%	81	57.0%	84	47.5%	182	53.1%
無回答			1	0.7%	3	1.7%	4	1.2%
回答者数(母数)	24	100.0%	142	100.0%	177	100.0%	343	100.0%



※「⑤既に廃止している」が最も多く、全体で(26.6%→53.1%)大幅に増えた。一方、「①継続してコンピュータ教室を整備」は(21.1%→9.0%)減少している。

1-1-2-18 中学校のコンピュータ教室について伺います。

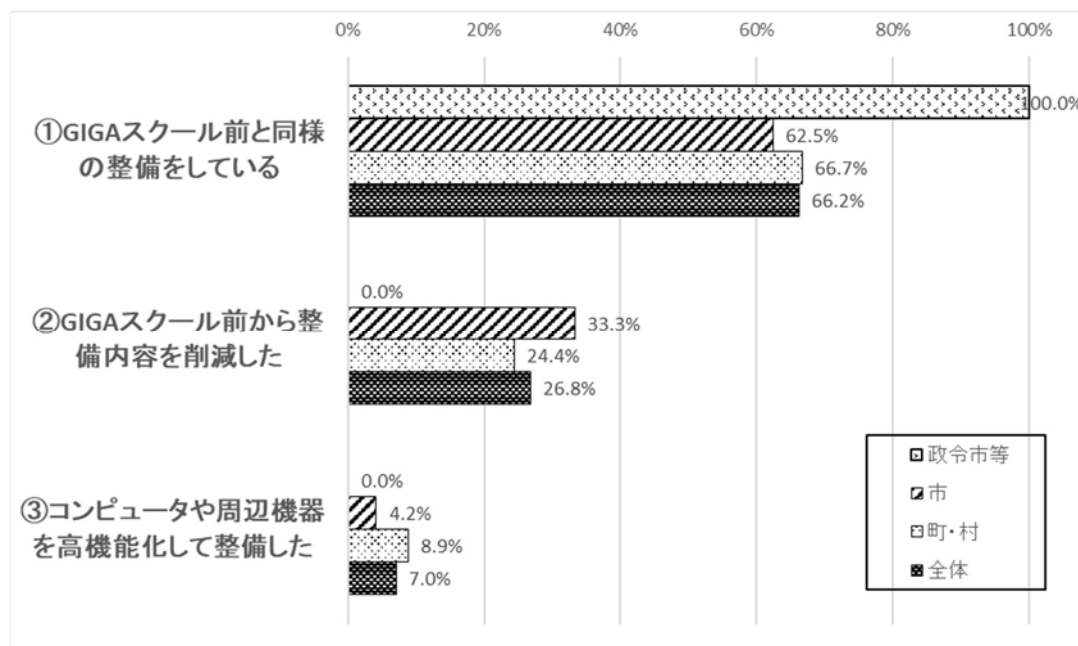
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①継続してコンピュータ教室を整備	2	8.3%	24	16.9%	45	25.4%	71	20.7%
②用途を変えて整備した	2	8.3%	21	14.8%	26	14.7%	49	14.3%
③用途を変えて、整備予定	3	12.5%	19	13.4%	19	10.7%	41	12.0%
④リースが終了次第、順次終了	5	20.8%	15	10.6%	16	9.0%	36	10.5%
⑤既に廃止している	12	50.0%	60	42.3%	64	36.2%	136	39.7%
無回答			3	2.1%	7	4.0%	10	2.9%
回答者数(母数)	24	100.0%	142	100.0%	177	100.0%	343	100.0%



※小学校と比べると、「①継続してコンピュータ教室を整備」が全体で 20.7%と多い。

1-1-2-19 「1-1-2-18」で①と答えた方に伺います。(整備内容について)(いくつでも)

	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①GIGAスクール前と同様の整備をしている	2	100.0%	15	62.5%	30	66.7%	47	66.2%
②GIGAスクール前から整備内容を削減した			8	33.3%	11	24.4%	19	26.8%
③コンピュータや周辺機器を高機能化して整備した			1	4.2%	4	8.9%	5	7.0%
無回答								
回答数合計	2	100.0%	24	100.0%	45	100.0%	71	100.0%
回答者数(母数)	2		24		45		71	

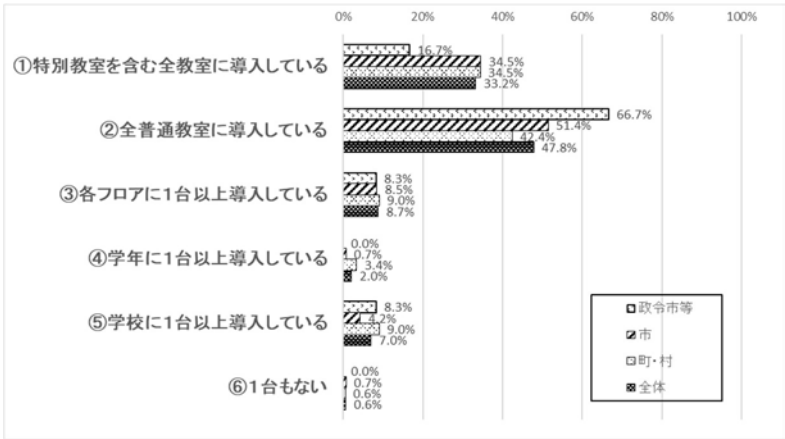


※「①GIGA スクール前と同様の整備をしている」が全体で 66.2%と多い。

1-1-2-21 小学校・中学校において授業で活用している ICT 機器の整備状況について伺います。

1-1-2-21(1) 大型提示装置

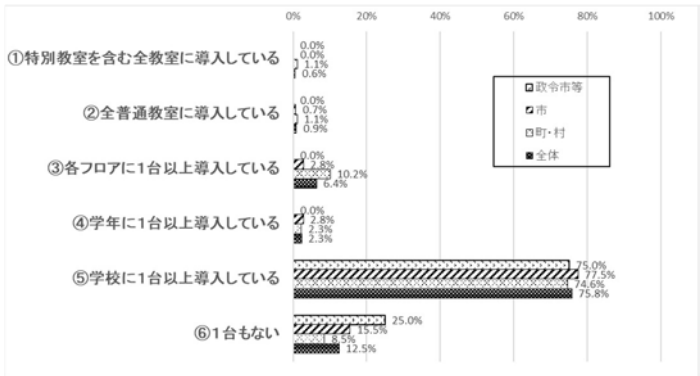
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①特別教室を含む全教室に導入している	4	16.7%	49	34.5%	61	34.5%	114	33.2%
②全普通教室に導入している	16	66.7%	73	51.4%	75	42.4%	164	47.8%
③各フロアに1台以上導入している	2	8.3%	12	8.5%	16	9.0%	30	8.7%
④学年に1台以上導入している			1	0.7%	6	3.4%	7	2.0%
⑤学校に1台以上導入している	2	8.3%	6	4.2%	16	9.0%	24	7.0%
⑥1台もない			1	0.7%	1	0.6%	2	0.6%
無回答					2	1.1%	2	0.6%
回答者数(母数)	24	100.0%	142	100.0%	177	100.0%	343	100.0%



※「①特別教室を含む全教室に導入している」と「②全普通教室に導入している」を合計すると全体で81.0%であり、普通教室に行き渡っていない。更なる整備が望まれる。

1-1-2-21(2) カラープリンタ

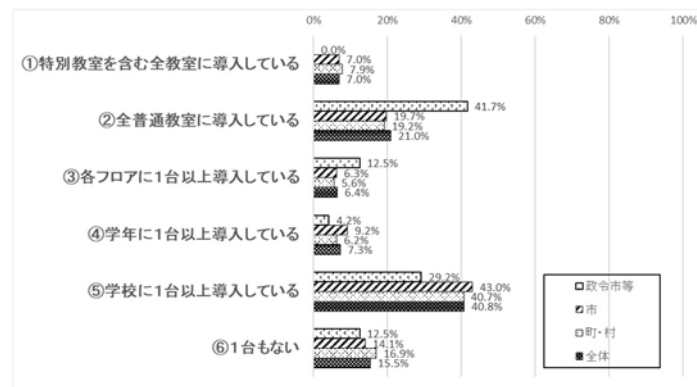
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①特別教室を含む全教室に導入している					2	1.1%	2	0.6%
②全普通教室に導入している			1	0.7%	2	1.1%	3	0.9%
③各フロアに1台以上導入している			4	2.8%	18	10.2%	22	6.4%
④学年に1台以上導入している			4	2.8%	4	2.3%	8	2.3%
⑤学校に1台以上導入している	18	75.0%	110	77.5%	132	74.6%	260	75.8%
⑥1台もない	6	25.0%	22	15.5%	15	8.5%	43	12.5%
無回答			1	0.7%	4	2.3%	5	1.5%
回答者数(母数)	24	100.0%	142	100.0%	177	100.0%	343	100.0%



※全体で「⑥1台もない」が12.5%もある。今後のロケーションフリーの環境などを考えると、カラーで自由に印刷できる環境が各フロアーにあることが望ましい。

1-1-2-21(3) 実物投影機

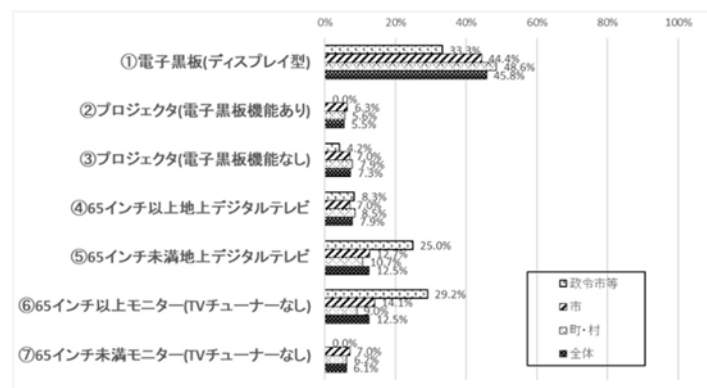
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①特別教室を含む全教室に導入している			10	7.0%	14	7.9%	24	7.0%
②全普通教室に導入している	10	41.7%	28	19.7%	34	19.2%	72	21.0%
③各フロアに1台以上導入している	3	12.5%	9	6.3%	10	5.6%	22	6.4%
④学年に1台以上導入している	1	4.2%	13	9.2%	11	6.2%	25	7.3%
⑤学校に1台以上導入している	7	29.2%	61	43.0%	72	40.7%	140	40.8%
⑥1台もない	3	12.5%	20	14.1%	30	16.9%	53	15.5%
無回答			1	0.7%	6	3.4%	7	2.0%
回答者数(母数)	24	100.0%	142	100.0%	177	100.0%	343	100.0%



※文部科学省の学校の ICT 環境整備 3 か年計画(2025～2027 年度)には各普通教室 1 台、特別教室用として各小学校に 6 台となっているが、「①特別教室を含む全教室に導入している」と「②全普通教室に導入している」を合計しても 28.0%に留まっている。更なる整備が望まれる。

1-1-2-22 「1-1-2-21(1)」でお答えいただいた大型提示装置の種類について伺います。(主な整備機器について 1 種類)

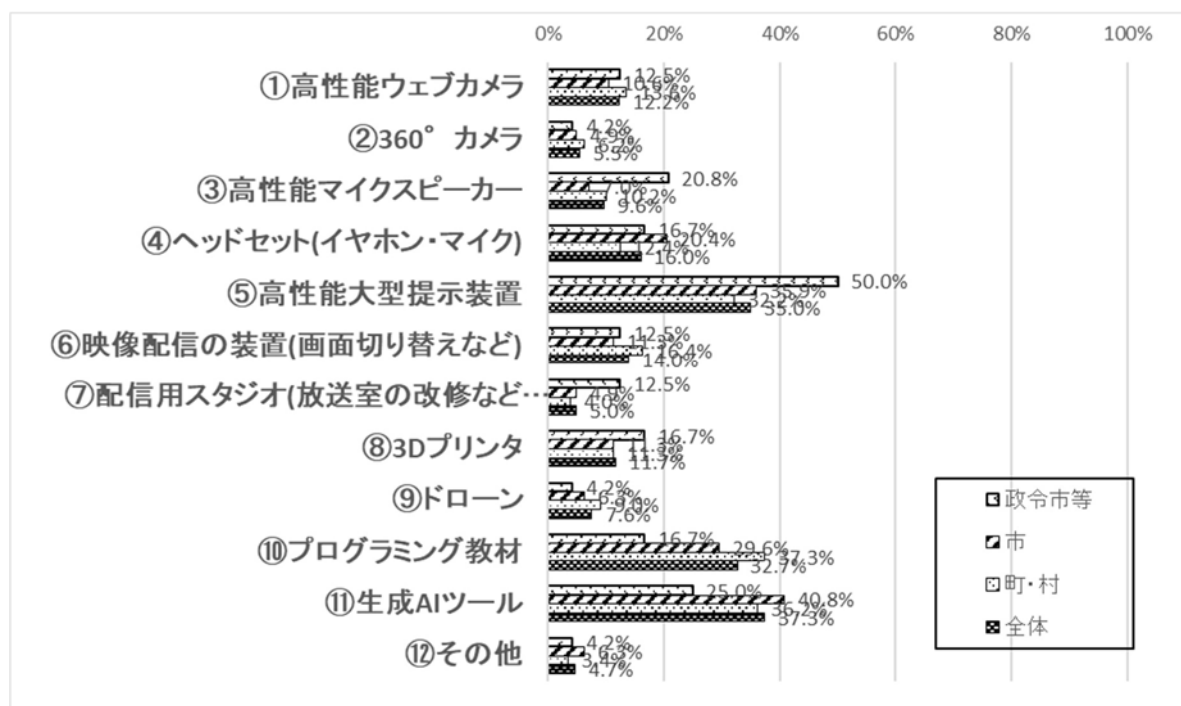
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①電子黒板(ディスプレイ型)	8	33.3%	63	44.4%	86	48.6%	157	45.8%
②プロジェクタ(電子黒板機能あり)			9	6.3%	10	5.6%	19	5.5%
③プロジェクタ(電子黒板機能なし)	1	4.2%	10	7.0%	14	7.9%	25	7.3%
④65インチ以上地上デジタルテレビ	2	8.3%	10	7.0%	15	8.5%	27	7.9%
⑤65インチ未満地上デジタルテレビ	6	25.0%	18	12.7%	19	10.7%	43	12.5%
⑥65インチ以上モニター(TVチューナーなし)	7	29.2%	20	14.1%	16	9.0%	43	12.5%
⑦65インチ未満モニター(TVチューナーなし)			10	7.0%	11	6.2%	21	6.1%
無回答			2	1.4%	6	3.4%	8	2.3%
回答者数(母数)	24	100.0%	142	100.0%	177	100.0%	343	100.0%



※「①電子黒板(ディスプレイ型)」と「②プロジェクタ(電子黒板機能あり)」を合わせて全体で 51.3%に留まる。電子黒板機能が付いた大型提示装置の一層の普及が望まれる。

1-1-2-23 GIGA スクール構想で整備された端末をよりいっそう活用するために、今後の導入を希望するものは次のどれですか。(いくつでも)

	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①高性能ウェブカメラ	3	12.5%	15	10.6%	24	13.6%	42	12.2%
②360° カメラ	1	4.2%	7	4.9%	11	6.2%	19	5.5%
③高性能マイクスピーカー	5	20.8%	10	7.0%	18	10.2%	33	9.6%
④ヘッドセット(イヤホン・マイク)	4	16.7%	29	20.4%	22	12.4%	55	16.0%
⑤高性能大型提示装置	12	50.0%	51	35.9%	57	32.2%	120	35.0%
⑥映像配信の装置(画面切り替えなど)	3	12.5%	16	11.3%	29	16.4%	48	14.0%
⑦配信用スタジオ(放送室の改修なども含む)	3	12.5%	7	4.9%	7	4.0%	17	5.0%
⑧3Dプリンタ	4	16.7%	16	11.3%	20	11.3%	40	11.7%
⑨ドローン	1	4.2%	9	6.3%	16	9.0%	26	7.6%
⑩プログラミング教材	4	16.7%	42	29.6%	66	37.3%	112	32.7%
⑪生成AIツール	6	25.0%	58	40.8%	64	36.2%	128	37.3%
⑫その他	1	4.2%	9	6.3%	6	3.4%	16	4.7%
無回答	3	12.5%	20	14.1%	33	18.6%	56	16.3%
回答数合計	50	208.3%	289	203.5%	373	210.7%	712	207.6%
回答者数(母数)	24		142		177		343	

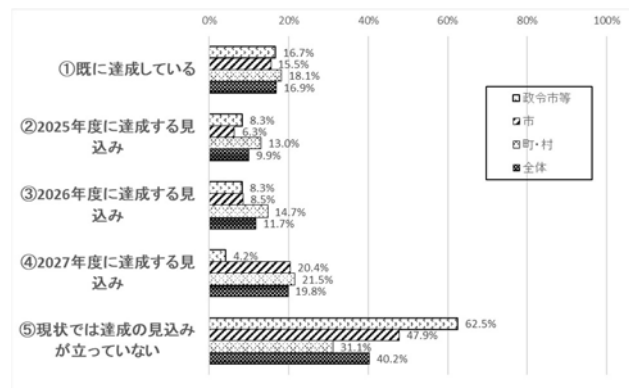


※「⑪生成 AI ツール」が全体で 37.3%と最も多く、次いで「⑤高性能大型提示装置」が 35.0%、「⑩プログラミング教材」が 32.7%と多い。

1-1-2-24 「学校の ICT 環境整備 3 か年計画(2025~2027 年度)※」での目標を達成していますか。

※https://www.mext.go.jp/content/20250128-mxt_shuukyo01-000039891_02.pdf

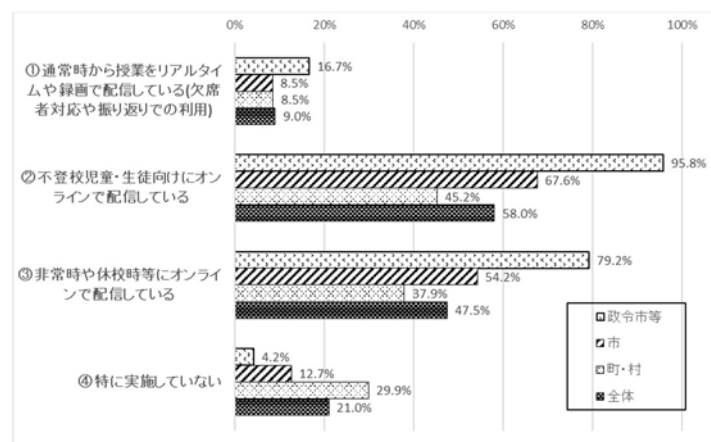
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①既に達成している	4	16.7%	22	15.5%	32	18.1%	58	16.9%
②2025年度に達成する見込み	2	8.3%	9	6.3%	23	13.0%	34	9.9%
③2026年度に達成する見込み	2	8.3%	12	8.5%	26	14.7%	40	11.7%
④2027年度に達成する見込み	1	4.2%	29	20.4%	38	21.5%	68	19.8%
⑤現状では達成の見込みが立っていない	15	62.5%	68	47.9%	55	31.1%	138	40.2%
無回答			2	1.4%	3	1.7%	5	1.5%
回答者数(母数)	24	100.0%	142	100.0%	177	100.0%	343	100.0%



※2027 年度までに、およそ 6 割が達成する見込みとなっている。

1-1-2-25 オンライン授業やハイブリッド授業について伺います。(いくつでも)

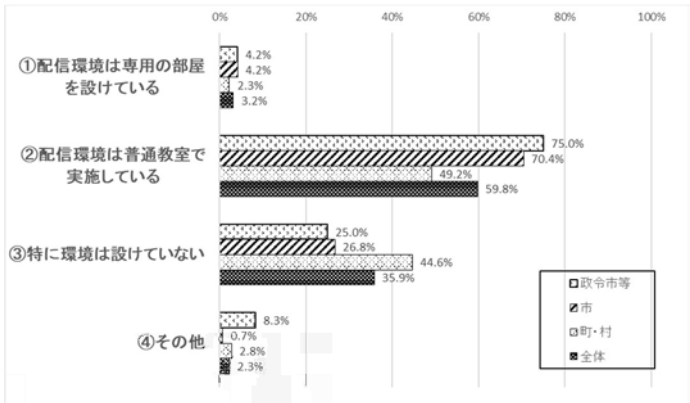
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①通常時から授業をリアルタイムや録画で配信している(欠席者対応や振り返りでの利用)	4	16.7%	12	8.5%	15	8.5%	31	9.0%
②不登校児童・生徒向けにオンラインで配信している	23	95.8%	96	67.6%	80	45.2%	199	58.0%
③非常時や休校時等にオンラインで配信している	19	79.2%	77	54.2%	67	37.9%	163	47.5%
④特に実施していない	1	4.2%	18	12.7%	53	29.9%	72	21.0%
無回答					2	1.1%	2	0.6%
回答数合計	47	195.8%	203	143.0%	217	122.6%	467	136.2%
回答者数(母数)	24		142		177		343	



※①の通常時を除くと「②不登校児童・生徒向けにオンラインで配信している」が全体で 58.0%、「③非常時や休校時等にオンラインで配信している」が 47.5%となっている。

1-1-2-26 オンライン授業やハイブリット授業の環境について伺います。(いくつでも)

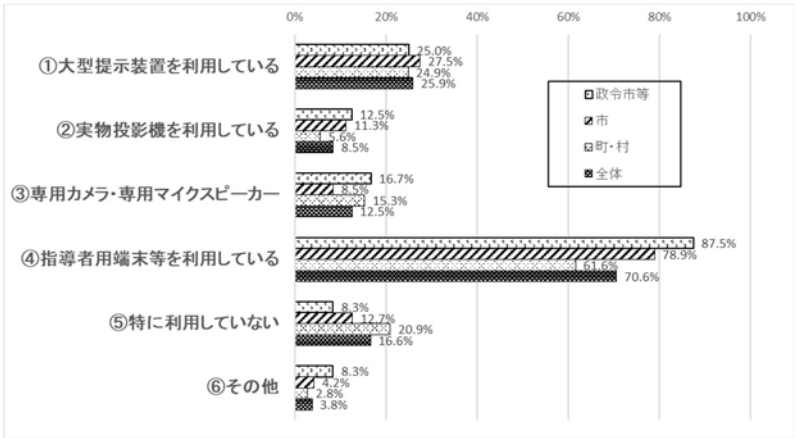
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①配信環境は専用の部屋を設けている	1	4.2%	6	4.2%	4	2.3%	11	3.2%
②配信環境は普通教室で実施している	18	75.0%	100	70.4%	87	49.2%	205	59.8%
③特に環境は設けていない	6	25.0%	38	26.8%	79	44.6%	123	35.9%
④その他	2	8.3%	1	0.7%	5	2.8%	8	2.3%
無回答			1	0.7%	8	4.5%	9	2.6%
回答数合計	27	112.5%	146	102.8%	183	103.4%	356	103.8%
回答者数(母数)	24		142		177		343	



※「②配信環境は普通教室で実施している」が全体で 59.8%と多く、「③特に環境は設けていない」は 35.9%となっている。

1-1-2-27 オンライン授業やハイブリット授業の配信機材について伺います。(いくつでも)

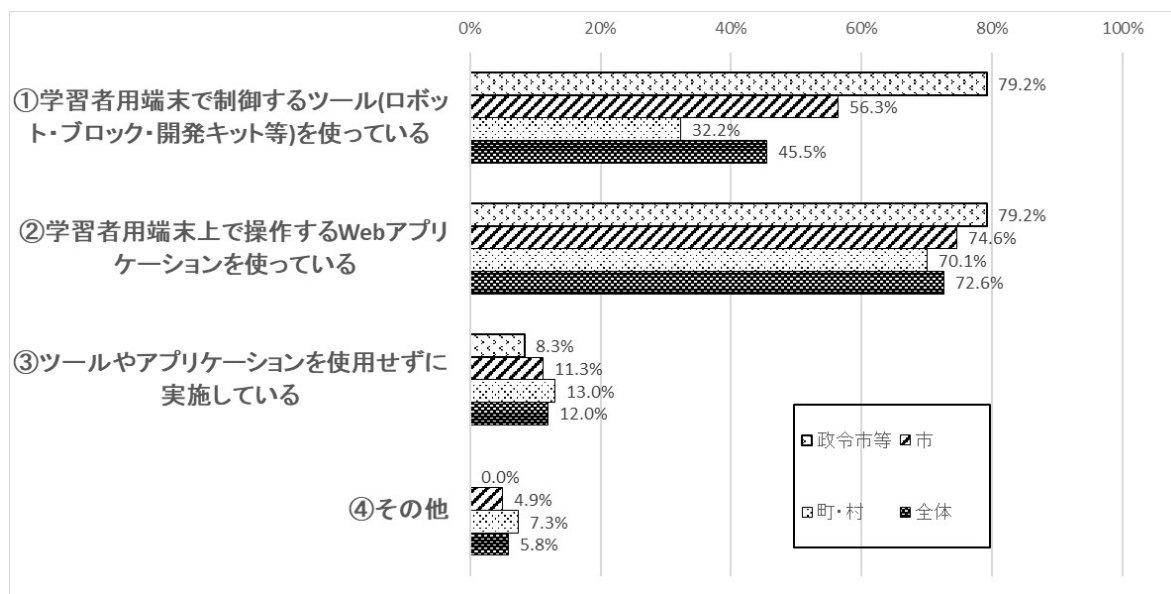
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①大型提示装置を利用している	6	25.0%	39	27.5%	44	24.9%	89	25.9%
②実物投影機を利用している	3	12.5%	16	11.3%	10	5.6%	29	8.5%
③専用カメラ・専用マイクスピーカー	4	16.7%	12	8.5%	27	15.3%	43	12.5%
④指導者用端末等を利用している	21	87.5%	112	78.9%	109	61.6%	242	70.6%
⑤特に利用していない	2	8.3%	18	12.7%	37	20.9%	57	16.6%
⑥その他	2	8.3%	6	4.2%	5	2.8%	13	3.8%
無回答			1	0.7%	7	4.0%	8	2.3%
回答数合計	38	158.3%	204	143.7%	239	135.0%	481	140.2%
回答者数(母数)	24		142		177		343	



※「④指導者用端末等を利用している」が全体で 70.6%と最も多い。

1-1-2-28 小学校・中学校でのプログラミング教育において、実施方法について伺います。(いくつでも)

	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①学習者用端末で制御するツール(ロボット・ブロック・開発キット等)を使っている	19	79.2%	80	56.3%	57	32.2%	156	45.5%
②学習者用端末上で操作するWebアプリケーションを使っている	19	79.2%	106	74.6%	124	70.1%	249	72.6%
③ツールやアプリケーションを使用せずに実施している	2	8.3%	16	11.3%	23	13.0%	41	12.0%
④その他			7	4.9%	13	7.3%	20	5.8%
無回答			1	0.7%	9	5.1%	10	2.9%
回答数合計	40	166.7%	210	147.9%	226	127.7%	476	138.8%
回答者数(母数)	24		142		177		343	



※「②学習者用端末上で操作する Web アプリケーションを使っている」が全体で 72.6%と最も多い。

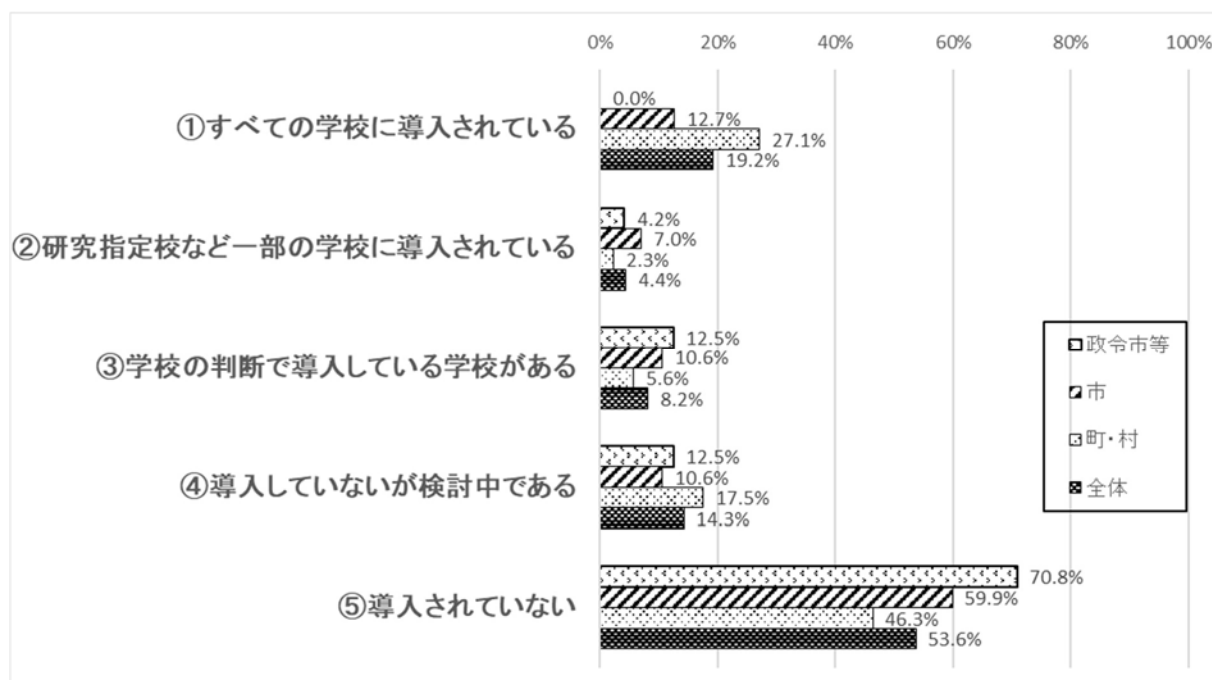
1-1-3 ソフトウェアに関する項目

1-1-3-1 学習者用デジタル教科書の導入について伺います

1-1-3-1(1) 文部科学省の学習者用デジタル教科書の導入（令和 5 年度までの「学びの保障・充実のための学習者用デジタル教科書実証事業」）とは別の教科の学習者用デジタル教科書が小学校に導入されていますか。（いくつでも）

※学習者用デジタル教科書の導入・・・全ての小・中学校等を対象として英語のデジタル教科書を、一部（およそ 55%）の小・中学校等の小学校 5 年生～中学校 3 年生を対象に算数・数学のデジタル教科書を提供。

	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①すべての学校に導入されている			18	12.7%	48	27.1%	66	19.2%
②研究指定校など一部の学校に導入されている	1	4.2%	10	7.0%	4	2.3%	15	4.4%
③学校の判断で導入している学校がある	3	12.5%	15	10.6%	10	5.6%	28	8.2%
④導入していないが検討中である	3	12.5%	15	10.6%	31	17.5%	49	14.3%
⑤導入されていない	17	70.8%	85	59.9%	82	46.3%	184	53.6%
無回答			2	1.4%	3	1.7%	5	1.5%
回答数合計	24	100.0%	145	102.1%	178	100.6%	347	101.2%
回答者数(母数)	24		142		177		343	

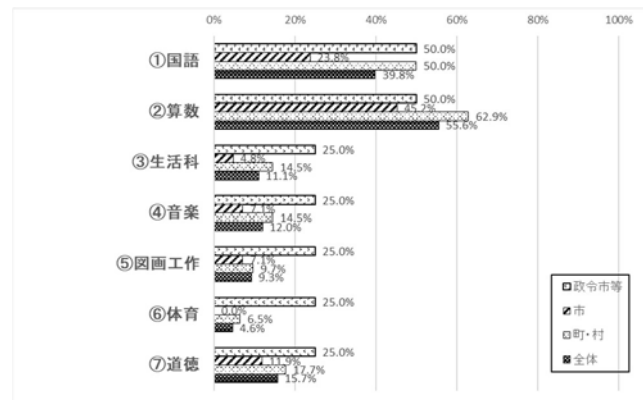


※「①すべての学校に導入されている」は全体で 19.2%、「⑤導入されていない」は 53.6%となっている。学習者用デジタル教科書の導入はまだまだ進んでおらず、さらなる普及が望まれる。

1-1-3-1(2) 「1-1-3-1(1)」で①～③と回答された方に伺います。自治体予算で導入されている教科は何ですか。

1-1-3-1(2.1) 低学年(いくつでも)

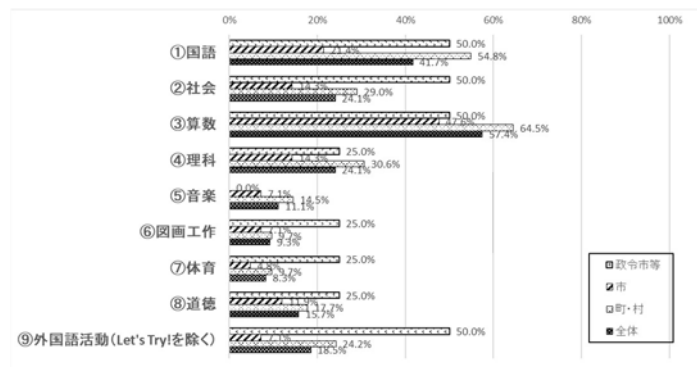
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①国語	2	50.0%	10	23.8%	31	50.0%	43	39.8%
②算数	2	50.0%	19	45.2%	39	62.9%	60	55.6%
③生活科	1	25.0%	2	4.8%	9	14.5%	12	11.1%
④音楽	1	25.0%	3	7.1%	9	14.5%	13	12.0%
⑤図画工作	1	25.0%	3	7.1%	6	9.7%	10	9.3%
⑥体育	1	25.0%			4	6.5%	5	4.6%
⑦道徳	1	25.0%	5	11.9%	11	17.7%	17	15.7%
無回答	2	50.0%	20	47.6%	15	24.2%	37	34.3%
回答数合計	11	275.0%	62	147.6%	124	200.0%	197	182.4%
回答者数(母数)	4		42		62		108	



※「②算数」が最も多く全体で55.6%、次いで「①国語」が39.8%となっている。国から算数が提供されていない低学年に追加整備していると考えられる。

1-1-3-1(2.2) 中学年(いくつでも)

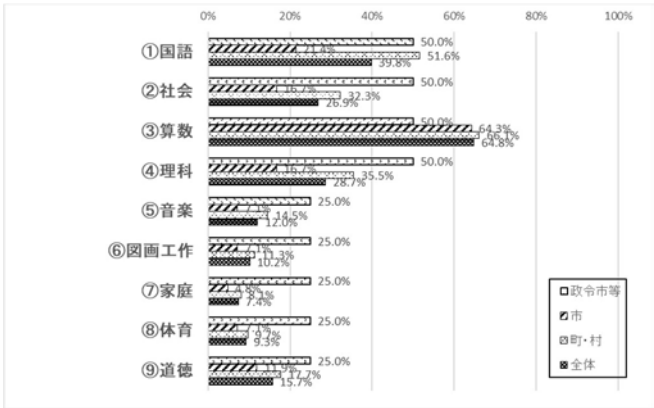
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①国語	2	50.0%	9	21.4%	34	54.8%	45	41.7%
②社会	2	50.0%	6	14.3%	18	29.0%	26	24.1%
③算数	2	50.0%	20	47.6%	40	64.5%	62	57.4%
④理科	1	25.0%	6	14.3%	19	30.6%	26	24.1%
⑤音楽			3	7.1%	9	14.5%	12	11.1%
⑥図画工作	1	25.0%	3	7.1%	6	9.7%	10	9.3%
⑦体育	1	25.0%	2	4.8%	6	9.7%	9	8.3%
⑧道徳	1	25.0%	5	11.9%	11	17.7%	17	15.7%
⑨外国語活動(Let's Try!を除く)	2	50.0%	3	7.1%	15	24.2%	20	18.5%
無回答	2	50.0%	19	45.2%	12	19.4%	33	30.6%
回答数合計	14	350.0%	76	181.0%	170	274.2%	260	240.7%
回答者数(母数)	4		42		62		108	



※「③算数」が最も多く全体で57.4%、次いで「①国語」が41.7%となっている。低学年同様に、国から算数が提供されていない中学年に追加整備していると考えられる。

1-1-3-1(2.3) 高学年(いくつでも)

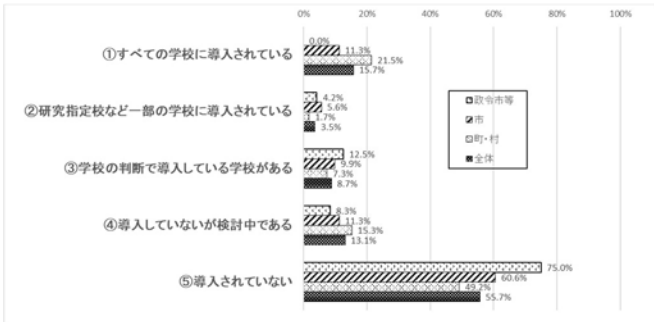
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①国語	2	50.0%	9	21.4%	32	51.6%	43	39.8%
②社会	2	50.0%	7	16.7%	20	32.3%	29	26.9%
③算数	2	50.0%	27	64.3%	41	66.1%	70	64.8%
④理科	2	50.0%	7	16.7%	22	35.5%	31	28.7%
⑤音楽	1	25.0%	3	7.1%	9	14.5%	13	12.0%
⑥図画工作	1	25.0%	3	7.1%	7	11.3%	11	10.2%
⑦家庭	1	25.0%	2	4.8%	5	8.1%	8	7.4%
⑧体育	1	25.0%	3	7.1%	6	9.7%	10	9.3%
⑨道徳	1	25.0%	5	11.9%	11	17.7%	17	15.7%
無回答	2	50.0%	12	28.6%	9	14.5%	23	21.3%
回答数合計	15	375.0%	78	185.7%	162	261.3%	255	236.1%
回答者数(母数)	4		42		62		108	



※「③算数」が最も多く全体で 64.8%、次いで「①国語」が 39.8%となっている。自治体の中で、国から算数が提供されていない学校に追加整備していると考えられる。

1-1-3-1(3) 文部科学省の学習者用デジタル教科書の導入（令和 5 年度までの「学びの保障・充実のための学習者用デジタル教科書実証事業」）とは別の教科の学習者用デジタル教科書が中学校に導入されていますか。（いくつでも）

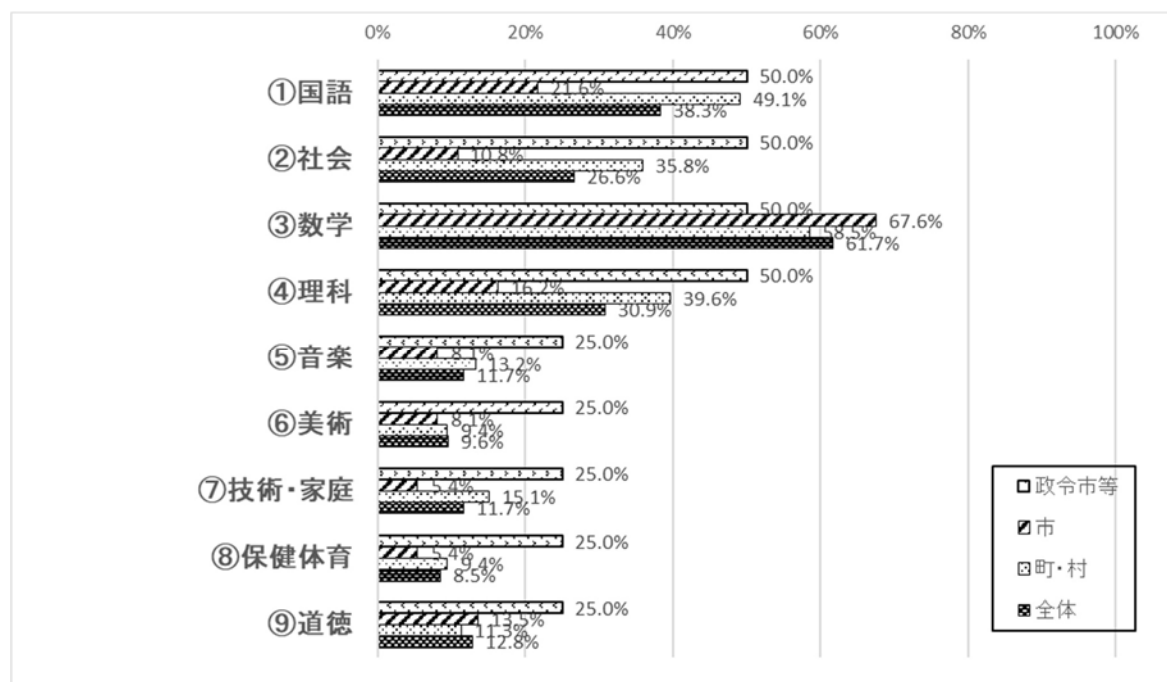
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①すべての学校に導入されている			16	11.3%	38	21.5%	54	15.7%
②研究指定校など一部の学校に導入されている	1	4.2%	8	5.6%	3	1.7%	12	3.5%
③学校の判断で導入している学校がある	3	12.5%	14	9.9%	13	7.3%	30	8.7%
④導入していないが検討中である	2	8.3%	16	11.3%	27	15.3%	45	13.1%
⑤導入されていない	18	75.0%	86	60.6%	87	49.2%	191	55.7%
無回答			3	2.1%	10	5.6%	13	3.8%
回答数合計	24	100.0%	143	100.7%	178	100.6%	345	100.6%
回答者数(母数)	24		142		177		343	



※「①すべての学校に導入されている」は全体では 15.7%、「⑤導入されていない」は 55.7%となっている。小学校同様に学習者用デジタル教科書の導入はまだまだ進んでおらず、さらなる普及が望まれる。

1-1-3-1(4) 「1-1-3-1(3)」で①～③と回答された方に伺います。自治体予算で導入されている教科は何ですか。(いくつでも)

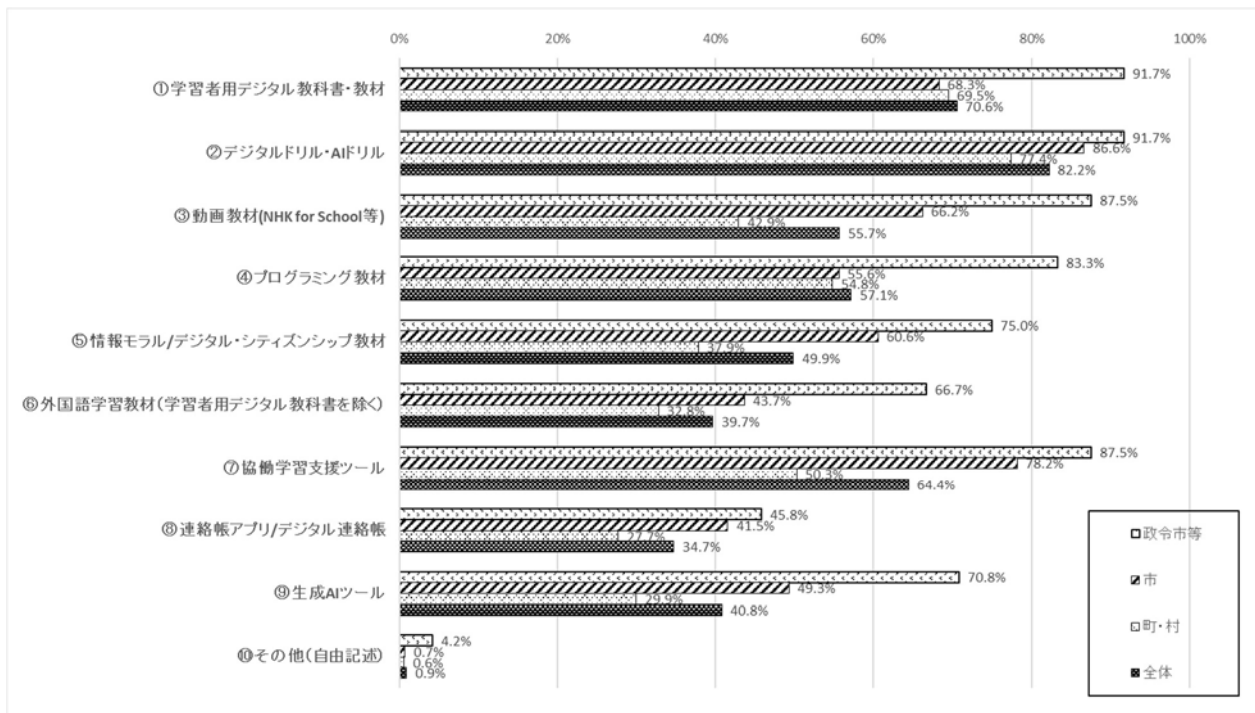
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①国語	2	50.0%	8	21.6%	26	49.1%	36	38.3%
②社会	2	50.0%	4	10.8%	19	35.8%	25	26.6%
③数学	2	50.0%	25	67.6%	31	58.5%	58	61.7%
④理科	2	50.0%	6	16.2%	21	39.6%	29	30.9%
⑤音楽	1	25.0%	3	8.1%	7	13.2%	11	11.7%
⑥美術	1	25.0%	3	8.1%	5	9.4%	9	9.6%
⑦技術・家庭	1	25.0%	2	5.4%	8	15.1%	11	11.7%
⑧保健体育	1	25.0%	2	5.4%	5	9.4%	8	8.5%
⑨道德	1	25.0%	5	13.5%	6	11.3%	12	12.8%
無回答	2	50.0%	8	21.6%	8	15.1%	18	19.1%
回答数合計	15	375.0%	66	178.4%	136	256.6%	217	230.9%
回答者数(母数)	4		37		53		94	



※「③数学」が最も多く全体で61.7%、次いで「①国語」が38.3%となっている。自治体の中で、国から数学が提供されていない学校に導入していると考えられる。

1-1-3-2(1) 1人1台端末を活用するために、必要だと思うアプリ・ツール(オンライン教材を含む)は何ですか。(いくつでも)

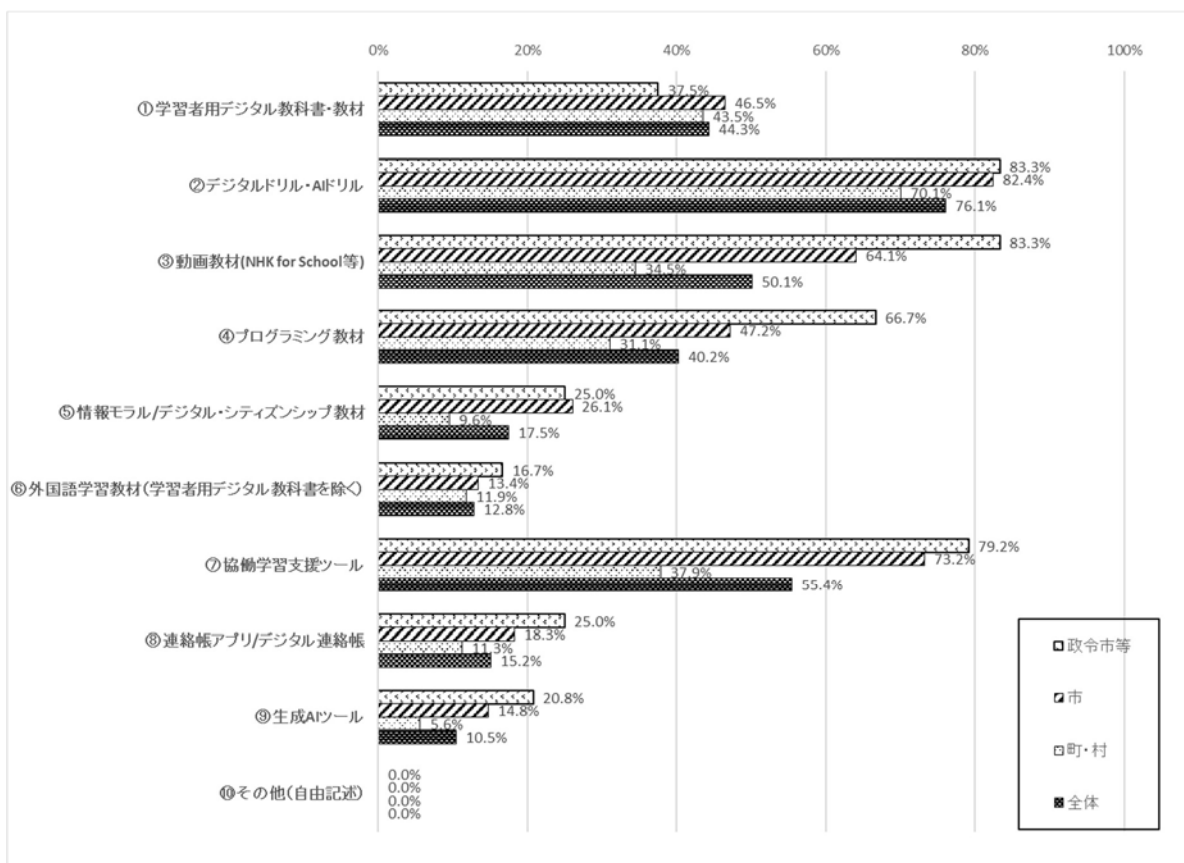
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①学習者用デジタル教科書・教材	22	91.7%	97	68.3%	123	69.5%	242	70.6%
②デジタルドリル・AIドリル	22	91.7%	123	86.6%	137	77.4%	282	82.2%
③動画教材(NHK for School等)	21	87.5%	94	66.2%	76	42.9%	191	55.7%
④プログラミング教材	20	83.3%	79	55.6%	97	54.8%	196	57.1%
⑤情報モラル/デジタル・シティズンシップ教材	18	75.0%	86	60.6%	67	37.9%	171	49.9%
⑥外国語学習教材(学習者用デジタル教科書を除く)	16	66.7%	62	43.7%	58	32.8%	136	39.7%
⑦協働学習支援ツール	21	87.5%	111	78.2%	89	50.3%	221	64.4%
⑧連絡帳アプリ/デジタル連絡帳	11	45.8%	59	41.5%	49	27.7%	119	34.7%
⑨生成AIツール	17	70.8%	70	49.3%	53	29.9%	140	40.8%
⑩その他(自由記述)	1	4.2%	1	0.7%	1	0.6%	3	0.9%
無回答	1	4.2%	12	8.5%	21	11.9%	34	9.9%
回答数合計	170	708.3%	794	559.2%	771	435.6%	1,735	505.8%
回答者数(母数)	24		142		177		343	



※「②デジタルドリル・AIドリル」が最も多く全体で82.2%、次いで「①学習者用デジタル教科書・教材」が70.6%、「⑦協働学習支援ツール」が64.4%となっている。

1-1-3-2(2) 「1-1-3-2(1)」で選択した項目の中で、すでに導入しているアプリ・ツールはありますか。(いくつかつでも)

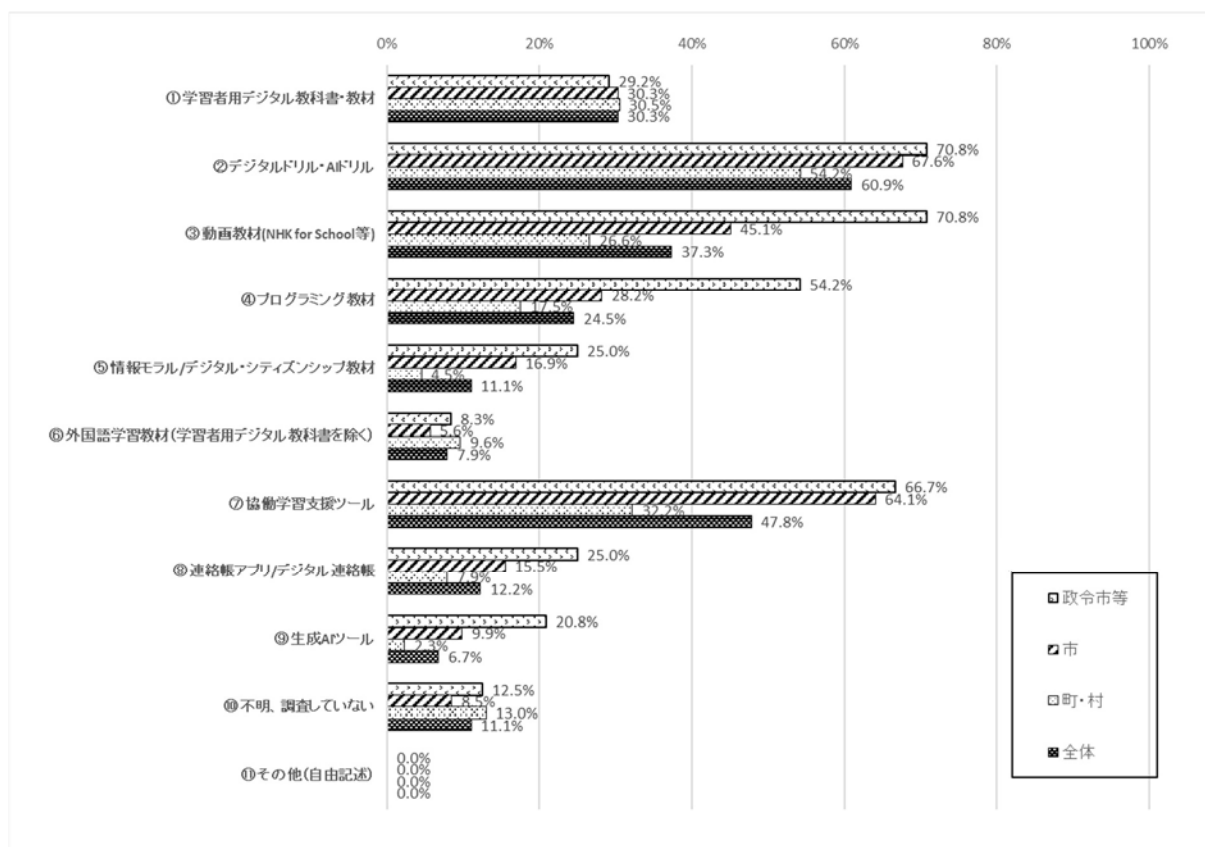
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①学習者用デジタル教科書・教材	9	37.5%	66	46.5%	77	43.5%	152	44.3%
②デジタルドリル・AIドリル	20	83.3%	117	82.4%	124	70.1%	261	76.1%
③動画教材(NHK for School等)	20	83.3%	91	64.1%	61	34.5%	172	50.1%
④プログラミング教材	16	66.7%	67	47.2%	55	31.1%	138	40.2%
⑤情報モラル/デジタル・シティズンシップ教材	6	25.0%	37	26.1%	17	9.6%	60	17.5%
⑥外国語学習教材(学習者用デジタル教科書を除く)	4	16.7%	19	13.4%	21	11.9%	44	12.8%
⑦協働学習支援ツール	19	79.2%	104	73.2%	67	37.9%	190	55.4%
⑧連絡帳アプリ/デジタル連絡帳	6	25.0%	26	18.3%	20	11.3%	52	15.2%
⑨生成AIツール	5	20.8%	21	14.8%	10	5.6%	36	10.5%
⑩その他(自由記述)								
無回答	1	4.2%	11	7.7%	35	19.8%	47	13.7%
回答数合計	106	441.7%	559	393.7%	487	275.1%	1,152	335.9%
回答者数(母数)	24		142		177		343	



※「②デジタルドリル・AIドリル」が最も多く全体で76.1%、次いで「⑦協働学習支援ツール」が55.4%、「③動画教材(NHK for School等)」が50.1%となっている。前問で70.6%の「①学習者用デジタル教科書・教材」は44.3%に留まっており、必要だと思うアプリ・ツールが必ずしも導入できているとは限らない。

1-1-3-2(3) 「1-1-3-2(2)」で選択した項目の中で、効果があったアプリ・ツールはありますか。(いくつでも)

	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①学習者用デジタル教科書・教材	7	29.2%	43	30.3%	54	30.5%	104	30.3%
②デジタルドリル・AIドリル	17	70.8%	96	67.6%	96	54.2%	209	60.9%
③動画教材(NHK for School等)	17	70.8%	64	45.1%	47	26.6%	128	37.3%
④プログラミング教材	13	54.2%	40	28.2%	31	17.5%	84	24.5%
⑤情報モラル/デジタル・シティズンシップ教材	6	25.0%	24	16.9%	8	4.5%	38	11.1%
⑥外国語学習教材(学習者用デジタル教科書を除く)	2	8.3%	8	5.6%	17	9.6%	27	7.9%
⑦協働学習支援ツール	16	66.7%	91	64.1%	57	32.2%	164	47.8%
⑧連絡帳アプリ/デジタル連絡帳	6	25.0%	22	15.5%	14	7.9%	42	12.2%
⑨生成AIツール	5	20.8%	14	9.9%	4	2.3%	23	6.7%
⑩不明、調査していない	3	12.5%	12	8.5%	23	13.0%	38	11.1%
⑪その他(自由記述)								
無回答			11	7.7%	32	18.1%	43	12.5%
回答数合計	92	383.3%	425	299.3%	383	216.4%	900	262.4%
回答者数(母数)	24		142		177		343	

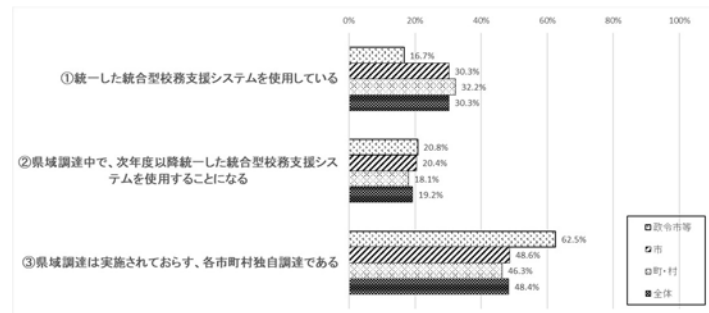


※「②デジタルドリル・AIドリル」が最も多く全体で60.9%、次いで「⑦協働学習支援ツール」が47.8%となっている。

1-2 校務 DX 等についての項目

1-2-1 県域調達で県内全ての市町村で同じ統合型校務支援システムを使用していますか（文部科学省の実証事業含む）

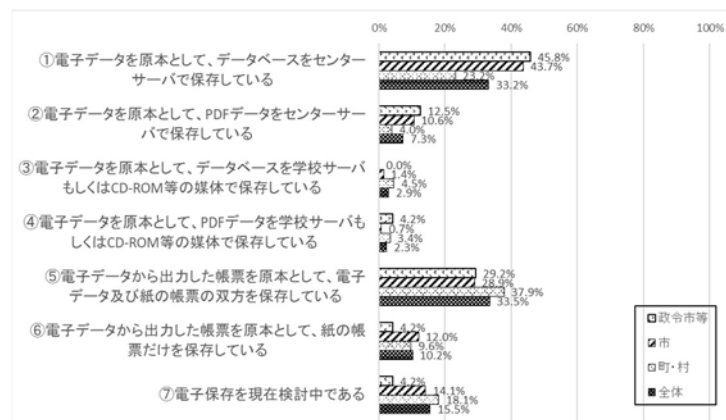
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①統一した統合型校務支援システムを使用している	4	16.7%	43	30.3%	57	32.2%	104	30.3%
②県域調達中で、次年度以降統一した統合型校務支援システムを使用することになる	5	20.8%	29	20.4%	32	18.1%	66	19.2%
③県域調達は実施されておらず、各市町村独自調達である	15	62.5%	69	48.6%	82	46.3%	166	48.4%
無回答			1	0.7%	6	3.4%	7	2.0%
回答者数(母数)	24	100.0%	142	100.0%	177	100.0%	343	100.0%



※「①統一した統合型校務支援システムを使用している」は全体で 30.3%である。「③県域調達は実施されておらず、各市町村独自調達である」は、48.4%、政令市等では 62.5%である。

1-2-2 指導要録などを電子保存していますか。(いくつでも)

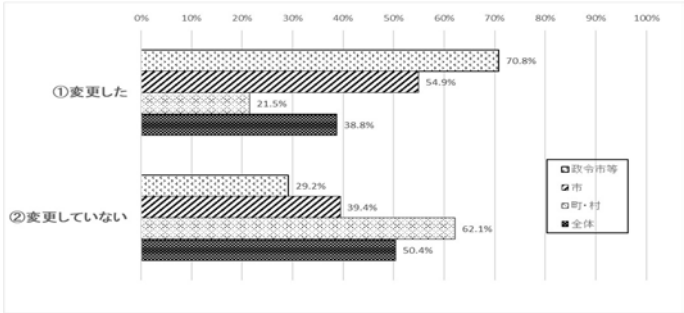
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①電子データを原本として、データベースをセンターサーバで保存している	11	45.8%	62	43.7%	41	23.2%	114	33.2%
②電子データを原本として、PDFデータをセンターサーバで保存している	3	12.5%	15	10.6%	7	4.0%	25	7.3%
③電子データを原本として、データベースを学校サーバもしくはCD-ROM等の媒体で保存している			2	1.4%	8	4.5%	10	2.9%
④電子データを原本として、PDFデータを学校サーバもしくはCD-ROM等の媒体で保存している	1	4.2%	1	0.7%	6	3.4%	8	2.3%
⑤電子データから出力した帳票を原本として、電子データ及び紙の帳票の双方を保存している	7	29.2%	41	28.9%	67	37.9%	115	33.5%
⑥電子データから出力した帳票を原本として、紙の帳票だけを保存している	1	4.2%	17	12.0%	17	9.6%	35	10.2%
⑦電子保存を現在検討中である	1	4.2%	20	14.1%	32	18.1%	53	15.5%
無回答	1	4.2%	3	2.1%	15	8.5%	19	5.5%
回答数合計	25	104.2%	161	113.4%	193	109.0%	379	110.5%
回答者数(母数)	24		142		177		343	



※「①電子データを原本として、データベースをセンターサーバで保存している」は政令市等で 45.8%、市で 43.7%である。「⑤電子データから出力した帳票を原本として、電子データ及び紙の帳票の双方を保存している」は全体で 33.5%である。

1-2-3(1) 校務支援システムを導入（一部導入を含む）している方に伺います。校務支援システムを導入するにあたり規則やルールを変更しましたか。

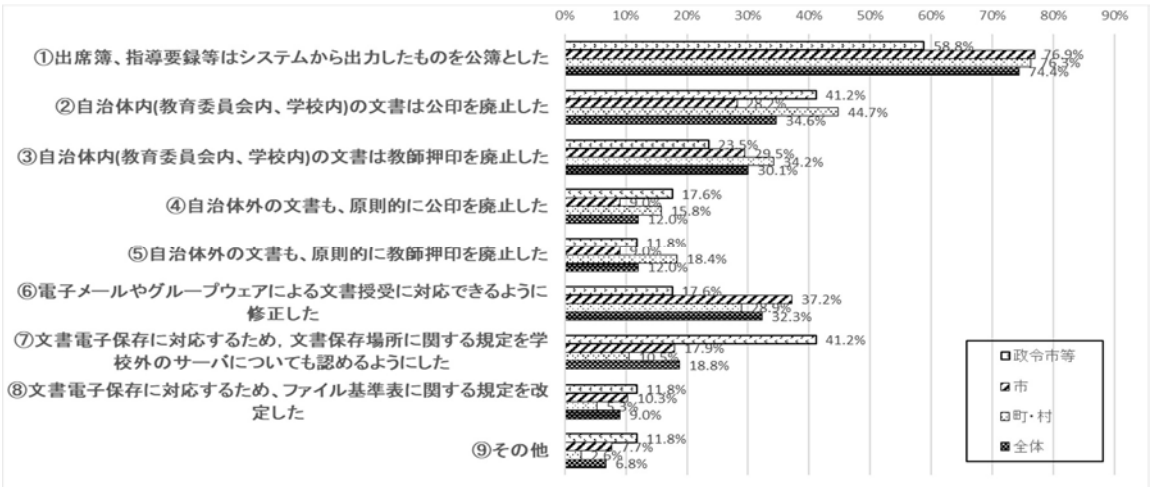
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①変更した	17	70.8%	78	54.9%	38	21.5%	133	38.8%
②変更していない	7	29.2%	56	39.4%	110	62.1%	173	50.4%
無回答			8	5.6%	29	16.4%	37	10.8%
回答者数(母数)	24	100.0%	142	100.0%	177	100.0%	343	100.0%



※「①変更した」は政令市等で 70.8%、市では 54.9%である。町・村では「②変更していない」が 62.1%で、自治体規模で大きな差がある。

1-2-3(2) 「1-2-3(1)」で①と回答された方に伺います。変更した具体的な内容はどのようなものですか。(いくつでも)

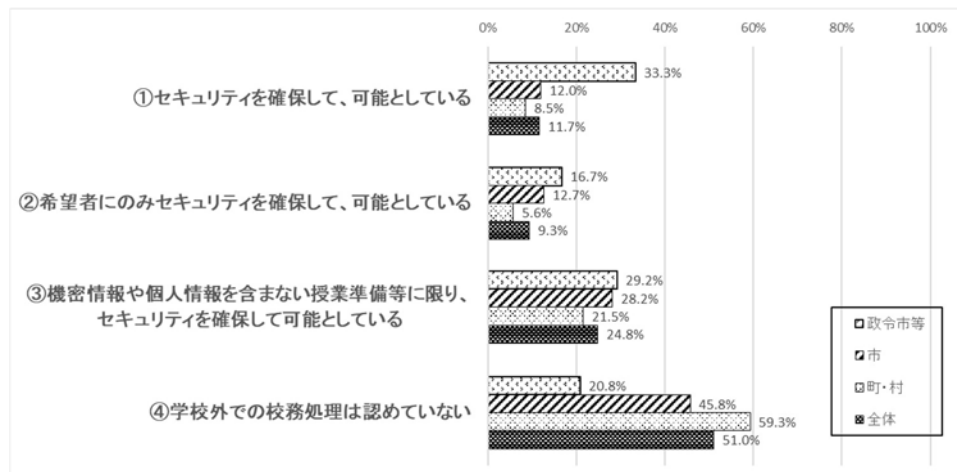
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①出席簿、指導要録等はシステムから出力したものを公簿とした	10	58.8%	60	76.9%	29	76.3%	99	74.4%
②自治体内(教育委員会内、学校内)の文書は公印を廃止した	7	41.2%	22	28.2%	17	44.7%	46	34.6%
③自治体内(教育委員会内、学校内)の文書は教師押印を廃止した	4	23.5%	23	29.5%	13	34.2%	40	30.1%
④自治体外の文書も、原則的に公印を廃止した	3	17.6%	7	9.0%	6	15.8%	16	12.0%
⑤自治体外の文書も、原則的に教師押印を廃止した	2	11.8%	7	9.0%	7	18.4%	16	12.0%
⑥電子メールやグループウェアによる文書授受に対応できるように修正した	3	17.6%	29	37.2%	11	28.9%	43	32.3%
⑦文書電子保存に対応するため、文書保存場所に関する規定を学校外のサーバについても認めるようにした	7	41.2%	14	17.9%	4	10.5%	25	18.8%
⑧文書電子保存に対応するため、ファイル基準表に関する規定を改定した	2	11.8%	8	10.3%	2	5.3%	12	9.0%
⑨その他	2	11.8%	6	7.7%	1	2.6%	9	6.8%
無回答			1	1.3%			1	0.8%
回答数合計	40	235.3%	177	226.9%	90	236.8%	307	230.8%
回答者数(母数)	17		78		38		133	



※「①出席簿、指導要録等はシステムから出力したものを公簿とした」が最も多く、全体で 74.4% となっている。「③自治体内(教育委員会内、学校内)の文書は教師押印を廃止した」は 30.1%。「④自治体外の文書も、原則的に公印を廃止した」は 12.0%に留まっており、押印の廃止はまだ進んでいない。

1-2-4 学校外での校務処理についてあてはまるものを一つ選択してください。

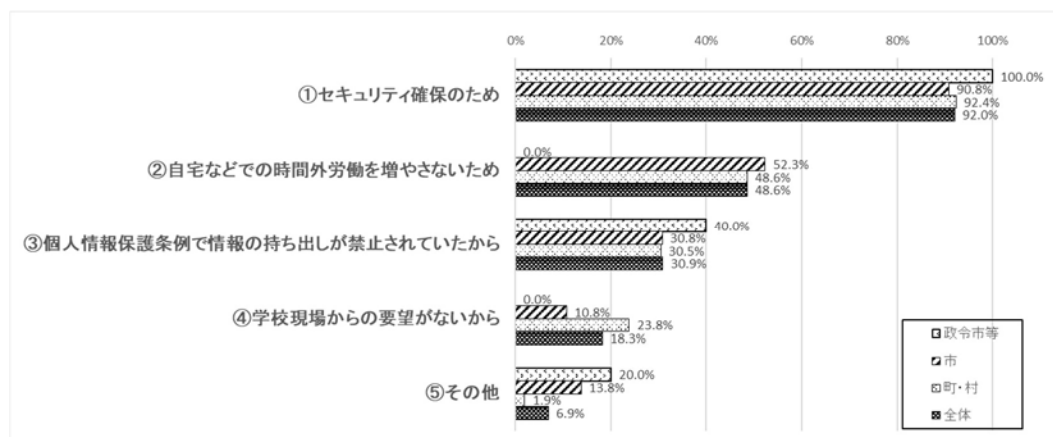
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①セキュリティを確保して、可能としている	8	33.3%	17	12.0%	15	8.5%	40	11.7%
②希望者にのみセキュリティを確保して、可能としている	4	16.7%	18	12.7%	10	5.6%	32	9.3%
③機密情報や個人情報を含まない授業準備等に関し、セキュリティを確保して可能としている	7	29.2%	40	28.2%	38	21.5%	85	24.8%
④学校外での校務処理は認めていない	5	20.8%	65	45.8%	105	59.3%	175	51.0%
無回答			2	1.4%	9	5.1%	11	3.2%
回答者数(母数)	24	100.0%	142	100.0%	177	100.0%	343	100.0%



※「④学校外での校務処理は認めていない」が全体で51.0%と最も多い。

1-2-5 「1-2-4」で④を選択された方に伺います。認めていない理由は何でしょうか。(いくつでも)

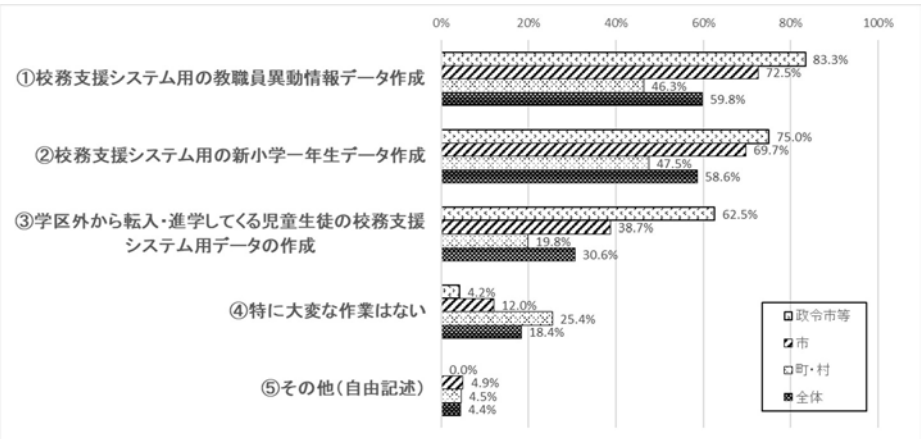
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①セキュリティ確保のため	5	100.0%	59	90.8%	97	92.4%	161	92.0%
②自宅などでの時間外労働を増やさないため			34	52.3%	51	48.6%	85	48.6%
③個人情報保護条例で情報の持ち出しが禁止されていたから	2	40.0%	20	30.8%	32	30.5%	54	30.9%
④学校現場からの要望がないから			7	10.8%	25	23.8%	32	18.3%
⑤その他	1	20.0%	9	13.8%	2	1.9%	12	6.9%
無回答					1	1.0%	1	0.6%
回答数合計	8	160.0%	129	198.5%	208	198.1%	345	197.1%
回答者数(母数)	5		65		105		175	



※「①セキュリティ確保のため」が全体で92.0%となっている。

1-2-6 校務支援システムの年次更新作業で大変な作業は何ですか。(いくつでも)

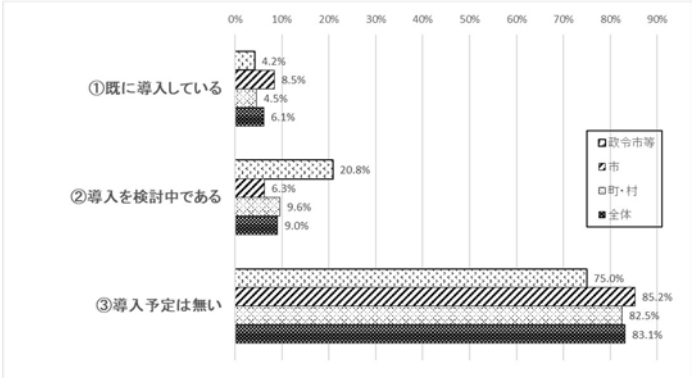
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①校務支援システム用の教職員異動情報データ作成	20	83.3%	103	72.5%	82	46.3%	205	59.8%
②校務支援システム用の新小学一年生データ作成	18	75.0%	99	69.7%	84	47.5%	201	58.6%
③学区外から転入・進学してくる児童生徒の校務支援システム用データの作成	15	62.5%	55	38.7%	35	19.8%	105	30.6%
④特に大変な作業はない	1	4.2%	17	12.0%	45	25.4%	63	18.4%
⑤その他(自由記述)			7	4.9%	8	4.5%	15	4.4%
無回答			4	2.8%	24	13.6%	28	8.2%
回答数合計	54	225.0%	285	200.7%	278	157.1%	617	179.9%
回答者数(母数)	24		142		177		343	



※「①校務支援システム用の教職員異動情報データ作成」が全体で 59.8%と最も多く、次いで「②校務支援システム用の新小学一年生データ作成」が全体で 58.6%となっている。政令市等では「③学区外から転入・進学してくる児童生徒の校務支援システム用データの作成」も 62.5%と高くなっている。自由記述では「新年度学級編成の反映」「学級区分の移動情報」等クラス編成作業が挙げられた。

1-2-7 教員用連絡ツール等としてスマートフォン導入について伺います。

	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①既に導入している	1	4.2%	12	8.5%	8	4.5%	21	6.1%
②導入を検討中である	5	20.8%	9	6.3%	17	9.6%	31	9.0%
③導入予定は無い	18	75.0%	121	85.2%	146	82.5%	285	83.1%
無回答					6	3.4%	6	1.7%
回答者数(母数)	24	100.0%	142	100.0%	177	100.0%	343	100.0%

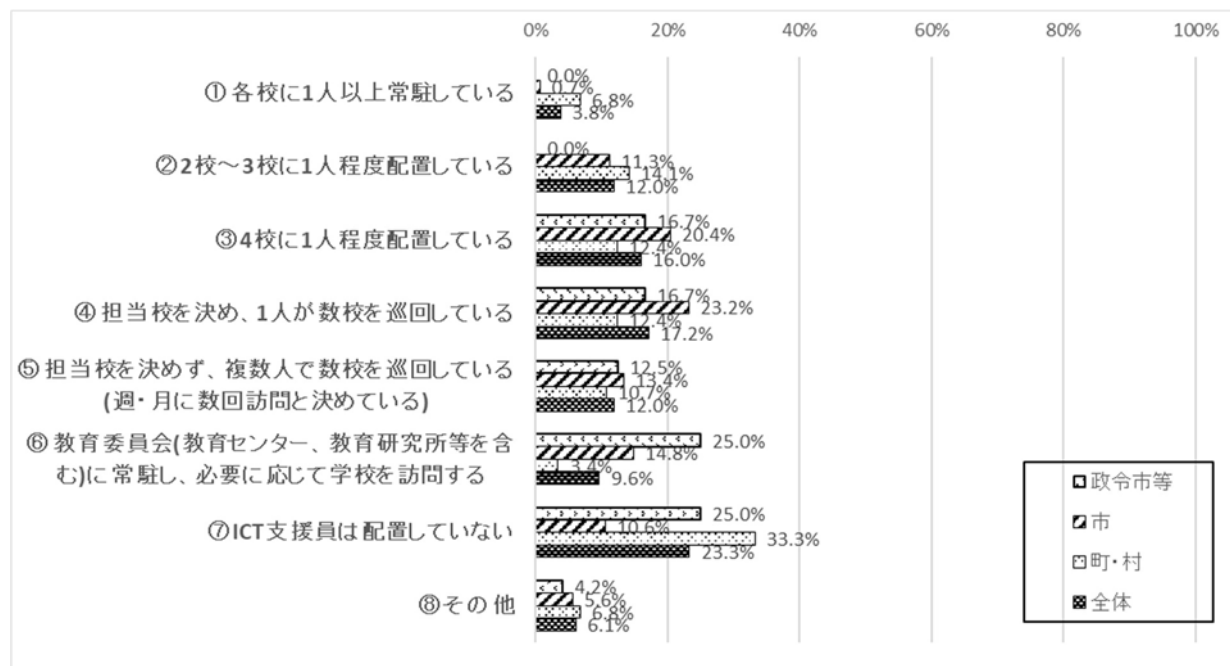


※「③導入予定は無い」が全体で 83.1%と多いが、国の整備計画に無いにもかかわらず 6.1%の教育委員会が導入済となっている。

1-3 保守サポートに関する項目

1-3-1 ICT 支援員の配置について伺います。

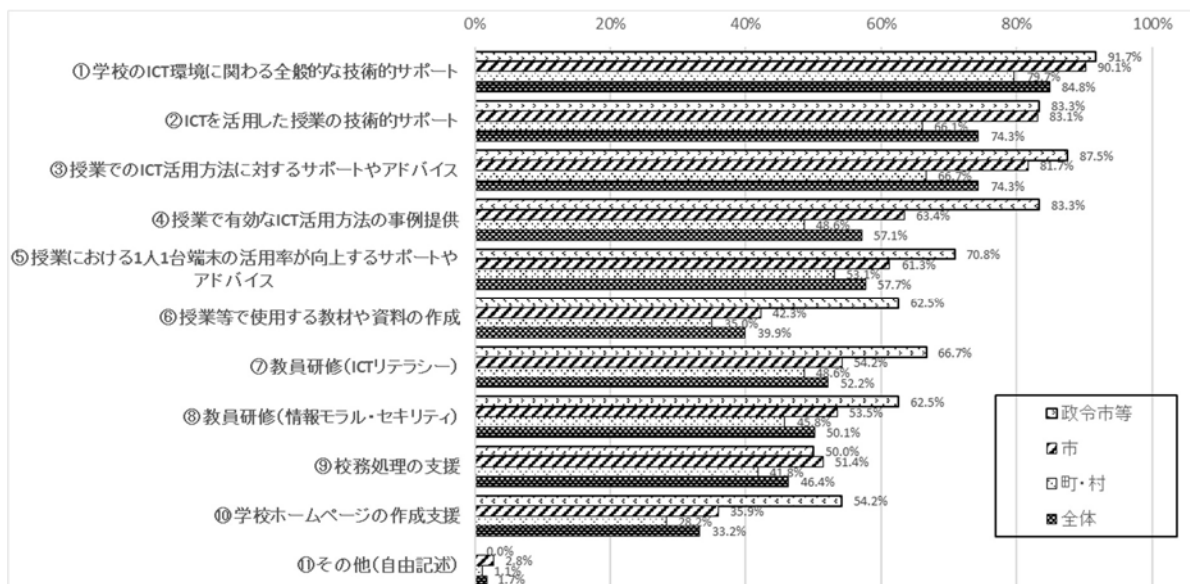
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①各校に1人以上常駐している			1	0.7%	12	6.8%	13	3.8%
②2校～3校に1人程度配置している			16	11.3%	25	14.1%	41	12.0%
③4校に1人程度配置している	4	16.7%	29	20.4%	22	12.4%	55	16.0%
④担当校を決め、1人が数校を巡回している	4	16.7%	33	23.2%	22	12.4%	59	17.2%
⑤担当校を決めず、複数人で数校を巡回している (週・月に数回訪問と決めている)	3	12.5%	19	13.4%	19	10.7%	41	12.0%
⑥教育委員会(教育センター、教育研究所等を含む)に常駐し、必要に応じて学校を訪問する	6	25.0%	21	14.8%	6	3.4%	33	9.6%
⑦ICT支援員は配置していない	6	25.0%	15	10.6%	59	33.3%	80	23.3%
⑧その他	1	4.2%	8	5.6%	12	6.8%	21	6.1%
無回答								
回答者数(母数)	24	100.0%	142	100.0%	177	100.0%	343	100.0%



※前回と比べ大きな変化は見られないが、文部科学省が「学校の ICT 環境整備 3 か年計画 (2025～2027 年度)」で示している『ICT 支援員 4 校に 1 人配置』を満たしていると考えられる①②③を合計すると、全体で 31.8%となり、7 割近い教育委員会が基準を満たせていない。

1-3-2 ICT 支援員に期待する業務について伺います。(いくつでも)

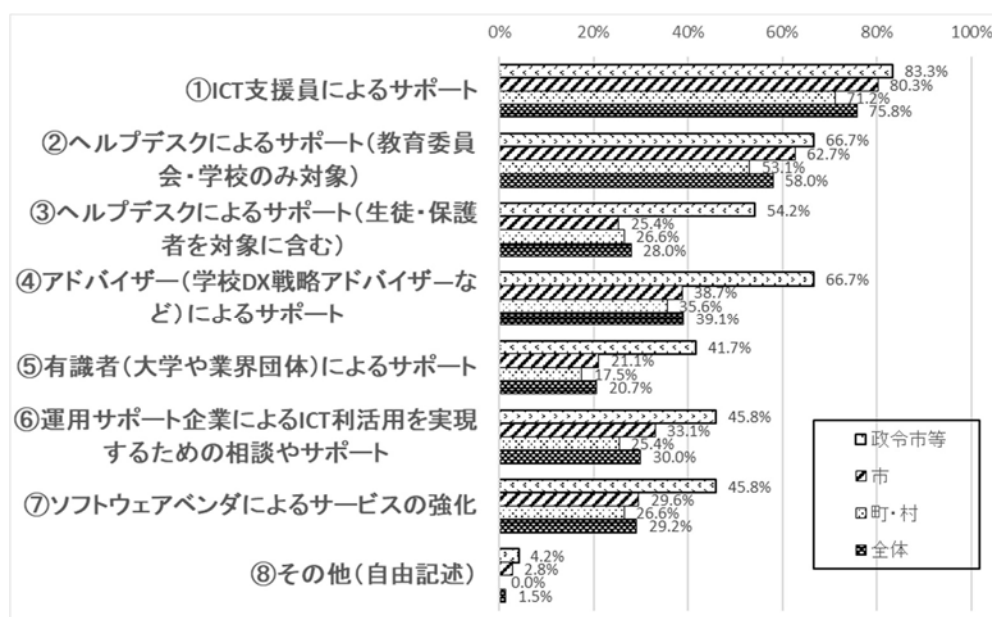
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①学校のICT環境に関わる全般的な技術的サポート	22	91.7%	128	90.1%	141	79.7%	291	84.8%
②ICTを活用した授業の技術的サポート	20	83.3%	118	83.1%	117	66.1%	255	74.3%
③授業でのICT活用方法に対するサポートやアドバイス	21	87.5%	116	81.7%	118	66.7%	255	74.3%
④授業で有効なICT活用方法の事例提供	20	83.3%	90	63.4%	86	48.6%	196	57.1%
⑤授業における1人1台端末の活用率が向上するサポートやアドバイス	17	70.8%	87	61.3%	94	53.1%	198	57.7%
⑥授業等で使用する教材や資料の作成	15	62.5%	60	42.3%	62	35.0%	137	39.9%
⑦教員研修(ICTリテラシー)	16	66.7%	77	54.2%	86	48.6%	179	52.2%
⑧教員研修(情報モラル・セキュリティ)	15	62.5%	76	53.5%	81	45.8%	172	50.1%
⑨校務処理の支援	12	50.0%	73	51.4%	74	41.8%	159	46.4%
⑩学校ホームページの作成支援	13	54.2%	51	35.9%	50	28.2%	114	33.2%
⑪その他(自由記述)			4	2.8%	2	1.1%	6	1.7%
無回答	1	4.2%	3	2.1%	18	10.2%	22	6.4%
回答数合計	172	716.7%	883	621.8%	929	524.9%	1,984	578.4%
回答者数(母数)	24		142		177		343	



※全体では、⑥⑨⑩以外のすべての項目において、50%以上となっており、ICT 支援員への期待が高いことがうかがえる。自由記述では、回答数は少ないものの「修理・設定」や「年度更新作業」などの回答があり、ICT 支援員の「管理・設定変更業務」対応への期待もうかがえる。

1-3-3 今後、学校 DX・校務 DX に向けた、より必要なサポート、サービスについて伺います。(いくつかつでも)

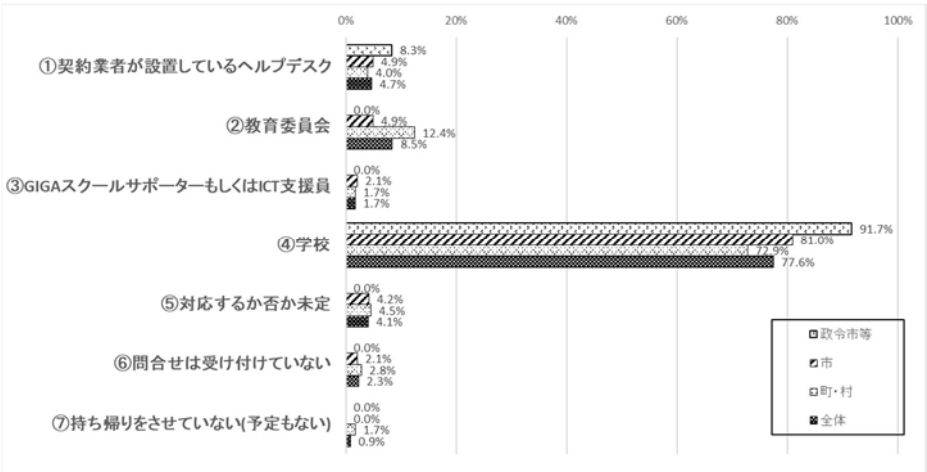
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①ICT支援員によるサポート	20	83.3%	114	80.3%	126	71.2%	260	75.8%
②ヘルプデスクによるサポート(教育委員会・学校のみ対象)	16	66.7%	89	62.7%	94	53.1%	199	58.0%
③ヘルプデスクによるサポート(生徒・保護者を対象に含む)	13	54.2%	36	25.4%	47	26.6%	96	28.0%
④アドバイザー(学校DX戦略アドバイザーなど)によるサポート	16	66.7%	55	38.7%	63	35.6%	134	39.1%
⑤有識者(大学や業界団体)によるサポート	10	41.7%	30	21.1%	31	17.5%	71	20.7%
⑥運用サポート企業によるICT活用を実現するための相談やサポート	11	45.8%	47	33.1%	45	25.4%	103	30.0%
⑦ソフトウェアベンダによるサービスの強化	11	45.8%	42	29.6%	47	26.6%	100	29.2%
⑧その他(自由記述)	1	4.2%	4	2.8%			5	1.5%
無回答			1	0.7%	11	6.2%	12	3.5%
回答数合計	98	408.3%	418	294.4%	464	262.1%	980	285.7%
回答者数(母数)	24		142		177		343	



※全体では「①ICT 支援員によるサポート」が 75.8%と最も多く、ICT 支援員のサポートへの期待が大きいことがうかがえる。「③ヘルプデスクによるサポート(生徒・保護者を対象に含む)」は政令市等では 54.2%と高いものの、市(25.4%)、町・村(26.6%)では政令市等の半分程度で、生徒・保護者へのサポートの必要性への意見が異なっている。また、政令市等では「④アドバイザー(学校 DX 戦略アドバイザーなど)によるサポート」が 66.7%と非常に高くなっている。自由記述では、少数ではあるが、「予算」、「補助金などの費用面のサポート」に関する事、「県や近隣との連携・協力」などの意見があった。

1-3-4 1人1台端末が整備され、持ち帰り利用を行っている場合や持ち帰りを予定している場合、家庭からの問合せにはどのように対応(する予定含む)していますか。

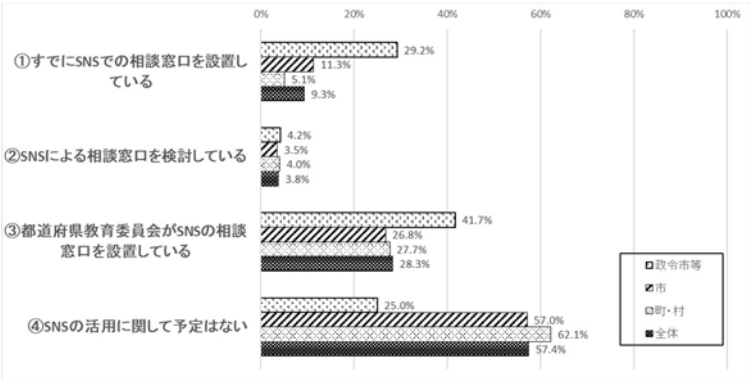
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①契約業者が設置しているヘルプデスク	2	8.3%	7	4.9%	7	4.0%	16	4.7%
②教育委員会			7	4.9%	22	12.4%	29	8.5%
③GIGAスクールサポーターもしくはICT支援員			3	2.1%	3	1.7%	6	1.7%
④学校	22	91.7%	115	81.0%	129	72.9%	266	77.6%
⑤対応するか否か未定			6	4.2%	8	4.5%	14	4.1%
⑥問合せは受け付けていない			3	2.1%	5	2.8%	8	2.3%
⑦持ち帰りをさせていない(予定もない)					3	1.7%	3	0.9%
無回答			1	0.7%			1	0.3%
回答者数(母数)	24	100.0%	142	100.0%	177	100.0%	343	100.0%



※全体では「④学校」が最も多く、前々回、前回から増加（54.2%→72.1%→77.6%）しており、学校現場の更なる負担増が懸念される。

1-3-5 児童・生徒の学校での悩み事やトラブルの相談窓口として SNS の活用を行っていますか。

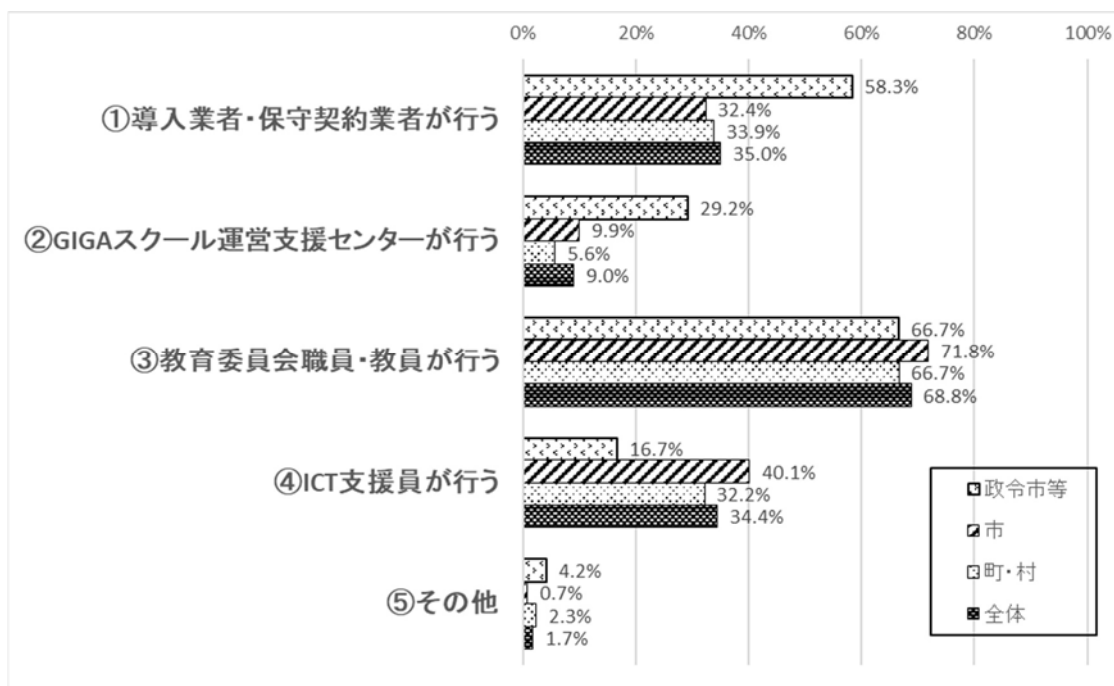
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①すでにSNSでの相談窓口を設置している	7	29.2%	16	11.3%	9	5.1%	32	9.3%
②SNSによる相談窓口を検討している	1	4.2%	5	3.5%	7	4.0%	13	3.8%
③都道府県教育委員会がSNSの相談窓口を設置している	10	41.7%	38	26.8%	49	27.7%	97	28.3%
④SNSの活用に関して予定はない	6	25.0%	81	57.0%	110	62.1%	197	57.4%
無回答			2	1.4%	2	1.1%	4	1.2%
回答者数(母数)	24	100.0%	142	100.0%	177	100.0%	343	100.0%



※全体では「④SNS の活用に関して予定はない」が 57.4%と最も多く、次いで「③都道府県教育委員会が SNS の相談窓口を設置している」が 28.3%となっており、自治体独自での SNS 相談窓口の設置は少ない。

1-3-6 1人1台端末の年次更新(卒業した児童・生徒のアカウント消去、新入生のアカウント登録等)や端末の更新作業(卒業生から新入生へのアカウント変更など)は主に誰が行いますか。(いくつでも)

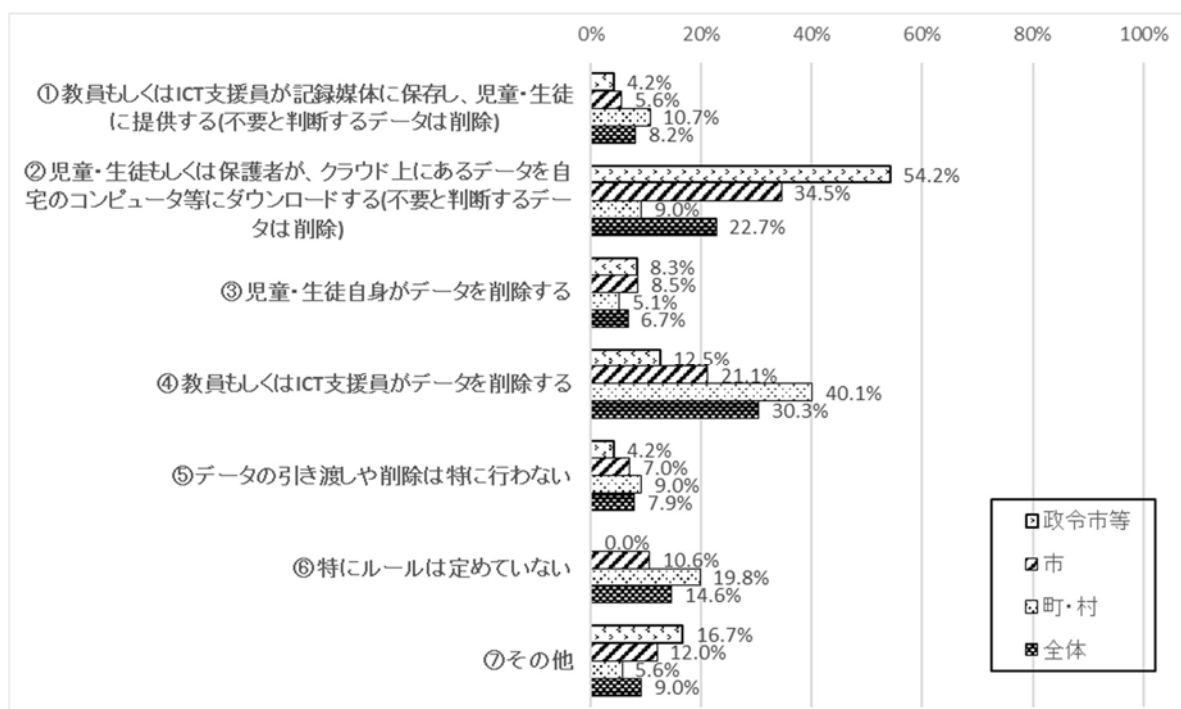
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①導入業者・保守契約業者が行う	14	58.3%	46	32.4%	60	33.9%	120	35.0%
②GIGAスクール運営支援センターが行う	7	29.2%	14	9.9%	10	5.6%	31	9.0%
③教育委員会職員・教員が行う	16	66.7%	102	71.8%	118	66.7%	236	68.8%
④ICT支援員が行う	4	16.7%	57	40.1%	57	32.2%	118	34.4%
⑤その他	1	4.2%	1	0.7%	4	2.3%	6	1.7%
無回答								
回答数合計	42	175.0%	220	154.9%	249	140.7%	511	149.0%
回答者数(母数)	24		142		177		343	



※全体では「③教育委員会職員・教員が行う」が68.8%と最も多く、教育委員会・学校への負担となっていることがうかがえる。

1-3-7 児童・生徒の卒業・転校時に個人用端末およびクラウド上に保存されている個人データの取り扱いについて伺います。

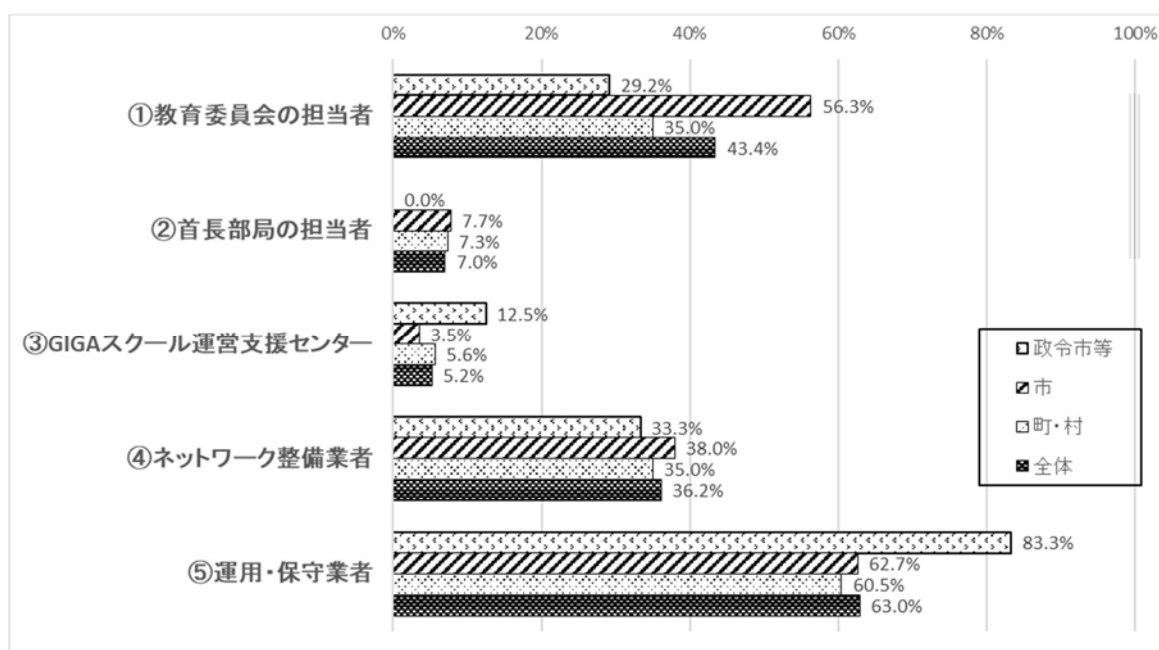
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①教員もしくはICT支援員が記録媒体に保存し、児童・生徒に提供する(不要と判断するデータは削除)	1	4.2%	8	5.6%	19	10.7%	28	8.2%
②児童・生徒もしくは保護者が、クラウド上にあるデータを自宅のコンピュータ等にダウンロードする(不要と判断するデータは削除)	13	54.2%	49	34.5%	16	9.0%	78	22.7%
③児童・生徒自身がデータを削除する	2	8.3%	12	8.5%	9	5.1%	23	6.7%
④教員もしくはICT支援員がデータを削除する	3	12.5%	30	21.1%	71	40.1%	104	30.3%
⑤データの引き渡しや削除は特に行わない	1	4.2%	10	7.0%	16	9.0%	27	7.9%
⑥特にルールは定めていない			15	10.6%	35	19.8%	50	14.6%
⑦その他	4	16.7%	17	12.0%	10	5.6%	31	9.0%
無回答			1	0.7%	1	0.6%	2	0.6%
回答者数(母数)	24	100.0%	142	100.0%	177	100.0%	343	100.0%



※「②児童・生徒、もしくは保護者が、クラウド上にあるデータを自宅のコンピュータ等にダウンロードする(不要と判断するデータは削除)」は政令市等が 54.2%と最も多く、市が 34.5%、町・村が 9.0%と自治体規模によって差がみられる。「⑥特にルールは定めていない」は町・村が (26.8%→19.8%)と改善がみられるが、「⑤データの引き渡しや削除は特に行わない」含め、「教育情報セキュリティポリシーに関するガイドライン(令和7年3月)」に例示されている、情報資産の分類における重要性分類Ⅲにあたると考えられるため、引き続きルール策定が望まれる。

1-3-8 ネットワークについて、サーバや機器の運用・保守は誰が行っていますか。(いくつでも)

	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①教育委員会の担当者	7	29.2%	80	56.3%	62	35.0%	149	43.4%
②首長部局の担当者			11	7.7%	13	7.3%	24	7.0%
③GIGAスクール運営支援センター	3	12.5%	5	3.5%	10	5.6%	18	5.2%
④ネットワーク整備業者	8	33.3%	54	38.0%	62	35.0%	124	36.2%
⑤運用・保守業者	20	83.3%	89	62.7%	107	60.5%	216	63.0%
無回答								
回答数合計	38	158.3%	239	168.3%	254	143.5%	531	154.8%
回答者数(母数)	24		142		177		343	

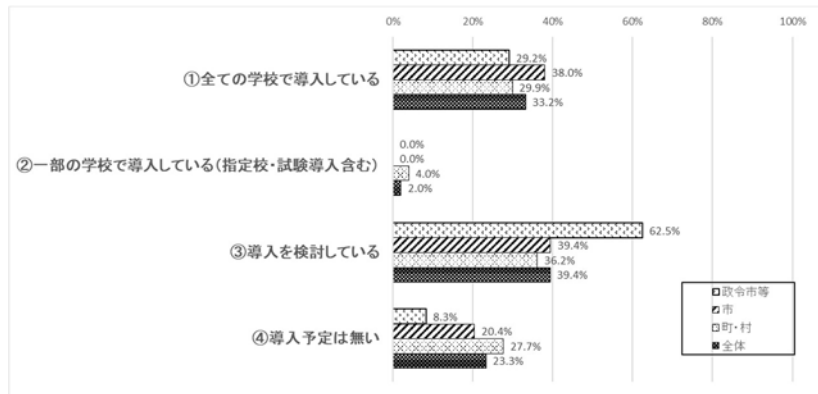


※全体では「⑤運用・保守業者」が63.0%と最も多く、次いで「①教育委員会の担当者」が43.4%、「④ネットワーク整備業者」が36.2%となっており、依然として教育委員会の担当者の負担が多くなっている。

1-4 データの利活用に関する項目

1-4-1 ダッシュボードを導入していますか。

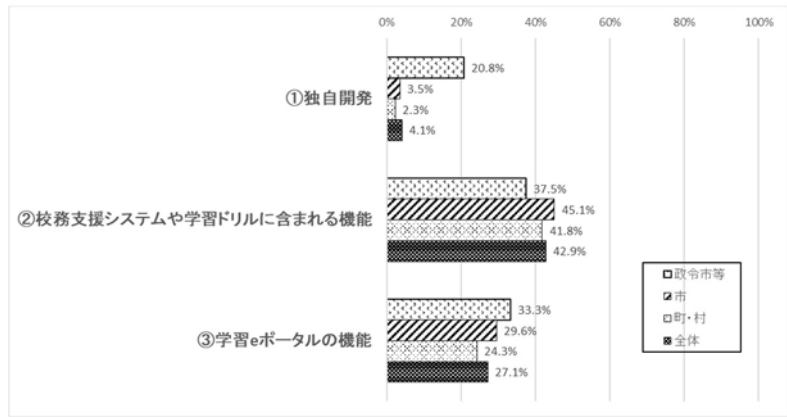
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①全ての学校で導入している	7	29.2%	54	38.0%	53	29.9%	114	33.2%
②一部の学校で導入している (指定校・試験導入含む)					7	4.0%	7	2.0%
③導入を検討している	15	62.5%	56	39.4%	64	36.2%	135	39.4%
④導入予定は無い	2	8.3%	29	20.4%	49	27.7%	80	23.3%
無回答			3	2.1%	4	2.3%	7	2.0%
回答者数(母数)	24	100.0%	142	100.0%	177	100.0%	343	100.0%



※「①すべての学校で導入している」は全体で 33.2%にとどまり、自治体規模で比較しても大きな差はない。

1-4-2 ダッシュボードの種類を教えてください。（検討しているものも含む）

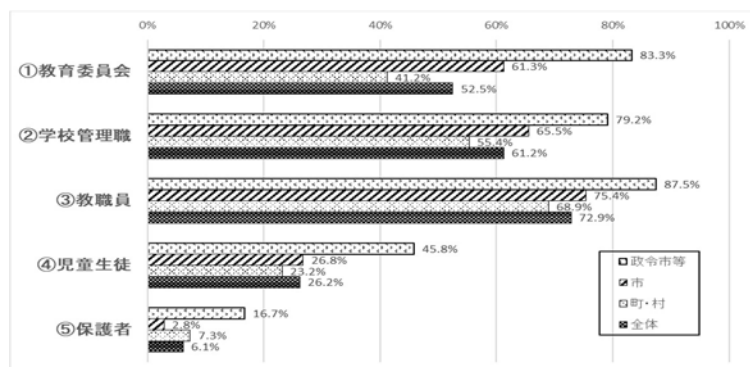
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①独自開発	5	20.8%	5	3.5%	4	2.3%	14	4.1%
②校務支援システムや学習ドリルに含まれる機能	9	37.5%	64	45.1%	74	41.8%	147	42.9%
③学習eポータルの機能	8	33.3%	42	29.6%	43	24.3%	93	27.1%
無回答	2	8.3%	31	21.8%	56	31.6%	89	25.9%
回答者数(母数)	24	100.0%	142	100.0%	177	100.0%	343	100.0%



※「②校務支援システムや学習ドリルに含まれる機能」が全体で最も多く、42.9%を占めている。
また、「③学習 e ポータルの機能」も全体で 27.1%と 4 分の 1 を超えている。

1-4-3 ダッシュボード利用の対象者をお聞かせください。(予定も含む)(いくつでも)

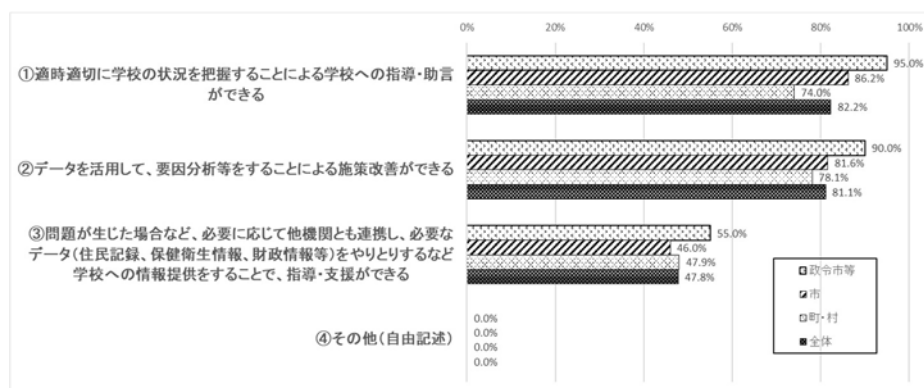
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①教育委員会	20	83.3%	87	61.3%	73	41.2%	180	52.5%
②学校管理職	19	79.2%	93	65.5%	98	55.4%	210	61.2%
③教職員	21	87.5%	107	75.4%	122	68.9%	250	72.9%
④児童生徒	11	45.8%	38	26.8%	41	23.2%	90	26.2%
⑤保護者	4	16.7%	4	2.8%	13	7.3%	21	6.1%
無回答	2	8.3%	28	19.7%	50	28.2%	80	23.3%
回答数合計	77	320.8%	357	251.4%	397	224.3%	831	242.3%
回答者数(母数)	24		142		177		343	



※「③教職員」は全体で 72.9%であるが、「④児童生徒」は 26.2%となっている。

1-4-4 「1-4-3」で①教育委員会を選択された方に伺います。ダッシュボードの活用に関心することは何ですか。(いくつでも)

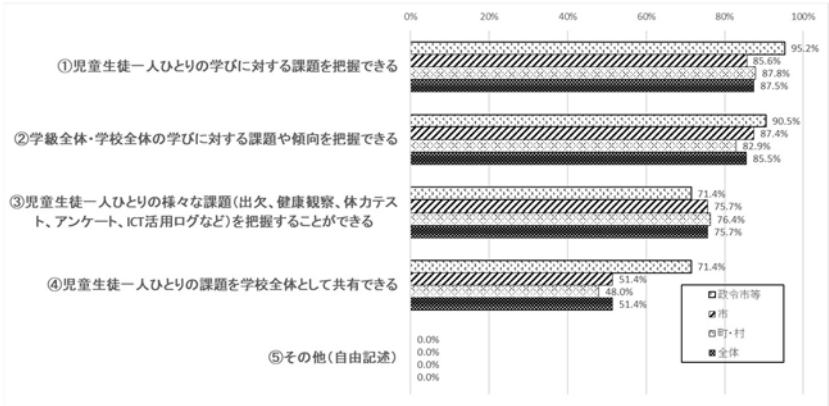
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①適時適切に学校の状況を把握することによる学校への指導・助言ができる	19	95.0%	75	86.2%	54	74.0%	148	82.2%
②データを活用して、要因分析等を行うことによる施策改善ができる	18	90.0%	71	81.6%	57	78.1%	146	81.1%
③問題が生じた場合など、必要に応じて他機関とも連携し、必要なデータ(住民記録、保健衛生情報、財政情報等)をやりとりするなど学校への情報提供をすることで、指導・支援ができる	11	55.0%	40	46.0%	35	47.9%	86	47.8%
④その他(自由記述)								
無回答	1	5.0%	1	1.1%			2	1.1%
回答数合計	49	245.0%	187	214.9%	146	200.0%	382	212.2%
回答者数(母数)	20		87		73		180	



※「①適時適切に学校の状況を把握することによる学校への指導・助言ができる」「②データを活用して、要因分析等を行うことによる施策改善ができる」がともに全体で8割を超えている。

1-4-5 「1-4-3」で②学校管理職、③教職員を選択された方に伺います。ダッシュボードの活用に期待することは何ですか。(いくつでも)

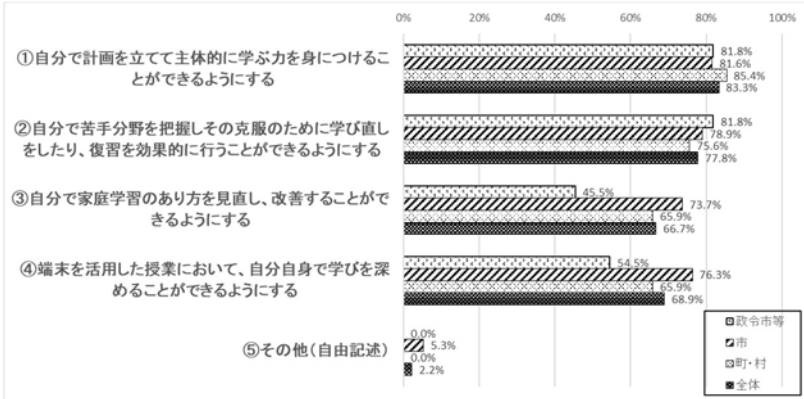
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①児童生徒一人ひとりの学びに対する課題を把握できる	20	95.2%	95	85.6%	108	87.8%	223	87.5%
②学級全体・学校全体の学びに対する課題や傾向を把握できる	19	90.5%	97	87.4%	102	82.9%	218	85.5%
③児童生徒一人ひとりの様々な課題(出欠、健康観察、体力テスト、アンケート、ICT活用ログなど)を把握することができる	15	71.4%	84	75.7%	94	76.4%	193	75.7%
④児童生徒一人ひとりの課題を学校全体として共有できる	15	71.4%	57	51.4%	59	48.0%	131	51.4%
⑤その他(自由記述)								
無回答			2	1.8%	2	1.6%	4	1.6%
回答数合計	69	328.6%	335	301.8%	365	296.7%	769	301.6%
回答者数(母数)	21		111		123		255	



※「①児童生徒一人ひとりの学びに対する課題を把握できる」「②学級全体・学校全体の学びに対する課題や傾向を把握できる」がともに全体で8割を超えている。

1-4-6 「1-4-3」で④児童生徒を選択された方に伺います。ダッシュボードの活用に期待することは何ですか。(いくつでも)

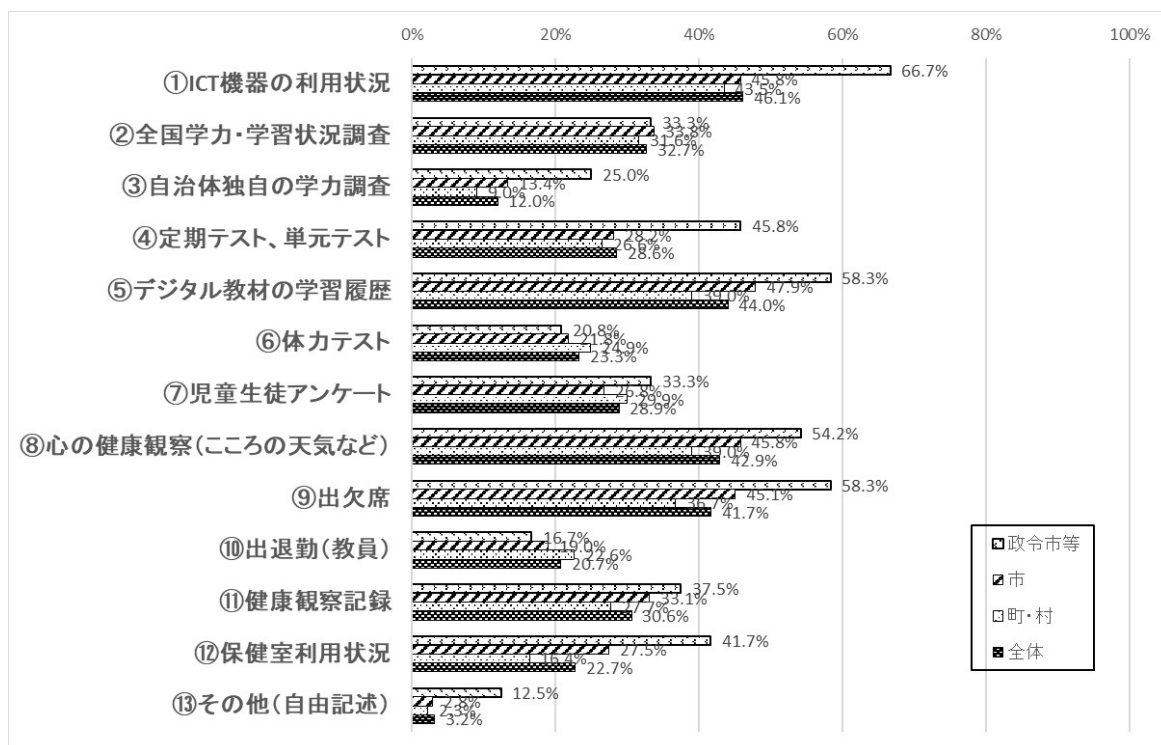
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①自分で計画を立てて主体的に学ぶ力を身につけることができるようにする	9	81.8%	31	81.6%	35	85.4%	75	83.3%
②自分で苦手分野を把握しその克服のために学び直しをしたり、復習を効果的に行うことができるようにする	9	81.8%	30	78.9%	31	75.6%	70	77.8%
③自分で家庭学習のあり方を見直し、改善することができるようにする	5	45.5%	28	73.7%	27	65.9%	60	66.7%
④端末を活用した授業において、自分自身で学びを深めることができるようにする	6	54.5%	29	76.3%	27	65.9%	62	68.9%
⑤その他(自由記述)			2	5.3%			2	2.2%
無回答			2	5.3%	2	4.9%	4	4.4%
回答数合計	29	263.6%	122	321.1%	122	297.6%	273	303.3%
回答者数(母数)	11		38		41		90	



※「①自分で計画を立てて主体的に学ぶ力を身につけることができるようにする」は全体で83.3%、「②自分で苦手分野を把握しその克服のために学び直しをしたり、復習を効果的に行うことができるようにする」は77.8%とともに高くなっている。

1-4-8 ダッシュボードに取り込む対象データについてお聞かせください。(予定も含む)(いくつでも)

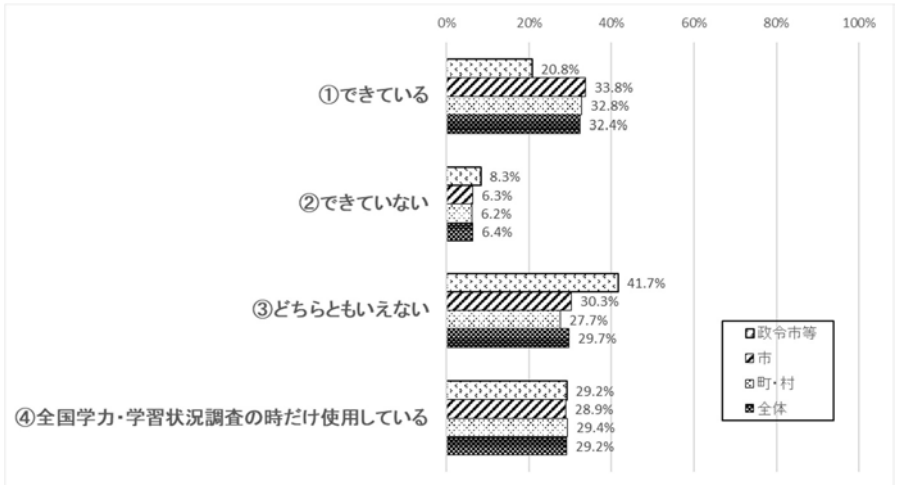
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①ICT機器の利用状況	16	66.7%	65	45.8%	77	43.5%	158	46.1%
②全国学力・学習状況調査	8	33.3%	48	33.8%	56	31.6%	112	32.7%
③自治体独自の学力調査	6	25.0%	19	13.4%	16	9.0%	41	12.0%
④定期テスト、単元テスト	11	45.8%	40	28.2%	47	26.6%	98	28.6%
⑤デジタル教材の学習履歴	14	58.3%	68	47.9%	69	39.0%	151	44.0%
⑥体力テスト	5	20.8%	31	21.8%	44	24.9%	80	23.3%
⑦児童生徒アンケート	8	33.3%	38	26.8%	53	29.9%	99	28.9%
⑧心の健康観察(こころの天気など)	13	54.2%	65	45.8%	69	39.0%	147	42.9%
⑨出欠席	14	58.3%	64	45.1%	65	36.7%	143	41.7%
⑩出退勤(教員)	4	16.7%	27	19.0%	40	22.6%	71	20.7%
⑪健康観察記録	9	37.5%	47	33.1%	49	27.7%	105	30.6%
⑫保健室利用状況	10	41.7%	39	27.5%	29	16.4%	78	22.7%
⑬その他(自由記述)	3	12.5%	4	2.8%	4	2.3%	11	3.2%
無回答	2	8.3%	31	21.8%	52	29.4%	85	24.8%
回答数合計	123	512.5%	586	412.7%	670	378.5%	1,379	402.0%
回答者数(母数)	24		142		177		343	



※「①ICT 機器の利用状況」が全体で 46.1%、「⑤デジタル教材の学習履歴」が 44.0%と、児童・生徒がデジタルコンテンツに触れている様子を確認できる項目が特に高い。また、「⑧心の健康観察(こころの天気など)」も 42.9%であり、子供の精神の健康へのケアも重要視されていると考えられる。自由記述では、「いいとこみつけ」「ScTN 質問紙(主体的・対話的で深い学びのための意識・実態調査質問紙)」などが挙げられた。

1-4-9 学習 e ポータルについて伺います。有効活用できていますか。

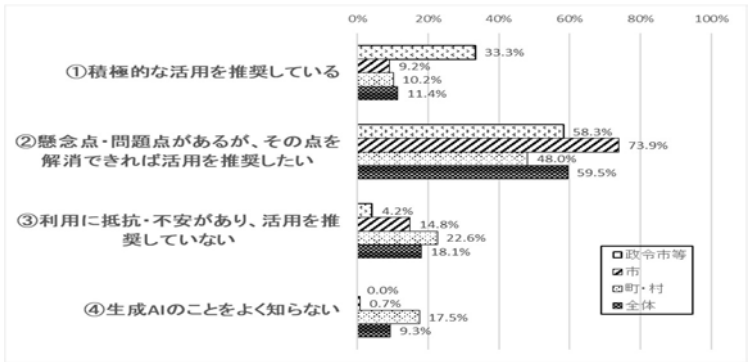
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①できている	5	20.8%	48	33.8%	58	32.8%	111	32.4%
②できていない	2	8.3%	9	6.3%	11	6.2%	22	6.4%
③どちらともいえない	10	41.7%	43	30.3%	49	27.7%	102	29.7%
④全国学力・学習状況調査の時だけ使用している	7	29.2%	41	28.9%	52	29.4%	100	29.2%
無回答			1	0.7%	7	4.0%	8	2.3%
回答者数(母数)	24	100.0%	142	100.0%	177	100.0%	343	100.0%



※「④全国学力・学習状況調査の時だけ使用している」が自治体規模に関わらず約 3 割を占め、形式的な利用にとどまっている。

1-4-10 授業での生成 AI 活用について伺います。

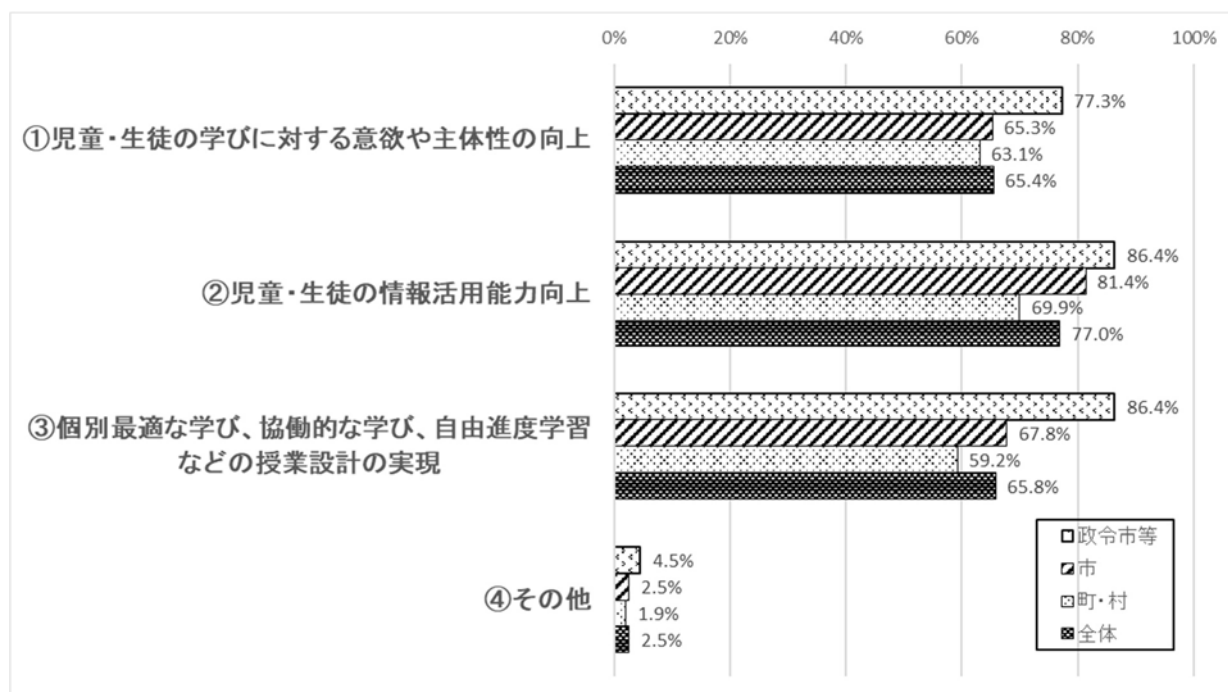
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①積極的な活用を推奨している	8	33.3%	13	9.2%	18	10.2%	39	11.4%
②懸念点・問題点があるが、その点を解消できれば活用を推奨したい	14	58.3%	105	73.9%	85	48.0%	204	59.5%
③利用に抵抗・不安があり、活用を推奨していない	1	4.2%	21	14.8%	40	22.6%	62	18.1%
④生成AIのことをよく知らない			1	0.7%	31	17.5%	32	9.3%
無回答	1	4.2%	2	1.4%	3	1.7%	6	1.7%
回答者数(母数)	24	100.0%	142	100.0%	177	100.0%	343	100.0%



※「①積極的な活用を推奨している」が全体で 11.4%と、1 割程度の自治体が既に積極的な活用を始めている。「②懸念点・問題点があるが、その点を解消できれば活用を推奨したい」が 59.5%を占め、大半は生成 AI 利用のメリット・デメリットを慎重に検討している。

1-4-11 「1-4-10」で①または②と回答した方に伺います。授業での生成 AI の利用に対して期待する点について教えてください。(いくつでも)

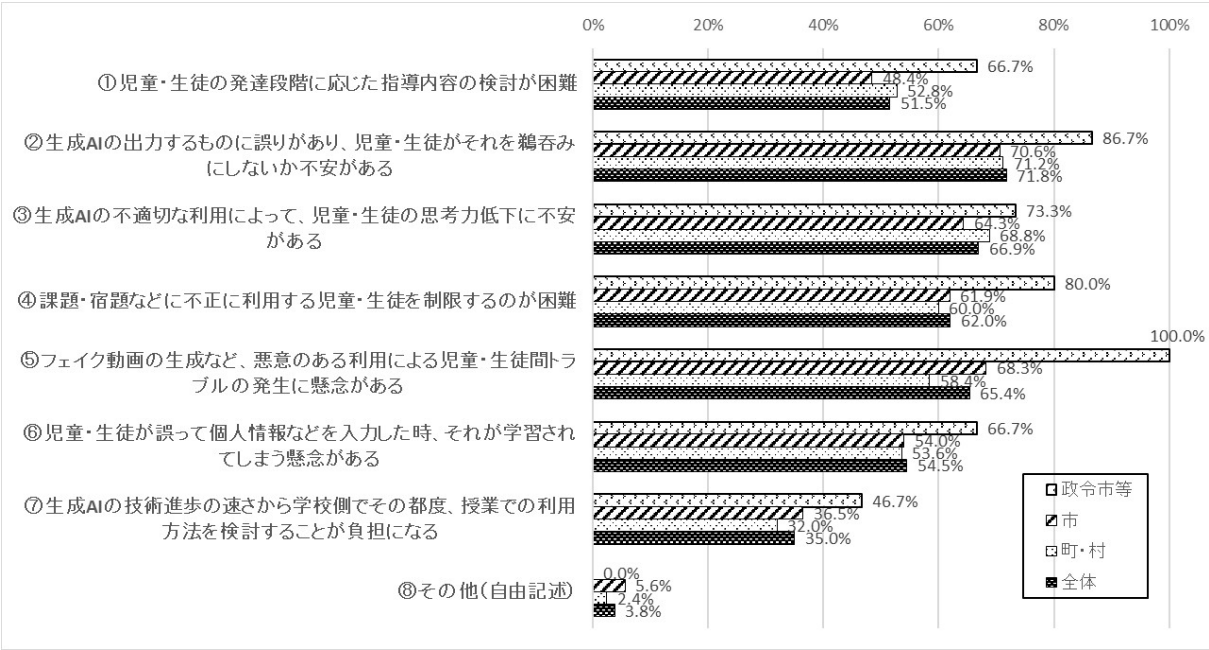
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①児童・生徒の学びに対する意欲や主体性の向上	17	77.3%	77	65.3%	65	63.1%	159	65.4%
②児童・生徒の情報活用能力向上	19	86.4%	96	81.4%	72	69.9%	187	77.0%
③個別最適な学び、協働的な学び、自由進度学習などの授業設計の実現	19	86.4%	80	67.8%	61	59.2%	160	65.8%
④その他	1	4.5%	3	2.5%	2	1.9%	6	2.5%
無回答			1	0.8%	6	5.8%	7	2.9%
回答数合計	56	254.5%	257	217.8%	206	200.0%	519	213.6%
回答者数(母数)	22		118		103		243	



※全体では「②児童・生徒の情報活用能力向上」が 77.0%で、情報活用能力を高めるツールとして期待されている。

1-4-12 「1-4-10」で②または③と回答した方に伺います。授業での生成 AI の利用に対して抱く懸念点・不安点について教えてください。(いくつでも)

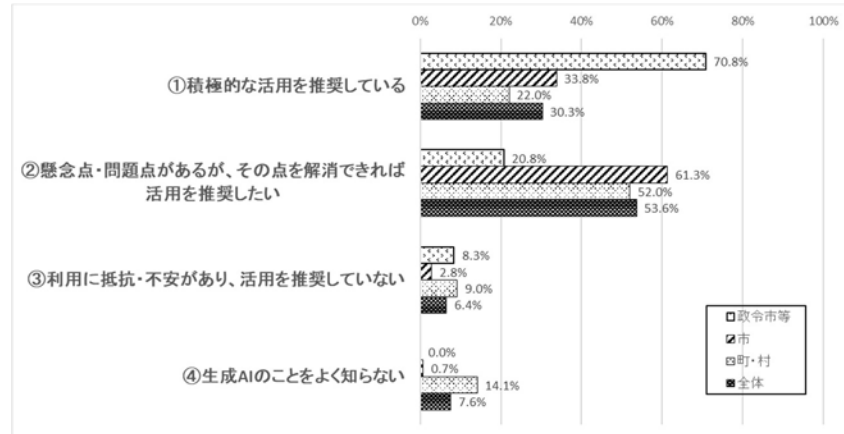
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①児童・生徒の発達段階に応じた指導内容の検討が困難	10	66.7%	61	48.4%	66	52.8%	137	51.5%
②生成AIの出力するものに誤りがあり、児童・生徒がそれを鵜呑みにしないか不安がある	13	86.7%	89	70.6%	89	71.2%	191	71.8%
③生成AIの不適切な利用によって、児童・生徒の思考力低下に不安がある	11	73.3%	81	64.3%	86	68.8%	178	66.9%
④課題・宿題などに不正に利用する児童・生徒を制限するのが困難	12	80.0%	78	61.9%	75	60.0%	165	62.0%
⑤フェイク動画の生成など、悪意のある利用による児童・生徒間トラブルの発生に懸念がある	15	100.0%	86	68.3%	73	58.4%	174	65.4%
⑥児童・生徒が誤って個人情報などを入力した時、それが学習されてしまう懸念がある	10	66.7%	68	54.0%	67	53.6%	145	54.5%
⑦生成AIの技術進歩の速さから学校側でその都度、授業での利用方法を検討することが負担になる	7	46.7%	46	36.5%	40	32.0%	93	35.0%
⑧その他(自由記述)			7	5.6%	3	2.4%	10	3.8%
無回答			6	4.8%	7	5.6%	13	4.9%
回答数合計	78	520.0%	522	414.3%	506	404.8%	1,106	415.8%
回答者数(母数)	15		126		125		266	



※「②生成 AI の出力するものに誤りがあり、児童・生徒がそれを鵜呑みにしないか不安がある」が全ての自治体規模で 7 割を超えており、教育利用において AI のハルシネーションが特に懸念されていることがうかがえる。また、自由記述では「教員側の利用・理解が不十分な実態から、授業での適切な指導が行えない」が不安点として挙げられた。

1-4-13 業務の効率化での生成 AI 活用について伺います。

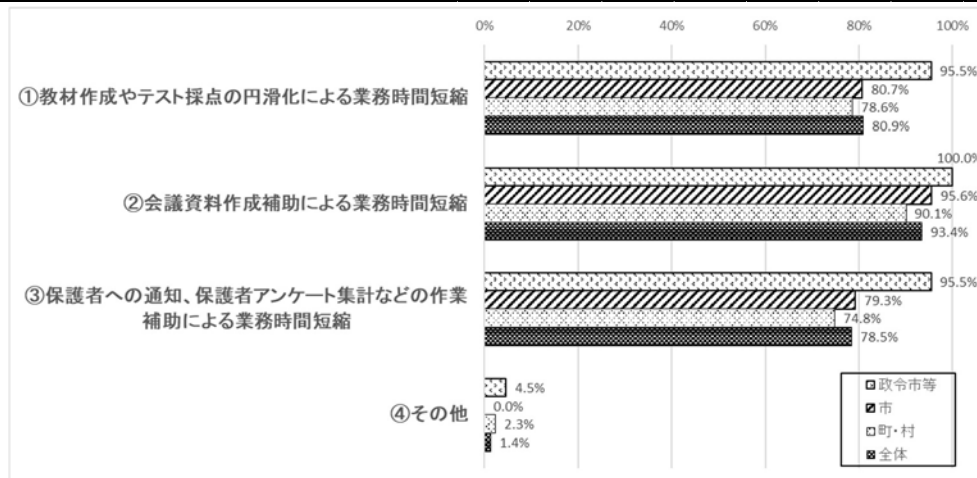
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①積極的な活用を推奨している	17	70.8%	48	33.8%	39	22.0%	104	30.3%
②懸念点・問題点があるが、その点を解消できれば活用を推奨したい	5	20.8%	87	61.3%	92	52.0%	184	53.6%
③利用に抵抗・不安があり、活用を推奨していない	2	8.3%	4	2.8%	16	9.0%	22	6.4%
④生成AIのことをよく知らない			1	0.7%	25	14.1%	26	7.6%
無回答			2	1.4%	5	2.8%	7	2.0%
回答者数(母数)	24	100.0%	142	100.0%	177	100.0%	343	100.0%



※「①積極的な利用を推奨している」が全体で 30.3%と、「1-4-10」では 1 割程度であった授業への利用よりも活用自治体が多い。このうち、政令市等においては 70.8%と突出しており、業務利用に関しては自治体規模によって利用状況に差がある。

1-4-14 「1-4-13」で①または②と回答した方に伺います。業務の効率化での生成 AI の利用に対して期待する点について教えてください。(いくつでも)

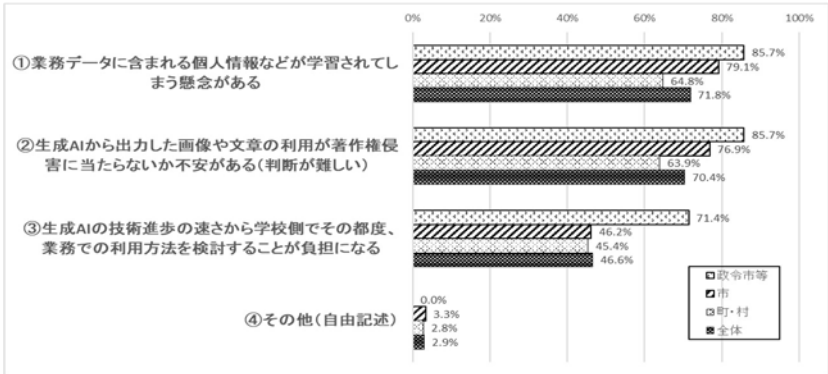
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①教材作成やテスト採点の円滑化による業務時間短縮	21	95.5%	109	80.7%	103	78.6%	233	80.9%
②会議資料作成補助による業務時間短縮	22	100.0%	129	95.6%	118	90.1%	269	93.4%
③保護者への通知、保護者アンケート集計などの作業補助による業務時間短縮	21	95.5%	107	79.3%	98	74.8%	226	78.5%
④その他	1	4.5%			3	2.3%	4	1.4%
無回答			2	1.5%	2	1.5%	4	1.4%
回答数合計	65	295.5%	347	257.0%	324	247.3%	736	255.6%
回答者数(母数)	22		135		131		288	



※①～③の選択肢について、自治体規模に関わらず軒並み 7 割を超えており、業務効率化への生成 AI 利用の期待感の高さがうかがえる。

1-4-15 「1-4-13」で②または③と回答した方に伺います。業務の効率化での生成 AI の利用に対して抱く懸念点・不安点について教えてください。(いくつでも)

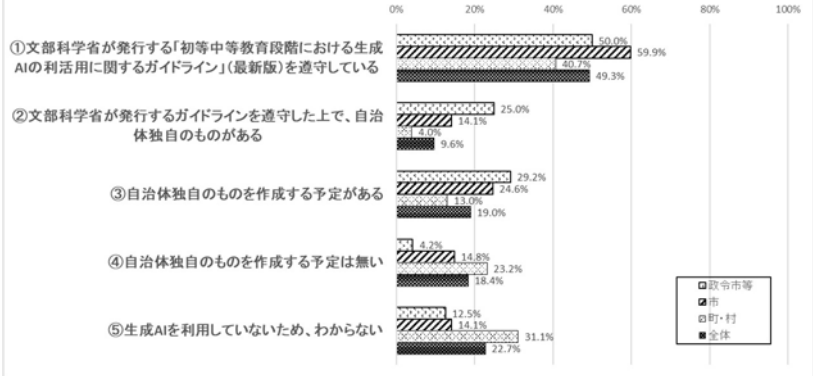
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①業務データに含まれる個人情報などが学習されてしまう懸念がある	6	85.7%	72	79.1%	70	64.8%	148	71.8%
②生成AIから出力した画像や文章の利用が著作権侵害に当たらないか不安がある(判断が難しい)	6	85.7%	70	76.9%	69	63.9%	145	70.4%
③生成AIの技術進歩の速さから学校側でその都度、業務での利用方法を検討することが負担になる	5	71.4%	42	46.2%	49	45.4%	96	46.6%
④その他(自由記述)			3	3.3%	3	2.8%	6	2.9%
無回答			1	1.1%	11	10.2%	12	5.8%
回答数合計	17	242.9%	188	206.6%	202	187.0%	407	197.6%
回答者数(母数)	7		91		108		206	



※「①業務データに含まれる個人情報などが学習されてしまう懸念がある」「②生成 AI から出力した画像や文章の利用が著作権侵害に当たらないか不安がある（判断が難しい）」がそれぞれ全体で 71.8%、70.4%と高い。自由記述では、「教員の AI に対する理解やリテラシーの不足」が不安・懸念として挙げられた。

1-4-16 生成 AI に関するガイドラインについて伺います。(いくつでも)

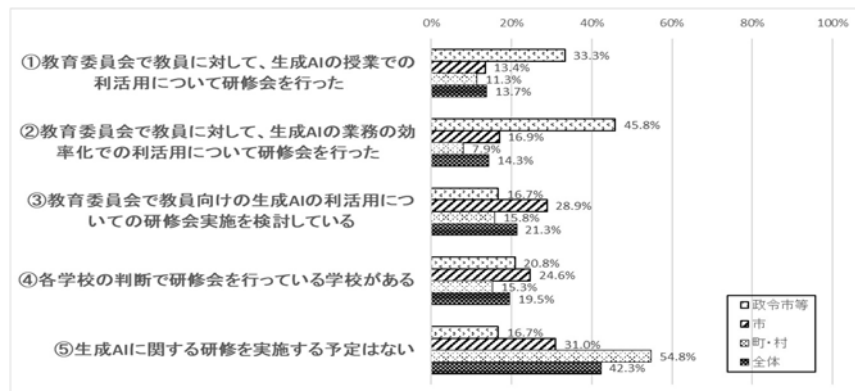
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①文部科学省が発行する「初等中等教育段階における生成AIの利活用に関するガイドライン」(最新版)を遵守している	12	50.0%	85	59.9%	72	40.7%	169	49.3%
②文部科学省が発行するガイドラインを遵守した上で、自治体独自のものがある	6	25.0%	20	14.1%	7	4.0%	33	9.6%
③自治体独自のものを作成する予定がある	7	29.2%	35	24.6%	23	13.0%	65	19.0%
④自治体独自のものを作成する予定は無い	1	4.2%	21	14.8%	41	23.2%	63	18.4%
⑤生成AIを利用していないため、わからない	3	12.5%	20	14.1%	55	31.1%	78	22.7%
無回答			1	0.7%	5	2.8%	6	1.7%
回答数合計	29	120.8%	182	128.2%	203	114.7%	414	120.7%
回答者数(母数)	24		142		177		343	



※「①文部科学省が発行する「初等中等教育段階における生成 AI の利活用に関するガイドライン」（最新版）を遵守している」「②文部科学省が発行するガイドラインを遵守した上で、自治体独自のものがある」を合わせて全体で 58.9%となっており、6 割近くの自治体が、文部科学省の発行するガイドラインを遵守している。

1-4-17 生成 AI に関する研修について伺います。(いくつでも)

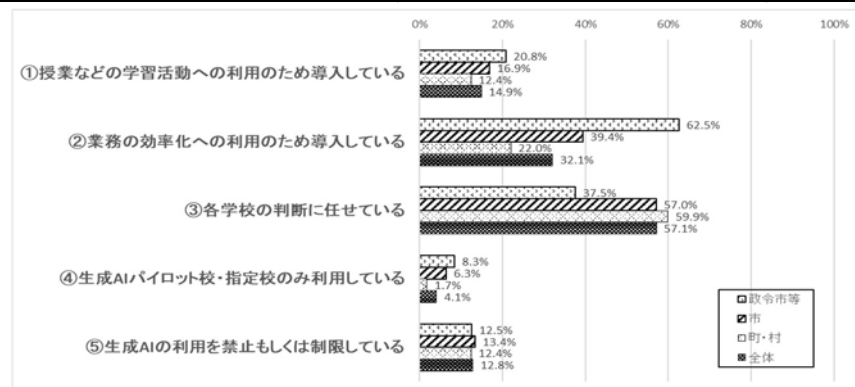
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①教育委員会で教員に対して、生成AIの授業での利活用について研修会を行った	8	33.3%	19	13.4%	20	11.3%	47	13.7%
②教育委員会で教員に対して、生成AIの業務の効率化での利活用について研修会を行った	11	45.8%	24	16.9%	14	7.9%	49	14.3%
③教育委員会で教員向けの生成AIの利活用についての研修会実施を検討している	4	16.7%	41	28.9%	28	15.8%	73	21.3%
④各学校の判断で研修会を行っている学校がある	5	20.8%	35	24.6%	27	15.3%	67	19.5%
⑤生成AIに関する研修を実施する予定はない	4	16.7%	44	31.0%	97	54.8%	145	42.3%
無回答			3	2.1%	7	4.0%	10	2.9%
回答数合計	32	133.3%	166	116.9%	193	109.0%	391	114.0%
回答者数(母数)	24		142		177		343	



※町・村では「⑤生成 AI に関する研修を実施する予定はない」が 54.8%を超えており、自治体規模によって生成 AI に対する姿勢が大きく異なる。

1-4-18 生成 AI の利用について伺います。(いくつでも)

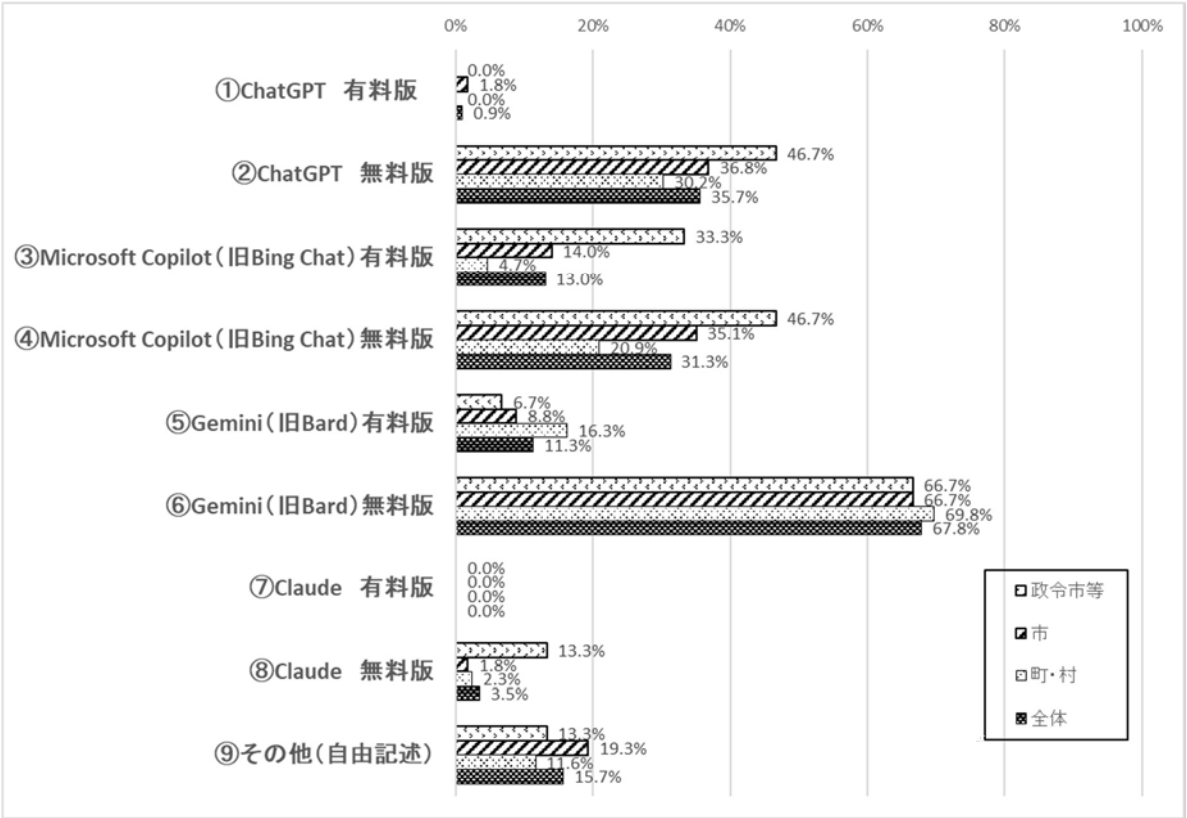
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①授業などの学習活動への利用のため導入している	5	20.8%	24	16.9%	22	12.4%	51	14.9%
②業務の効率化への利用のため導入している	15	62.5%	56	39.4%	39	22.0%	110	32.1%
③各学校の判断に任せている	9	37.5%	81	57.0%	106	59.9%	196	57.1%
④生成AIパイロット校・指定校のみ利用している	2	8.3%	9	6.3%	3	1.7%	14	4.1%
⑤生成AIの利用を禁止もしくは制限している	3	12.5%	19	13.4%	22	12.4%	44	12.8%
無回答	2	8.3%	3	2.1%	19	10.7%	24	7.0%
回答数合計	36	150.0%	192	135.2%	211	119.2%	439	128.0%
回答者数(母数)	24		142		177		343	



※導入している自治体でも授業利用 (①) が全体で 14.9%、業務利用 (②) が 32.1%と差があり、授業利用はまだ浸透していない。また、「③各学校の判断に任せている」自治体は 57.1%となっており、現場判断で生成 AI を活用しているケースが多いと分かる。

1-4-19 「1-4-18」で①または②と回答した方に伺います。利用を許可している生成 AI はどれですか。(いくつでも)

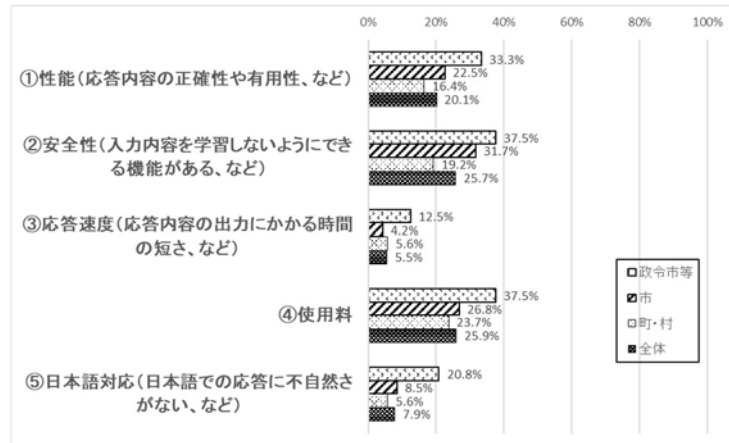
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①ChatGPT 有料版			1	1.8%			1	0.9%
②ChatGPT 無料版	7	46.7%	21	36.8%	13	30.2%	41	35.7%
③Microsoft Copilot(旧Bing Chat) 有料版	5	33.3%	8	14.0%	2	4.7%	15	13.0%
④Microsoft Copilot(旧Bing Chat) 無料版	7	46.7%	20	35.1%	9	20.9%	36	31.3%
⑤Gemini(旧Bard) 有料版	1	6.7%	5	8.8%	7	16.3%	13	11.3%
⑥Gemini(旧Bard) 無料版	10	66.7%	38	66.7%	30	69.8%	78	67.8%
⑦Claude 有料版								
⑧Claude 無料版	2	13.3%	1	1.8%	1	2.3%	4	3.5%
⑨その他(自由記述)	2	13.3%	11	19.3%	5	11.6%	18	15.7%
無回答								
回答数合計	34	226.7%	105	184.2%	67	155.8%	206	179.1%
回答者数(母数)	15		57		43		115	



※「⑥Gemini(旧 Bard)無料版」の利用が自治体規模に関わらず多く、全体で 67.8%となっている。自由記述では、「Canva」「NotebookLM」「スクール AI」などが挙げられた。

1-4-20 「1-4-19」で選択したアプリの選定基準として重視した点を教えてください。(いくつでも)

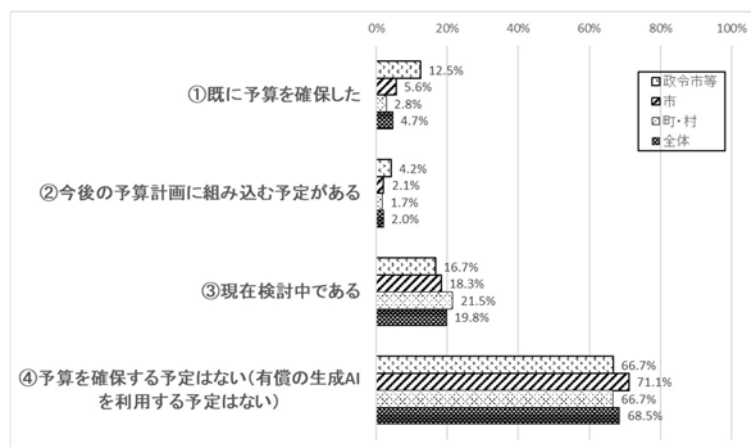
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①性能(応答内容の正確性や有用性、など)	8	33.3%	32	22.5%	29	16.4%	69	20.1%
②安全性(入力内容を学習しないようにできる機能がある、など)	9	37.5%	45	31.7%	34	19.2%	88	25.7%
③応答速度(応答内容の出力にかかる時間の短さ、など)	3	12.5%	6	4.2%	10	5.6%	19	5.5%
④使用料	9	37.5%	38	26.8%	42	23.7%	89	25.9%
⑤日本語対応(日本語での応答に不自然さが無い、など)	5	20.8%	12	8.5%	10	5.6%	27	7.9%
無回答	8	33.3%	69	48.6%	117	66.1%	194	56.6%
回答数合計	42	175.0%	202	142.3%	242	136.7%	486	141.7%
回答者数(母数)	24		142		177		343	



※「①性能(応答内容の正確性や有用性、など)」「②安全性(入力内容を学習しないようにできる機能がある、など)」「④使用料」がそれぞれ全体で2割を超えている。

1-4-21 学校で有償の生成AIを利用するための予算について伺います。

	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①既に予算を確保した	3	12.5%	8	5.6%	5	2.8%	16	4.7%
②今後の予算計画に組み込む予定がある	1	4.2%	3	2.1%	3	1.7%	7	2.0%
③現在検討中である	4	16.7%	26	18.3%	38	21.5%	68	19.8%
④予算を確保する予定はない(有償の生成AIを利用する予定はない)	16	66.7%	101	71.1%	118	66.7%	235	68.5%
無回答			4	2.8%	13	7.3%	17	5.0%
回答者数(母数)	24	100.0%	142	100.0%	177	100.0%	343	100.0%



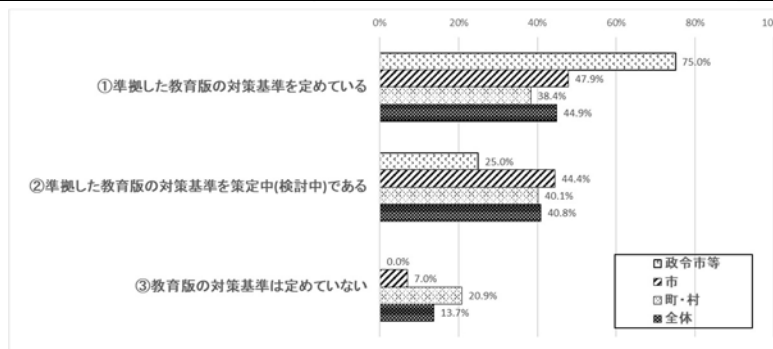
※「④予算を確保する予定はない(有償の生成AIを利用する予定はない)」が自治体規模に関わらず7割前後となっており、多くの自治体が無料版を基本としての運用(運用予定)であると考えられる。

1-5 情報セキュリティに関する項目

1-5-1 文部科学省の教育情報セキュリティポリシーに関するガイドラインに沿った教育版の対策基準を定めていますか。

※各自治体においては、首長部局と共通の教育情報に関するセキュリティポリシーに基づいて教育委員会ごとに「教育版の対策基準」を決めることが求められています。

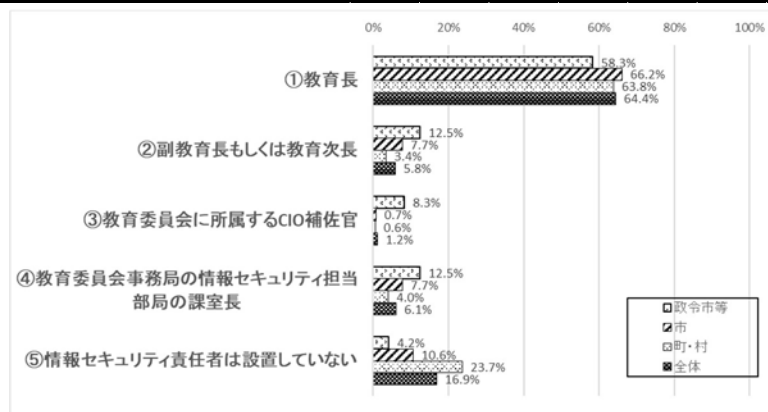
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①準拠した教育版の対策基準を定めている	18	75.0%	68	47.9%	68	38.4%	154	44.9%
②準拠した教育版の対策基準を策定中(検討中)である	6	25.0%	63	44.4%	71	40.1%	140	40.8%
③教育版の対策基準は定めていない			10	7.0%	37	20.9%	47	13.7%
無回答			1	0.7%	1	0.6%	2	0.6%
回答者数(母数)	24	100.0%	142	100.0%	177	100.0%	343	100.0%



※「①準拠した教育版の対策基準を定めている」は政令市等が75.0%、市は47.9%、町・村は38.4%と自治体規模で差が出ている。町・村では「③教育版の対策基準は定めてない」が20.9%である。

1-5-2 教育委員会内のCISOまたは統括教育情報セキュリティ責任者は誰ですか。

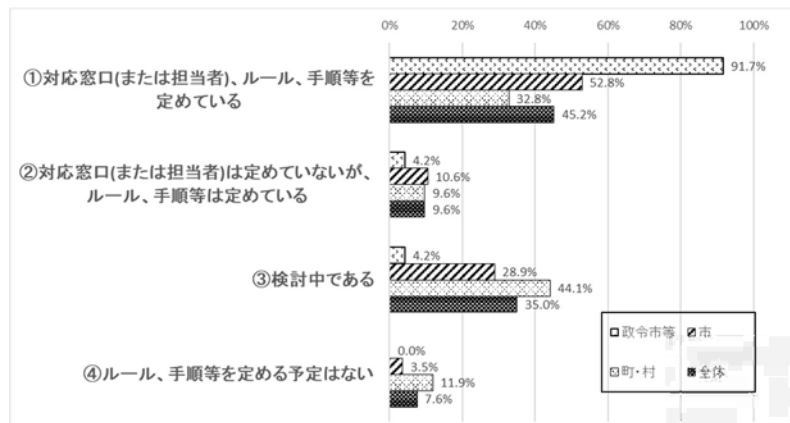
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①教育長	14	58.3%	94	66.2%	113	63.8%	221	64.4%
②副教育長もしくは教育次長	3	12.5%	11	7.7%	6	3.4%	20	5.8%
③教育委員会に所属するCIO補佐官	2	8.3%	1	0.7%	1	0.6%	4	1.2%
④教育委員会事務局の情報セキュリティ担当部局の課室長	3	12.5%	11	7.7%	7	4.0%	21	6.1%
⑤情報セキュリティ責任者は設置していない	1	4.2%	15	10.6%	42	23.7%	58	16.9%
無回答	1	4.2%	10	7.0%	8	4.5%	19	5.5%
回答者数(母数)	24	100.0%	142	100.0%	177	100.0%	343	100.0%



※「①教育長」が最も多く全体で64.4%である。「⑤情報セキュリティ責任者は設置していない」が町・村で23.7%である。

1-5-3 セキュリティ事故に備えて、教育委員会事務局内に統一的な窓口を設置し、報告ルール、対応手順等を定めていますか。

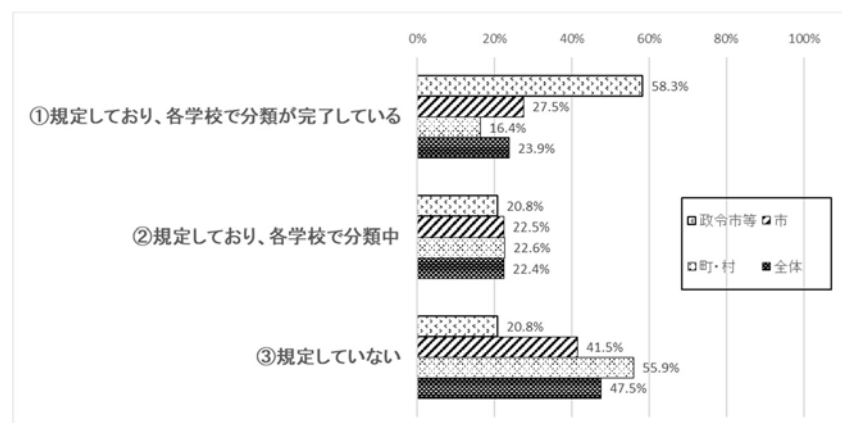
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①対応窓口(または担当者)、ルール、手順等を定めている	22	91.7%	75	52.8%	58	32.8%	155	45.2%
②対応窓口(または担当者)は定めていないが、ルール、手順等は定めている	1	4.2%	15	10.6%	17	9.6%	33	9.6%
③検討中である	1	4.2%	41	28.9%	78	44.1%	120	35.0%
④ルール、手順等を定める予定はない			5	3.5%	21	11.9%	26	7.6%
無回答			6	4.2%	3	1.7%	9	2.6%
回答者数(母数)	24	100.0%	142	100.0%	177	100.0%	343	100.0%



※「①対応窓口(または担当者)、ルール、手順等を定めている」は自治体規模で差があり、政令市等では91.7%、市で52.8%、町・村で32.8%となっている。

1-5-4 セキュリティポリシーの中で、文部科学省のセキュリティガイドライン(令和7年3月)に準じた情報資産の分類を行うよう規定していますか。

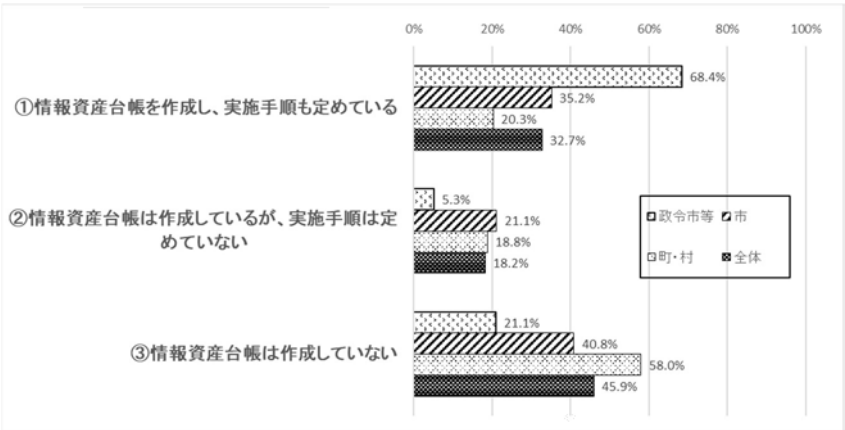
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①規定しており、各学校で分類が完了している	14	58.3%	39	27.5%	29	16.4%	82	23.9%
②規定しており、各学校で分類中	5	20.8%	32	22.5%	40	22.6%	77	22.4%
③規定していない	5	20.8%	59	41.5%	99	55.9%	163	47.5%
無回答			12	8.5%	9	5.1%	21	6.1%
回答者数(母数)	24	100.0%	142	100.0%	177	100.0%	343	100.0%



※「①規定しており、各学校で分類が完了している」は自治体規模で差があり、政令市等が58.3%、市が27.5%、町・村が16.4%となっている。町・村では「③規定していない」が55.9%となっている。教育委員会単位での検討は難しいと考えられる。

1-5-5 「1-5-4」で①、②を選択された方に伺います。学校で標準的に所管する情報資産について、分類を定義した標準情報資産台帳を作成し、実施手順に基づいた運用管理を行っていますか。

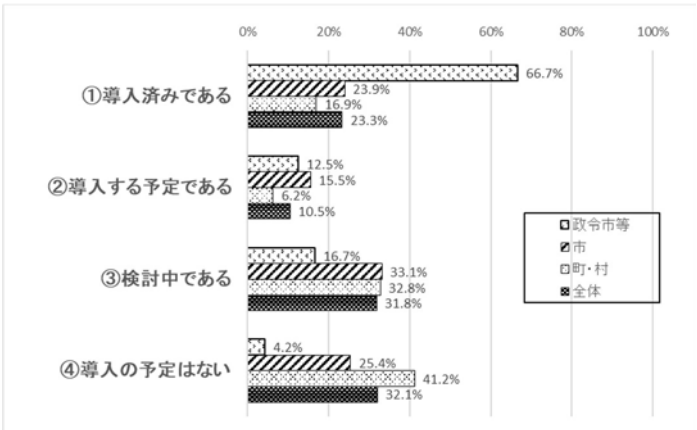
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①情報資産台帳を作成し、実施手順も定めている	13	68.4%	25	35.2%	14	20.3%	52	32.7%
②情報資産台帳は作成しているが、実施手順は定めていない	1	5.3%	15	21.1%	13	18.8%	29	18.2%
③情報資産台帳は作成していない	4	21.1%	29	40.8%	40	58.0%	73	45.9%
無回答	1	5.3%	2	2.8%	2	2.9%	5	3.1%
回答者数(母数)	19	100.0%	71	100.0%	69	100.0%	159	100.0%



※自治体規模で差が大きく「①情報資産台帳を作成し、実施手順も定めている」は、政令市等が 68.4%、市が 35.2%、町・村が 20.3%となっている。町・村では「③情報資産台帳は作成していない」が 58.0%となっている。

1-5-6 教職員が学校内のシステムを利用する際の仕組みとして、二要素認証(多要素認証)は導入していますか。※二要素認証：ID/パスワードに加えて、物理認証や生体認証を併用する個人認証方式のこと。

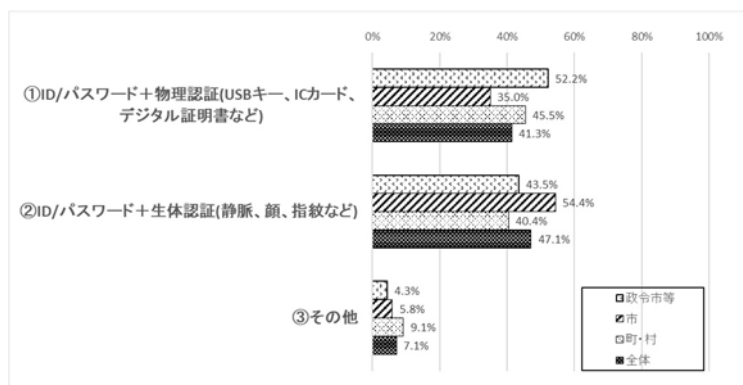
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①導入済みである	16	66.7%	34	23.9%	30	16.9%	80	23.3%
②導入する予定である	3	12.5%	22	15.5%	11	6.2%	36	10.5%
③検討中である	4	16.7%	47	33.1%	58	32.8%	109	31.8%
④導入の予定はない	1	4.2%	36	25.4%	73	41.2%	110	32.1%
無回答			3	2.1%	5	2.8%	8	2.3%
回答者数(母数)	24	100.0%	142	100.0%	177	100.0%	343	100.0%



※「①導入済みである」は政令市等だけが 66.7%と高く、町・村では「④導入の予定はない」が 41.2%である。

1-5-7 「1-5-6」で①～③と回答した方に伺います。導入済みまたは導入予定の二要素認証(多要素認証)の仕組みについて、当てはまるものを選んでください。

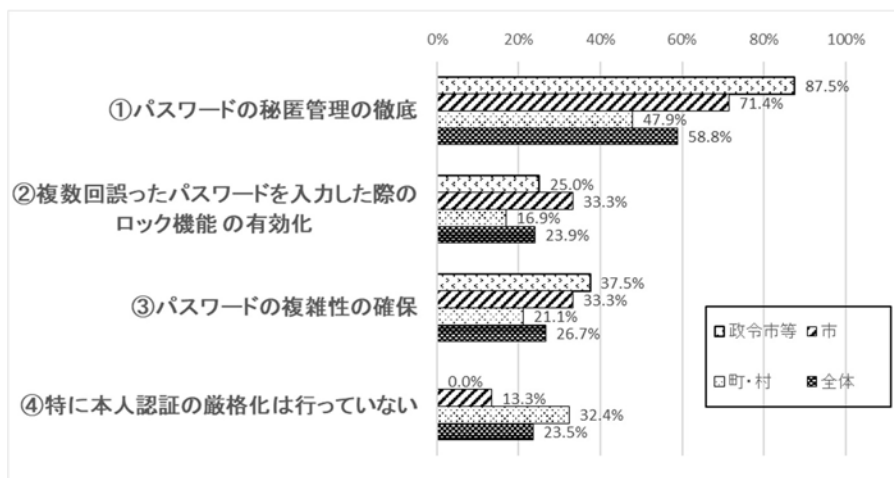
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①ID/パスワード+物理認証(USBキー、ICカード、デジタル証明書など)	12	52.2%	36	35.0%	45	45.5%	93	41.3%
②ID/パスワード+生体認証(静脈、顔、指紋など)	10	43.5%	56	54.4%	40	40.4%	106	47.1%
③その他	1	4.3%	6	5.8%	9	9.1%	16	7.1%
無回答			5	4.9%	5	5.1%	10	4.4%
回答者数(母数)	23	100.0%	103	100.0%	99	100.0%	225	100.0%



※全体で「①ID/パスワード+物理認証(USB キー、IC カード、デジタル証明書など)」は 41.3%、「②ID/パスワード+生体認証(静脈、顔、指紋など)」は 47.1%である。

1-5-8 「1-5-6」で②～④を選択された方に伺います。次のような本人確認の厳格化を行っていますか。(いくつでも)

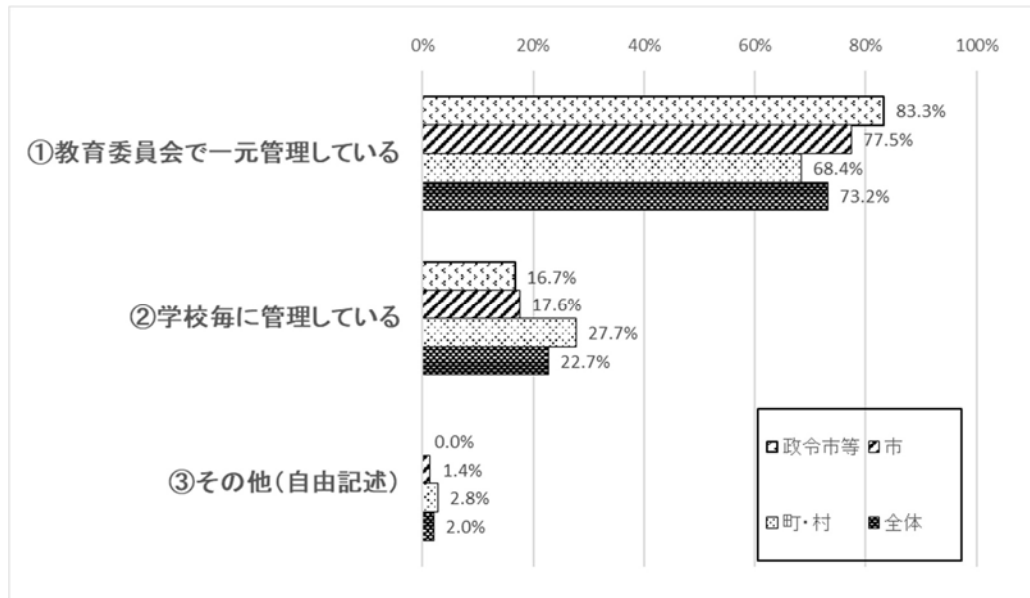
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①パスワードの秘匿管理の徹底	7	87.5%	75	71.4%	68	47.9%	150	58.8%
②複数回誤ったパスワードを入力した際のロック機能の有効化	2	25.0%	35	33.3%	24	16.9%	61	23.9%
③パスワードの複雑性の確保	3	37.5%	35	33.3%	30	21.1%	68	26.7%
④特に本人認証の厳格化は行っていない			14	13.3%	46	32.4%	60	23.5%
無回答			6	5.7%	12	8.5%	18	7.1%
回答数合計	12	150.0%	165	157.1%	180	126.8%	357	140.0%
回答者数(母数)	8		105		142		255	



※「①パスワードの秘匿管理の徹底」が最も多く、全体で 58.8%となっている。町・村では「④特に本人認証の厳格化は行っていない」が 32.4%あり懸念が残る。

1-5-9 児童・生徒のアカウントは、どのように管理していますか。

	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①教育委員会で一元管理している	20	83.3%	110	77.5%	121	68.4%	251	73.2%
②学校毎に管理している	4	16.7%	25	17.6%	49	27.7%	78	22.7%
③その他(自由記述)			2	1.4%	5	2.8%	7	2.0%
無回答			5	3.5%	2	1.1%	7	2.0%
回答者数(母数)	24	100.0%	142	100.0%	177	100.0%	343	100.0%



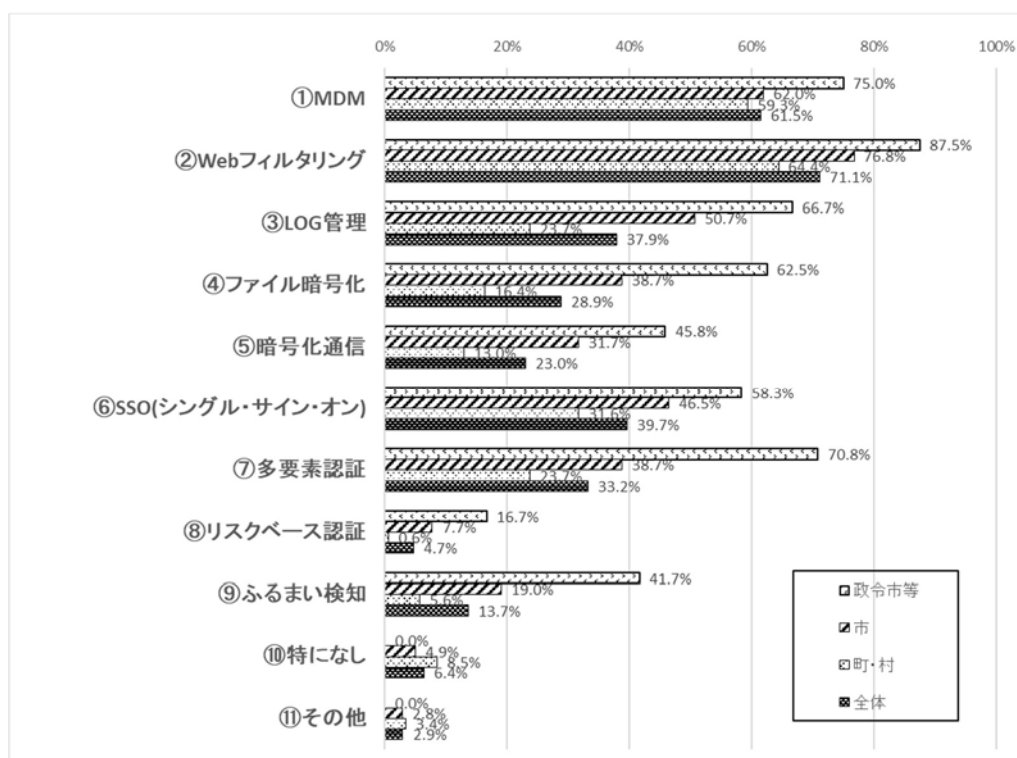
※「①教育委員会で一元管理している」は全体で 73.2%である。「②学校毎に管理している」は 22.7%である。

1-5-10 校務用端末に導入済みまたは導入予定のセキュリティ対策として、当てはまるものを選んでください。(いくつでも)

※リスクベース認証：システムへの接続において場所や時間などが通常と異なる場合などに ID・パスワードだけではなく追加の認証を行う方式

※ふるまい検知：通信内容を監視し、異常、あるいは不審な挙動を検知する仕組み

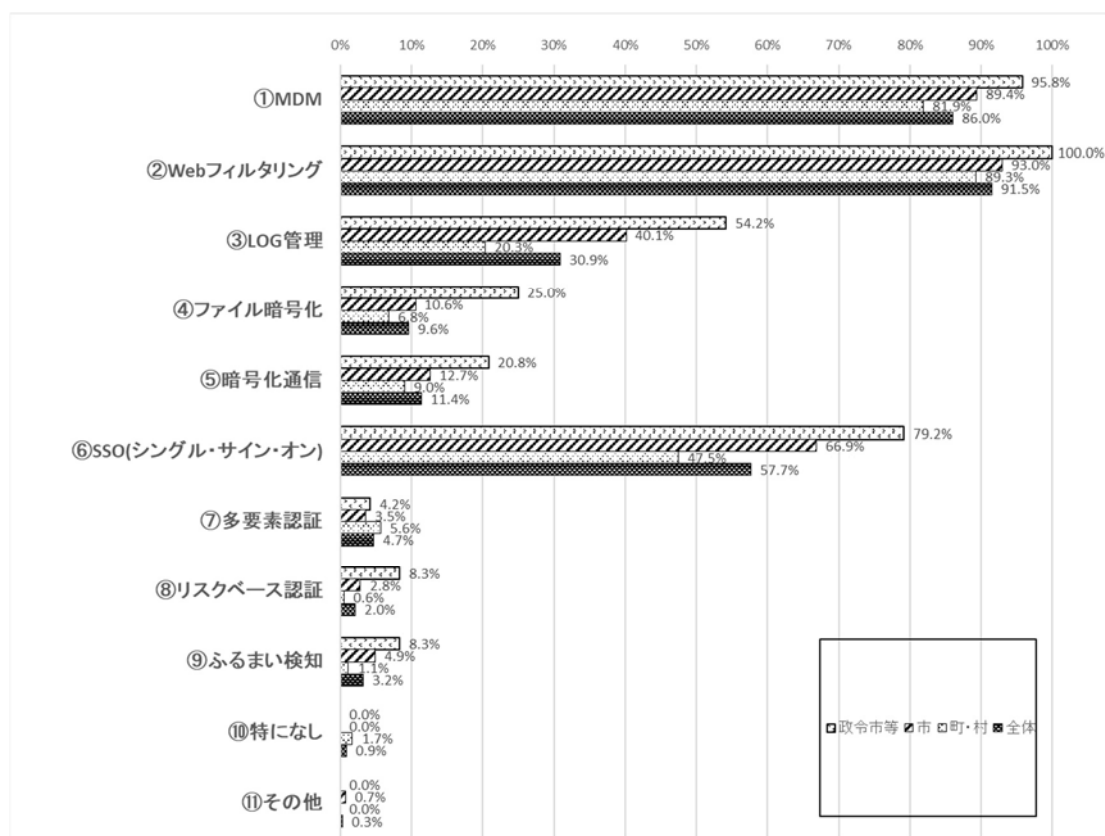
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①MDM	18	75.0%	88	62.0%	105	59.3%	211	61.5%
②Webフィルタリング	21	87.5%	109	76.8%	114	64.4%	244	71.1%
③LOG管理	16	66.7%	72	50.7%	42	23.7%	130	37.9%
④ファイル暗号化	15	62.5%	55	38.7%	29	16.4%	99	28.9%
⑤暗号化通信	11	45.8%	45	31.7%	23	13.0%	79	23.0%
⑥SSO(シングル・サイン・オン)	14	58.3%	66	46.5%	56	31.6%	136	39.7%
⑦多要素認証	17	70.8%	55	38.7%	42	23.7%	114	33.2%
⑧リスクベース認証	4	16.7%	11	7.7%	1	0.6%	16	4.7%
⑨ふるまい検知	10	41.7%	27	19.0%	10	5.6%	47	13.7%
⑩特になし			7	4.9%	15	8.5%	22	6.4%
⑪その他			4	2.8%	6	3.4%	10	2.9%
無回答			4	2.8%	4	2.3%	8	2.3%
回答数合計	126	525.0%	543	382.4%	447	252.5%	1,116	325.4%
回答者数(母数)	24		142		177		343	



※全体で「①MDM」は 61.5%、「②Web フィルタリング」は 71.1%と高い。政令市等では「③LOG 管理」66.7%、「④ファイル暗号化」62.5%、「⑦多要素認証」70.8%と概ね高く、自治体規模で大きな差がでている。

1-5-11 児童・生徒用1人1台端末に導入済みまたは導入予定のセキュリティ対策として、当てはまるものを選んでください。(いくつでも)

	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①MDM	23	95.8%	127	89.4%	145	81.9%	295	86.0%
②Webフィルタリング	24	100.0%	132	93.0%	158	89.3%	314	91.5%
③LOG管理	13	54.2%	57	40.1%	36	20.3%	106	30.9%
④ファイル暗号化	6	25.0%	15	10.6%	12	6.8%	33	9.6%
⑤暗号化通信	5	20.8%	18	12.7%	16	9.0%	39	11.4%
⑥SSO(シングル・サイン・オン)	19	79.2%	95	66.9%	84	47.5%	198	57.7%
⑦多要素認証	1	4.2%	5	3.5%	10	5.6%	16	4.7%
⑧リスクベース認証	2	8.3%	4	2.8%	1	0.6%	7	2.0%
⑨ふるまい検知	2	8.3%	7	4.9%	2	1.1%	11	3.2%
⑩特になし					3	1.7%	3	0.9%
⑪その他			1	0.7%			1	0.3%
無回答			3	2.1%	3	1.7%	6	1.7%
回答数合計	95	395.8%	464	326.8%	470	265.5%	1,029	300.0%
回答者数(母数)	24		142		177		343	



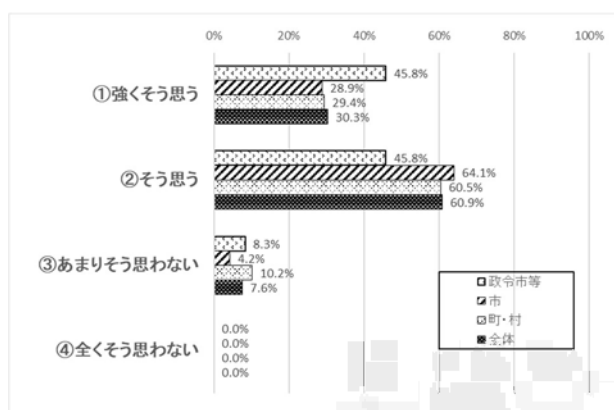
※全体で「①MDM」が86.0%、「②Web フィルタリング」が91.5%、「⑥SSO (シングルサインオン)」が57.7%である。

1-6 教育の情報化に対する意識に関する項目

1-6-1 教育の情報化に向けて次の質問項目についてどう思われますか。 それぞれの質問項目別にお答えください。

1-6-1(1) 導入されている各種端末のセキュリティを強化すべきである。

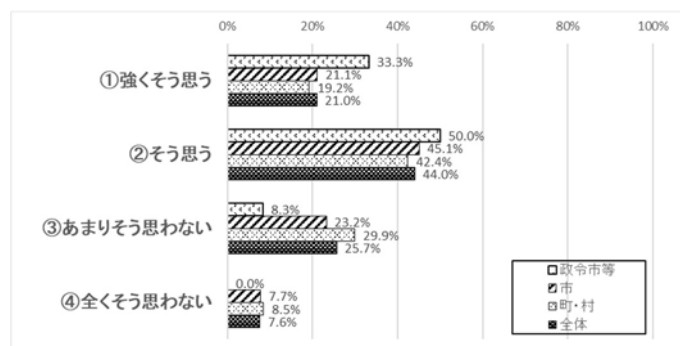
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①強く思う	11	45.8%	41	28.9%	52	29.4%	104	30.3%
②そう思う	11	45.8%	91	64.1%	107	60.5%	209	60.9%
③あまりそう思わない	2	8.3%	6	4.2%	18	10.2%	26	7.6%
④全くそう思わない								
無回答			4	2.8%			4	1.2%
回答者数(母数)	24	100.0%	142	100.0%	177	100.0%	343	100.0%



※「①強く思う」「②そう思う」を合わせて全体で 91.2%となっている。

1-6-1(2) セキュリティを確保して、学校外で校務処理を可能とすべきである。

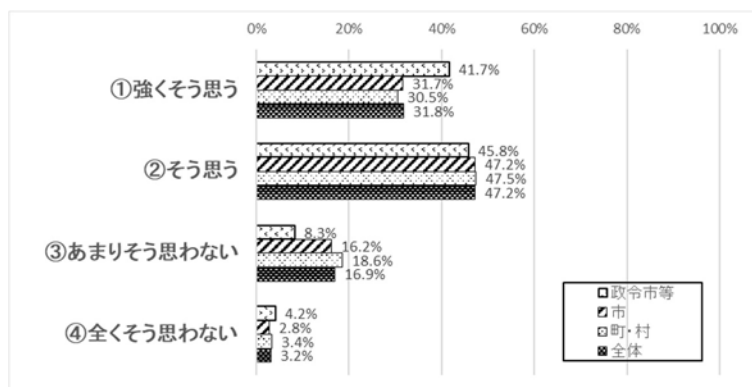
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①強く思う	8	33.3%	30	21.1%	34	19.2%	72	21.0%
②そう思う	12	50.0%	64	45.1%	75	42.4%	151	44.0%
③あまりそう思わない	2	8.3%	33	23.2%	53	29.9%	88	25.7%
④全くそう思わない			11	7.7%	15	8.5%	26	7.6%
無回答	2	8.3%	4	2.8%			6	1.7%
回答者数(母数)	24	100.0%	142	100.0%	177	100.0%	343	100.0%



※「①強く思う」「②そう思う」を合わせて全体で 65.0%となっている。「1-2-4」では、「学校外での校務処理を認めていない」教育委員会が 5 割を超えていたが、担当者はセキュリティを確保して、学校外で校務処理を可能とすべきであるとする回答が多数を占めている。

1-6-1(3) 授業での ICT 活用、校務支援システムの導入などで、ICT 支援員を増員すべきである。

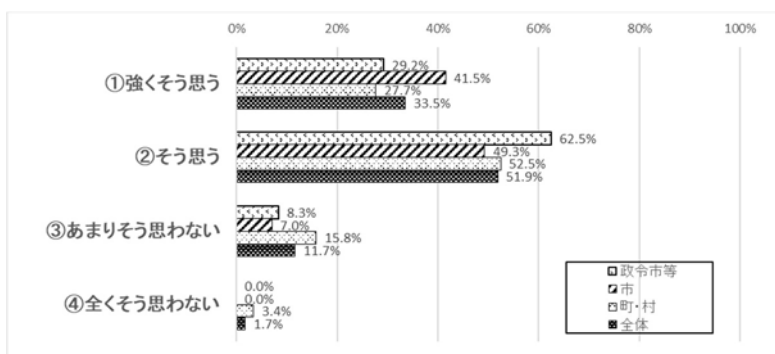
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①強くそう思う	10	41.7%	45	31.7%	54	30.5%	109	31.8%
②そう思う	11	45.8%	67	47.2%	84	47.5%	162	47.2%
③あまりそう思わない	2	8.3%	23	16.2%	33	18.6%	58	16.9%
④全くそう思わない	1	4.2%	4	2.8%	6	3.4%	11	3.2%
無回答			3	2.1%			3	0.9%
回答者数(母数)	24	100.0%	142	100.0%	177	100.0%	343	100.0%



※「①強くそう思う」「②そう思う」を合わせて、全体で 79.0%となっている。ICT 支援員の配置、増員は多く望まれている。

1-6-1(4) ICT 活用は学校により差が出ている。

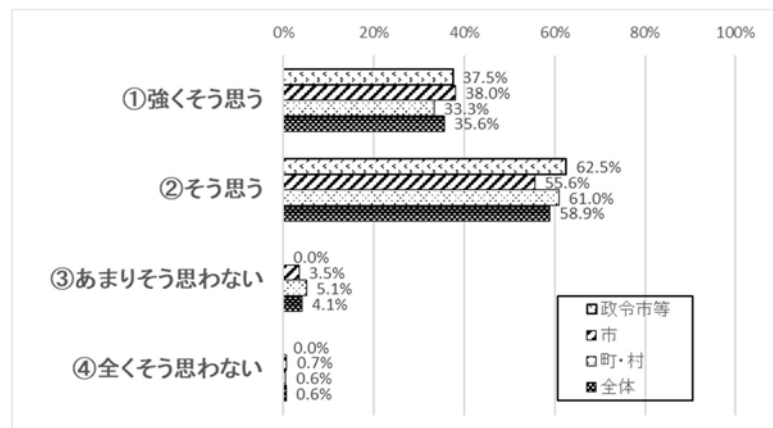
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①強くそう思う	7	29.2%	59	41.5%	49	27.7%	115	33.5%
②そう思う	15	62.5%	70	49.3%	93	52.5%	178	51.9%
③あまりそう思わない	2	8.3%	10	7.0%	28	15.8%	40	11.7%
④全くそう思わない					6	3.4%	6	1.7%
無回答			3	2.1%	1	0.6%	4	1.2%
回答者数(母数)	24	100.0%	142	100.0%	177	100.0%	343	100.0%



※「①強くそう思う」「②そう思う」を合わせて全体で 85.4%となっており、学校間での差が大きくなっているものと考えられる。

1-6-1(5) ICT 活用を推進するために研修が必要である。

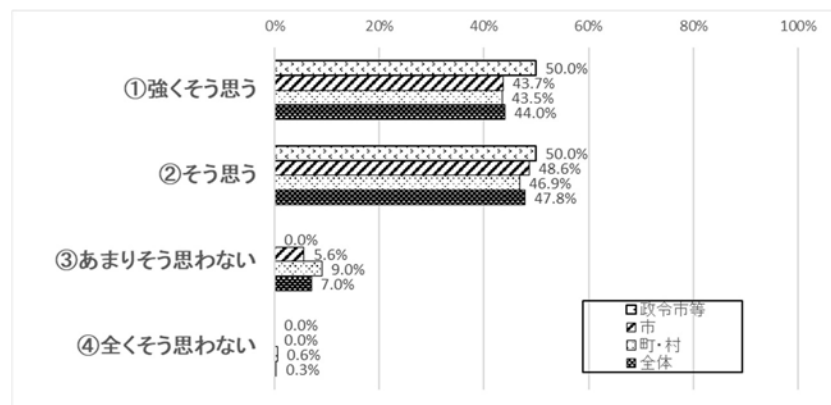
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①強く思う	9	37.5%	54	38.0%	59	33.3%	122	35.6%
②そう思う	15	62.5%	79	55.6%	108	61.0%	202	58.9%
③あまりそう思わない			5	3.5%	9	5.1%	14	4.1%
④全くそう思わない			1	0.7%	1	0.6%	2	0.6%
無回答			3	2.1%			3	0.9%
回答者数(母数)	24	100.0%	142	100.0%	177	100.0%	343	100.0%



※「①強く思う」「②そう思う」を合わせて、全体で 94.5%と非常に高くなっている。研修の必要性が増しているものと考えられる。

1-6-1(6) 1人1台端末環境を有効活用・運用するために、保守サポートの予算を充実すべきである。

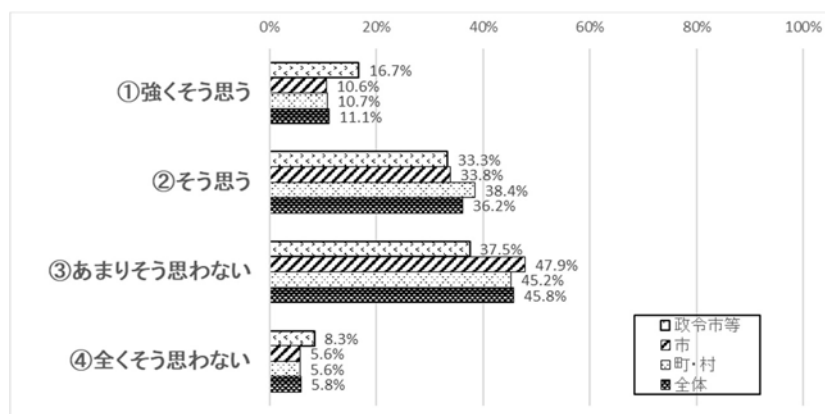
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①強く思う	12	50.0%	62	43.7%	77	43.5%	151	44.0%
②そう思う	12	50.0%	69	48.6%	83	46.9%	164	47.8%
③あまりそう思わない			8	5.6%	16	9.0%	24	7.0%
④全くそう思わない					1	0.6%	1	0.3%
無回答			3	2.1%			3	0.9%
回答者数(母数)	24	100.0%	142	100.0%	177	100.0%	343	100.0%



※「①強く思う」「②そう思う」を合わせて全体で 91.8%となっており、保守サポートの必要性が増しているものと考えられる。

1-6-1(7) ICT 支援員だけではなく、カリキュラムコーディネータやソーシャルケースワーカー等も数値目標を提示して配備すべきである。

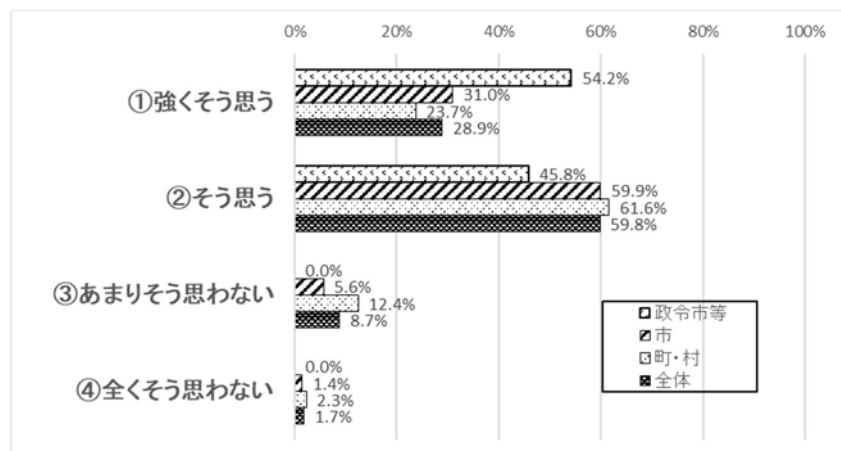
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①強くそう思う	4	16.7%	15	10.6%	19	10.7%	38	11.1%
②そう思う	8	33.3%	48	33.8%	68	38.4%	124	36.2%
③あまりそう思わない	9	37.5%	68	47.9%	80	45.2%	157	45.8%
④全くそう思わない	2	8.3%	8	5.6%	10	5.6%	20	5.8%
無回答	1	4.2%	3	2.1%			4	1.2%
回答者数(母数)	24	100.0%	142	100.0%	177	100.0%	343	100.0%



※「①強くそう思う」「②そう思う」を合わせて全体で 47.3%、「③あまりそう思わない」「④全くそう思わない」を合わせて 51.6%であり、意見が分かれている。

1-6-1(8) 学習系システムと校務系システムとの連携を進めデータ利活用を推進すべきである。

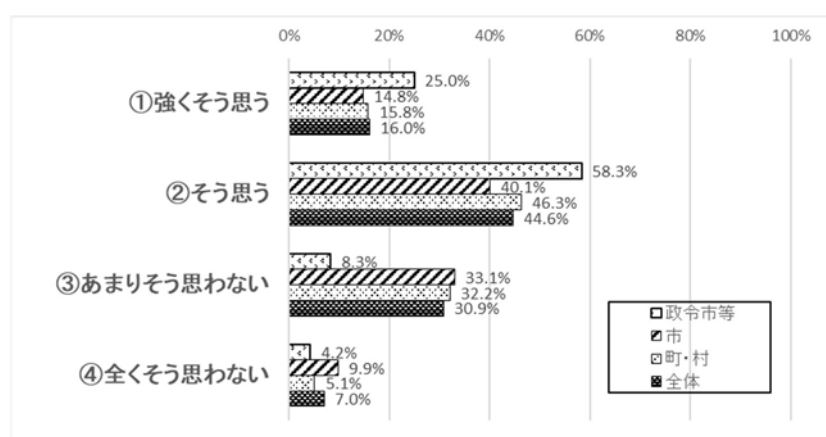
	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①強くそう思う	13	54.2%	44	31.0%	42	23.7%	99	28.9%
②そう思う	11	45.8%	85	59.9%	109	61.6%	205	59.8%
③あまりそう思わない			8	5.6%	22	12.4%	30	8.7%
④全くそう思わない			2	1.4%	4	2.3%	6	1.7%
無回答			3	2.1%			3	0.9%
回答者数(母数)	24	100.0%	142	100.0%	177	100.0%	343	100.0%



※「①強くそう思う」「②そう思う」を合わせて全体で 88.7%となっている。特に政令市等は「①強くそう思う」が 54.2%と高く、強く望まれている。

1-6-1(9) コンピュータ教室は、デジタル図書室、学習・情報センター、アクティブラーニングスペース、ファブスペース、STEAM ラボ、遠隔授業スタジオなど発展的活用を行うべきである。

	政令市等		市		町・村		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①強くそう思う	6	25.0%	21	14.8%	28	15.8%	55	16.0%
②そう思う	14	58.3%	57	40.1%	82	46.3%	153	44.6%
③あまりそう思わない	2	8.3%	47	33.1%	57	32.2%	106	30.9%
④全くそう思わない	1	4.2%	14	9.9%	9	5.1%	24	7.0%
無回答	1	4.2%	3	2.1%	1	0.6%	5	1.5%
回答者数(母数)	24	100.0%	142	100.0%	177	100.0%	343	100.0%



※「①強くそう思う」「②そう思う」を合わせて全体で 60.6%となっており、特に政令市等は 83.3%と高くなっている。「③あまりそう思わない」「④全くそう思わない」を合わせて市は 44.0%、町・村で 37.3%あり、コンピュータ教室をどのように活用するのが良いか、活用されているか等、次回の調査で確認したい。

第Ⅲ部 学校編

学校編は、全国の公立小中学校に対して調査を行い、得られた結果を集計し掲載したものである。

調査内容は、以下のカテゴリに分けて掲載されている。

- 2-0 プロフィール
- 2-1 教育 DX に関する項目
 - 2-1-1 ネットワーク及び学習記録に関する項目
 - 2-1-2 ハードウェアに関する項目
 - 2-1-3 ソフトウェアに関する項目
- 2-2 ICT に関する保守サポートの項目
- 2-3 データの利活用に関する項目
- 2-5-4 教育の情報化に対する意識に関する項目

学校編では、さらに「3」として、先進地域・一般地域の分類で集計し、特に注目すべき点があった設問についてのみ掲載している。

2 全体的傾向（小中学校別の集計）

2-0 回答者プロフィール

学校を対象とする調査は、小学校 3,749 校、中学校 1,610 校の合計 5,359 校を対象として選び、そのうち小学校 1,322 校、中学校 653 校から回答が得られた。以下に、今回の調査にこれらの学校のプロフィールとして、児童・生徒数、学級数、教員数という 3 つの観点から、回答をいただいた学校数の分布を掲載する。

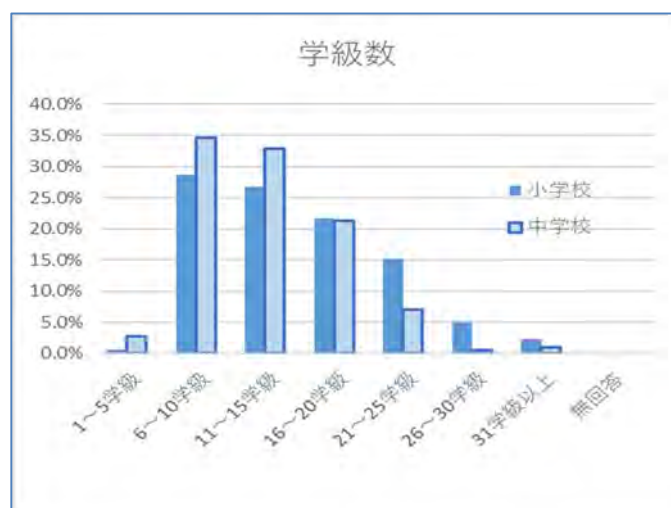
児童・生徒数別学校数分布

児童・生徒数	小学校		中学校		全体	
	学校数	比率	学校数	比率	学校数	比率
1～50人	5	0.4%	2	0.3%	7	0.4%
51～100人	119	9.0%	10	1.5%	129	6.5%
101～150人	143	10.8%	39	6.0%	182	9.2%
151～200人	118	8.9%	69	10.6%	187	9.5%
201～250人	114	8.6%	69	10.6%	183	9.3%
251～300人	129	9.8%	74	11.3%	203	10.3%
301～350人	119	9.0%	76	11.6%	195	9.9%
351～400人	97	7.3%	65	10.0%	162	8.2%
401～450人	86	6.5%	68	10.4%	154	7.8%
451～500人	92	7.0%	46	7.0%	138	7.0%
501～550人	83	6.3%	46	7.0%	129	6.5%
551～600人	66	5.0%	36	5.5%	102	5.2%
601～650人	56	4.2%	25	3.8%	81	4.1%
651～700人	43	3.3%	11	1.7%	54	2.7%
701～750人	29	2.2%	5	0.8%	34	1.7%
751人以上	23	1.7%	12	1.8%	35	1.8%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	1,322	100.0%	653	100.0%	1,975	100.0%



学級数別学校数分布

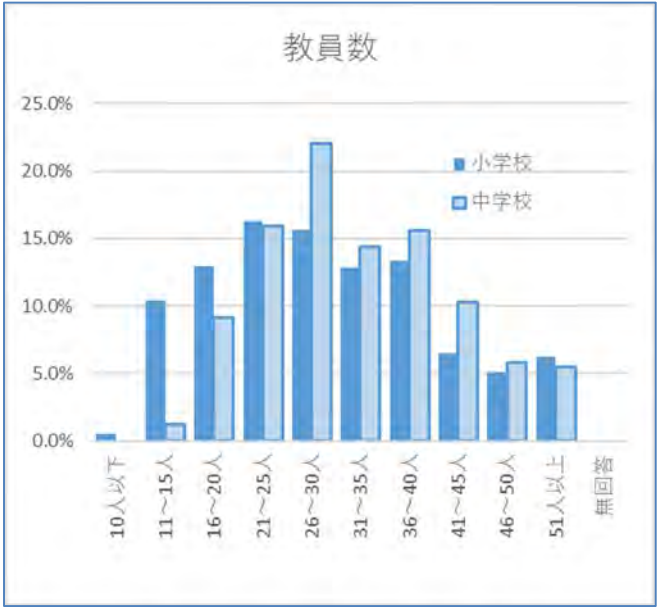
学級数	小学校		中学校		全体	
	学校数	比率	学校数	比率	学校数	比率
1～5学級	8	0.6%	18	2.8%	26	1.3%
6～10学級	378	28.6%	226	34.7%	604	30.6%
11～15学級	353	26.7%	214	32.8%	567	28.7%
16～20学級	286	21.6%	139	21.3%	425	21.5%
21～25学級	200	15.1%	46	7.1%	246	12.5%
26～30学級	67	5.1%	3	0.5%	70	3.5%
31学級以上	30	2.3%	6	0.9%	36	1.8%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	1,322	100.0%	652	100.0%	1,974	100.0%



(学校編)

教員数別学校数分布

教員数	小学校		中学校		全体	
	学校数	比率	学校数	比率	学校数	比率
10人以下	7	0.5%	0	0.0%	7	0.4%
11～15人	138	10.4%	8	1.2%	146	7.4%
16～20人	171	12.9%	60	9.2%	231	11.7%
21～25人	215	16.3%	104	15.9%	319	16.2%
26～30人	207	15.7%	144	22.1%	351	17.8%
31～35人	170	12.9%	94	14.4%	264	13.4%
36～40人	176	13.3%	102	15.6%	278	14.1%
41～45人	86	6.5%	67	10.3%	153	7.8%
46～50人	68	5.1%	38	5.8%	106	5.4%
51人以上	83	6.3%	36	5.5%	119	6.0%
無回答	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	1,321	100.0%	653	100.0%	1,974	100.0%

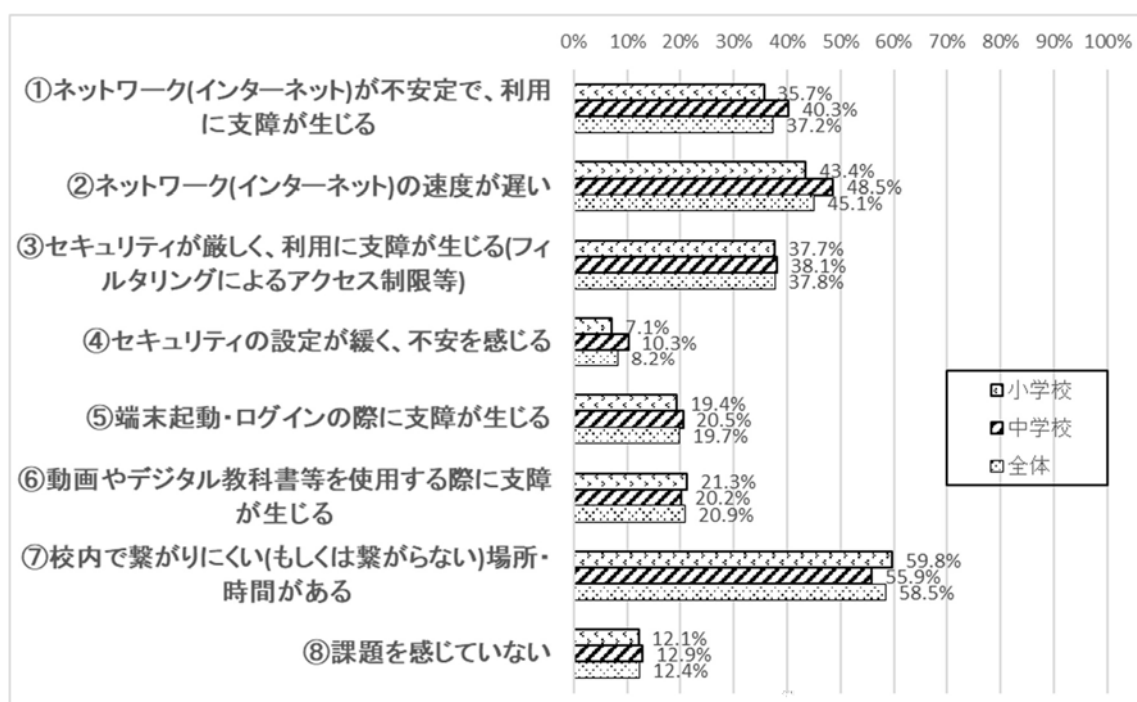


2-1 教育 DX に関する項目

2-1-1 ネットワーク及び校務に関する項目

2-1-1-1 ネットワークの利用について感じていることについて伺います。(いくつかでも)

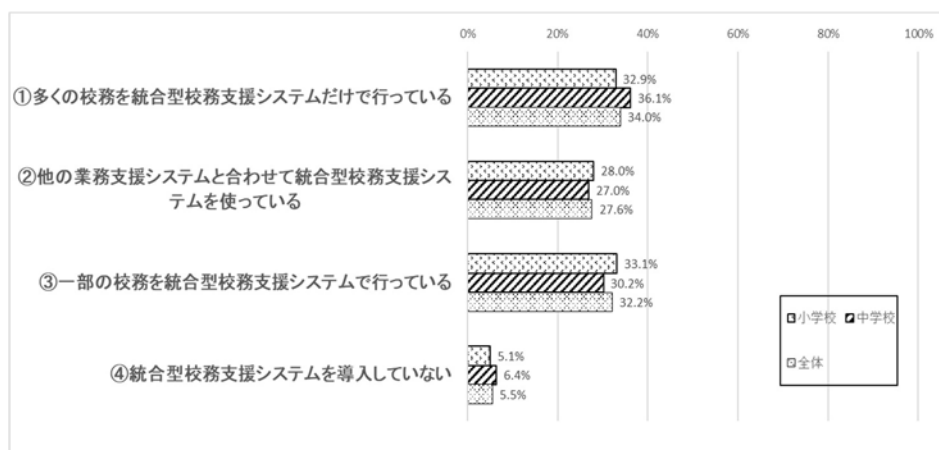
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①ネットワーク(インターネット)が不安定で、利用に支障が生じる	472	35.7%	263	40.3%	735	37.2%
②ネットワーク(インターネット)の速度が遅い	574	43.4%	317	48.5%	891	45.1%
③セキュリティが厳しく、利用に支障が生じる(フィルタリングによるアクセス制限等)	498	37.7%	249	38.1%	747	37.8%
④セキュリティの設定が緩く、不安を感じる	94	7.1%	67	10.3%	161	8.2%
⑤端末起動・ログインの際に支障が生じる	256	19.4%	134	20.5%	390	19.7%
⑥動画やデジタル教科書等を使用する際に支障が生じる	281	21.3%	132	20.2%	413	20.9%
⑦校内で繋がりにくい(もしくは繋がらない)場所・時間がある	790	59.8%	365	55.9%	1,155	58.5%
⑧課題を感じていない	160	12.1%	84	12.9%	244	12.4%
無回答	3	0.2%			3	0.2%
回答数合計	3,128	236.6%	1,611	246.7%	4,739	239.9%
回答者数(母数)	1,322		653		1,975	



※「⑦校内で繋がりにくい(もしくは繋がらない)場所・時間がある」が最も多く全体で(64.7%→58.5%)、次いで「②ネットワーク(インターネット)の速度が遅い」が(44.1%→45.1%)である。「⑧課題を感じていない」は(9.9%→12.4%)であり、前回調査から大きな改善は見られない。

2-1-1-2 統合型校務支援システムを活用していますか。

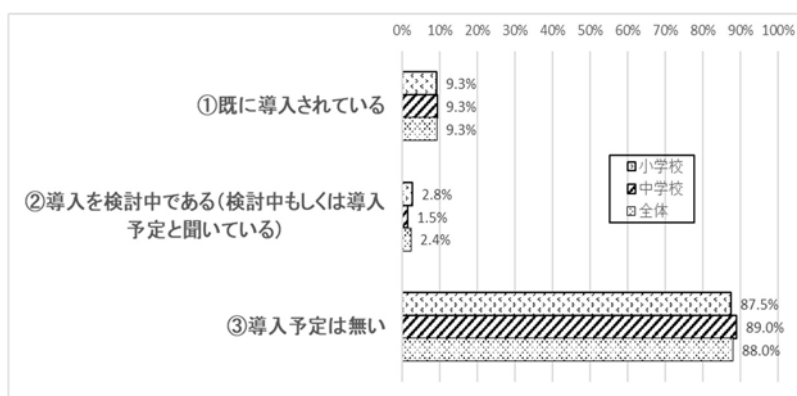
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①多くの校務を統合型校務支援システムだけで行っている	435	32.9%	236	36.1%	671	34.0%
②他の業務支援システムと合わせて統合型校務支援システムを使っている	370	28.0%	176	27.0%	546	27.6%
③一部の校務を統合型校務支援システムで行っている	438	33.1%	197	30.2%	635	32.2%
④統合型校務支援システムを導入していない	67	5.1%	42	6.4%	109	5.5%
無回答	12	0.9%	2	0.3%	14	0.7%
回答者数(母数)	1,322	100.0%	653	100.0%	1,975	100.0%



※「①多くの校務を統合型校務支援システムだけで行っている」は全体で 34.0%である。「②他の業務支援システムと合わせて統合型校務支援システムを使っている」が全体で 27.6%、「③一部の校務を統合型校務支援システムで行っている」が 32.2%あり、複数のシステムを使用している学校が多い。

2-1-1-3 教員用連絡ツール等としてのスマートフォン導入について伺います。

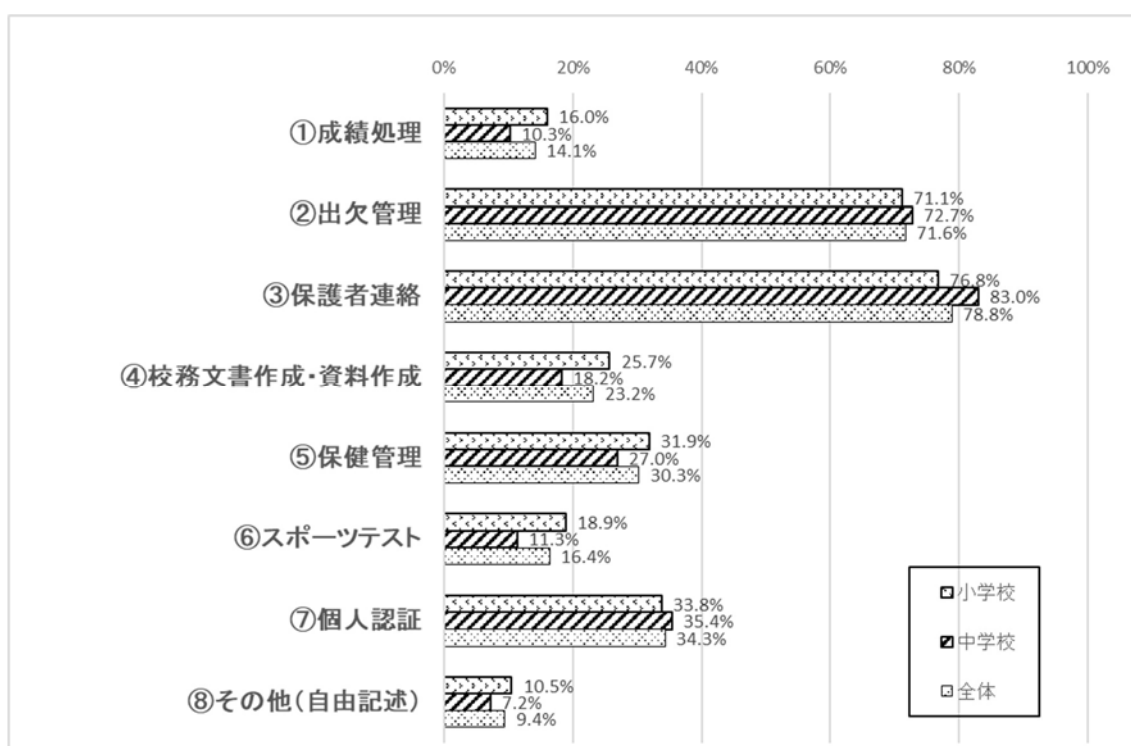
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①既に導入されている	123	9.3%	61	9.3%	184	9.3%
②導入を検討中である(検討中もしくは導入予定と聞いている)	37	2.8%	10	1.5%	47	2.4%
③導入予定は無い	1,157	87.5%	581	89.0%	1,738	88.0%
無回答	5	0.4%	1	0.2%	6	0.3%
回答者数(母数)	1,322	100.0%	653	100.0%	1,975	100.0%



※国の指針がないに関わらず 1 割近くが「①既に導入されている」と回答している。「③導入予定は無い」が全体で 88.0%であるが、スマートフォンの導入が進むと予想される。

2-1-1-4 スマートフォンが導入された場合、可能と考える業務はどれですか。（導入されている場合は、該当する業務をお答えください。）（いくつでも）

	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①成績処理	212	16.0%	67	10.3%	279	14.1%
②出欠管理	940	71.1%	475	72.7%	1,415	71.6%
③保護者連絡	1,015	76.8%	542	83.0%	1,557	78.8%
④校務文書作成・資料作成	340	25.7%	119	18.2%	459	23.2%
⑤保健管理	422	31.9%	176	27.0%	598	30.3%
⑥スポーツテスト	250	18.9%	74	11.3%	324	16.4%
⑦個人認証	447	33.8%	231	35.4%	678	34.3%
⑧その他(自由記述)	139	10.5%	47	7.2%	186	9.4%
無回答	69	5.2%	30	4.6%	99	5.0%
回答数合計	3,834	290.0%	1,761	269.7%	5,595	283.3%
回答者数(母数)	1,322		653		1,975	

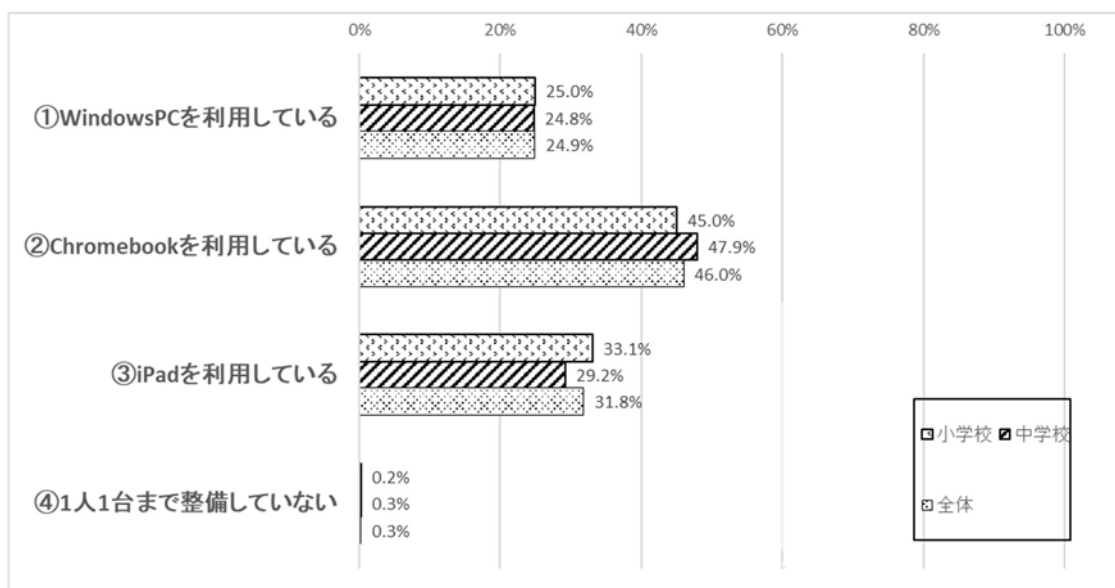


※「③保護者連絡」が全体で 78.8%、「②出欠管理」が 71.6%と高くなっている。「⑦個人認証」が全体で 34.3%あり、セキュリティ強化の面でもスマートフォン導入は効果が見込めると考えられている。自由記述では、「教職員間の連絡、情報共有」が最も多く、「緊急連絡、安全管理」が続いており、連絡・情報共有への期待が大きい。「記録・撮影」といった児童生徒の活動の様子や行事の記録等、デジタルカメラの代替としても考えられている。少数意見であるが、AI の活用や授業用アプリの活用、外国籍の児童生徒に対しての自動翻訳などがある一方で、紛失に対する不安もあった。

2-1-2 ハードウェアに関する項目

2-1-2-1 児童・生徒用の1人1台端末について伺います。端末は次のどれですか。(いくつでも)

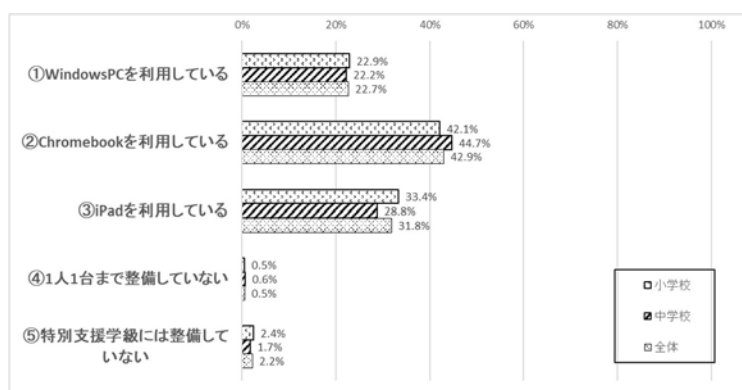
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①WindowsPCを利用している	330	25.0%	162	24.8%	492	24.9%
②Chromebookを利用している	595	45.0%	313	47.9%	908	46.0%
③iPadを利用している	438	33.1%	191	29.2%	629	31.8%
④1人1台まで整備していない	3	0.2%	2	0.3%	5	0.3%
無回答						
回答数合計	1,366	103.3%	668	102.3%	2,034	103.0%
回答者数(母数)	1,322		653		1,975	



※「②Chromebook を利用している」が全体で 46.0%と最も多い。

2-1-2-2 特別支援学級における児童・生徒用の1人1台端末について伺います。端末は次のどれですか。(いくつでも)

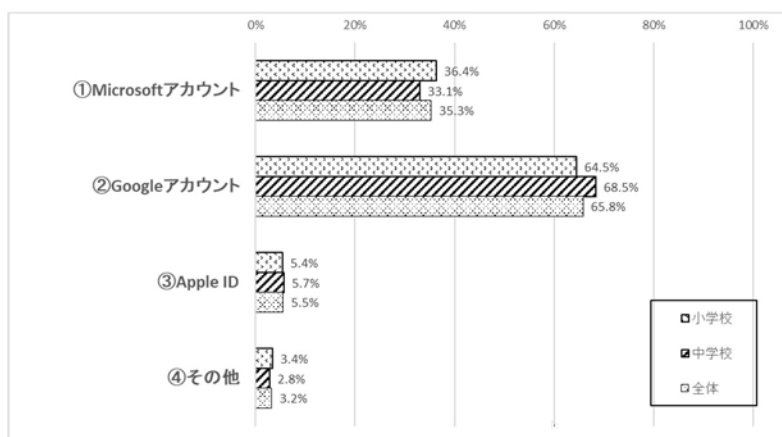
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①WindowsPCを利用している	303	22.9%	145	22.2%	448	22.7%
②Chromebookを利用している	556	42.1%	292	44.7%	848	42.9%
③iPadを利用している	441	33.4%	188	28.8%	629	31.8%
④1人1台まで整備していない	6	0.5%	4	0.6%	10	0.5%
⑤特別支援学級には整備していない	32	2.4%	11	1.7%	43	2.2%
無回答	47	3.6%	29	4.4%	76	3.8%
回答数合計	1,385	104.8%	669	102.5%	2,054	104.0%
回答者数(母数)	1,322		653		1,975	



※「②Chromebook を利用している」が全体で 42.9%と最も多い。

2-1-2-3 「2-1-2-1」で1人1台端末にログインする際の児童・生徒用アカウントは何を利用していますか。(いくつでも)

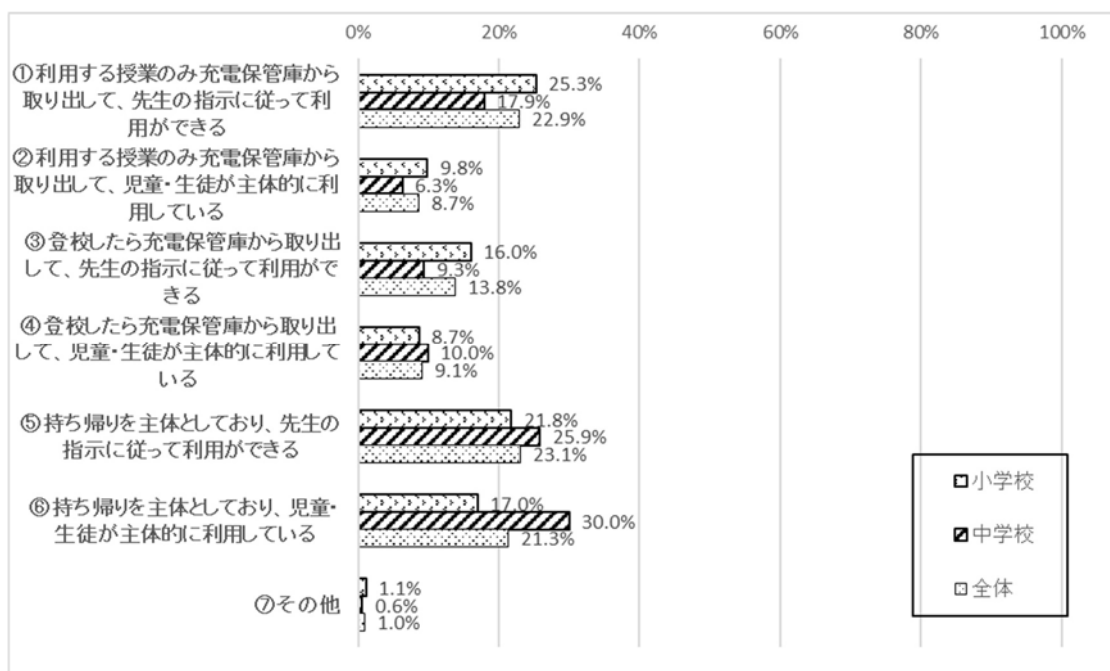
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①Microsoftアカウント	481	36.4%	216	33.1%	697	35.3%
②Googleアカウント	853	64.5%	447	68.5%	1,300	65.8%
③Apple ID	72	5.4%	37	5.7%	109	5.5%
④その他	45	3.4%	18	2.8%	63	3.2%
無回答	7	0.5%	1	0.2%	8	0.4%
回答数合計	1,458	110.3%	719	110.1%	2,177	110.2%
回答者数(母数)	1,322		653		1,975	



※「②Google アカウント」が全体で 65.8%、「①Microsoft アカウント」が 35.3%となっている。

2-1-2-4 児童・生徒用 1 人 1 台端末の学校での運用方法について伺います。

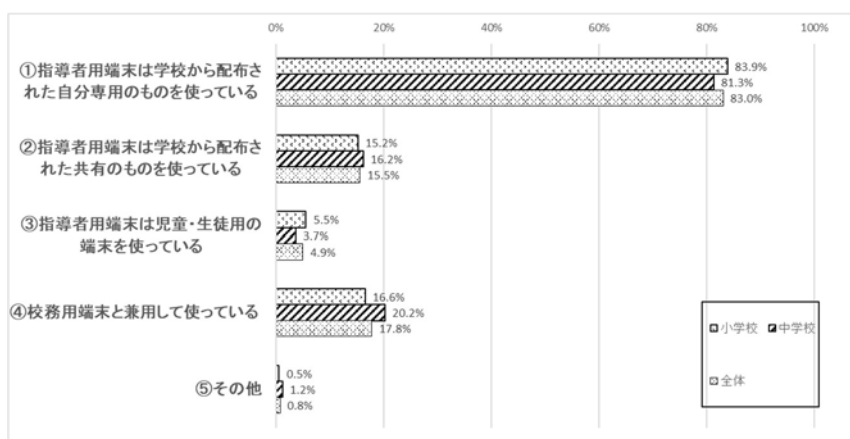
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①利用する授業のみ充電保管庫から取り出して、先生の指示に従って利用できる	335	25.3%	117	17.9%	452	22.9%
②利用する授業のみ充電保管庫から取り出して、児童・生徒が主体的に利用している	130	9.8%	41	6.3%	171	8.7%
③登校したら充電保管庫から取り出して、先生の指示に従って利用できる	212	16.0%	61	9.3%	273	13.8%
④登校したら充電保管庫から取り出して、児童・生徒が主体的に利用している	115	8.7%	65	10.0%	180	9.1%
⑤持ち帰りを主体としており、先生の指示に従って利用できる	288	21.8%	169	25.9%	457	23.1%
⑥持ち帰りを主体としており、児童・生徒が主体的に利用している	225	17.0%	196	30.0%	421	21.3%
⑦その他	15	1.1%	4	0.6%	19	1.0%
無回答	2	0.2%			2	0.1%
回答者数(母数)	1,322	100.0%	653	100.0%	1,975	100.0%



※「⑤持ち帰りを主体としており、先生の指示に従って利用できる」と「⑥持ち帰りを主体としており、児童・生徒が主体的に利用している」を合計すると持ち帰りを推奨する学校が全体で 44.4% となる。また、「⑥持ち帰りを主体としており、児童・生徒が主体的に利用している」では小学校が 17.0%、中学校が 30.0% と差がみられる。

2-1-2-5 教員が授業で使用する端末について伺います。(いくつでも)

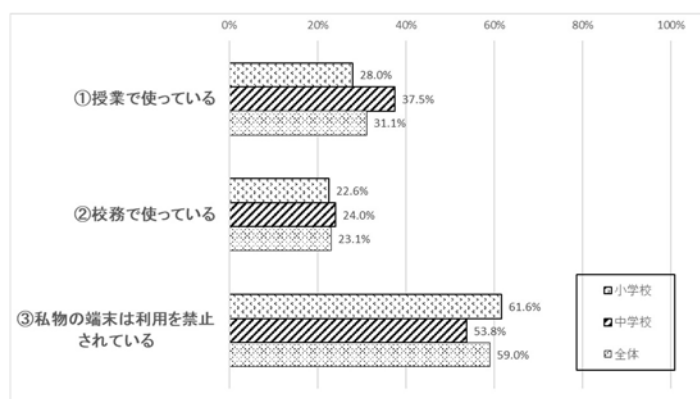
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①指導者用端末は学校から配布された 自分専用のものを使っている	1,109	83.9%	531	81.3%	1,640	83.0%
②指導者用端末は学校から配布された 共有のものを使っている	201	15.2%	106	16.2%	307	15.5%
③指導者用端末は児童・生徒用の 端末を使っている	73	5.5%	24	3.7%	97	4.9%
④校務用端末と兼用して使っている	219	16.6%	132	20.2%	351	17.8%
⑤その他	7	0.5%	8	1.2%	15	0.8%
無回答	1	0.1%	2	0.3%	3	0.2%
回答数合計	1,610	121.8%	803	123.0%	2,413	122.2%
回答者数(母数)	1,322		653		1,975	



※「①指導者用端末は学校から配布された自分専用のものを使っている」が全体で 83.0%と最も多いが、「②指導者用端末は学校から配布された共有のものを使っている」が 15.5%もある点は課題となっている。

2-1-2-6 校内で教員が私物の端末(タブレット含む)を使っていますか。(いくつでも)

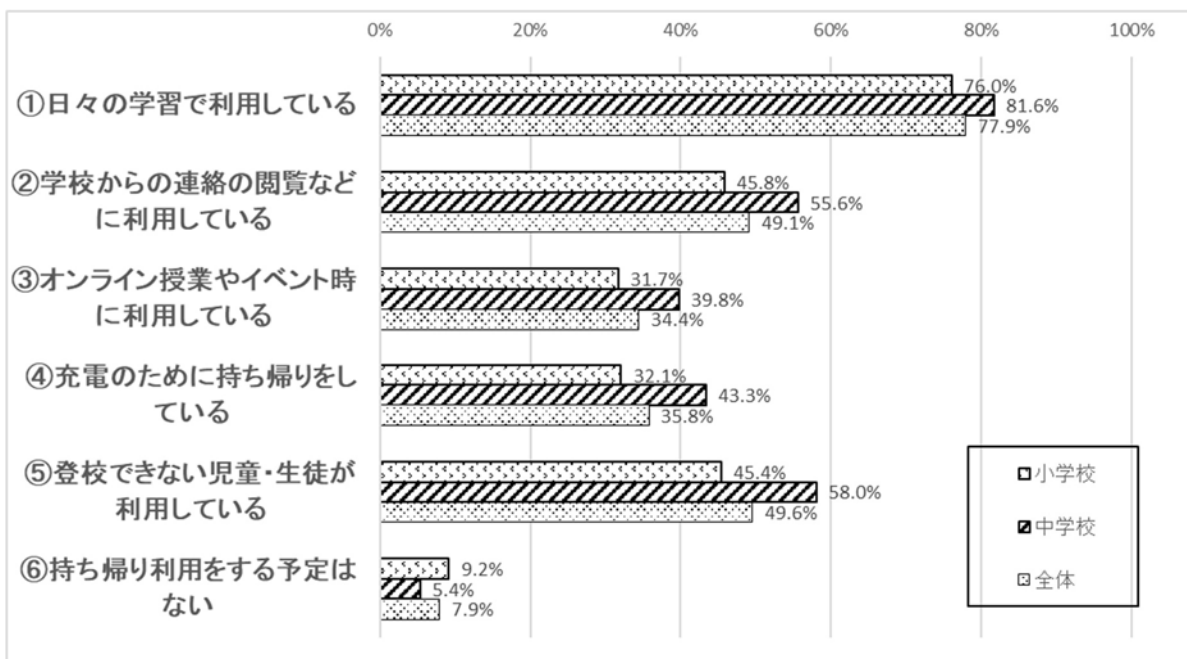
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①授業で使っている	370	28.0%	245	37.5%	615	31.1%
②校務で使っている	299	22.6%	157	24.0%	456	23.1%
③私物の端末は利用を禁止されている	815	61.6%	351	53.8%	1,166	59.0%
無回答	38	2.9%	20	3.1%	58	2.9%
回答数合計	1,522	115.1%	773	118.4%	2,295	116.2%
回答者数(母数)	1,322		653		1,975	



※「①授業で使っている」は全体で 31.1%、「②校務で使っている」は 23.1%となっており、安全性が懸念される。

2-1-2-7 児童・生徒用 1 人 1 台端末の持ち帰り利用で行っていることについて伺います。(いくつでも)

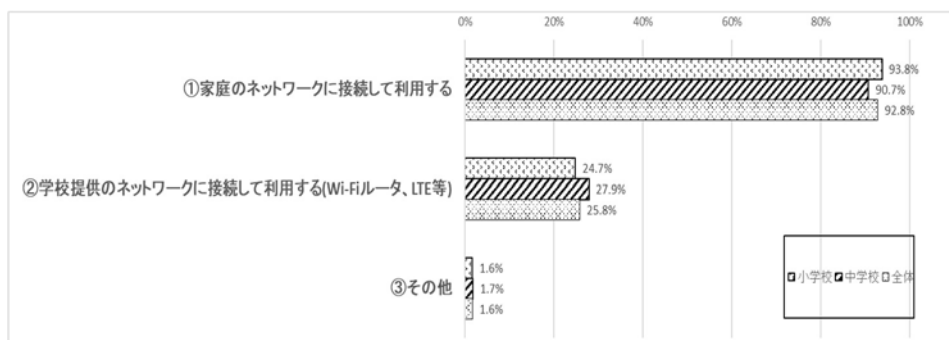
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①日々の学習で利用している	1,005	76.0%	533	81.6%	1,538	77.9%
②学校からの連絡の閲覧などに利用している	606	45.8%	363	55.6%	969	49.1%
③オンライン授業やイベント時に利用している	419	31.7%	260	39.8%	679	34.4%
④充電のために持ち帰りをしている	424	32.1%	283	43.3%	707	35.8%
⑤登校できない児童・生徒が利用している	600	45.4%	379	58.0%	979	49.6%
⑥持ち帰り利用をする予定はない	121	9.2%	35	5.4%	156	7.9%
無回答	8	0.6%	3	0.5%	11	0.6%
回答数合計	3,183	240.8%	1,856	284.2%	5,039	255.1%
回答者数(母数)	1,322		653		1,975	



※「①日々の学習で利用している」が最も多く全体で 77.9%。次いで「⑤登校できない児童・生徒が利用している」が 49.6%、「②学校からの連絡の閲覧などに利用している」が 49.1%と多い。

2-1-2-8 「2-1-2-7」の家庭で端末を使用する場合について伺います。(いくつでも)

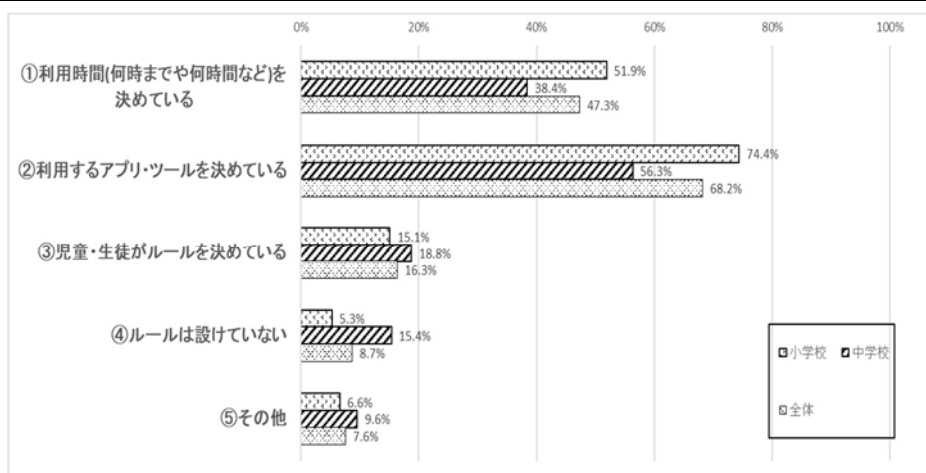
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①家庭のネットワークに接続して利用する	1,240	93.8%	592	90.7%	1,832	92.8%
②学校提供のネットワークに接続して利用する(Wi-Fiルータ、LTE等)	327	24.7%	182	27.9%	509	25.8%
③その他	21	1.6%	11	1.7%	32	1.6%
無回答	31	2.3%	11	1.7%	42	2.1%
回答数合計	1,619	122.5%	796	121.9%	2,415	122.3%
回答者数(母数)	1,322		653		1,975	



※「①家庭のネットワークに接続して利用する」が全体で 92.8%と多い。一方で、「②学校提供のネットワークに接続して利用する(Wi-Fi ルータ、LTE 等)」も全体で 25.8%あり、家庭のネットワークが整備されていない環境と思われる。

2-1-2-9 「2-1-2-7」で①～③と回答された方に伺います。学校として1人1台端末の利用にどのようなルールを設けていますか。(いくつでも)

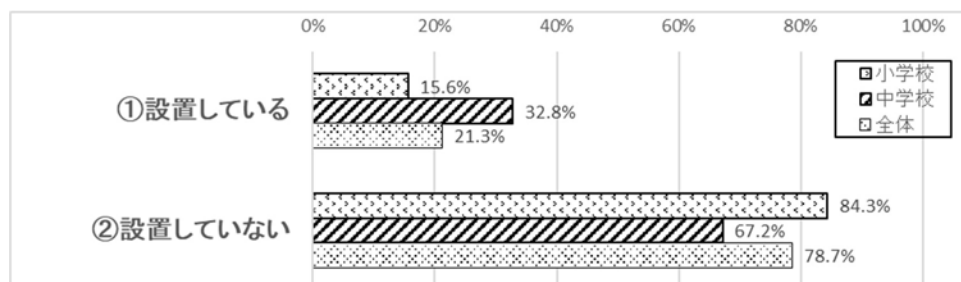
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①利用時間(何時までや何時間など)を決めている	591	51.9%	225	38.4%	816	47.3%
②利用するアプリ・ツールを決めている	847	74.4%	330	56.3%	1,177	68.2%
③児童・生徒がルールを決めている	172	15.1%	110	18.8%	282	16.3%
④ルールは設けていない	60	5.3%	90	15.4%	150	8.7%
⑤その他	75	6.6%	56	9.6%	131	7.6%
無回答	6	0.5%	2	0.3%	8	0.5%
回答数合計	1,751	153.7%	813	138.7%	2,564	148.6%
回答者数(母数)	1,139		586		1,725	



※「②利用するアプリ・ツールを決めている」が全体で 68.2%と最も多く、次いで「①利用時間(何時までや何時間など)を決めている」が 47.3%となっている。

2-1-2-10 従来型のコンピュータ教室を設置していますか。

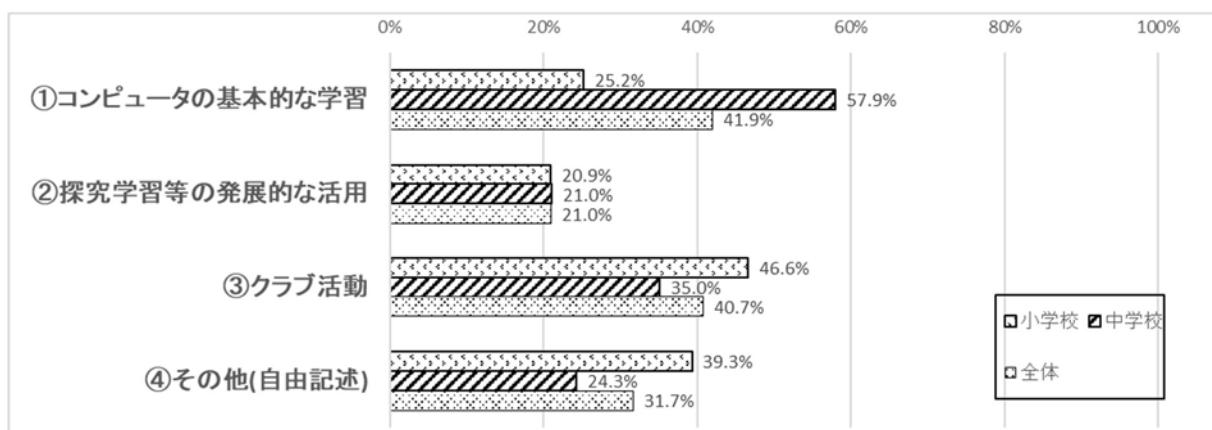
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①設置している	206	15.6%	214	32.8%	420	21.3%
②設置していない	1,115	84.3%	439	67.2%	1,554	78.7%
無回答	1	0.1%			1	0.1%
回答者数(母数)	1,322	100.0%	653	100.0%	1,975	100.0%



※「②設置していない」が全体で 78.7%と多く、「①設置している」は全体で前回比(38.8%→21.3%)と減っている。

2-1-2-11 「2-1-2-10」で①と答えた方に伺います。どのように活用されていますか。(いくつでも)

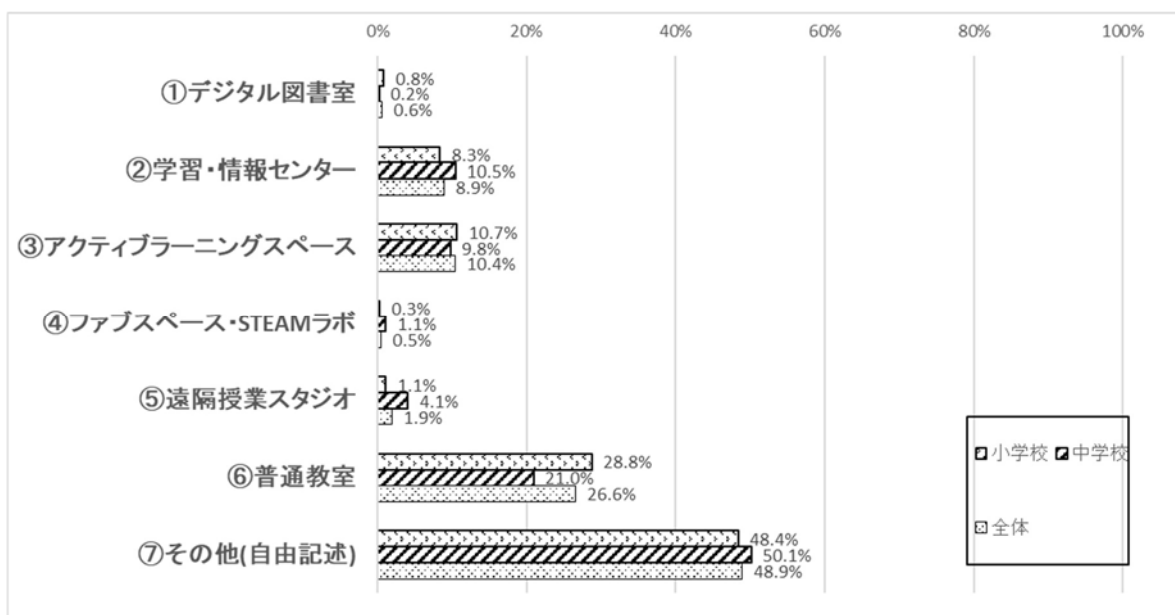
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①コンピュータの基本的な学習	52	25.2%	124	57.9%	176	41.9%
②探究学習等の発展的な活用	43	20.9%	45	21.0%	88	21.0%
③クラブ活動	96	46.6%	75	35.0%	171	40.7%
④その他(自由記述)	81	39.3%	52	24.3%	133	31.7%
無回答	3	1.5%	3	1.4%	6	1.4%
回答数合計	275	133.5%	299	139.7%	574	136.7%
回答者数(母数)	206		214		420	



※小学校で最も多いのは「③クラブ活動」で 46.6%。中学校で最も多いのは「①コンピュータの基本的な学習」で 57.9%となっている。

2-1-2-12 「2-1-2-10」で②と回答された方に伺います。コンピュータ教室のあとをどのように活用していますか。(いくつでも)

	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①デジタル図書室	9	0.8%	1	0.2%	10	0.6%
②学習・情報センター	93	8.3%	46	10.5%	139	8.9%
③アクティブラーニングスペース	119	10.7%	43	9.8%	162	10.4%
④ファブスペース・STEAMラボ	3	0.3%	5	1.1%	8	0.5%
⑤遠隔授業スタジオ	12	1.1%	18	4.1%	30	1.9%
⑥普通教室	321	28.8%	92	21.0%	413	26.6%
⑦その他(自由記述)	540	48.4%	220	50.1%	760	48.9%
無回答	82	7.4%	41	9.3%	123	7.9%
回答数合計	1,179	105.7%	466	106.2%	1,645	105.9%
回答者数(母数)	1,115		439		1,554	

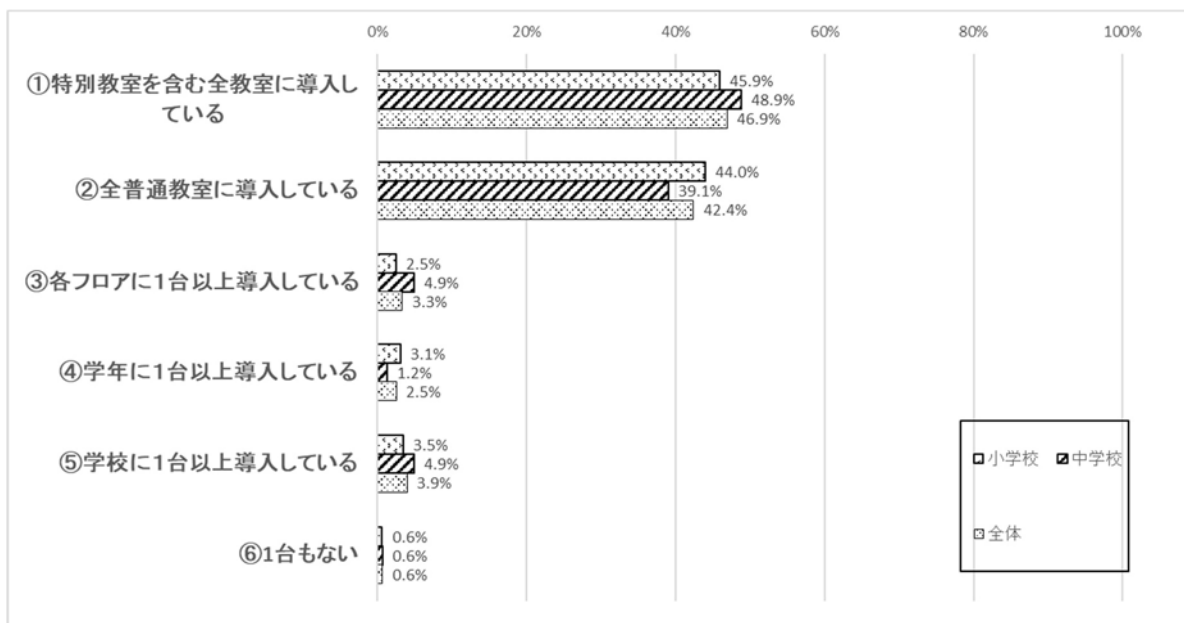


※「⑥普通教室」が全体で26.6%と最も多く、自由記述では、「会議室」「多目的室」「特別支援学級」「クラブ活動」など様々な回答があった。

2-1-2-13 授業で活用している ICT 機器の整備状況について伺います。

2-1-2-13(1) 大型提示装置

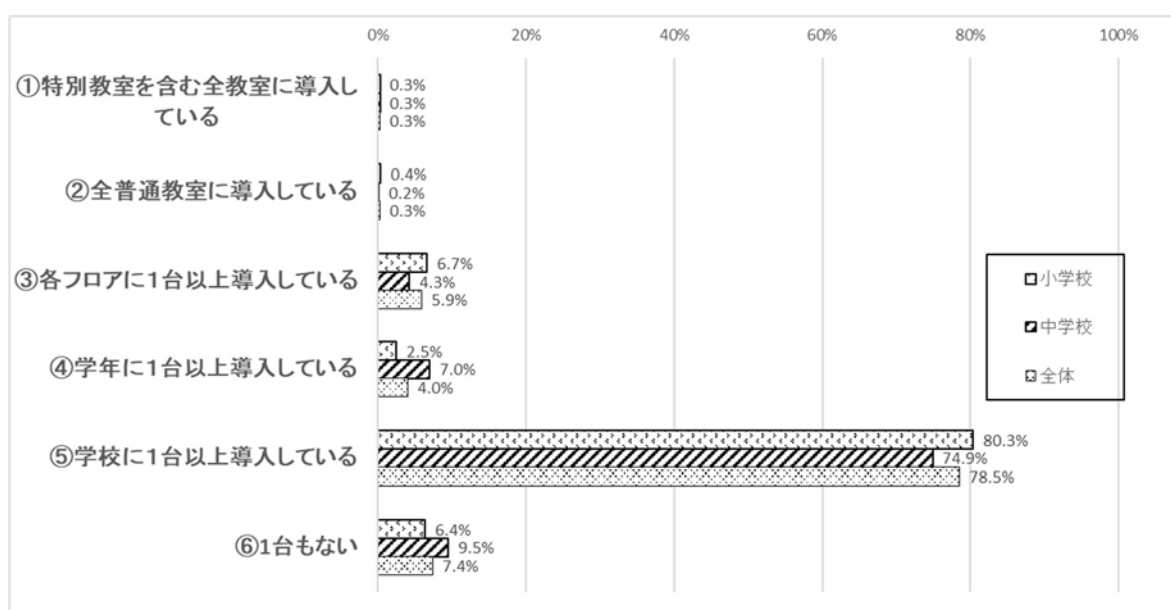
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①特別教室を含む全教室に導入している	607	45.9%	319	48.9%	926	46.9%
②全普通教室に導入している	582	44.0%	255	39.1%	837	42.4%
③各フロアに1台以上導入している	33	2.5%	32	4.9%	65	3.3%
④学年に1台以上導入している	41	3.1%	8	1.2%	49	2.5%
⑤学校に1台以上導入している	46	3.5%	32	4.9%	78	3.9%
⑥1台もない	8	0.6%	4	0.6%	12	0.6%
無回答	5	0.4%	3	0.5%	8	0.4%
回答者数(母数)	1,322	100.0%	653	100.0%	1,975	100.0%



※「①特別教室を含む全教室に導入している」と「②全普通教室に導入している」を合わせて全体で 89.3% が普通教室に導入している。

2-1-2-13(2) カラープリンタ

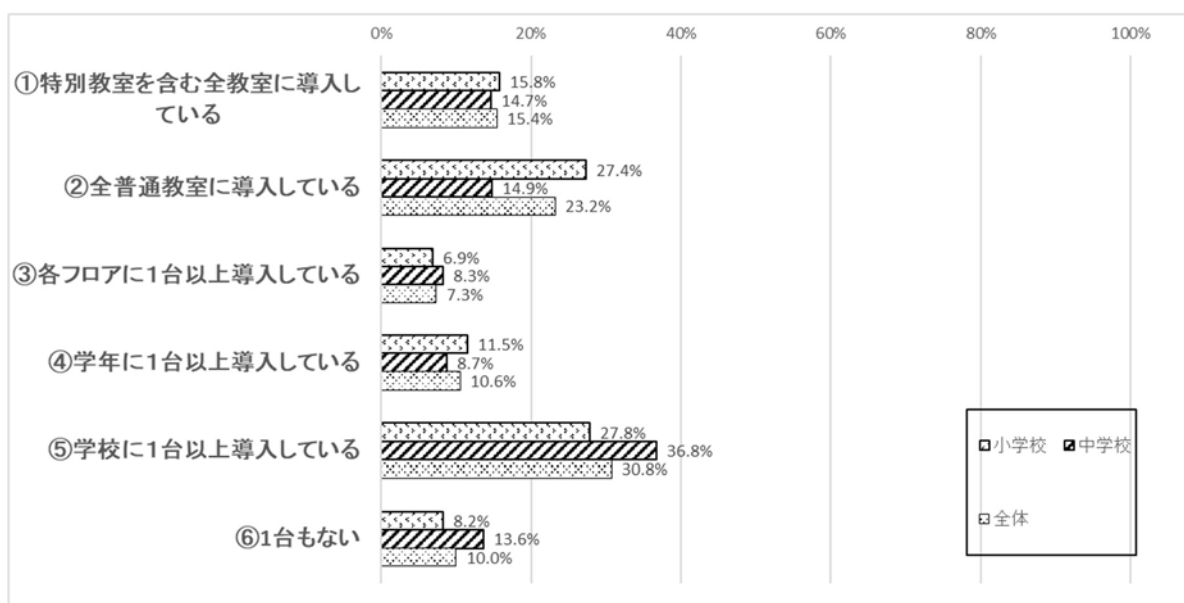
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①特別教室を含む全教室に導入している	4	0.3%	2	0.3%	6	0.3%
②全普通教室に導入している	5	0.4%	1	0.2%	6	0.3%
③各フロアに1台以上導入している	88	6.7%	28	4.3%	116	5.9%
④学年に1台以上導入している	33	2.5%	46	7.0%	79	4.0%
⑤学校に1台以上導入している	1,062	80.3%	489	74.9%	1,551	78.5%
⑥1台もない	84	6.4%	62	9.5%	146	7.4%
無回答	46	3.5%	25	3.8%	71	3.6%
回答者数(母数)	1,322	100.0%	653	100.0%	1,975	100.0%



※「⑤学校に1台以上導入している」が最も多く全体で78.5%となっている。

2-1-2-13(3) 実物投影機

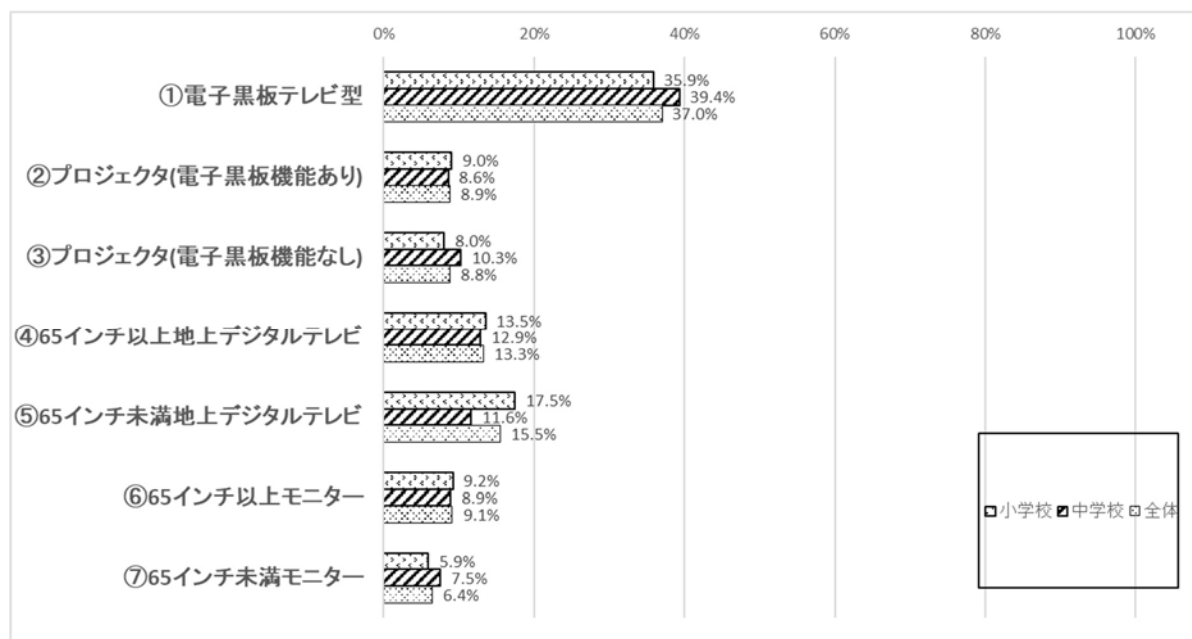
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①特別教室を含む全教室に導入している	209	15.8%	96	14.7%	305	15.4%
②全普通教室に導入している	362	27.4%	97	14.9%	459	23.2%
③各フロアに1台以上導入している	91	6.9%	54	8.3%	145	7.3%
④学年に1台以上導入している	152	11.5%	57	8.7%	209	10.6%
⑤学校に1台以上導入している	368	27.8%	240	36.8%	608	30.8%
⑥1台もない	109	8.2%	89	13.6%	198	10.0%
無回答	31	2.3%	20	3.1%	51	2.6%
回答者数(母数)	1,322	100.0%	653	100.0%	1,975	100.0%



※小学校が中学校より多く導入しているが、小学校でも「①特別教室を含む全教室に導入している」「②全普通教室に導入している」を合わせて43.2%の整備となっている。文部科学省による「学校のICT環境整備3か年計画」(2025年度～2027年度)の整備促進が望まれる。

2-1-2-14 「2-1-2-13(1)」でお答えいただいた大型提示装置の種類について伺います。(主な整備機器について1種類)

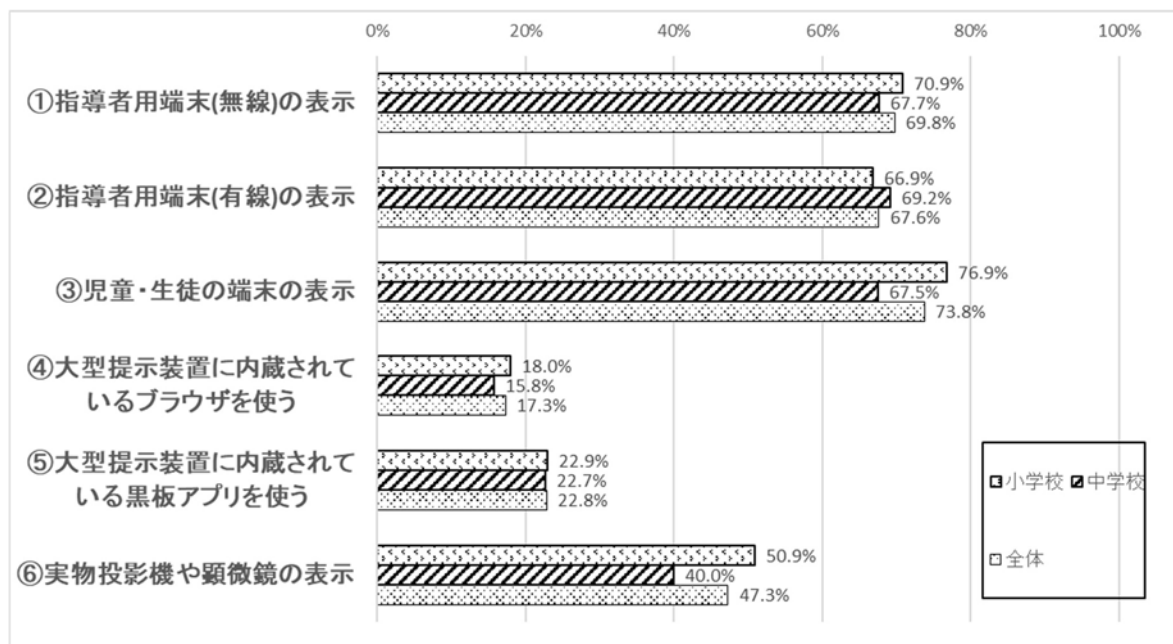
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①電子黒板テレビ型	474	35.9%	257	39.4%	731	37.0%
②プロジェクタ(電子黒板機能あり)	119	9.0%	56	8.6%	175	8.9%
③プロジェクタ(電子黒板機能なし)	106	8.0%	67	10.3%	173	8.8%
④65インチ以上地上デジタルテレビ	179	13.5%	84	12.9%	263	13.3%
⑤65インチ未満地上デジタルテレビ	231	17.5%	76	11.6%	307	15.5%
⑥65インチ以上モニター	122	9.2%	58	8.9%	180	9.1%
⑦65インチ未満モニター	78	5.9%	49	7.5%	127	6.4%
無回答	13	1.0%	6	0.9%	19	1.0%
回答者数(母数)	1,322	100.0%	653	100.0%	1,975	100.0%



※「①電子黒板テレビ型」「②プロジェクタ(電子黒板機能あり)」を合わせると 45.9%となるが、すべての教室環境に電子黒板が望まれる。

2-1-2-15 授業において、大型提示装置をどのように使っていますか。(いくつでも)

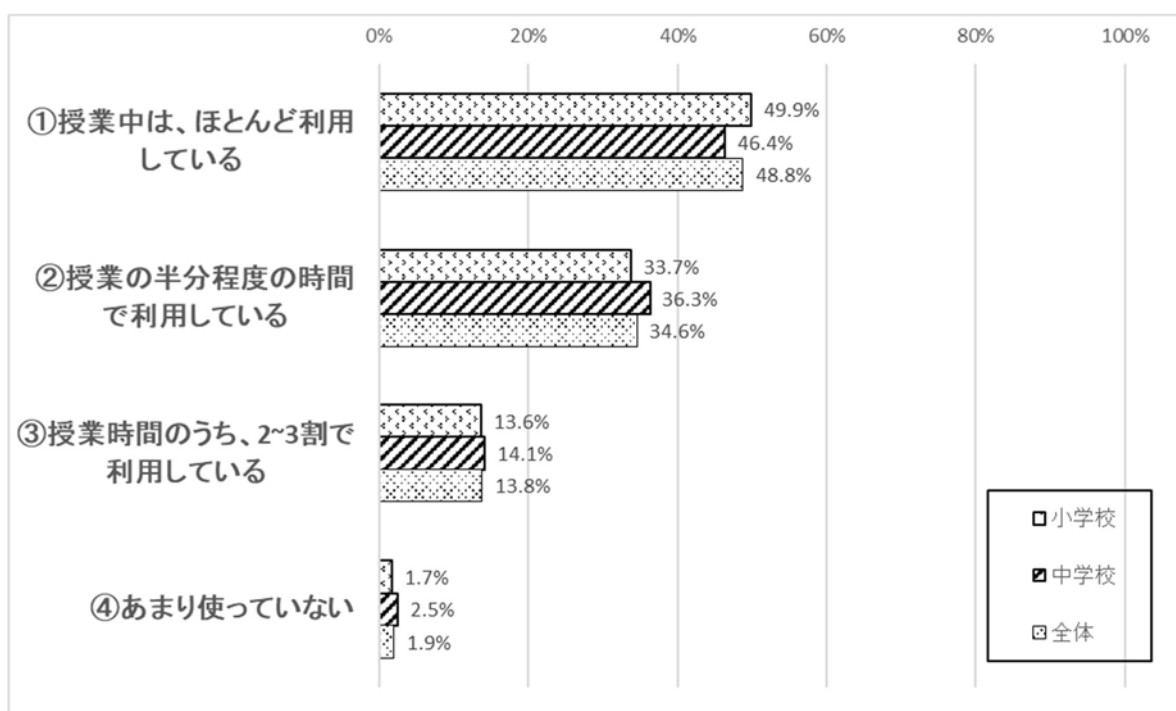
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①指導者用端末(無線)の表示	937	70.9%	442	67.7%	1,379	69.8%
②指導者用端末(有線)の表示	884	66.9%	452	69.2%	1,336	67.6%
③児童・生徒の端末の表示	1,016	76.9%	441	67.5%	1,457	73.8%
④大型提示装置に内蔵されているブラウザを使う	238	18.0%	103	15.8%	341	17.3%
⑤大型提示装置に内蔵されている黒板アプリを使う	303	22.9%	148	22.7%	451	22.8%
⑥実物投影機や顕微鏡の表示	673	50.9%	261	40.0%	934	47.3%
無回答	13	1.0%	6	0.9%	19	1.0%
回答数合計	4,064	307.4%	1,853	283.8%	5,917	299.6%
回答者数(母数)	1,322		653		1,975	



※「①指導者用端末(無線)の表示」は全体で 69.8%、「②指導者用端末(有線)の表示」は全体で 67.6%、「③児童・生徒の端末の表示」は 73.8%と多い。

2-1-2-16 授業において、大型提示装置の利用時間について伺います。

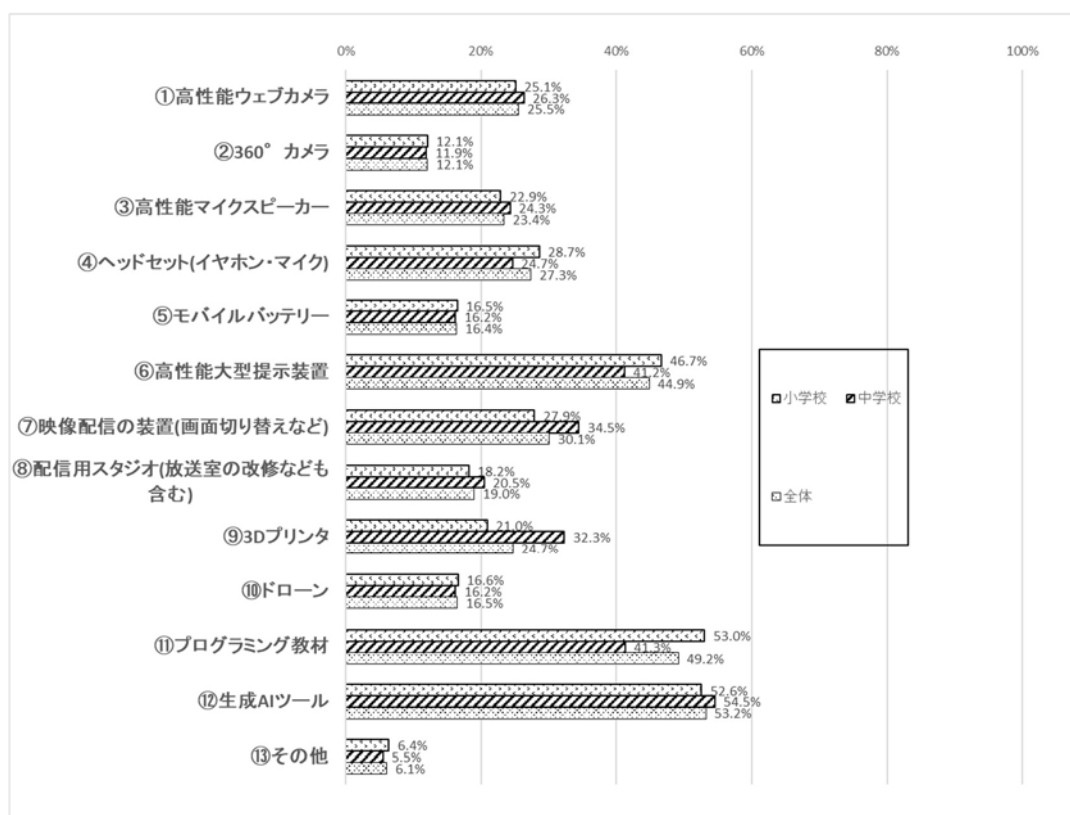
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①授業中は、ほとんど利用している	660	49.9%	303	46.4%	963	48.8%
②授業の半分程度の時間で利用している	446	33.7%	237	36.3%	683	34.6%
③授業時間のうち、2～3割で利用している	180	13.6%	92	14.1%	272	13.8%
④あまり使っていない	22	1.7%	16	2.5%	38	1.9%
無回答	14	1.1%	5	0.8%	19	1.0%
回答者数(母数)	1,322	100.0%	653	100.0%	1,975	100.0%



※「①授業中は、ほとんど利用している」が最も多く全体で 48.8%、「②授業の半分程度の時間で利用している」を合わせると 83.4%となり、大型提示装置の利用は進んでいる。

2-1-2-17 GIGA スクール構想で導入された端末をよりいっそう活用するために、今後整備を希望するものは次のどれですか。(いくつでも)

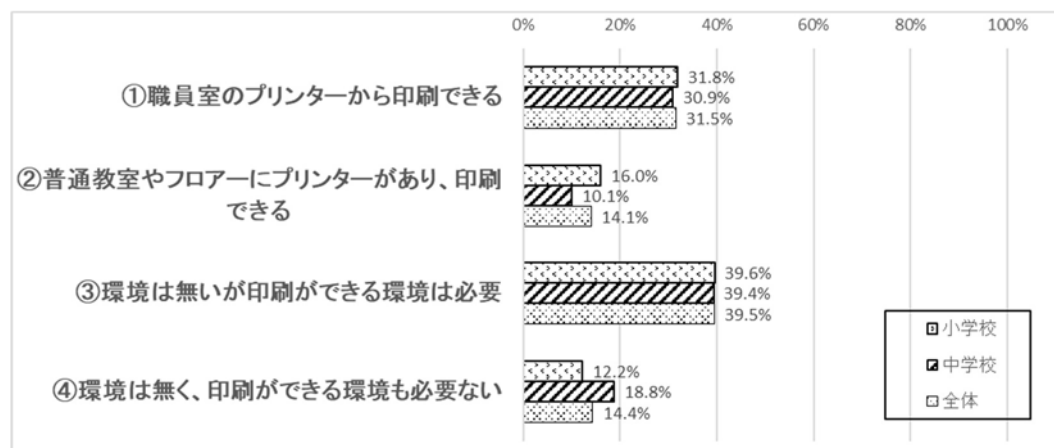
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①高性能ウェブカメラ	332	25.1%	172	26.3%	504	25.5%
②360° カメラ	160	12.1%	78	11.9%	238	12.1%
③高性能マイクスピーカー	303	22.9%	159	24.3%	462	23.4%
④ヘッドセット(イヤホン・マイク)	379	28.7%	161	24.7%	540	27.3%
⑤モバイルバッテリー	218	16.5%	106	16.2%	324	16.4%
⑥高性能大型提示装置	617	46.7%	269	41.2%	886	44.9%
⑦映像配信の装置(画面切り替えなど)	369	27.9%	225	34.5%	594	30.1%
⑧配信用スタジオ(放送室の改修なども含む)	241	18.2%	134	20.5%	375	19.0%
⑨3Dプリンタ	277	21.0%	211	32.3%	488	24.7%
⑩ドローン	220	16.6%	106	16.2%	326	16.5%
⑪プログラミング教材	701	53.0%	270	41.3%	971	49.2%
⑫生成AIツール	695	52.6%	356	54.5%	1,051	53.2%
⑬その他	84	6.4%	36	5.5%	120	6.1%
無回答	36	2.7%	30	4.6%	66	3.3%
回答数合計	4,632	350.4%	2,313	354.2%	6,945	351.6%
回答者数(母数)	1,322		653		1,975	



※「⑫生成 AI ツール」は全体で 53.2%、「⑪プログラミング教材」は 49.2%と高く、「⑥高性能大型提示装置」も 44.9%と高くなっている。

2-1-2-18 1人1台端末から印刷する環境はありますか。

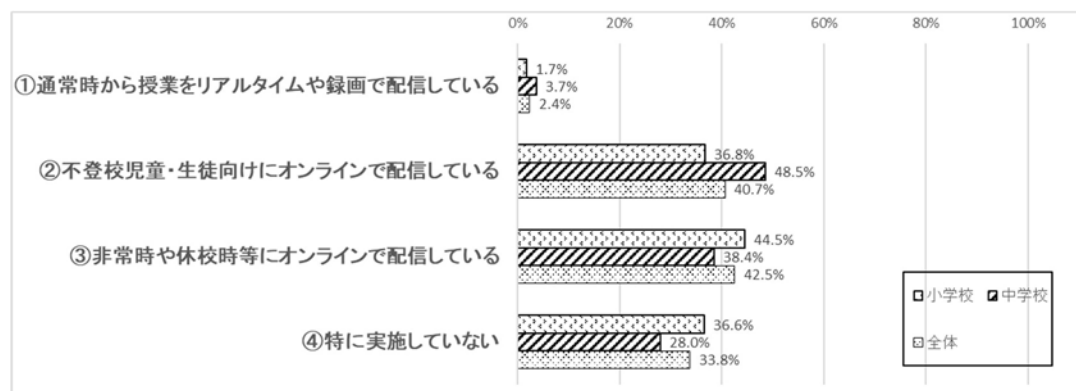
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①職員室のプリンターから印刷できる	421	31.8%	202	30.9%	623	31.5%
②普通教室やフロアにプリンターがあり、印刷できる	212	16.0%	66	10.1%	278	14.1%
③環境は無いが印刷ができる環境は必要	523	39.6%	257	39.4%	780	39.5%
④環境は無く、印刷ができる環境も必要ない	161	12.2%	123	18.8%	284	14.4%
無回答	5	0.4%	5	0.8%	10	0.5%
回答者数(母数)	1,322	100.0%	653	100.0%	1,975	100.0%



※「③環境は無いが印刷ができる環境は必要」が最も多く全体で 39.5%。「②普通教室やフロアにプリンターがあり、印刷できる」のような自由に印刷できる環境が望まれる。

2-1-2-19 オンライン授業やハイブリッド授業について伺います。(いくつでも)

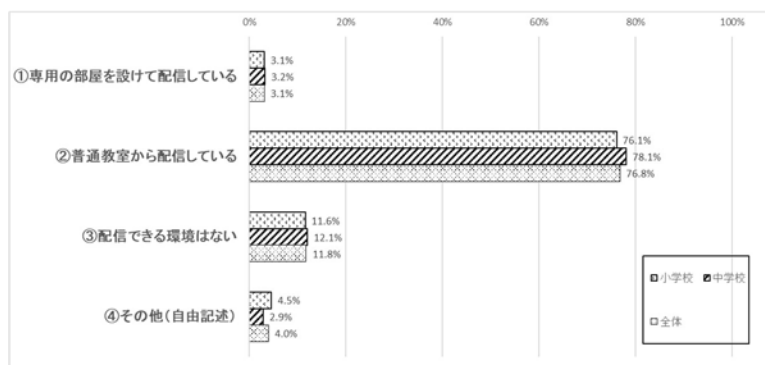
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①通常時から授業をリアルタイムや録画で配信している	23	1.7%	24	3.7%	47	2.4%
②不登校児童・生徒向けにオンラインで配信している	486	36.8%	317	48.5%	803	40.7%
③非常時や休校時等にオンラインで配信している	588	44.5%	251	38.4%	839	42.5%
④特に実施していない	484	36.6%	183	28.0%	667	33.8%
無回答	10	0.8%	9	1.4%	19	1.0%
回答数合計	1,591	120.3%	784	120.1%	2,375	120.3%
回答者数(母数)	1,322		653		1,975	



※「①通常時から授業をリアルタイムや録画で配信している」は全体で 2.4%とまだまだ少ない。一方、「②不登校児童・生徒向けにオンラインで配信している」のうち中学校は 48.5%と高く、不登校対策への対応方法の一つとなっている。

2-1-2-20 オンライン授業やハイブリット授業の環境について伺います。(いくつでも)

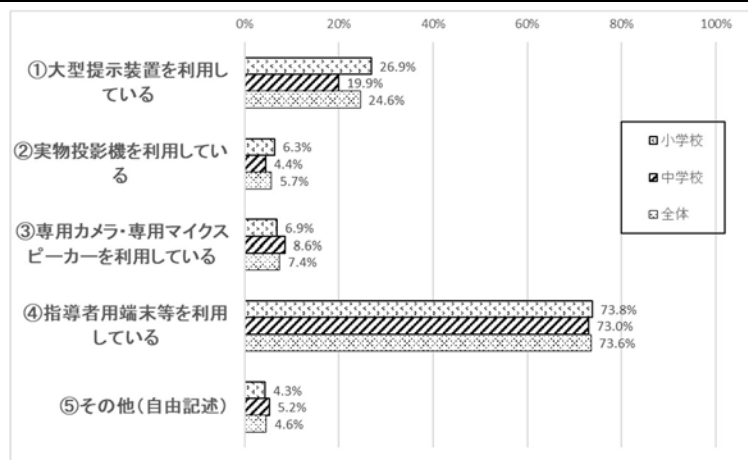
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①専用の部屋を設けて配信している	41	3.1%	21	3.2%	62	3.1%
②普通教室から配信している	1,006	76.1%	510	78.1%	1,516	76.8%
③配信できる環境はない	154	11.6%	79	12.1%	233	11.8%
④その他(自由記述)	60	4.5%	19	2.9%	79	4.0%
無回答	88	6.7%	37	5.7%	125	6.3%
回答数合計	1,349	102.0%	666	102.0%	2,015	102.0%
回答者数(母数)	1,322		653		1,975	



※「②普通教室から配信している」が全体で 76.8%と最も多い。一方「③配信できる環境はない」が 11.8%あり、環境の整備が望まれる。

2-1-2-21 オンライン授業やハイブリット授業の配信機材について伺います。(いくつでも)

	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①大型提示装置を利用している	356	26.9%	130	19.9%	486	24.6%
②実物投影機を利用している	83	6.3%	29	4.4%	112	5.7%
③専用カメラ・専用マイクスピーカーを利用している	91	6.9%	56	8.6%	147	7.4%
④指導者用端末等を利用している	976	73.8%	477	73.0%	1,453	73.6%
⑤その他(自由記述)	57	4.3%	34	5.2%	91	4.6%
無回答	146	11.0%	68	10.4%	214	10.8%
回答数合計	1,709	129.3%	794	121.6%	2,503	126.7%
回答者数(母数)	1,322		653		1,975	



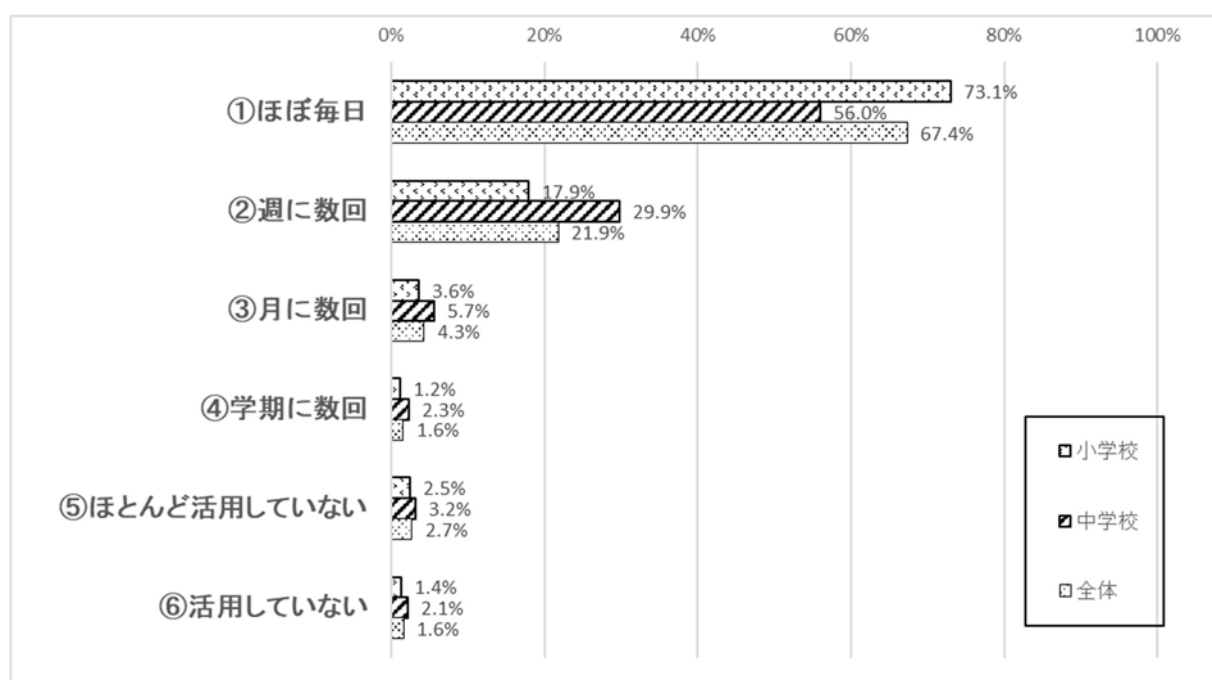
※「④指導者用端末等を利用している」が全体で 73.6%と最も多い。自由記述では「予備機の利用」という回答が多く見られた。より効果的なオンライン授業には、様々な機器を組み合わせた環境が望まれる。

2-1-3 ソフトウェアに関する項目

2-1-3-1 教科指導において、以下の学習用アプリ・ツールをどの程度活用していますか。

2-1-3-1(1) 指導者用デジタル教科書・教材

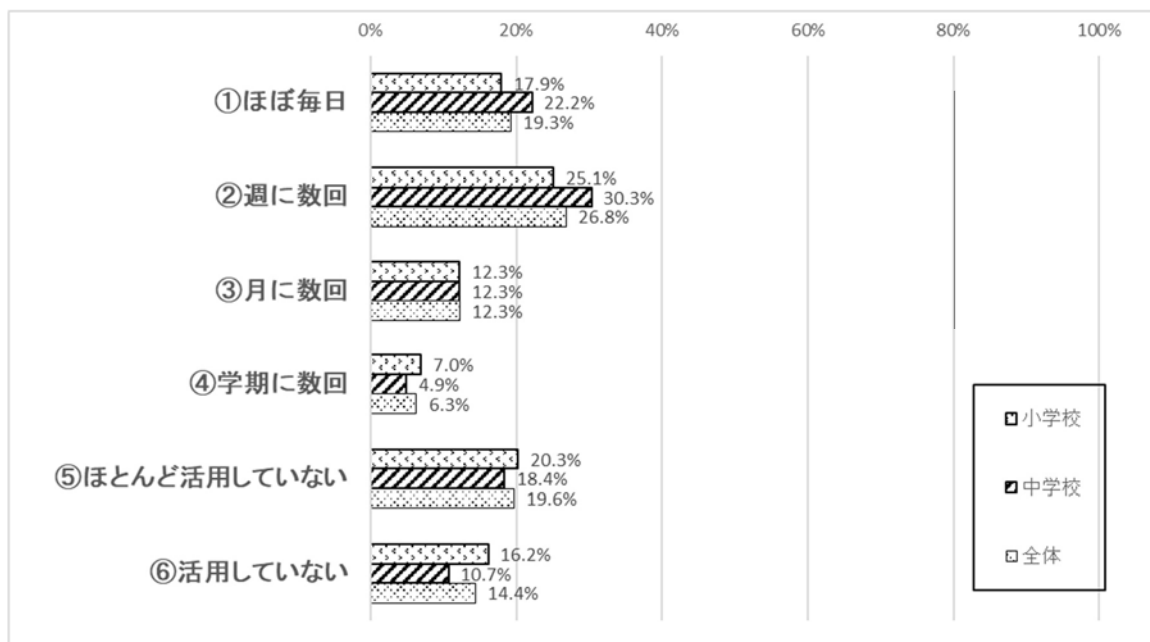
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①ほぼ毎日	966	73.1%	366	56.0%	1,332	67.4%
②週に数回	237	17.9%	195	29.9%	432	21.9%
③月に数回	48	3.6%	37	5.7%	85	4.3%
④学期に数回	16	1.2%	15	2.3%	31	1.6%
⑤ほとんど活用していない	33	2.5%	21	3.2%	54	2.7%
⑥活用していない	18	1.4%	14	2.1%	32	1.6%
無回答	4	0.3%	5	0.8%	9	0.5%
回答者数(母数)	1,322	100.0%	653	100.0%	1,975	100.0%



※「①ほぼ毎日」が前回から増加（58.9%→67.4%）しており、授業での活用が進んでいる。

2-1-3-1(2) 学習者用デジタル教科書・教材

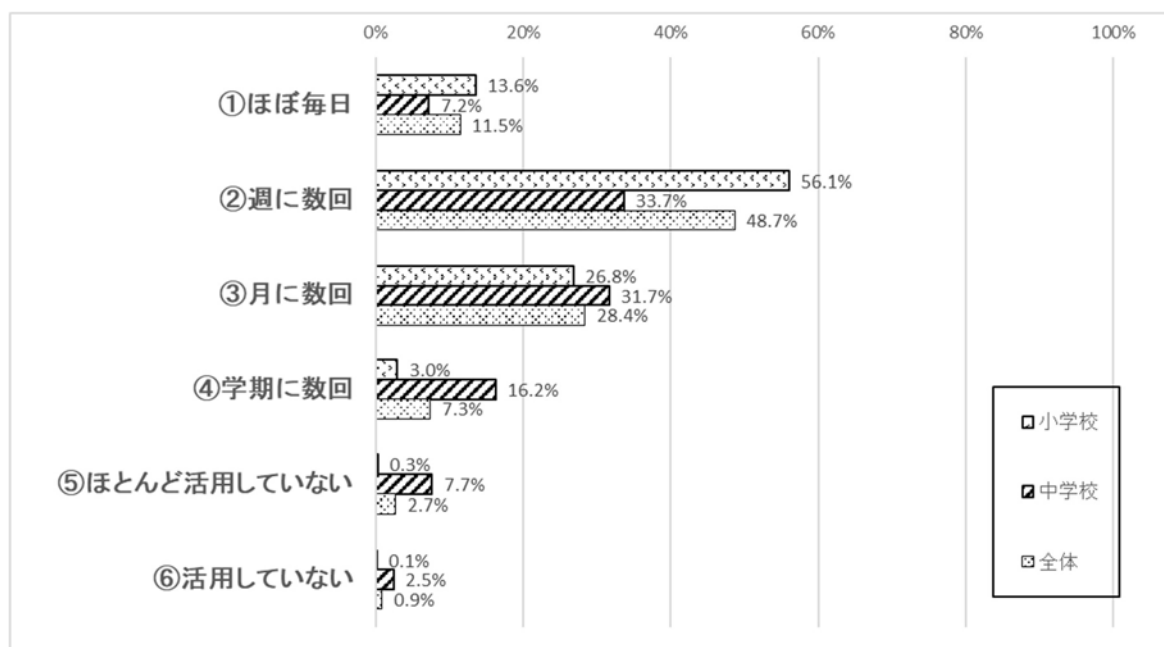
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①ほぼ毎日	237	17.9%	145	22.2%	382	19.3%
②週に数回	332	25.1%	198	30.3%	530	26.8%
③月に数回	162	12.3%	80	12.3%	242	12.3%
④学期に数回	92	7.0%	32	4.9%	124	6.3%
⑤ほとんど活用していない	268	20.3%	120	18.4%	388	19.6%
⑥活用していない	214	16.2%	70	10.7%	284	14.4%
無回答	17	1.3%	8	1.2%	25	1.3%
回答者数(母数)	1,322	100.0%	653	100.0%	1,975	100.0%



※「⑤ほとんど活用していない」「⑥活用していない」を合わせると全体で 34.0%である。より一層の利活用促進が望まれる。

2-1-3-1(3) 動画教材(NHK for School 等)

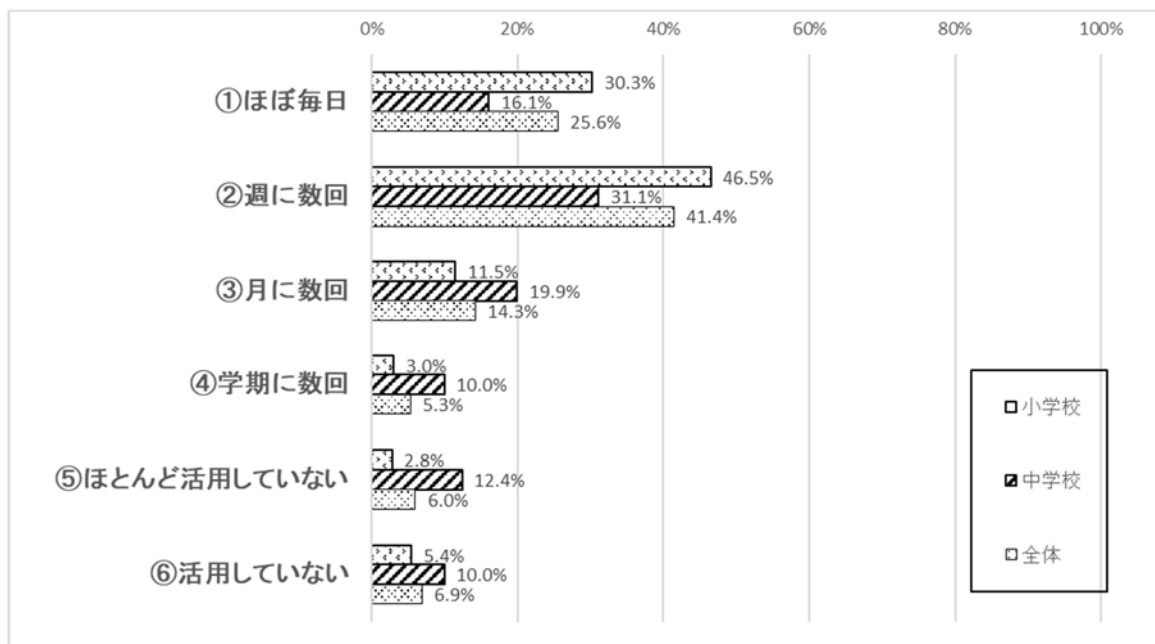
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①ほぼ毎日	180	13.6%	47	7.2%	227	11.5%
②週に数回	742	56.1%	220	33.7%	962	48.7%
③月に数回	354	26.8%	207	31.7%	561	28.4%
④学期に数回	39	3.0%	106	16.2%	145	7.3%
⑤ほとんど活用していない	4	0.3%	50	7.7%	54	2.7%
⑥活用していない	1	0.1%	16	2.5%	17	0.9%
無回答	2	0.2%	7	1.1%	9	0.5%
回答者数(母数)	1,322	100.0%	653	100.0%	1,975	100.0%



※「②週に数回」が最も多く全体で 48.7%となっている。特に小学校は 56.1%と高く、中学校よりも活用されている。

2-1-3-1(4) デジタルドリル・AIドリル

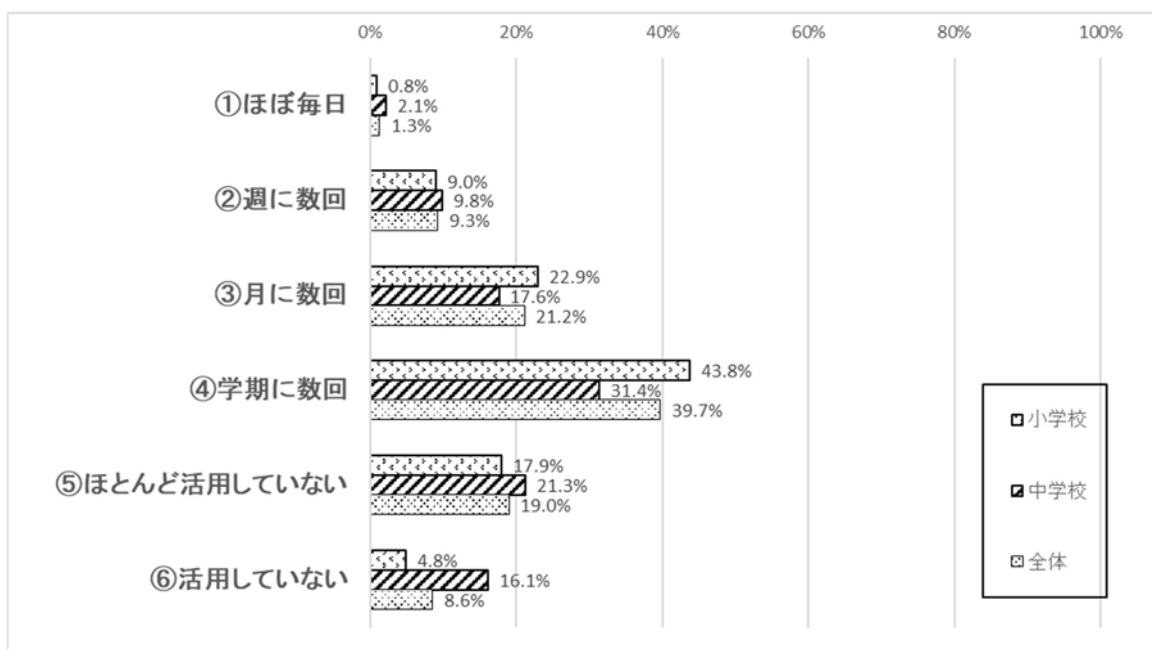
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①ほぼ毎日	400	30.3%	105	16.1%	505	25.6%
②週に数回	615	46.5%	203	31.1%	818	41.4%
③月に数回	152	11.5%	130	19.9%	282	14.3%
④学期に数回	40	3.0%	65	10.0%	105	5.3%
⑤ほとんど活用していない	37	2.8%	81	12.4%	118	6.0%
⑥活用していない	72	5.4%	65	10.0%	137	6.9%
無回答	6	0.5%	4	0.6%	10	0.5%
回答者数(母数)	1,322	100.0%	653	100.0%	1,975	100.0%



※「②週に数回」が最も多く全体で 41.4%、次いで「①ほぼ毎日」が 25.6%となっている。「①ほぼ毎日」「②週に数回」を合わせると小学校で 76.8%と高く、中学校の 47.2%と差がある。

2-1-3-1(5) プログラミング教材

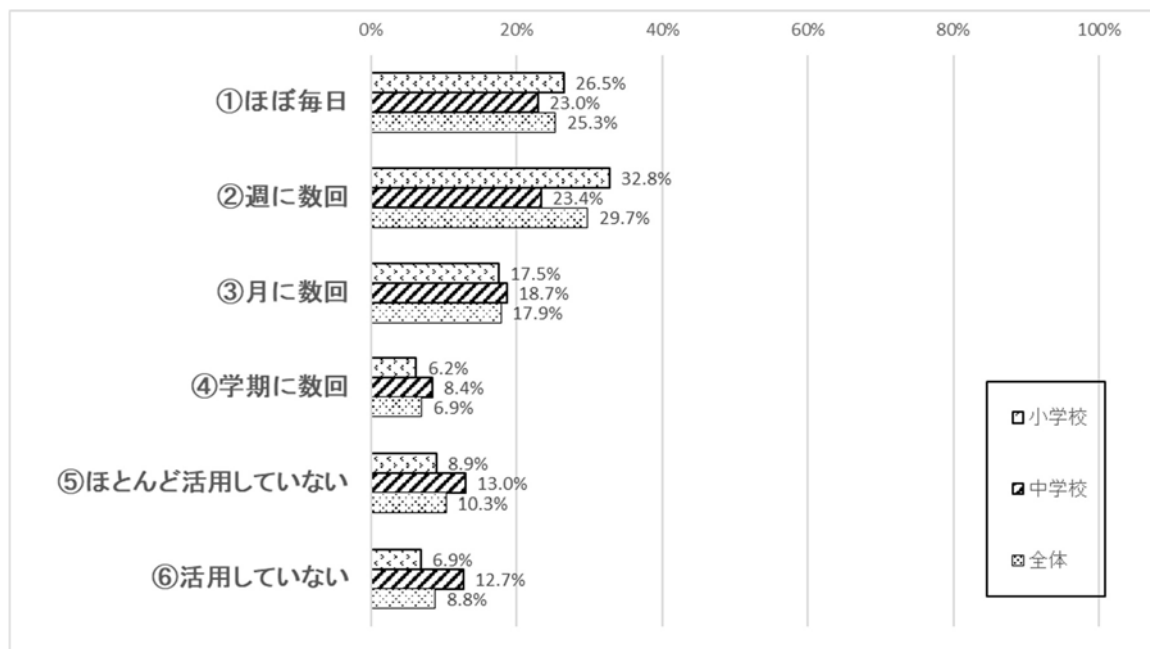
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①ほぼ毎日	11	0.8%	14	2.1%	25	1.3%
②週に数回	119	9.0%	64	9.8%	183	9.3%
③月に数回	303	22.9%	115	17.6%	418	21.2%
④学期に数回	579	43.8%	205	31.4%	784	39.7%
⑤ほとんど活用していない	237	17.9%	139	21.3%	376	19.0%
⑥活用していない	64	4.8%	105	16.1%	169	8.6%
無回答	9	0.7%	11	1.7%	20	1.0%
回答者数(母数)	1,322	100.0%	653	100.0%	1,975	100.0%



※「④学期に数回」が最も多く全体で 39.7% となっている。

2-1-3-1(7) 協働学習支援ツール

	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①ほぼ毎日	350	26.5%	150	23.0%	500	25.3%
②週に数回	434	32.8%	153	23.4%	587	29.7%
③月に数回	231	17.5%	122	18.7%	353	17.9%
④学期に数回	82	6.2%	55	8.4%	137	6.9%
⑤ほとんど活用していない	118	8.9%	85	13.0%	203	10.3%
⑥活用していない	91	6.9%	83	12.7%	174	8.8%
無回答	16	1.2%	5	0.8%	21	1.1%
回答者数(母数)	1,322	100.0%	653	100.0%	1,975	100.0%

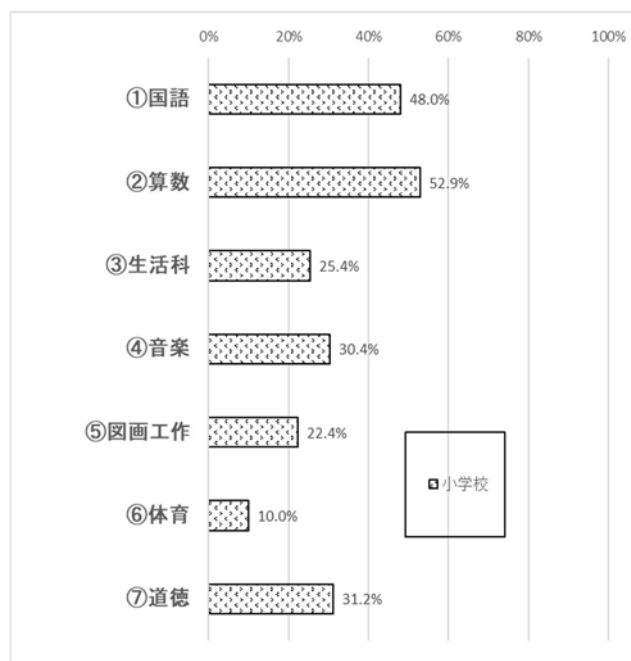


※「①ほぼ毎日」「②週に数回」を合わせると 55.0%となっている。

2-1-3-2 「2-1-3-1(2)」で「学習者用デジタル教科書・教材」を活用している(①～④)と回答された小学校の方に伺います。英語及び算数(一部の学校)以外で導入されている教科は何ですか。

2-1-3-2(1) 低学年(いくつでも)

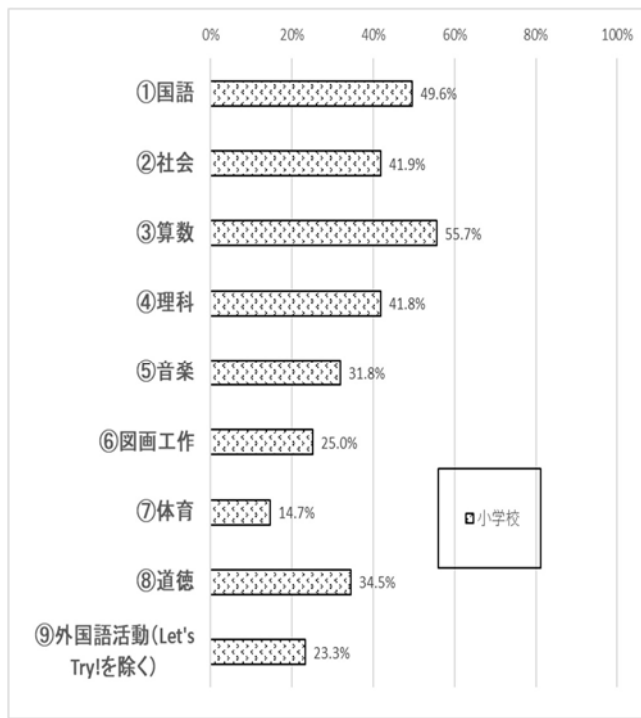
	小学校	
	回答数	回答比
①国語	395	48.0%
②算数	435	52.9%
③生活科	209	25.4%
④音楽	250	30.4%
⑤図画工作	184	22.4%
⑥体育	82	10.0%
⑦道徳	257	31.2%
無回答	287	34.9%
回答数合計	2,099	255.0%
回答者数(母数)	823	



※「②算数」が最も多く全体で52.9%、次いで「①国語」が48.0%。国から算数が提供されていない低学年に追加整備していると考えられる。

2-1-3-2(2) 中学年(いくつでも)

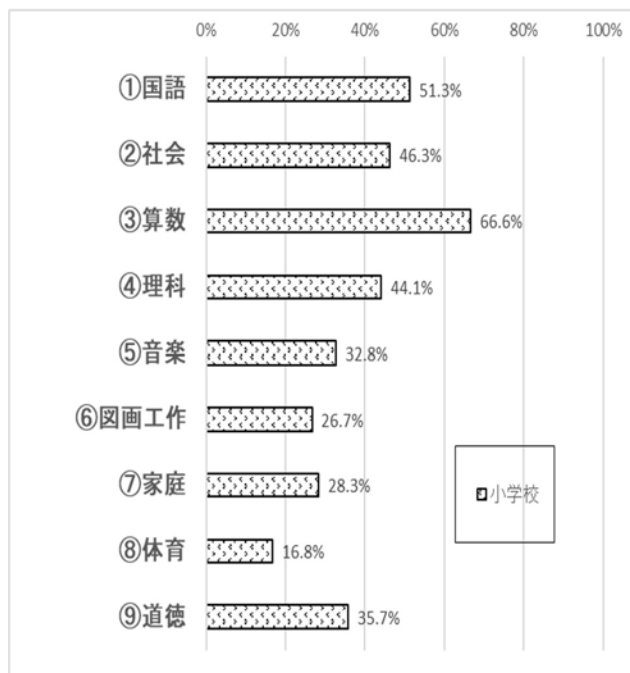
	小学校	
	回答数	回答比
①国語	408	49.6%
②社会	345	41.9%
③算数	458	55.7%
④理科	344	41.8%
⑤音楽	262	31.8%
⑥図画工作	206	25.0%
⑦体育	121	14.7%
⑧道徳	284	34.5%
⑨外国語活動 (Let's Try!を除く)	192	23.3%
無回答	250	30.4%
回答数合計	2,870	348.7%
回答者数(母数)	823	



※「③算数」が最も多く全体で55.7%、次いで「①国語」が49.6%となっている。国から算数が提供されていない中学年に低学年同様、追加整備していると考えられる。

2-1-3-2(3) 高学年(いくつでも)

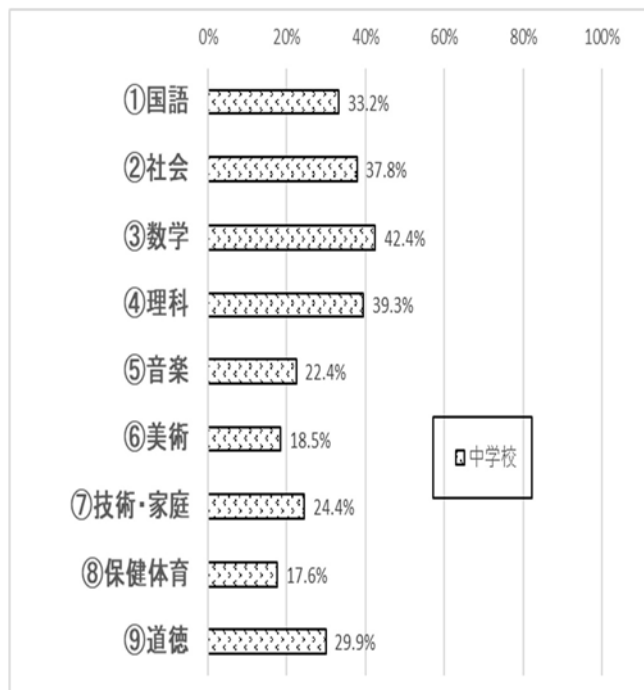
	小学校	
	回答数	回答比
①国語	422	51.3%
②社会	381	46.3%
③算数	548	66.6%
④理科	363	44.1%
⑤音楽	270	32.8%
⑥図画工作	220	26.7%
⑦家庭	233	28.3%
⑧体育	138	16.8%
⑨道德	294	35.7%
無回答	179	21.7%
回答数合計	3,048	370.4%
回答者数(母数)	823	



※「③算数」が最も多く全体で66.6%、次いで「①国語」が51.3%となっている。国から算数が提供されていない学校に追加整備していると考えられる。

2-1-3-3 「2-1-3-1(2)」で「学習者用デジタル教科書・教材」を活用している(①～④)と回答された中学校の方に伺います。英語及び数学(一部の学校)以外で導入されている教科は何ですか。(いくつでも)

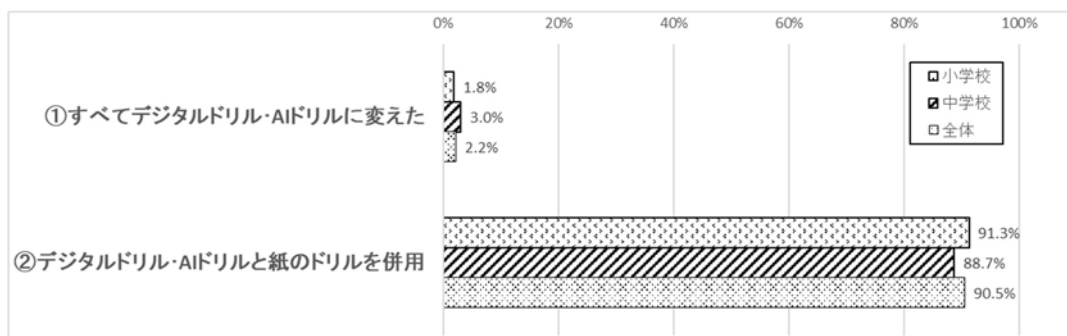
	中学校	
	回答数	回答比
①国語	151	33.2%
②社会	172	37.8%
③数学	193	42.4%
④理科	179	39.3%
⑤音楽	102	22.4%
⑥美術	84	18.5%
⑦技術・家庭	111	24.4%
⑧保健体育	80	17.6%
⑨道德	136	29.9%
無回答	142	31.2%
回答数合計	1,350	296.7%
回答者数(母数)	455	



※「③数学」が最も多く42.4%となっている。国から数学が提供されていない学校に追加整備していると考えられる。

2-1-3-4 「2-1-3-1(4)」で「デジタルドリル・AIドリル」を活用している(①～④)と回答された方に伺います。紙のドリル教材に代えてデジタルドリル・AIドリルを活用していますか。

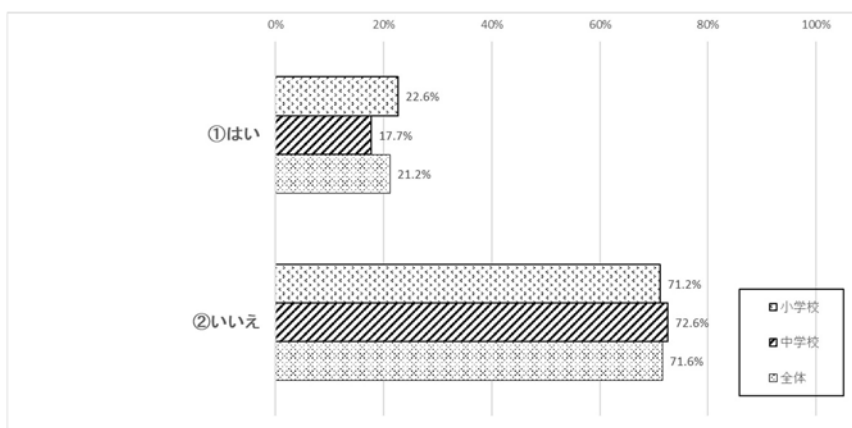
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①すべてデジタルドリル・AIドリルに変えた	22	1.8%	15	3.0%	37	2.2%
②デジタルドリル・AIドリルと紙のドリルを併用	1,102	91.3%	446	88.7%	1,548	90.5%
無回答	83	6.9%	42	8.3%	125	7.3%
回答者数(母数)	1,207	100.0%	503	100.0%	1,710	100.0%



※「②デジタルドリル・AIドリルと紙のドリルを併用」が全体で90.5%となっている。

2-1-3-5 「2-1-3-1(4)」で「デジタルドリル・AIドリル」を活用している(①～④)と回答された方に重ねて伺います。デジタルドリル・AIドリルの費用は保護者負担ですか。

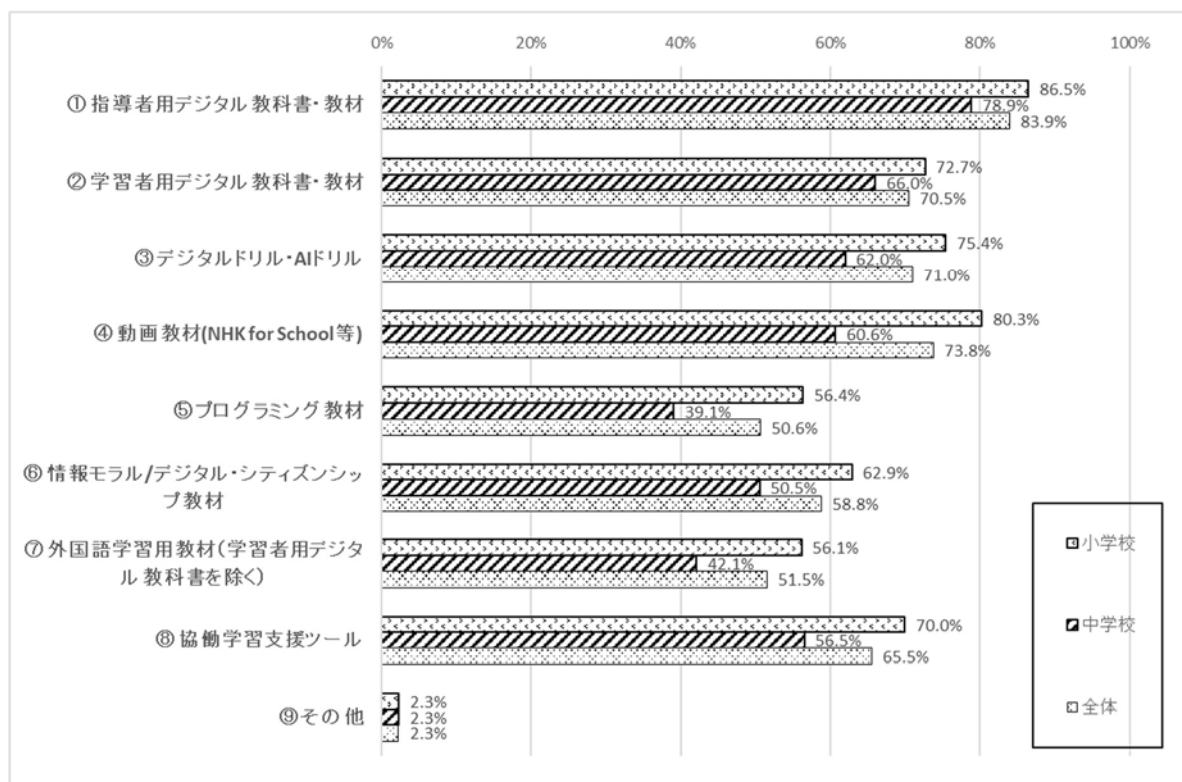
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①はい	273	22.6%	89	17.7%	362	21.2%
②いいえ	859	71.2%	365	72.6%	1,224	71.6%
無回答	75	6.2%	49	9.7%	124	7.3%
回答者数(母数)	1,207	100.0%	503	100.0%	1,710	100.0%



※「①はい」が全体で21.2%、「②いいえ」が71.6%となっており、紙のドリルとは違い自治体負担が多い。

2-1-3-6 教科指導において、必要だと思うアプリ・ツールは何ですか。(いくつでも)

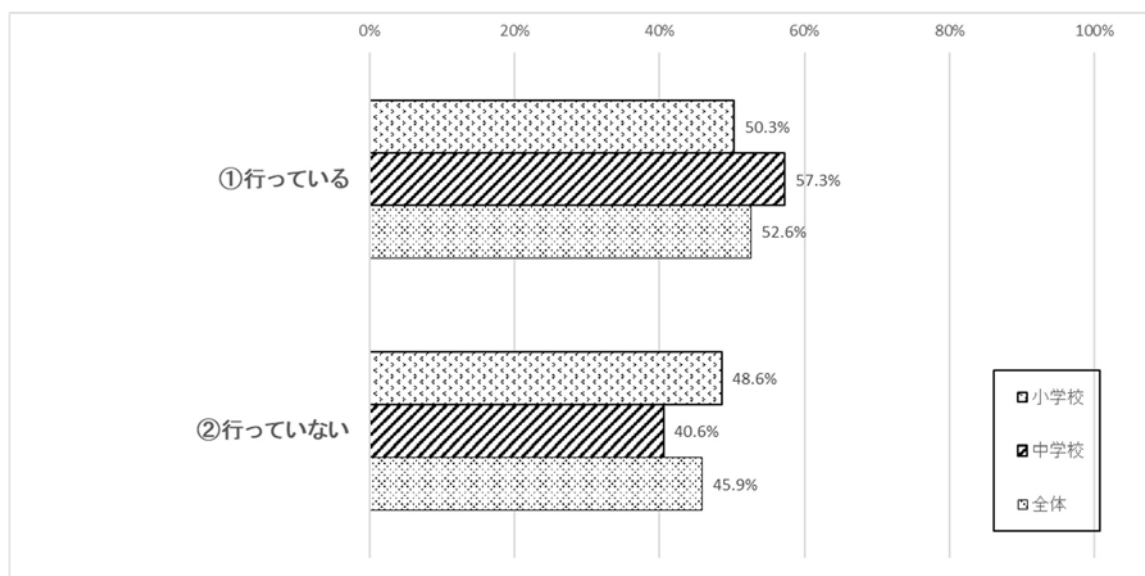
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①指導者用デジタル教科書・教材	1,143	86.5%	515	78.9%	1,658	83.9%
②学習者用デジタル教科書・教材	961	72.7%	431	66.0%	1,392	70.5%
③デジタルドリル・AIドリル	997	75.4%	405	62.0%	1,402	71.0%
④動画教材(NHK for School等)	1,061	80.3%	396	60.6%	1,457	73.8%
⑤プログラミング教材	745	56.4%	255	39.1%	1,000	50.6%
⑥情報モラル/デジタル・シティズンシップ教材	831	62.9%	330	50.5%	1,161	58.8%
⑦外国語学習用教材 (学習者用デジタル教科書を除く)	742	56.1%	275	42.1%	1,017	51.5%
⑧協働学習支援ツール	925	70.0%	369	56.5%	1,294	65.5%
⑨その他	30	2.3%	15	2.3%	45	2.3%
無回答	21	1.6%	23	3.5%	44	2.2%
回答数合計	7,456	564.0%	3,014	461.6%	10,470	530.1%
回答者数(母数)	1,322		653		1,975	



※①指導者用デジタル教科書・教材」が最も多く全体で83.9%、次いで「④動画教材（NHK for School等）」73.8%、「③デジタルドリル・AIドリル」71.0%、「②学習者用デジタル教科書・教材」70.5%となっている。

2-1-3-7 欠席者対応や学級閉鎖中、休校中などに ICT を活用した遠隔・オンライン学習を行っていますか。

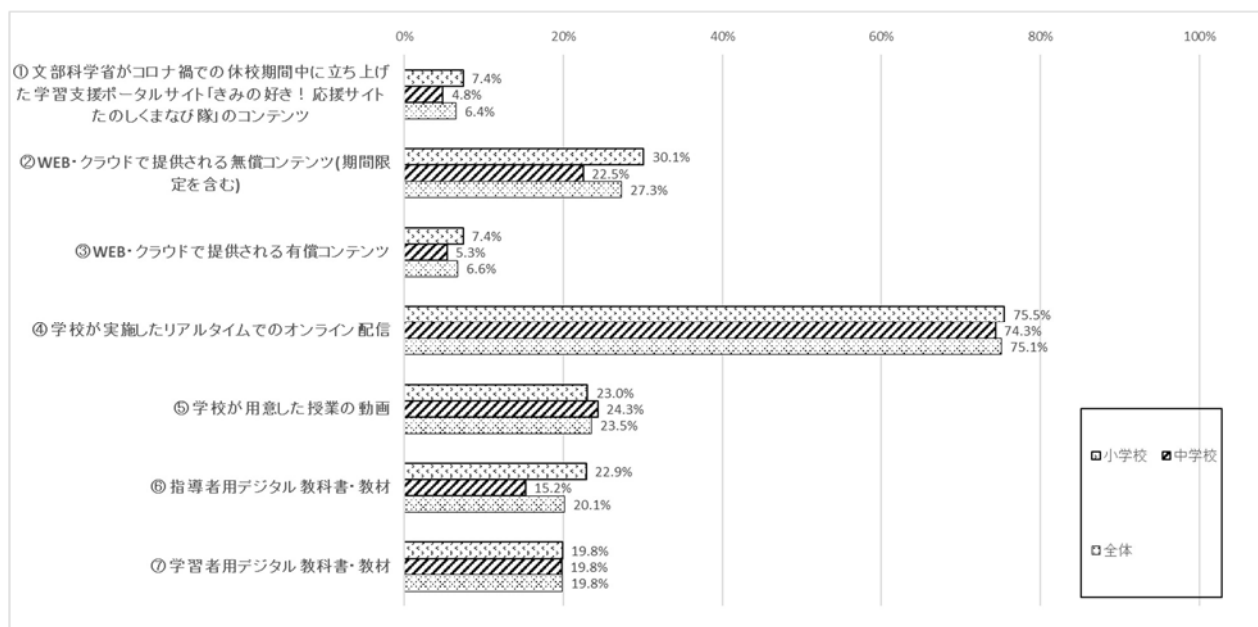
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①行っている	665	50.3%	374	57.3%	1,039	52.6%
②行っていない	642	48.6%	265	40.6%	907	45.9%
無回答	15	1.1%	14	2.1%	29	1.5%
回答者数(母数)	1,322	100.0%	653	100.0%	1,975	100.0%



※「①行っている」が全体で 52.6%であるが、「②行っていない」も 45.9%である。オンライン学習を行えるよう日頃より準備することが求められる。

2-1-3-8 2-1-3-7」で①と回答された方に伺います。欠席者対応や学級閉鎖中、休校中などに ICT を活用した家庭学習を行ったとき、どのような教材・コンテンツを活用しましたか。(いくつでも)

	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①文部科学省がコロナ禍での休校期間中に立ち上げた学習支援ポータルサイト「きみの好き！応援サイト たのしくまなび隊」(「子供の学び応援サイト」を全面リニューアル)のコンテンツ	49	7.4%	18	4.8%	67	6.4%
②WEB・クラウドで提供される無償コンテンツ(期間限定を含む)	200	30.1%	84	22.5%	284	27.3%
③WEB・クラウドで提供される有償コンテンツ	49	7.4%	20	5.3%	69	6.6%
④学校が実施したリアルタイムでのオンライン配信	502	75.5%	278	74.3%	780	75.1%
⑤学校が用意した授業の動画	153	23.0%	91	24.3%	244	23.5%
⑥指導者用デジタル教科書・教材	152	22.9%	57	15.2%	209	20.1%
⑦学習者用デジタル教科書・教材	132	19.8%	74	19.8%	206	19.8%
無回答	17	2.6%	11	2.9%	28	2.7%
回答数合計	1,254	188.6%	633	169.3%	1,887	181.6%
回答者数(母数)	665		374		1,039	

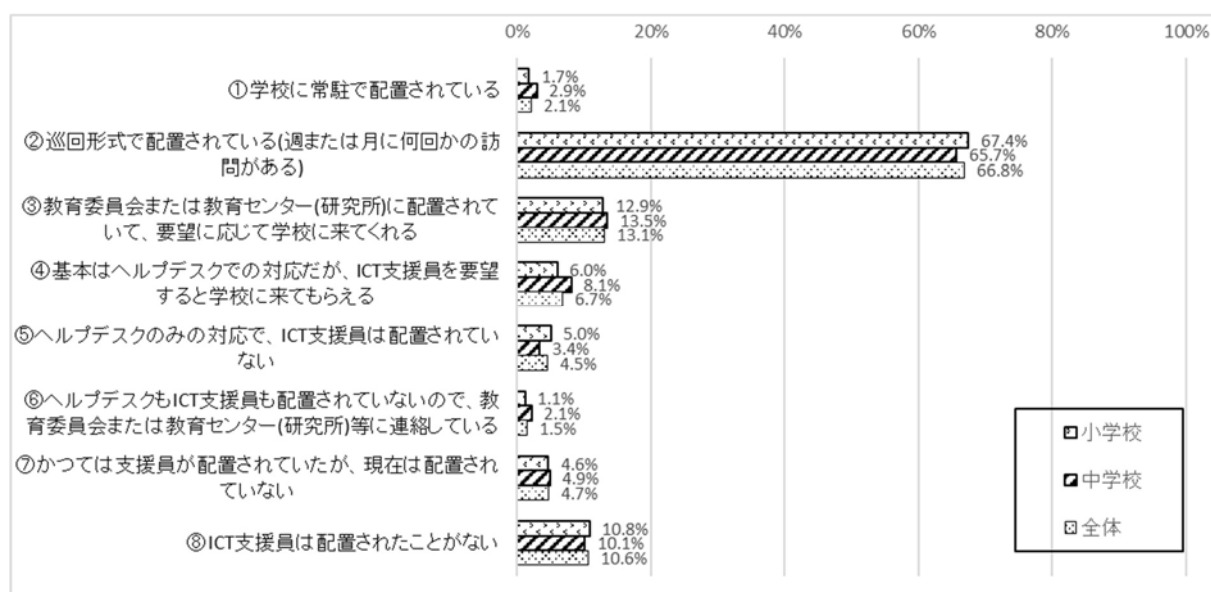


※「④学校が実施したリアルタイムでのオンライン配信」が最も多く全体で 75.1%となっている。

2-2 ICT に関する保守サポートの項目

2-2-1 ICT 支援員の配置について伺います。(いくつでも)

	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①学校に常駐で配置されている	23	1.7%	19	2.9%	42	2.1%
②巡回形式で配置されている(週または月に何回かの訪問がある)	891	67.4%	429	65.7%	1,320	66.8%
③教育委員会または教育センター(研究所)に配置されていて、要望に応じて学校に来てくれる	170	12.9%	88	13.5%	258	13.1%
④基本はヘルプデスクでの対応だが、ICT支援員を要望すると学校に来てもらえる	79	6.0%	53	8.1%	132	6.7%
⑤ヘルプデスクのみの対応で、ICT支援員は配置されていない	66	5.0%	22	3.4%	88	4.5%
⑥ヘルプデスクもICT支援員も配置されていないので、教育委員会または教育センター(研究所)等に連絡している	15	1.1%	14	2.1%	29	1.5%
⑦かつては支援員が配置されていたが、現在は配置されていない	61	4.6%	32	4.9%	93	4.7%
⑧ICT支援員は配置されたことがない	143	10.8%	66	10.1%	209	10.6%
無回答	5	0.4%	8	1.2%	13	0.7%
回答数合計	1,453	109.9%	731	111.9%	2,184	110.6%
回答者数(母数)	1,322		653		1,975	

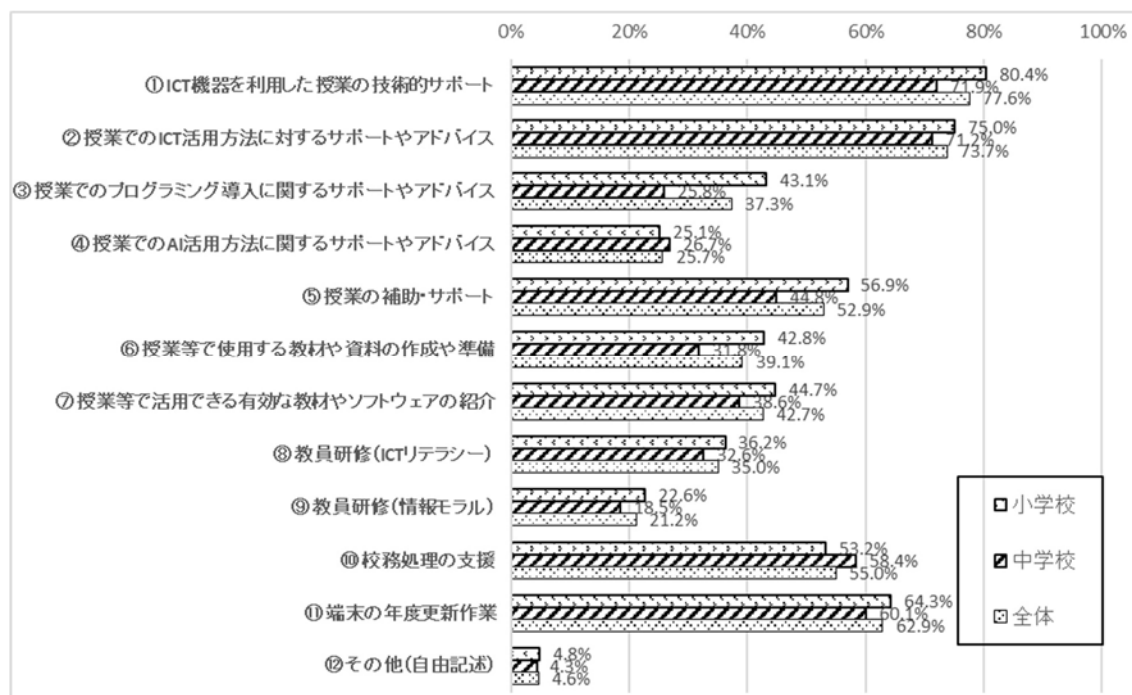


※全体では「②巡回形式で配置されている(週または月に何回かの訪問がある)」が最も多く 66.8%。

「③教育委員会または教育センター(研究所)に配置されていて、要望に応じて学校に来てくれる」が 13.1%となっている。

2-2-2 「2-2-1」で①～④と回答された方に伺います。ICT 支援員にどのようなサポートを依頼していますか。(いくつでも)

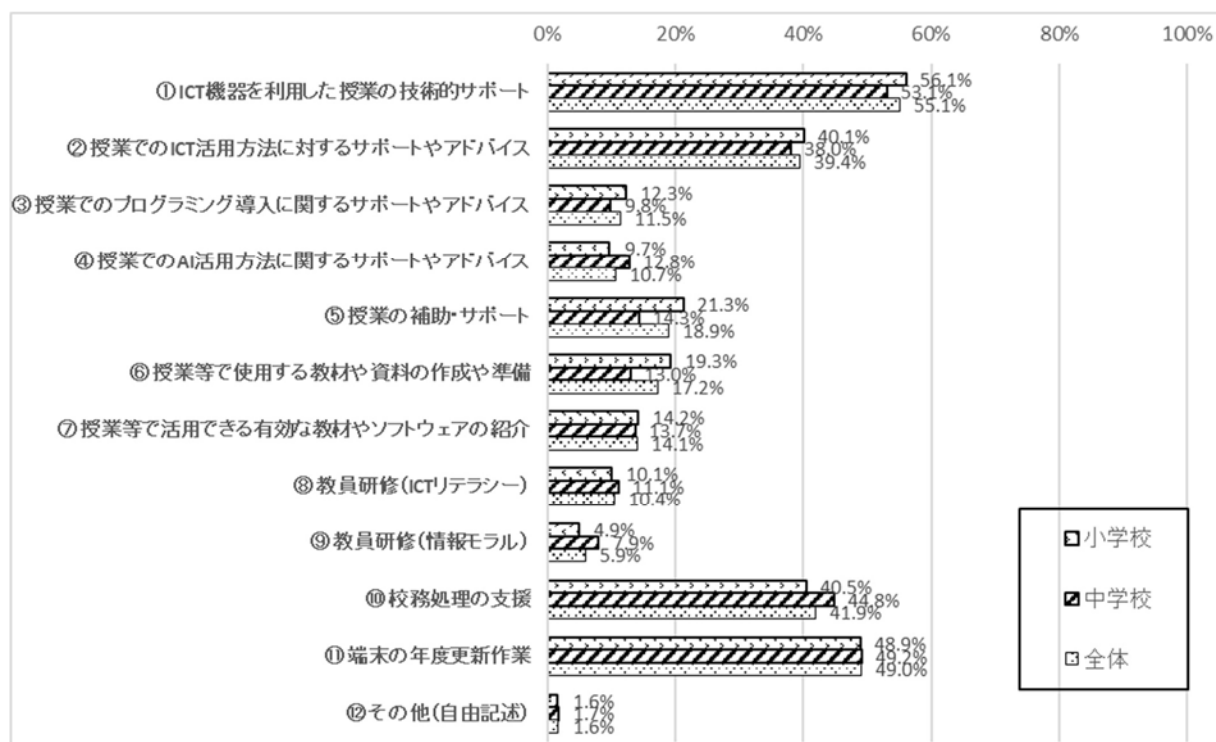
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①ICT機器を利用した授業の技術的サポート	855	80.4%	382	71.9%	1,237	77.6%
②授業でのICT活用方法に対するサポートやアドバイス	797	75.0%	378	71.2%	1,175	73.7%
③授業でのプログラミング導入に関するサポートやアドバイス	458	43.1%	137	25.8%	595	37.3%
④授業でのAI活用方法に関するサポートやアドバイス	267	25.1%	142	26.7%	409	25.7%
⑤授業の補助・サポート	605	56.9%	238	44.8%	843	52.9%
⑥授業等で使用する教材や資料の作成や準備	455	42.8%	169	31.8%	624	39.1%
⑦授業等で活用できる有効な教材やソフトウェアの紹介	475	44.7%	205	38.6%	680	42.7%
⑧教員研修(ICTリテラシー)	385	36.2%	173	32.6%	558	35.0%
⑨教員研修(情報モラル)	240	22.6%	98	18.5%	338	21.2%
⑩校務処理の支援	566	53.2%	310	58.4%	876	55.0%
⑪端末の年度更新作業	683	64.3%	319	60.1%	1,002	62.9%
⑫その他(自由記述)	51	4.8%	23	4.3%	74	4.6%
無回答	5	0.5%	8	1.5%	13	0.8%
回答数合計	5,842	549.6%	2,582	486.3%	8,424	528.5%
回答者数(母数)	1,063		531		1,594	



※全体では「①ICT 機器を利用した授業の技術的サポート」が 77.6%と最も多く、次いで「②授業での ICT 活用方法に対するサポートやアドバイス」が 73.7%と多くなっている。「③授業でのプログラミング導入に関するサポートやアドバイス」は、小学校では 43.1%と中学校の 25.8%に比べて多くなっており、小学校へのプログラミング導入に向けたサポートの需要が大きい。自由記述では、「不具合対応」「故障端末の対応」などの「ICT トラブル対応」や「機器管理業務」が多い傾向がみられた。

2-2-3 「2-2-1」で①～④と回答された方に伺います。ICT 支援員に特に期待するサポートは何ですか。(3つまで)

	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①ICT機器を利用した授業の技術的サポート	596	56.1%	282	53.1%	878	55.1%
②授業でのICT活用方法に対するサポートやアドバイス	426	40.1%	202	38.0%	628	39.4%
③授業でのプログラミング導入に関するサポートやアドバイス	131	12.3%	52	9.8%	183	11.5%
④授業でのAI活用方法に関するサポートやアドバイス	103	9.7%	68	12.8%	171	10.7%
⑤授業の補助・サポート	226	21.3%	76	14.3%	302	18.9%
⑥授業等で使用する教材や資料の作成や準備	205	19.3%	69	13.0%	274	17.2%
⑦授業等で活用できる有効な教材やソフトウェアの紹介	151	14.2%	73	13.7%	224	14.1%
⑧教員研修(ICTリテラシー)	107	10.1%	59	11.1%	166	10.4%
⑨教員研修(情報モラル)	52	4.9%	42	7.9%	94	5.9%
⑩校務処理の支援	430	40.5%	238	44.8%	668	41.9%
⑪端末の年度更新作業	520	48.9%	261	49.2%	781	49.0%
⑫その他(自由記述)	17	1.6%	9	1.7%	26	1.6%
無回答	23	2.2%	22	4.1%	45	2.8%
回答数合計	2,987	281.0%	1,453	273.6%	4,440	278.5%
回答者数(母数)	1,063		531		1,594	



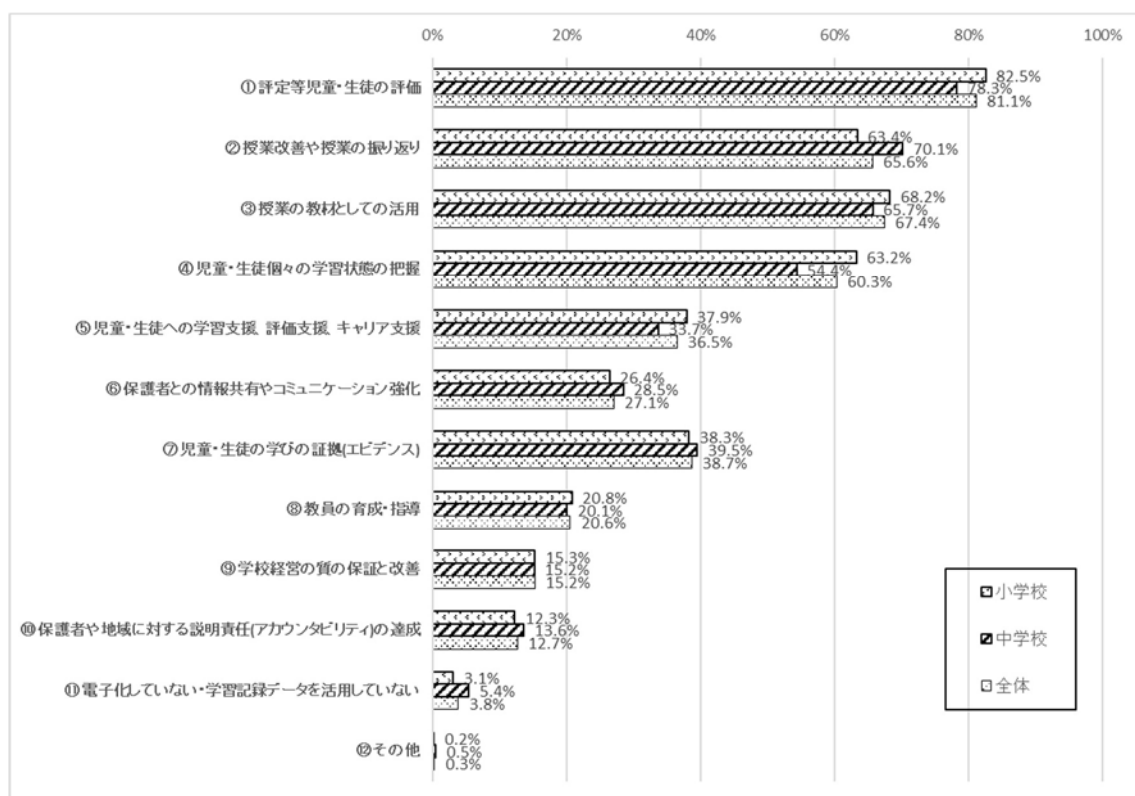
※ICT 支援員に最も期待されている支援は「①ICT 機器を利用した授業の技術的サポート」で 55.1%。次いで「⑪端末の年度更新作業」が 49.0%、「⑩校務処理の支援」が 41.9%となっており、校務処理や年度更新作業の支援への期待が高いことがうかがえる。また自由記述では、「端末の故障や不具合対応」「端末修理」「端末の設定や状態確認」などの「ICT トラブル対応」や「機器管理業務」を期待する意見が多く、依頼している業務と一致している。

(学校編)

2-3 データの利活用に関する項目

2-3-1 電子化された学習記録の活用について、既に利用しているものをすべて選択してください。
(いくつでも)

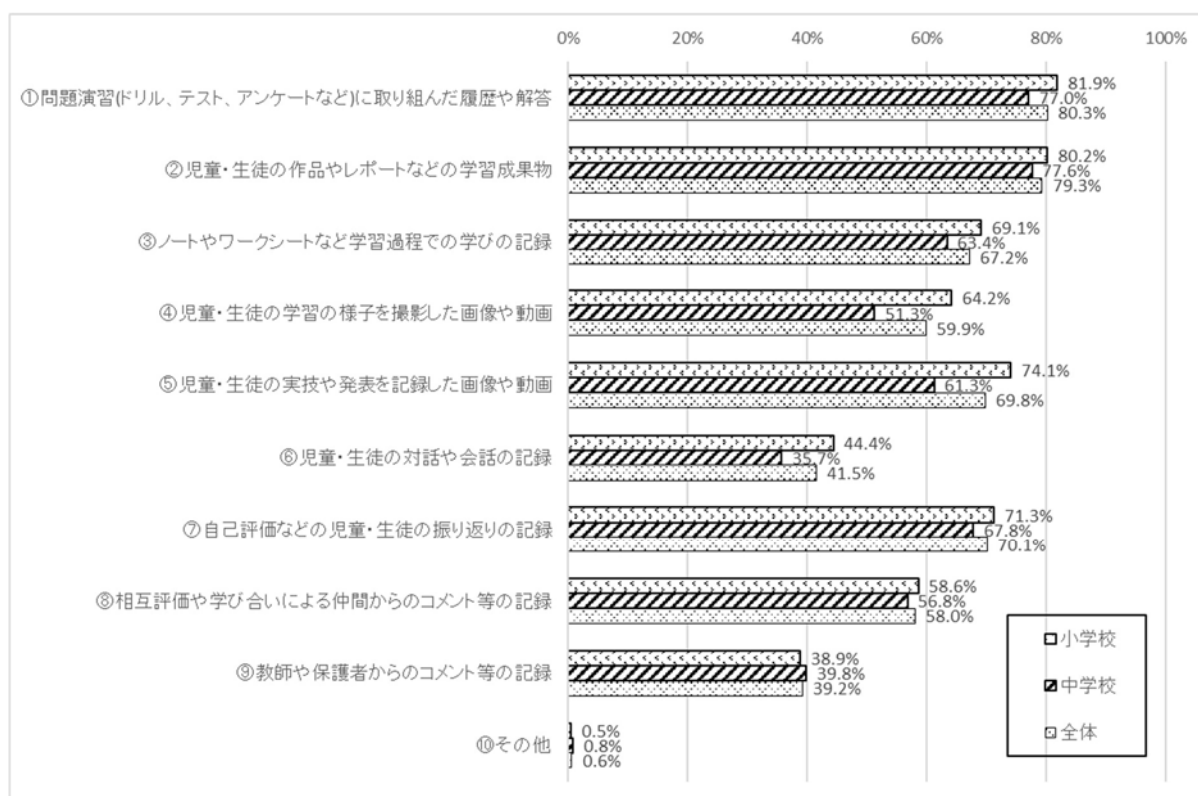
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
① 評定等児童・生徒の評価	1,091	82.5%	511	78.3%	1,602	81.1%
② 授業改善や授業の振り返り	838	63.4%	458	70.1%	1,296	65.6%
③ 授業の教材としての活用	902	68.2%	429	65.7%	1,331	67.4%
④ 児童・生徒個々の学習状態の把握	836	63.2%	355	54.4%	1,191	60.3%
⑤ 児童・生徒への学習支援、評価支援、キャリア支援	501	37.9%	220	33.7%	721	36.5%
⑥ 保護者との情報共有やコミュニケーション強化	349	26.4%	186	28.5%	535	27.1%
⑦ 児童・生徒の学びの証拠(エビデンス)	506	38.3%	258	39.5%	764	38.7%
⑧ 教員の育成・指導	275	20.8%	131	20.1%	406	20.6%
⑨ 学校経営の質の保証と改善	202	15.3%	99	15.2%	301	15.2%
⑩ 保護者や地域に対する説明責任(アカウンタビリティ)の達成	162	12.3%	89	13.6%	251	12.7%
⑪ 電子化していない・学習記録データを活用していない	41	3.1%	35	5.4%	76	3.8%
⑫ その他	2	0.2%	3	0.5%	5	0.3%
無回答	20	1.5%	15	2.3%	35	1.8%
回答数合計	5,725	433.1%	2,789	427.1%	8,514	431.1%
回答者数(母数)	1,322		653		1,975	



※回答数合計を見ると全体で 400%を超えていることから、各学校が平均して 4 項目以上で既に利用していると考えられ、様々な目的で電子化された学習記録が活用されている。

2-3-2 子供たちの学習記録について、電子化が有効だとお考えになるものをすべて選択してください。(いくつでも)

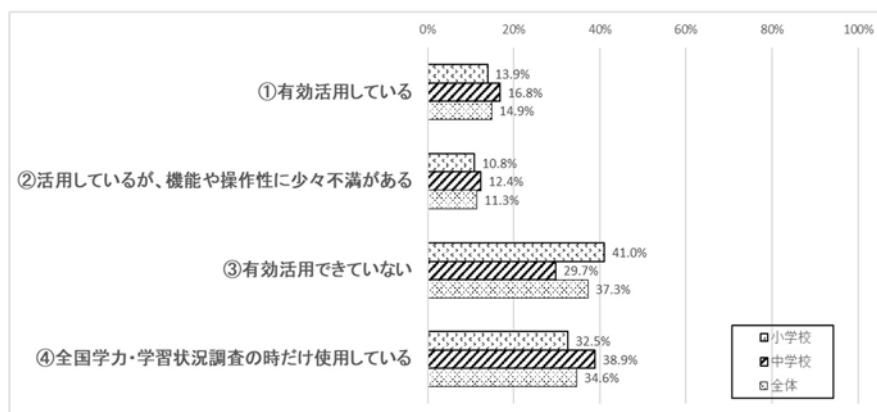
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①問題演習(ドリル、テスト、アンケートなど)に取り組んだ履歴や解答	1,083	81.9%	503	77.0%	1,586	80.3%
②児童・生徒の作品やレポートなどの学習成果物	1,060	80.2%	507	77.6%	1,567	79.3%
③ノートやワークシートなど学習過程での学びの記録	913	69.1%	414	63.4%	1,327	67.2%
④児童・生徒の学習の様子を撮影した画像や動画	849	64.2%	335	51.3%	1,184	59.9%
⑤児童・生徒の実技や発表を記録した画像や動画	979	74.1%	400	61.3%	1,379	69.8%
⑥児童・生徒の対話や会話の記録	587	44.4%	233	35.7%	820	41.5%
⑦自己評価などの児童・生徒の振り返りの記録	942	71.3%	443	67.8%	1,385	70.1%
⑧相互評価や学び合いによる仲間からのコメント等の記録	775	58.6%	371	56.8%	1,146	58.0%
⑨教師や保護者からのコメント等の記録	514	38.9%	260	39.8%	774	39.2%
⑩その他	7	0.5%	5	0.8%	12	0.6%
無回答	23	1.7%	14	2.1%	37	1.9%
回答数合計	7,732	584.9%	3,485	533.7%	11,217	567.9%
回答者数(母数)	1,322		653		1,975	



※「①問題演習（ドリル、テスト、アンケートなど）に取り組んだ履歴や解答」「②児童・生徒の作品やレポート等などの学習成果物」が全体でそれぞれ 80.3%、79.3%と特に高い。

2-3-3 学習 e ポータルを活用していますか

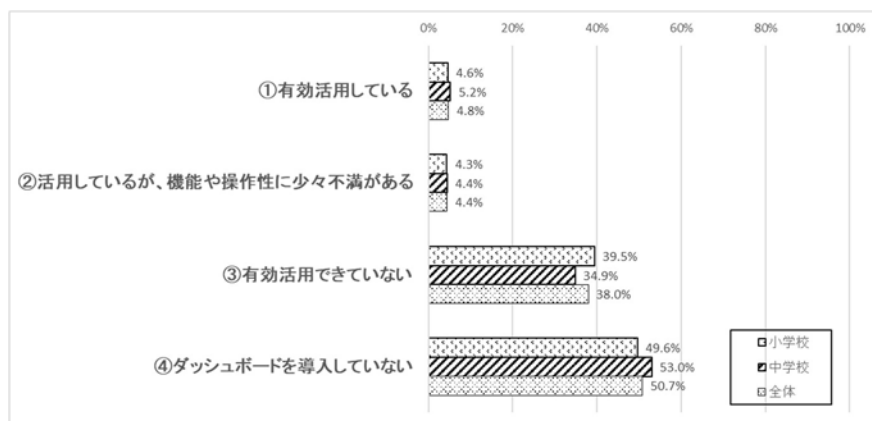
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①有効活用している	184	13.9%	110	16.8%	294	14.9%
②活用しているが、機能や操作性に少々不満がある	143	10.8%	81	12.4%	224	11.3%
③有効活用できていない	542	41.0%	194	29.7%	736	37.3%
④全国学力・学習状況調査の時だけ使用している	430	32.5%	254	38.9%	684	34.6%
無回答	23	1.7%	14	2.1%	37	1.9%
回答者数(母数)	1,322	100.0%	653	100.0%	1,975	100.0%



※教育委員会に対する学習 e ポータルの活用状況の設問 (1-4-9) では、「(活用)できていない」が 6.4%であったが、学校においては「③有効活用できていない」が全体で 37.3%と結果に隔たりがある。

2-3-4 ダッシュボードを活用していますか

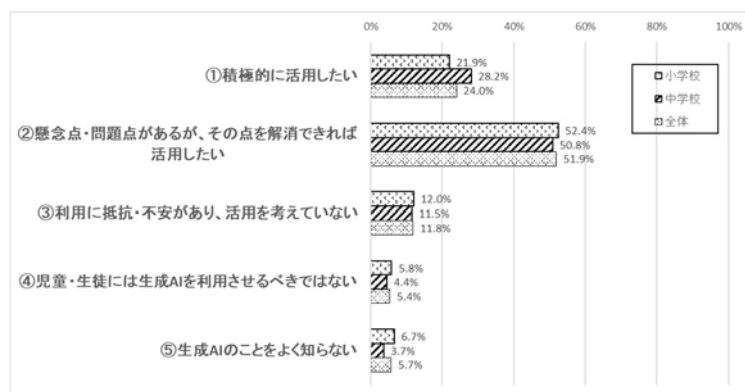
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①有効活用している	61	4.6%	34	5.2%	95	4.8%
②活用しているが、機能や操作性に少々不満がある	57	4.3%	29	4.4%	86	4.4%
③有効活用できていない	522	39.5%	228	34.9%	750	38.0%
④ダッシュボードを導入していない	656	49.6%	346	53.0%	1,002	50.7%
無回答	26	2.0%	16	2.5%	42	2.1%
回答者数(母数)	1,322	100.0%	653	100.0%	1,975	100.0%



※「③有効活用できていない」が全体で 38.0%、「④ダッシュボードを導入していない」が 50.7%となっており、学校現場ではダッシュボードが導入されても活用できてない状態にある。

2-3-5 授業での生成 AI 活用への意識を伺います。

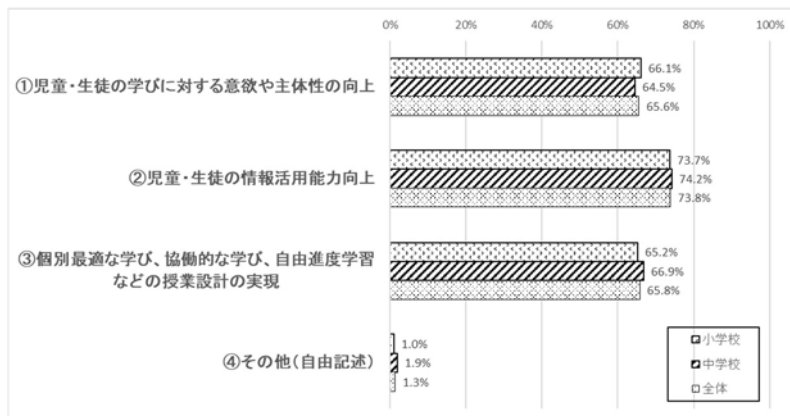
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①積極的に活用したい	290	21.9%	184	28.2%	474	24.0%
②懸念点・問題点があるが、その点を解消できれば活用したい	693	52.4%	332	50.8%	1,025	51.9%
③利用に抵抗・不安があり、活用を考えていない	159	12.0%	75	11.5%	234	11.8%
④児童・生徒には生成AIを利用させるべきではない	77	5.8%	29	4.4%	106	5.4%
⑤生成AIのことをよく知らない	88	6.7%	24	3.7%	112	5.7%
無回答	15	1.1%	9	1.4%	24	1.2%
回答者数(母数)	1,322	100.0%	653	100.0%	1,975	100.0%



※「①積極的に活用したい」「②懸念点・問題点があるが、その点を解消できれば活用したい」が全体の合計で 75.9%となっており、条件付きを含めて生成 AI の授業での活用に前向きな意識を持っている学校が多い。

2-3-6 「2-3-5」で①または②と回答した方に伺います。授業での生成 AI の利用に対して期待する点について教えてください。(いくつでも)

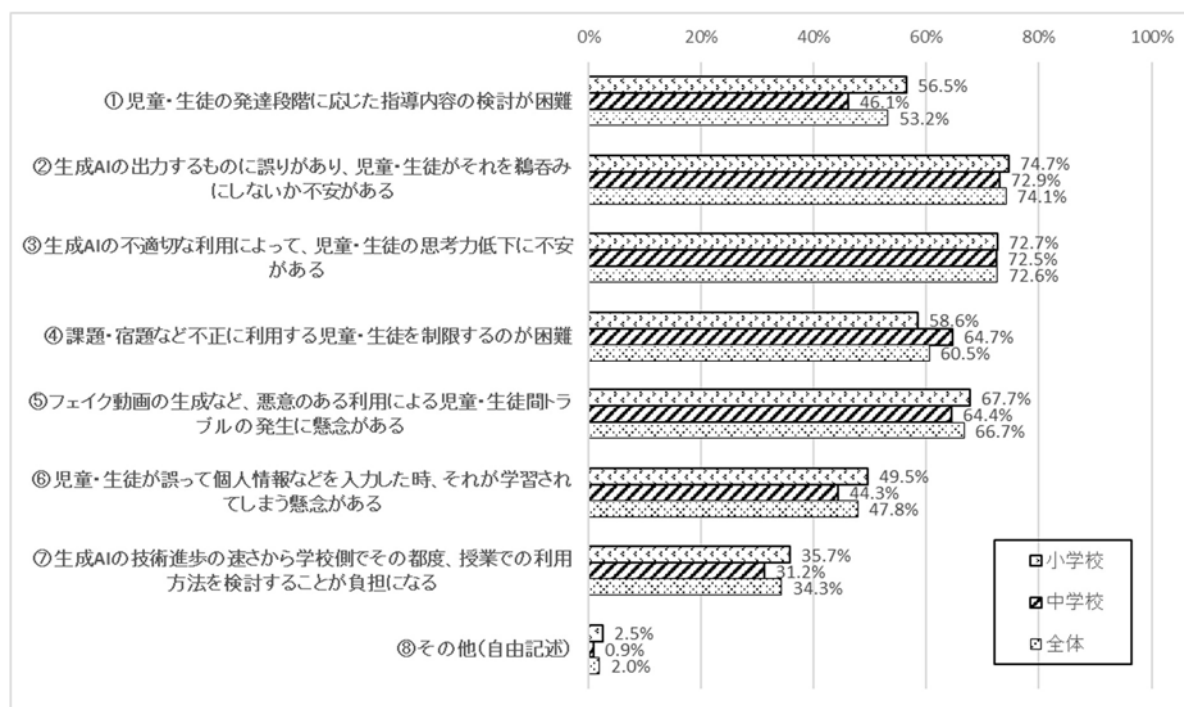
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①児童・生徒の学びに対する意欲や主体性の向上	650	66.1%	333	64.5%	983	65.6%
②児童・生徒の情報活用能力向上	724	73.7%	383	74.2%	1,107	73.8%
③個別最適な学び、協働的な学び、自由進度学習などの授業設計の実現	641	65.2%	345	66.9%	986	65.8%
④その他(自由記述)	10	1.0%	10	1.9%	20	1.3%
無回答	11	1.1%	2	0.4%	13	0.9%
回答数合計	2,036	207.1%	1,073	207.9%	3,109	207.4%
回答者数(母数)	983		516		1,499	



※①～③の選択肢が総じて高い。自由記述では、「テクノロジー理解」や「AI リテラシーの育成」について期待する内容が見られた。

2-3-7 「2-3-5」で②～④と回答した方に伺います。授業での生成AIの利用に対して抱く懸念点・不安点は次のどれですか。(いくつでも)

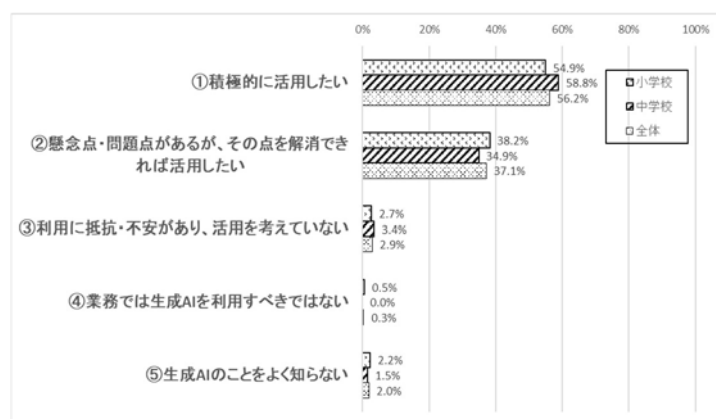
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①児童・生徒の発達段階に応じた指導内容の検討が困難	525	56.5%	201	46.1%	726	53.2%
②生成AIの出力するものに誤りがあり、児童・生徒がそれを鵜呑みにしないか不安がある	694	74.7%	318	72.9%	1,012	74.1%
③生成AIの不適切な利用によって、児童・生徒の思考力低下に不安がある	675	72.7%	316	72.5%	991	72.6%
④課題・宿題など不正に利用する児童・生徒を制限するのが困難	544	58.6%	282	64.7%	826	60.5%
⑤フェイク動画の生成など、悪意のある利用による児童・生徒間トラブルの発生に懸念がある	629	67.7%	281	64.4%	910	66.7%
⑥児童・生徒が誤って個人情報などを入力した時、それが学習されてしまう懸念がある	460	49.5%	193	44.3%	653	47.8%
⑦生成AIの技術進歩の速さから学校側でその都度、授業での利用方法を検討することが負担になる	332	35.7%	136	31.2%	468	34.3%
⑧その他(自由記述)	23	2.5%	4	0.9%	27	2.0%
無回答	28	3.0%	14	3.2%	42	3.1%
回答数合計	3,910	420.9%	1,745	400.2%	5,655	414.3%
回答者数(母数)	929		436		1,365	



※「②生成AIの出力するものに誤りがあり、児童・生徒がそれを鵜呑みにしないか不安がある」
「③生成AIの不適切な利用によって、児童・生徒の思考力低下に不安がある」が全体で70%を超えており、生成AIに対するリテラシーが低い状態での利用で児童・生徒に悪影響を及ぼすことの懸念が多い。自由記述では、「教員側の理解度」や「授業デザイン」に対する懸念点が挙げられていた。

2-3-8 業務の効率化での生成 AI 活用への意識を伺います。

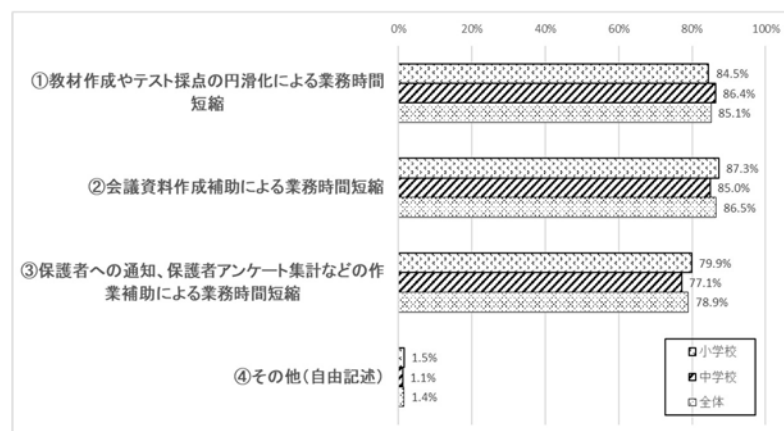
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①積極的に活用したい	726	54.9%	384	58.8%	1,110	56.2%
②懸念点・問題点があるが、その点を解消できれば活用したい	505	38.2%	228	34.9%	733	37.1%
③利用に抵抗・不安があり、活用を考えていない	36	2.7%	22	3.4%	58	2.9%
④業務では生成AIを利用すべきではない	6	0.5%			6	0.3%
⑤生成AIのことをよく知らない	29	2.2%	10	1.5%	39	2.0%
無回答	20	1.5%	9	1.4%	29	1.5%
回答者数(母数)	1,322	100.0%	653	100.0%	1,975	100.0%



※「①積極的に活用したい」「②懸念点・問題点があるが、その点を解消できれば活用したい」が合わせて全体の 93.3%となっており、授業での活用（2-4-5）での 75.9%を超え、非常に高い。

2-3-9 「2-3-8」で①または②と回答した方に伺います。業務の効率化での生成 AI の利用に対して期待する点について教えてください。(いくつでも)

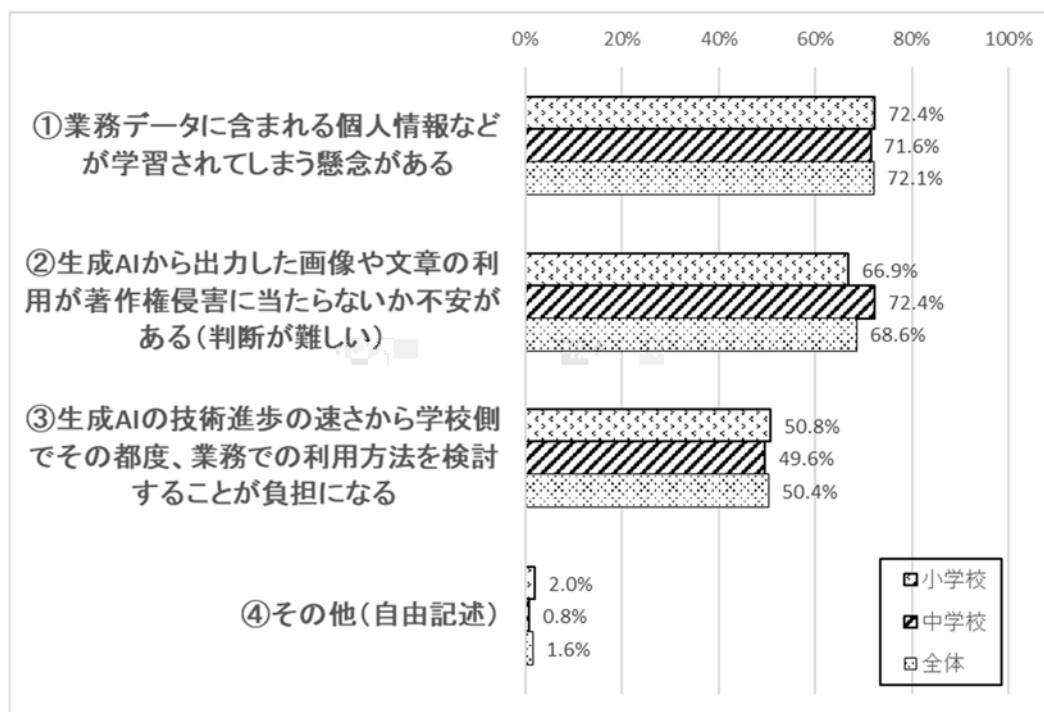
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①教材作成やテスト採点の円滑化による業務時間短縮	1,040	84.5%	529	86.4%	1,569	85.1%
②会議資料作成補助による業務時間短縮	1,075	87.3%	520	85.0%	1,595	86.5%
③保護者への通知、保護者アンケート集計などの作業補助による業務時間短縮	983	79.9%	472	77.1%	1,455	78.9%
④その他(自由記述)	19	1.5%	7	1.1%	26	1.4%
無回答	5	0.4%	4	0.7%	9	0.5%
回答数合計	3,122	253.6%	1,532	250.3%	4,654	252.5%
回答者数(母数)	1,231		612		1,843	



※①～③すべての選択肢において75%を超える結果となっており、業務時間短縮への期待が高いことがうかがえる。自由記述では、「成績処理への活用」「校務処理のアドバイザーとしての活用」が期待する事項として挙げられていた。

2-3-10 「2-3-8」で②～④と回答した方に伺います。業務の効率化での生成 AI の利用に対して抱く懸念点・不安点について教えてください。(いくつでも)

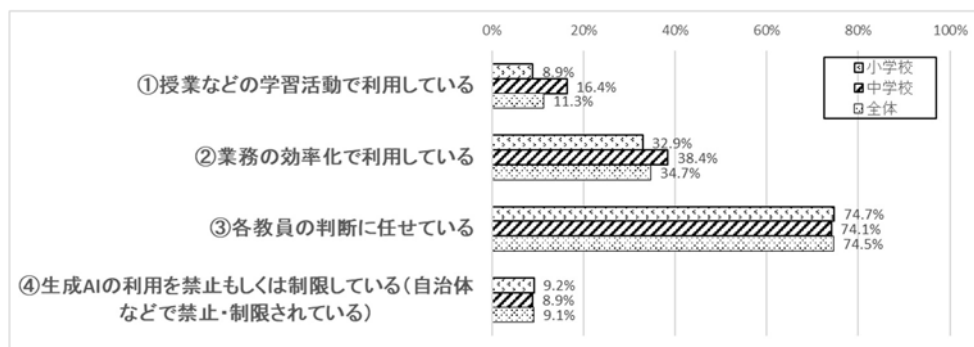
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①業務データに含まれる個人情報などが学習されてしまう懸念がある	396	72.4%	179	71.6%	575	72.1%
②生成AIから出力した画像や文章の利用が著作権侵害に当たらないか不安がある(判断が難しい)	366	66.9%	181	72.4%	547	68.6%
③生成AIの技術進歩の速さから学校側でその都度、業務での利用方法を検討することが負担になる	278	50.8%	124	49.6%	402	50.4%
④その他(自由記述)	11	2.0%	2	0.8%	13	1.6%
無回答	29	5.3%	13	5.2%	42	5.3%
回答数合計	1,080	197.4%	499	199.6%	1,579	198.1%
回答者数(母数)	547		250		797	



※「①業務データに含まれる個人情報などが学習されてしまう懸念がある」が全体で 72.1%、「②生成 AI から出力した画像や文章の利用が著作権侵害に当たらないか不安がある (判断が難しい)」が 68.6%と高い。自由記述では、「出力内容のハルシネーションの有無の確認」への負担感が指摘されていた。

2-3-11 生成 AI の利用について伺います。(いくつでも)

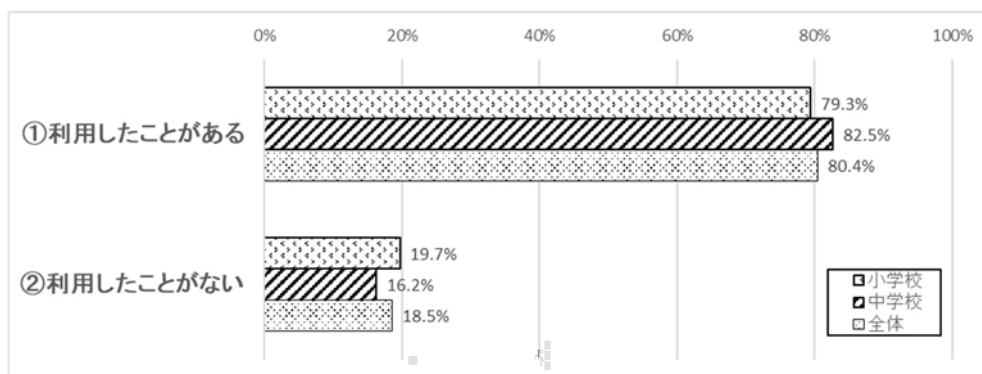
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①授業などの学習活動で利用している	117	8.9%	107	16.4%	224	11.3%
②業務の効率化で利用している	435	32.9%	251	38.4%	686	34.7%
③各教員の判断に任せている	988	74.7%	484	74.1%	1,472	74.5%
④生成AIの利用を禁止もしくは制限している (自治体などで禁止・制限されている)	121	9.2%	58	8.9%	179	9.1%
無回答	55	4.2%	16	2.5%	71	3.6%
回答数合計	1,716	129.8%	916	140.3%	2,632	133.3%
回答者数(母数)	1,322		653		1,975	



※「③各教員の判断に任せている」が74.5%と高い。

2-3-12 業務外（プライベート）での生成 AI の利用について伺います。

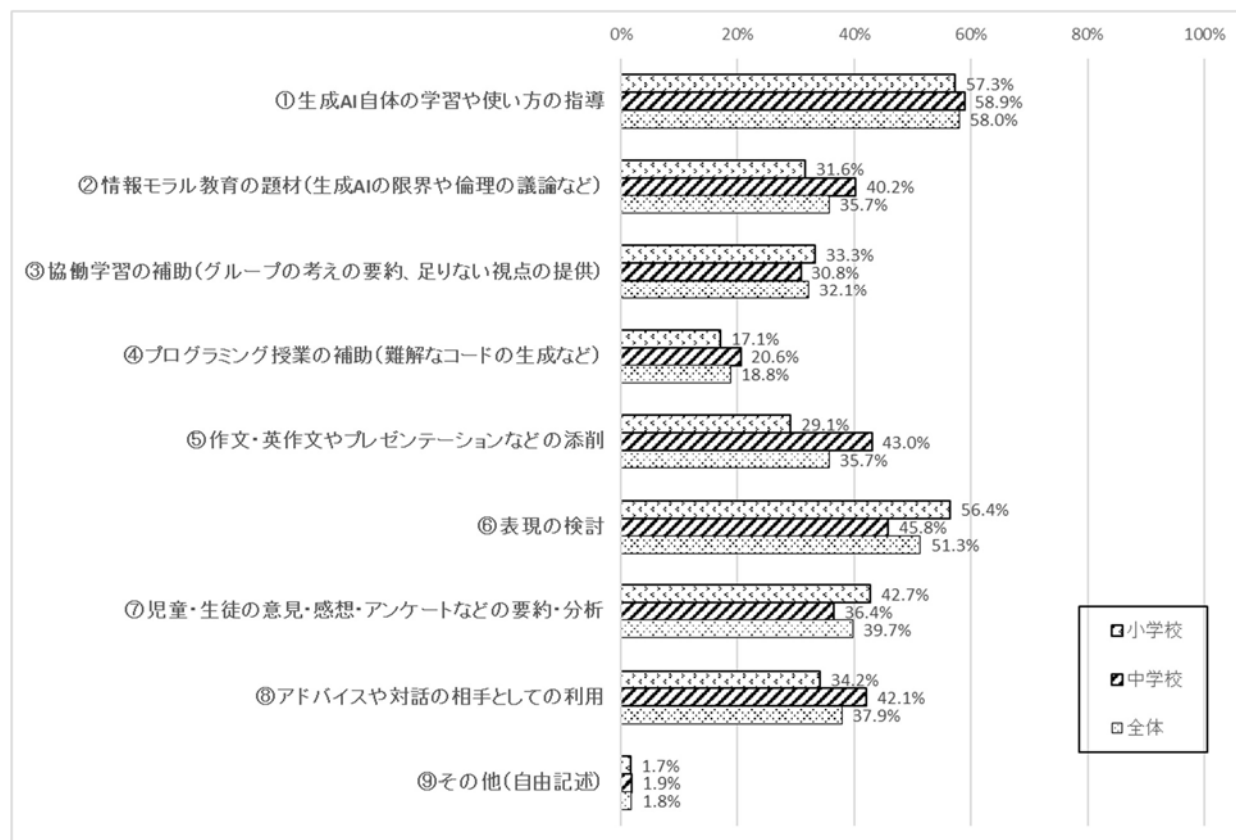
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①利用したことがある	1,049	79.3%	539	82.5%	1,588	80.4%
②利用したことがない	260	19.7%	106	16.2%	366	18.5%
無回答	13	1.0%	8	1.2%	21	1.1%
回答者数(母数)	1,322	100.0%	653	100.0%	1,975	100.0%



※「①利用したことがある」が全体で80.4%と業務外での利用経験者は非常に多い。

2-3-13 「2-3-11」で①と回答した方に伺います。学習活動での生成 AI 利用の内容は次のどれですか。(いくつでも)

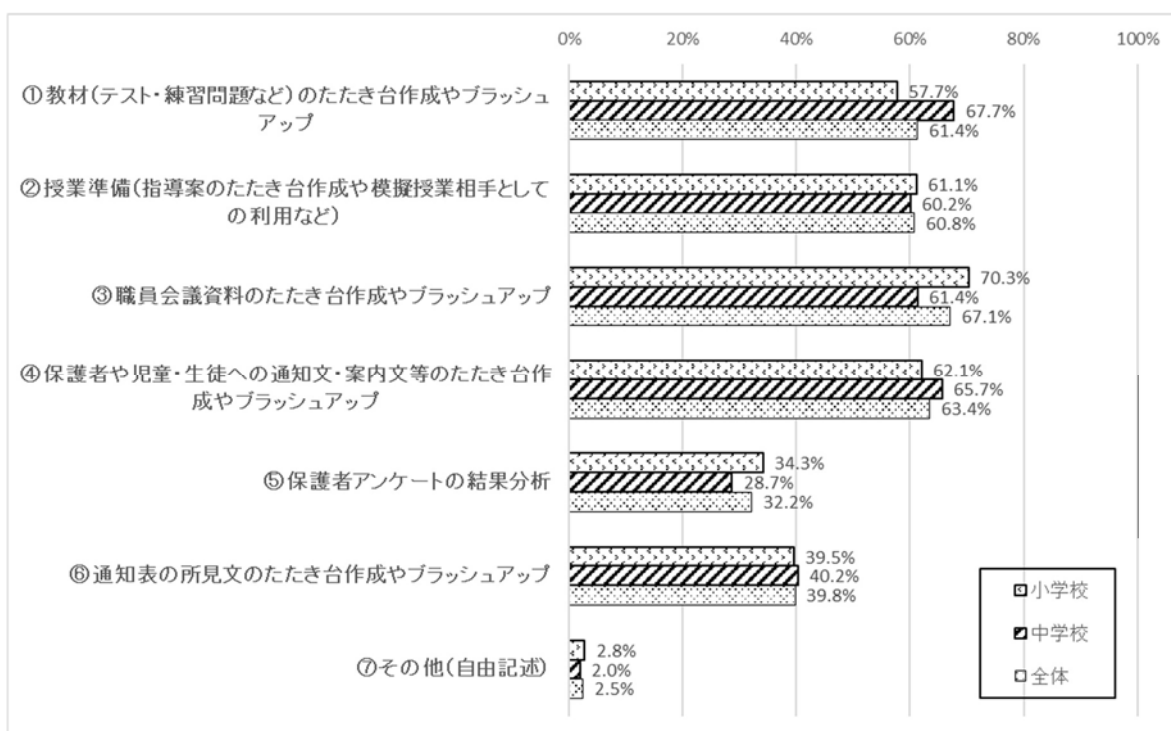
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①生成AI自体の学習や使い方の指導	67	57.3%	63	58.9%	130	58.0%
②情報モラル教育の題材(生成AIの限界や倫理の議論など)	37	31.6%	43	40.2%	80	35.7%
③協働学習の補助(グループの考えの要約、足りない視点の提供)	39	33.3%	33	30.8%	72	32.1%
④プログラミング授業の補助(難解なコードの生成など)	20	17.1%	22	20.6%	42	18.8%
⑤作文・英作文やプレゼンテーションなどの添削	34	29.1%	46	43.0%	80	35.7%
⑥表現の検討	66	56.4%	49	45.8%	115	51.3%
⑦児童・生徒の意見・感想・アンケートなどの要約・分析	50	42.7%	39	36.4%	89	39.7%
⑧アドバイスや対話の相手としての利用	40	34.2%	45	42.1%	85	37.9%
⑨その他(自由記述)	2	1.7%	2	1.9%	4	1.8%
無回答	3	2.6%	2	1.9%	5	2.2%
回答数合計	358	306.0%	344	321.5%	702	313.4%
回答者数(母数)	117		107		224	



※「①生成 AI 自体の学習や使い方の指導」が全体で 58.0%と高く、次いで「⑥表現の検討」が 51.3%と高い。

2-3-14 「2-3-11」で②と回答した方に伺います。業務の効率化での生成 AI 利用の内容は次のどれですか。(いくつでも)

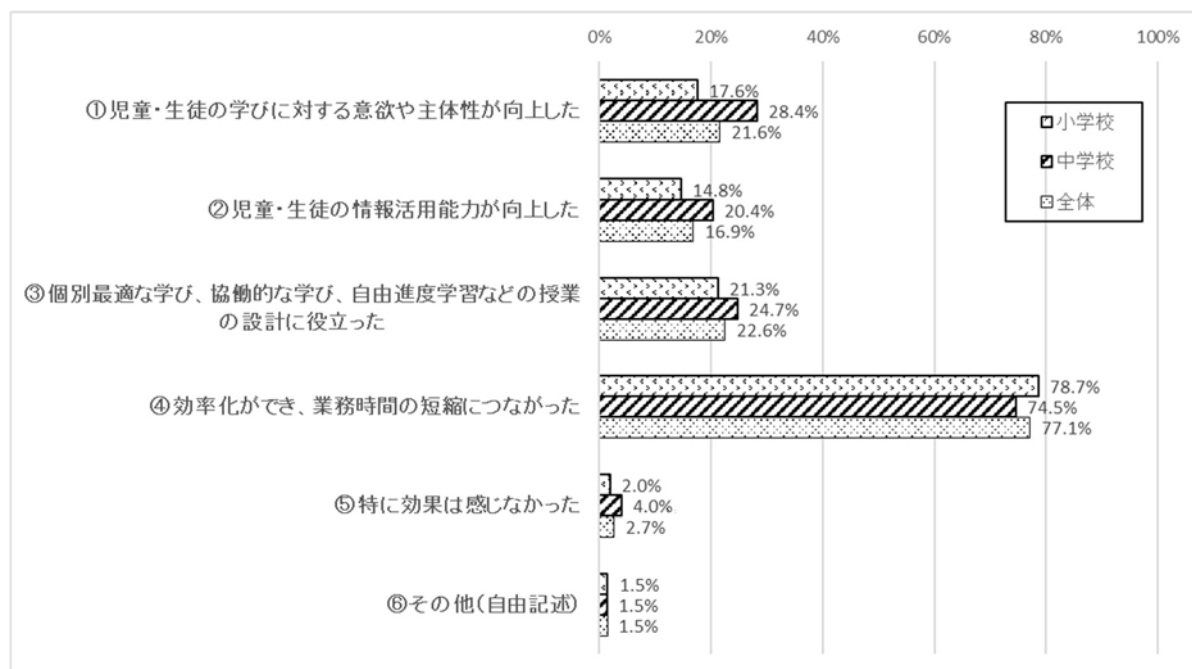
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①教材(テスト・練習問題など)のたたき台作成やブラッシュアップ	251	57.7%	170	67.7%	421	61.4%
②授業準備(指導案のたたき台作成や模擬授業相手としての利用など)	266	61.1%	151	60.2%	417	60.8%
③職員会議資料のたたき台作成やブラッシュアップ	306	70.3%	154	61.4%	460	67.1%
④保護者や児童・生徒への通知文・案内文等のたたき台作成やブラッシュアップ	270	62.1%	165	65.7%	435	63.4%
⑤保護者アンケートの結果分析	149	34.3%	72	28.7%	221	32.2%
⑥通知表の所見文のたたき台作成やブラッシュアップ	172	39.5%	101	40.2%	273	39.8%
⑦その他(自由記述)	12	2.8%	5	2.0%	17	2.5%
無回答	33	7.6%	8	3.2%	41	6.0%
回答数合計	1,459	335.4%	826	329.1%	2,285	333.1%
回答者数(母数)	435		251		686	



※①～④が全体で 60%を超えている。また、回答数合計を見ると全体で 300%を超えており、各校で平均 3 項目以上の利活用を行っている。自由記述でも、「行事計画資料の作成」「会議記録の作成」など、会議への補助的な使用が主に挙げられていた。

2-3-15 「2-3-11」で①または②と回答した方に伺います。生成 AI の使用で実感した効果を教えてください。(いくつでも)

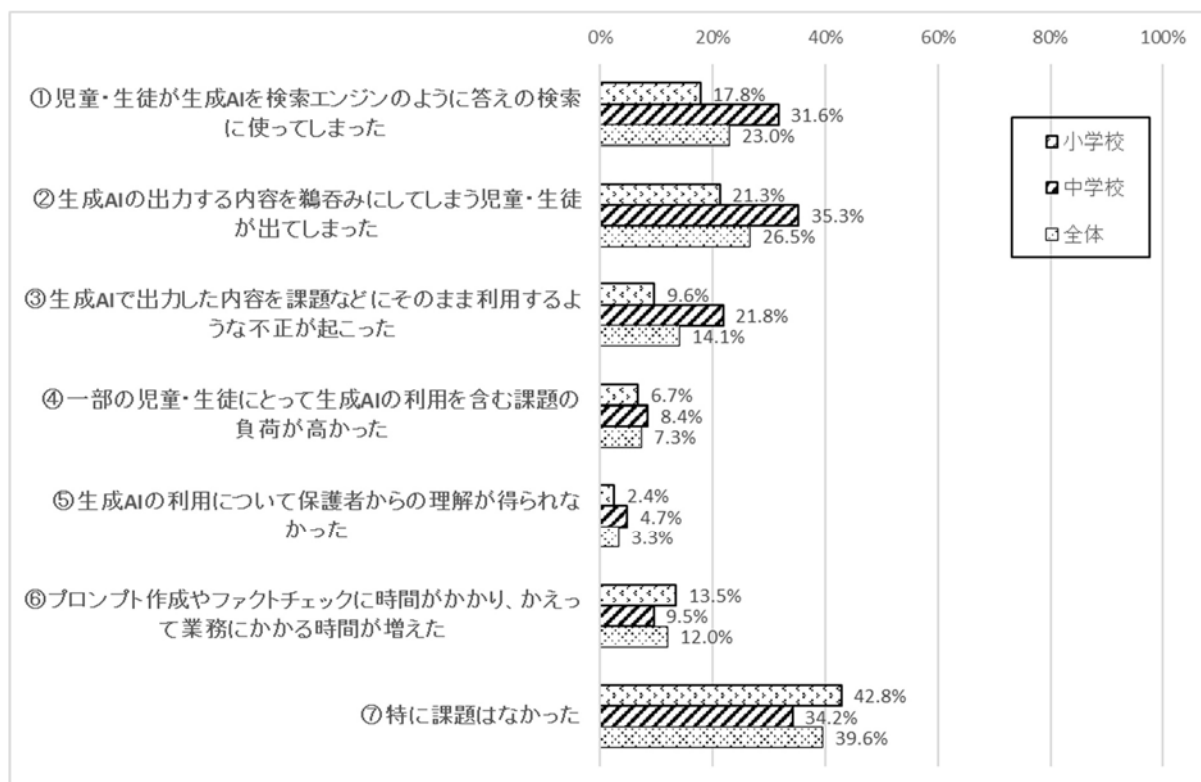
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①児童・生徒の学びに対する意欲や主体性が向上した	81	17.6%	78	28.4%	159	21.6%
②児童・生徒の情報活用能力が向上した	68	14.8%	56	20.4%	124	16.9%
③個別最適な学び、協働的な学び、自由進度学習などの授業の設計に役立った	98	21.3%	68	24.7%	166	22.6%
④効率化ができ、業務時間の短縮につながった	362	78.7%	205	74.5%	567	77.1%
⑤特に効果は感じなかった	9	2.0%	11	4.0%	20	2.7%
⑥その他(自由記述)	7	1.5%	4	1.5%	11	1.5%
無回答	36	7.8%	13	4.7%	49	6.7%
回答数合計	661	143.7%	435	158.2%	1,096	149.1%
回答者数(母数)	460		275		735	



※「④効率化ができ、業務時間の短縮につながった」が全体で 77.1%と高い。

2-3-16 「2-3-11」で①または②と回答した方に伺います。生成AIの使用で起こった課題を教えてください。(いくつでも)

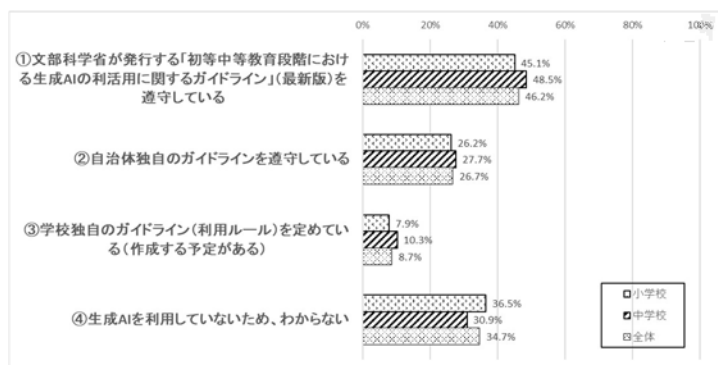
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①児童・生徒が生成AIを検索エンジンのように答えの検索に使ってしまった	82	17.8%	87	31.6%	169	23.0%
②生成AIの出力する内容を鵜呑みにしてしまう児童・生徒が出てしまった	98	21.3%	97	35.3%	195	26.5%
③生成AIで出力した内容を課題などにそのまま利用するような不正が起こった	44	9.6%	60	21.8%	104	14.1%
④一部の児童・生徒にとって生成AIの利用を含む課題の負担が高かった	31	6.7%	23	8.4%	54	7.3%
⑤生成AIの利用について保護者からの理解が得られなかった	11	2.4%	13	4.7%	24	3.3%
⑥プロンプト作成やファクトチェックに時間がかかり、かえって業務にかかる時間が増えた	62	13.5%	26	9.5%	88	12.0%
⑦特に課題はなかった	197	42.8%	94	34.2%	291	39.6%
無回答	71	15.4%	35	12.7%	106	14.4%
回答数合計	596	129.6%	435	158.2%	1,031	140.3%
回答者数(母数)	460		275		735	



※「②生成AIの出力する内容を鵜呑みにしてしまう児童・生徒が出てしまった」が全体で26.5%、特に中学校では35.3%と高い。また、「⑦特に課題はなかった」が全体で39.6%であった。

2-3-17 生成 AI に関するガイドラインについて伺います。(いくつでも)

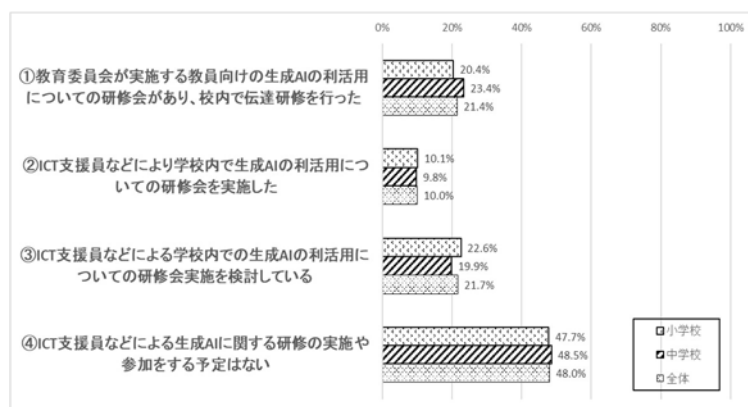
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①文部科学省が発行する「初等中等教育段階における生成AIの利活用に関するガイドライン」(最新版)を遵守している	596	45.1%	317	48.5%	913	46.2%
②自治体独自のガイドラインを遵守している	347	26.2%	181	27.7%	528	26.7%
③学校独自のガイドライン(利用ルール)を定めている(作成する予定がある)	104	7.9%	67	10.3%	171	8.7%
④生成AIを利用していないため、わからない	483	36.5%	202	30.9%	685	34.7%
無回答	62	4.7%	35	5.4%	97	4.9%
回答数合計	1,592	120.4%	802	122.8%	2,394	121.2%
回答者数(母数)	1,322		653		1,975	



※「①文部科学省が発行する「初等中等教育段階における生成 AI の利活用に関するガイドライン」(最新版)を遵守している」が全体で46.2%と最も多い。また、「③学校独自のガイドライン(利用ルール)を定めている(作成する予定がある)」は8.7%であった。

2-3-18 生成 AI に関する研修について伺います。(いくつでも)

	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①教育委員会が実施する教員向けの生成AIの利活用についての研修会有り、校内で伝達研修を行った	270	20.4%	153	23.4%	423	21.4%
②ICT支援員などにより学校内で生成AIの利活用についての研修会を実施した	134	10.1%	64	9.8%	198	10.0%
③ICT支援員などによる学校内での生成AIの利活用についての研修会実施を検討している	299	22.6%	130	19.9%	429	21.7%
④ICT支援員などによる生成AIに関する研修の実施や参加をする予定はない	631	47.7%	317	48.5%	948	48.0%
無回答	58	4.4%	30	4.6%	88	4.5%
回答数合計	1,392	105.3%	694	106.3%	2,086	105.6%
回答者数(母数)	1,322		653		1,975	



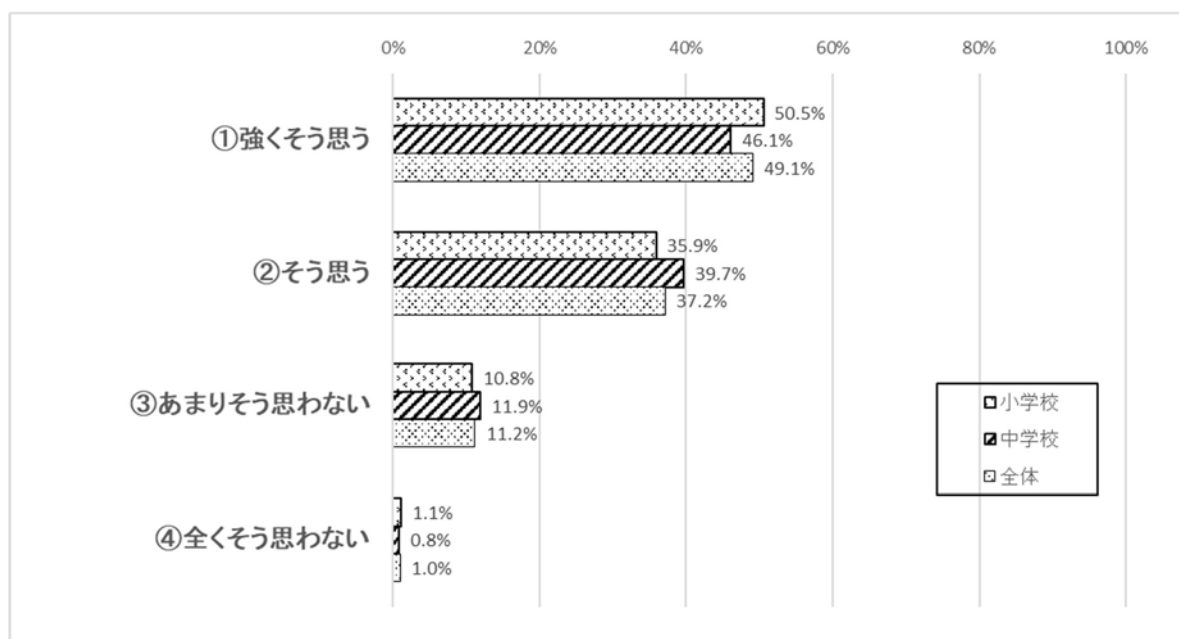
※「④ICT支援員などによる生成AIに関する研修の実施や参加をする予定はない」が全体で48.0%と半数近い。教育委員会を中心とした生成 AI の利活用に関する研修の普及が望まれる。

2-4 教育の情報化に対する意識に関する項目

2-4-1 授業などでの ICT 活用の推進について感じていることは何ですか。

2-4-1(1) より大画面の提示装置を使って授業を行うべきである。

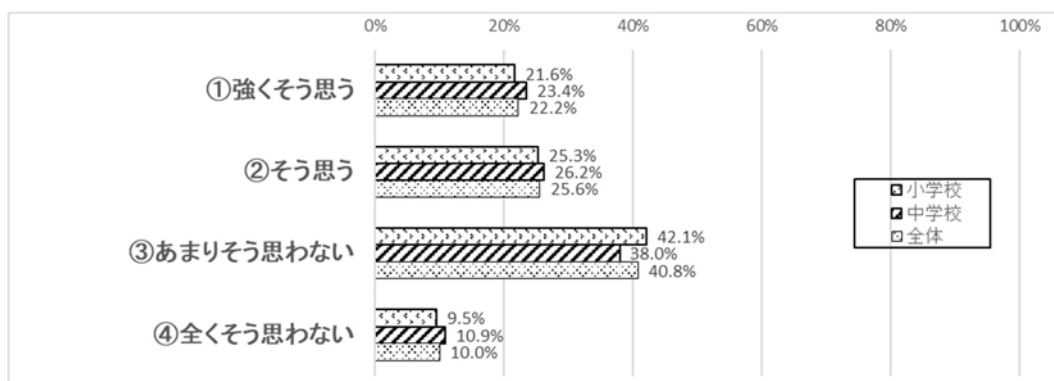
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①強くそう思う	668	50.5%	301	46.1%	969	49.1%
②そう思う	475	35.9%	259	39.7%	734	37.2%
③あまりそう思わない	143	10.8%	78	11.9%	221	11.2%
④全くそう思わない	15	1.1%	5	0.8%	20	1.0%
無回答	21	1.6%	10	1.5%	31	1.6%
回答者数(母数)	1,322	100.0%	653	100.0%	1,975	100.0%



※「①強くそう思う」「②そう思う」を合わせて全体で 86.3%である。より大きな提示装置が求められている。

2-4-1(2) 大型提示装置は普通教室にも複数台必要である。

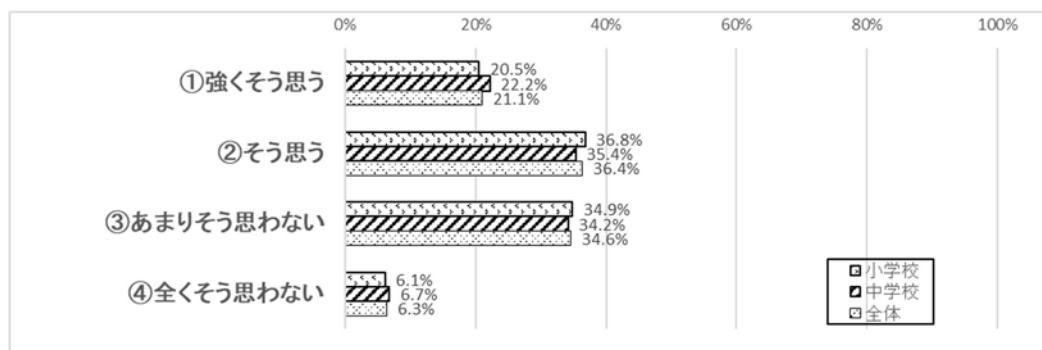
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①強くそう思う	286	21.6%	153	23.4%	439	22.2%
②そう思う	334	25.3%	171	26.2%	505	25.6%
③あまりそう思わない	557	42.1%	248	38.0%	805	40.8%
④全くそう思わない	126	9.5%	71	10.9%	197	10.0%
無回答	19	1.4%	10	1.5%	29	1.5%
回答者数(母数)	1,322	100.0%	653	100.0%	1,975	100.0%



※「①強くそう思う」「②そう思う」を合わせて全体で47.8%、「③あまりそう思わない」「④全くそう思わない」を合わせると50.8%で、意見が分かれている。

2-4-1(3) 大型提示装置は黒板の役割を十分果たしている。

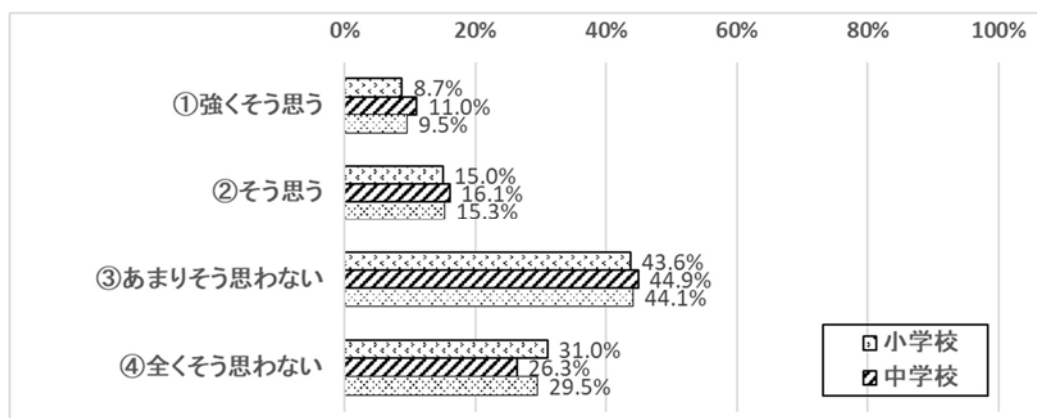
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①強くそう思う	271	20.5%	145	22.2%	416	21.1%
②そう思う	487	36.8%	231	35.4%	718	36.4%
③あまりそう思わない	461	34.9%	223	34.2%	684	34.6%
④全くそう思わない	81	6.1%	44	6.7%	125	6.3%
無回答	22	1.7%	10	1.5%	32	1.6%
回答者数(母数)	1,322	100.0%	653	100.0%	1,975	100.0%



※「①強くそう思う」「②そう思う」を合わせて全体で57.5%であり、半数以上が黒板の役割を果たしていると考えている。

2-4-1(4) 近い将来黒板は不要になる。

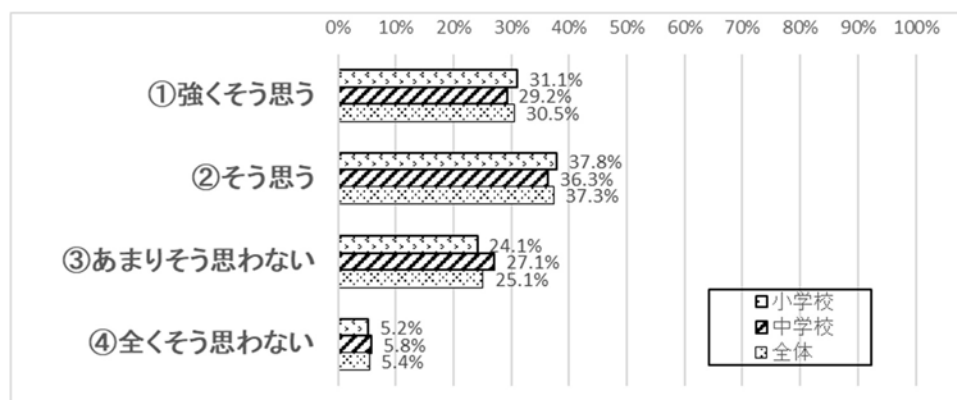
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①強く思う	115	8.7%	72	11.0%	187	9.5%
②そう思う	198	15.0%	105	16.1%	303	15.3%
③あまりそう思わない	577	43.6%	293	44.9%	870	44.1%
④全くそう思わない	410	31.0%	172	26.3%	582	29.5%
無回答	22	1.7%	11	1.7%	33	1.7%
回答者数(母数)	1,322	100.0%	653	100.0%	1,975	100.0%



※「③あまりそう思わない」「④全くそう思わない」を合わせて全体で 73.6%あり、黒板は必要と考えられている。前問で電子黒板は黒板の役割を果たしていると考えの方が多かったが、黒板の果たす役割は大きい。

2-4-1(6) 1人1台端末を有効活用するための学習者用デジタル教科書・教材が不足している。

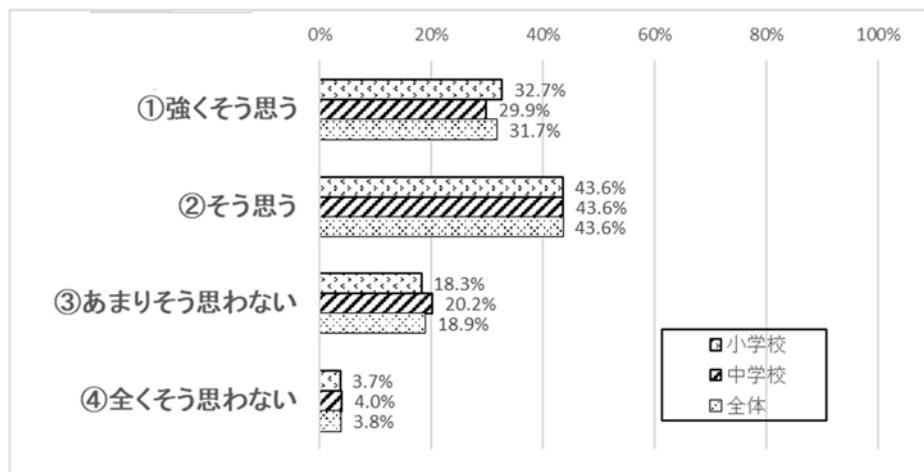
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①強く思う	411	31.1%	191	29.2%	602	30.5%
②そう思う	500	37.8%	237	36.3%	737	37.3%
③あまりそう思わない	319	24.1%	177	27.1%	496	25.1%
④全くそう思わない	69	5.2%	38	5.8%	107	5.4%
無回答	23	1.7%	10	1.5%	33	1.7%
回答者数(母数)	1,322	100.0%	653	100.0%	1,975	100.0%



※「①強く思う」「②そう思う」を合わせて全体で 67.8%あり、学習者用デジタル教科書・教材が不足していると思われる。

2-4-1(7) 学習者用デジタル教科書の活用を進めるべきである。

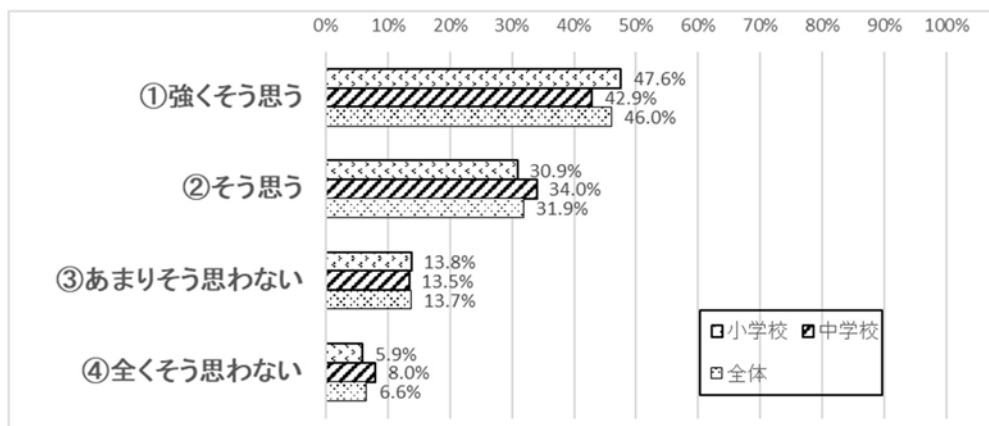
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①強くそう思う	432	32.7%	195	29.9%	627	31.7%
②そう思う	576	43.6%	285	43.6%	861	43.6%
③あまりそう思わない	242	18.3%	132	20.2%	374	18.9%
④全くそう思わない	49	3.7%	26	4.0%	75	3.8%
無回答	23	1.7%	15	2.3%	38	1.9%
回答者数(母数)	1,322	100.0%	653	100.0%	1,975	100.0%



※「①強くそう思う」「②そう思う」を合わせて全体で 75.3%あり、活用が望まれている。

2-4-1(8) セキュリティを確保して、自宅や出張先で校務処理を可能とすべきである。

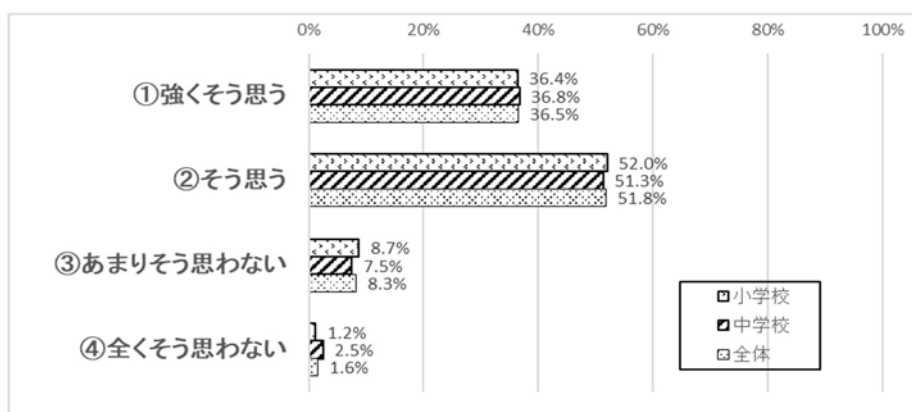
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①強くそう思う	629	47.6%	280	42.9%	909	46.0%
②そう思う	408	30.9%	222	34.0%	630	31.9%
③あまりそう思わない	183	13.8%	88	13.5%	271	13.7%
④全くそう思わない	78	5.9%	52	8.0%	130	6.6%
無回答	24	1.8%	11	1.7%	35	1.8%
回答者数(母数)	1,322	100.0%	653	100.0%	1,975	100.0%



※「①強くそう思う」「②そう思う」を合わせて全体で 77.9%あり、学校外での校務処理は強く望まれている。

2-4-1(9) 不登校・長期欠席者等への対応として、ICT 環境を活用した学習支援を行うべきである。

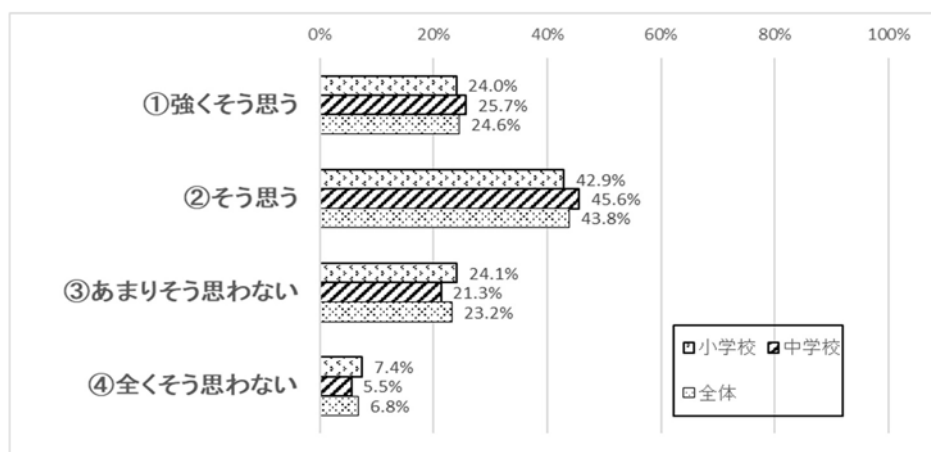
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①強くそう思う	481	36.4%	240	36.8%	721	36.5%
②そう思う	688	52.0%	335	51.3%	1,023	51.8%
③あまりそう思わない	115	8.7%	49	7.5%	164	8.3%
④全くそう思わない	16	1.2%	16	2.5%	32	1.6%
無回答	22	1.7%	13	2.0%	35	1.8%
回答者数(母数)	1,322	100.0%	653	100.0%	1,975	100.0%



※「①強くそう思う」「②そう思う」を合わせて全体で 88.3%であり、活用は強く望まれている。

2-4-1(10) コンピュータ教室は、デジタル図書室、学習・情報センター、アクティブラーニングスペース、ファブスペース、STEAM ラボ、遠隔授業スタジオなど発展的活用を行うべき。

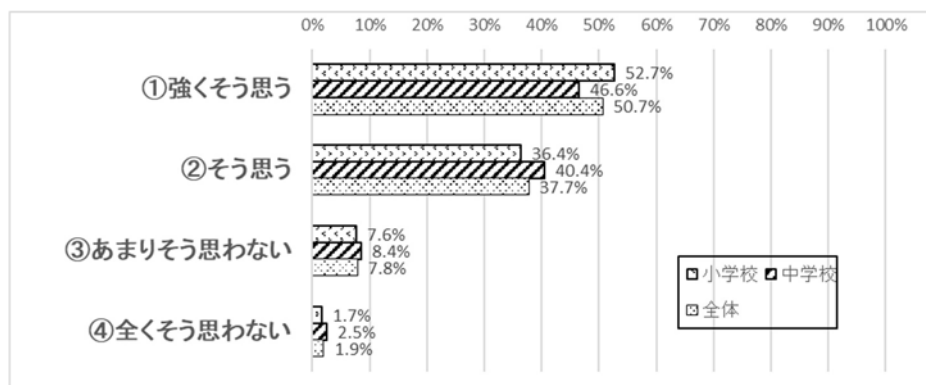
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①強くそう思う	317	24.0%	168	25.7%	485	24.6%
②そう思う	567	42.9%	298	45.6%	865	43.8%
③あまりそう思わない	319	24.1%	139	21.3%	458	23.2%
④全くそう思わない	98	7.4%	36	5.5%	134	6.8%
無回答	21	1.6%	12	1.8%	33	1.7%
回答者数(母数)	1,322	100.0%	653	100.0%	1,975	100.0%



※「①強くそう思う」「②そう思う」を合わせて全体で 68.4%であり、発展的な活用が望まれている。

2-4-1(11) どの端末(家庭も含む)からでも安全にアクセスできる環境を構築すべきである。

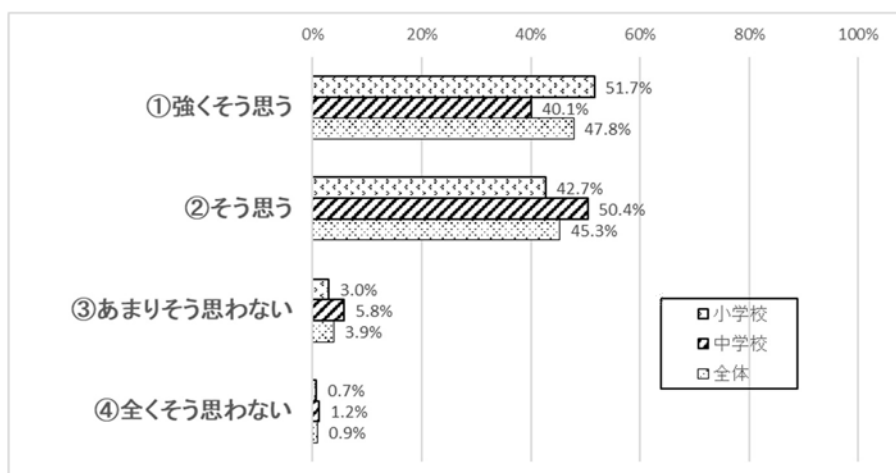
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①強くそう思う	697	52.7%	304	46.6%	1,001	50.7%
②そう思う	481	36.4%	264	40.4%	745	37.7%
③あまりそう思わない	100	7.6%	55	8.4%	155	7.8%
④全くそう思わない	22	1.7%	16	2.5%	38	1.9%
無回答	22	1.7%	14	2.1%	36	1.8%
回答者数(母数)	1,322	100.0%	653	100.0%	1,975	100.0%



※「①強くそう思う」「②そう思う」を合わせて全体で 88.4%あり、どの端末からでも安全にアクセスできる環境が強く求められている。

2-4-1(12) 学習系システムと校務系システムとの連携などデータ利活用を進めるべきである。

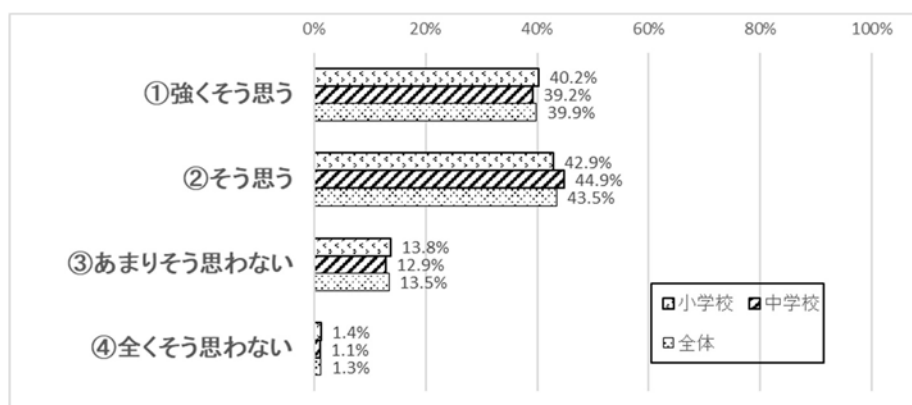
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①強くそう思う	683	51.7%	262	40.1%	945	47.8%
②そう思う	565	42.7%	329	50.4%	894	45.3%
③あまりそう思わない	40	3.0%	38	5.8%	78	3.9%
④全くそう思わない	9	0.7%	8	1.2%	17	0.9%
無回答	25	1.9%	16	2.5%	41	2.1%
回答者数(母数)	1,322	100.0%	653	100.0%	1,975	100.0%



※「①強くそう思う」「②そう思う」を合わせて全体で 93.1%であり、データの利活用は強く求められている。

2-4-1(13) 業務用ディスプレイは必要で、整備を早急に進めるべきである。

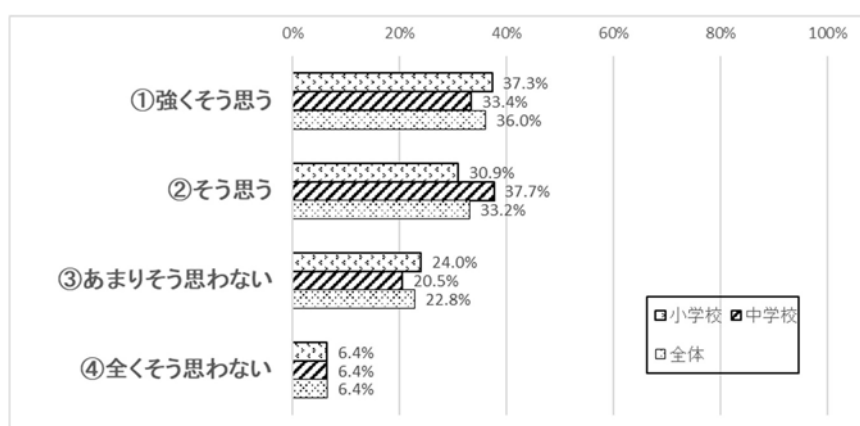
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①強くそう思う	532	40.2%	256	39.2%	788	39.9%
②そう思う	567	42.9%	293	44.9%	860	43.5%
③あまりそう思わない	182	13.8%	84	12.9%	266	13.5%
④全くそう思わない	18	1.4%	7	1.1%	25	1.3%
無回答	23	1.7%	13	2.0%	36	1.8%
回答者数(母数)	1,322	100.0%	653	100.0%	1,975	100.0%



※「①強くそう思う」「②そう思う」を合わせて全体で 83.4%であり、業務用ディスプレイは強く望まれている。

2-4-1(14) 教員用連絡ツール等としてスマートフォン導入を進めるべきである。

	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①強くそう思う	493	37.3%	218	33.4%	711	36.0%
②そう思う	409	30.9%	246	37.7%	655	33.2%
③あまりそう思わない	317	24.0%	134	20.5%	451	22.8%
④全くそう思わない	85	6.4%	42	6.4%	127	6.4%
無回答	18	1.4%	13	2.0%	31	1.6%
回答者数(母数)	1,322	100.0%	653	100.0%	1,975	100.0%

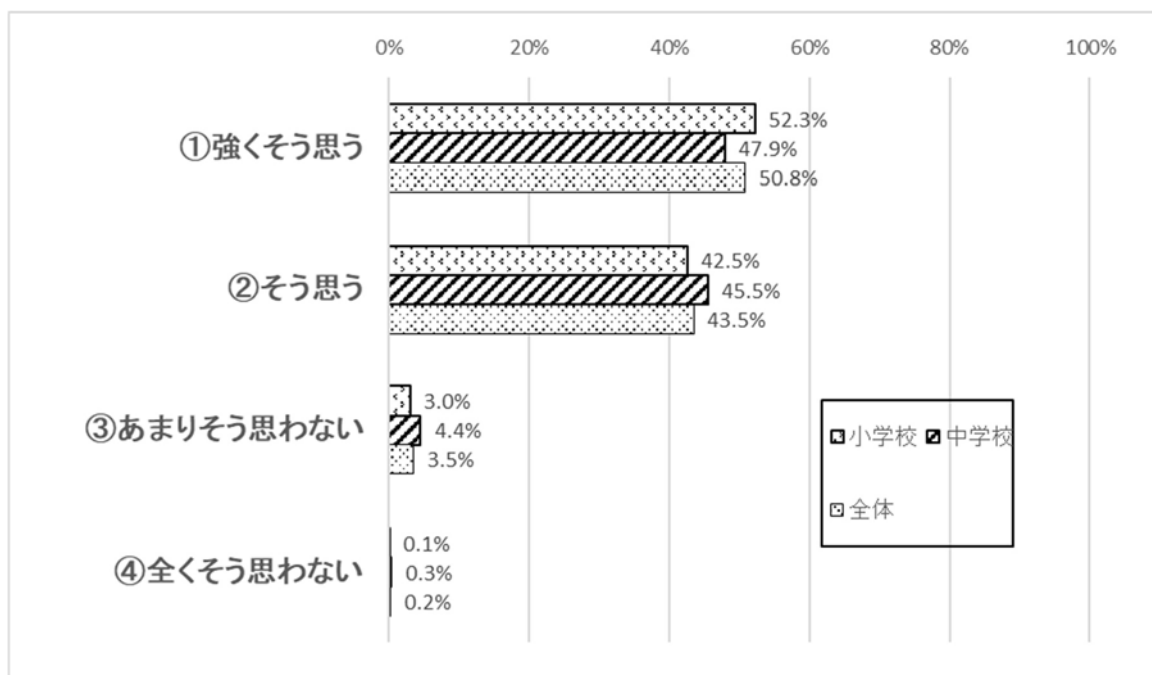


※「①強くそう思う」「②そう思う」を合わせて全体で 69.2%と、スマートフォンの導入が望まれている。

2-4-2 授業用 ICT 環境整備が推進された結果、生じたことは何ですか。

2-4-2(1) 1人1台端末の導入で授業の進め方や方法が変わった。

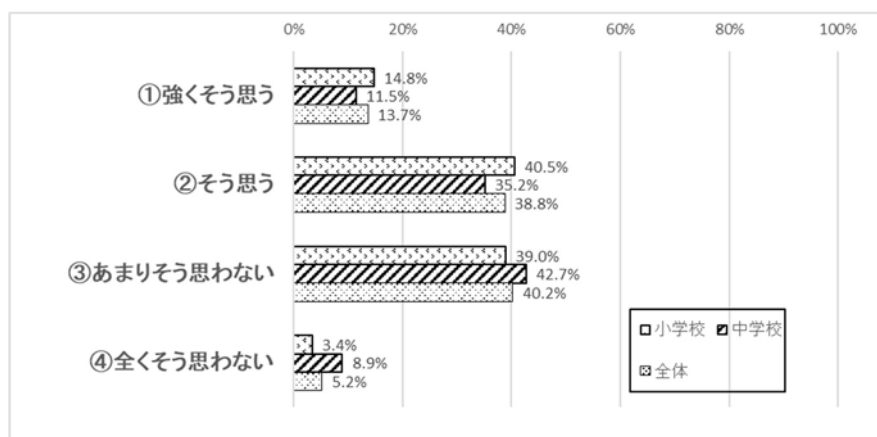
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①強く思う	691	52.3%	313	47.9%	1,004	50.8%
②そう思う	562	42.5%	297	45.5%	859	43.5%
③あまりそう思わない	40	3.0%	29	4.4%	69	3.5%
④全くそう思わない	1	0.1%	2	0.3%	3	0.2%
無回答	28	2.1%	12	1.8%	40	2.0%
回答者数(母数)	1,322	100.0%	653	100.0%	1,975	100.0%



※「①強く思う」「②そう思う」を合わせて全体で 94.3%あり、授業の進め方が大きく変わったことがわかる。

2-4-2(2) 1人1台端末の活用で学力が向上した。

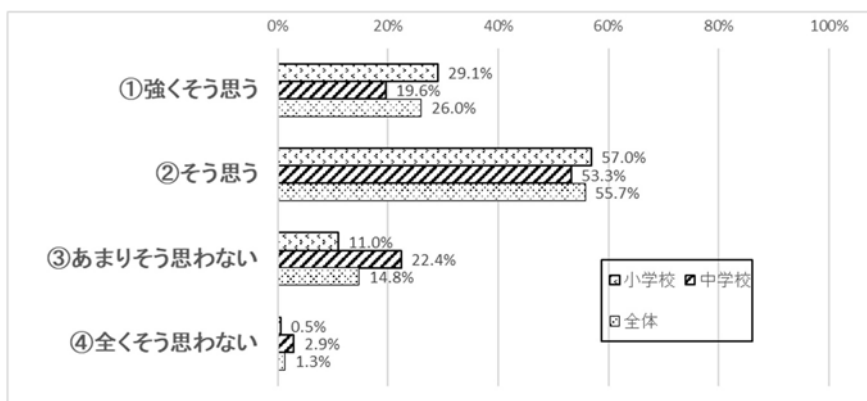
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①強く思う	195	14.8%	75	11.5%	270	13.7%
②そう思う	536	40.5%	230	35.2%	766	38.8%
③あまりそう思わない	515	39.0%	279	42.7%	794	40.2%
④全くそう思わない	45	3.4%	58	8.9%	103	5.2%
無回答	31	2.3%	11	1.7%	42	2.1%
回答者数(母数)	1,322	100.0%	653	100.0%	1,975	100.0%



※「①強く思う」「②そう思う」を合わせて全体で52.5%、「③あまりそう思わない」「④全くそう思わない」を合わせると45.4%と、意見が割れている。

2-4-2(3) 1人1台端末の活用で児童生徒の学習意欲が増した。

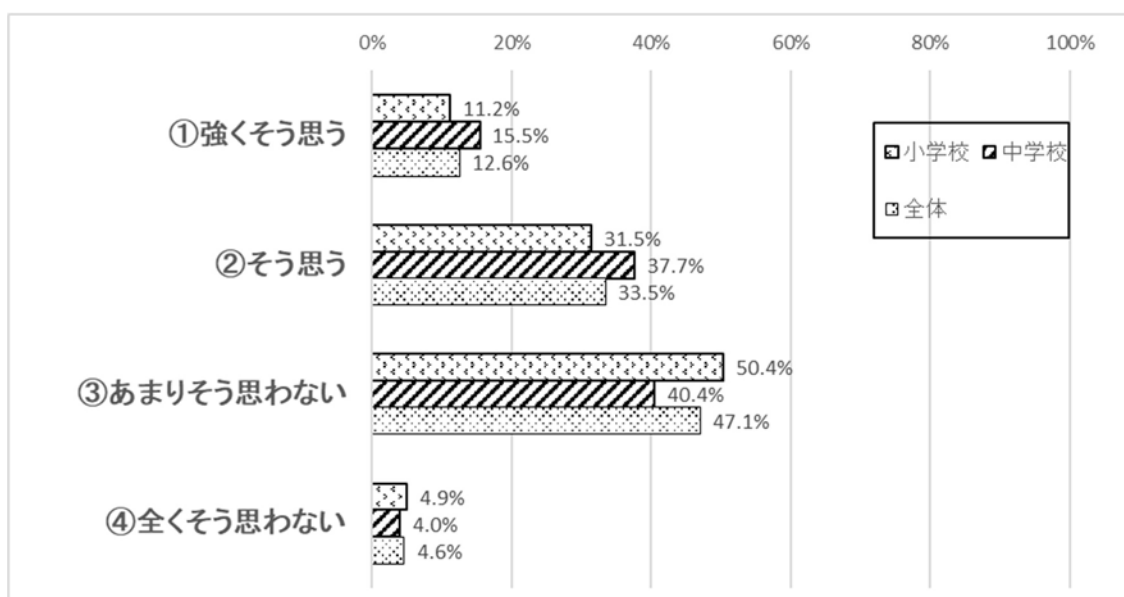
	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①強く思う	385	29.1%	128	19.6%	513	26.0%
②そう思う	753	57.0%	348	53.3%	1,101	55.7%
③あまりそう思わない	146	11.0%	146	22.4%	292	14.8%
④全くそう思わない	6	0.5%	19	2.9%	25	1.3%
無回答	32	2.4%	12	1.8%	44	2.2%
回答者数(母数)	1,322	100.0%	653	100.0%	1,975	100.0%



※「①強く思う」「②そう思う」を合わせて全体で81.7%あり、学習意欲が増したと考えられる。

2-4-2(4) 授業準備の時間が増えた。

	小学校		中学校		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①強くそう思う	148	11.2%	101	15.5%	249	12.6%
②そう思う	416	31.5%	246	37.7%	662	33.5%
③あまりそう思わない	666	50.4%	264	40.4%	930	47.1%
④全くそう思わない	65	4.9%	26	4.0%	91	4.6%
無回答	27	2.0%	16	2.5%	43	2.2%
回答者数(母数)	1,322	100.0%	653	100.0%	1,975	100.0%



※「①強くそう思う」「②そう思う」を合わせて全体で 46.1%、「③あまりそう思わない」「④全くそう思わない」を合わせると 51.7%となっている。

3 先進地域／一般地域別の集計比較

本章は、学校に対して行った調査について、「先進地域」と「一般地域」とに分けて比較対照したものを掲載する。ここで「先進地域」という分類に属する学校は、GIGA スクール構想前に地域全体で児童・生徒に対して1人1台の環境をほぼ実現していると言われている自治体の学校を指す。これに対して、「一般地域」はその他の自治体に属する学校を指す。先進地域としては、17の自治体を選び485の小中学校に協力を依頼し、179校の小中学校から回答を得た。その結果を、他の地域の学校1,796校から得た結果と比較する。

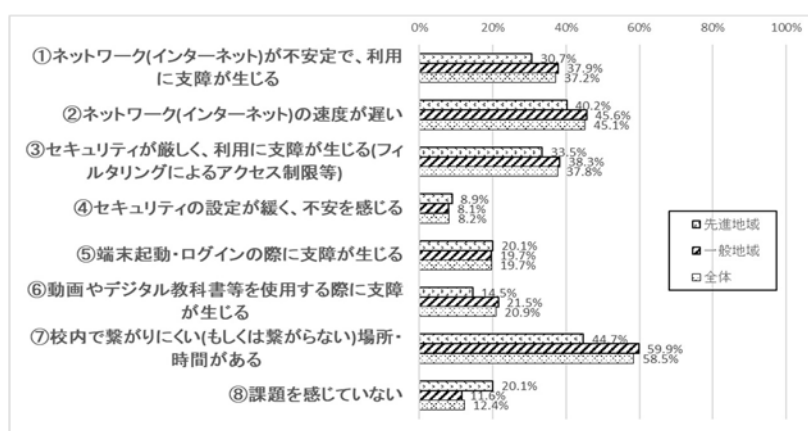
なお、前章において、すでに学校に対する調査の全体的傾向を小学校・中学校・全体のデータを掲載しているため、ここでは先進地域の学校と一般地域の学校との間で顕著な差が出ている設問についてのみ、掲載するものとする。また各設問の項番は、小中学校別の集計解説ページとの照合を容易にするため、前節の項番と同じ番号を使用した。そのため、本節では項番が不連続になっている箇所があることに注意いただきたい。

3-1 教育 DX に関する項目

3-1-1 ネットワーク及び校務に関する項目

3-1-1-1 ネットワークの利用で感じていることについて伺います。(いくつでも)

	先進地域		一般地域		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①ネットワーク(インターネット)が不安定で、利用に支障が生じる	55	30.7%	680	37.9%	735	37.2%
②ネットワーク(インターネット)の速度が遅い	72	40.2%	819	45.6%	891	45.1%
③セキュリティが厳しく、利用に支障が生じる(フィルタリングによるアクセス制限等)	60	33.5%	687	38.3%	747	37.8%
④セキュリティの設定が緩く、不安を感じる	16	8.9%	145	8.1%	161	8.2%
⑤端末起動・ログインの際に支障が生じる	36	20.1%	354	19.7%	390	19.7%
⑥動画やデジタル教科書等を使用する際に支障が生じる	26	14.5%	387	21.5%	413	20.9%
⑦校内で繋がりにくい(もしくは繋がらない)場所・時間がある	80	44.7%	1,075	59.9%	1,155	58.5%
⑧課題を感じていない	36	20.1%	208	11.6%	244	12.4%
無回答	1	0.6%	2	0.1%	3	0.2%
回答数合計	382	213.4%	4,357	242.6%	4,739	239.9%
回答者数(母数)	179		1,796		1,975	

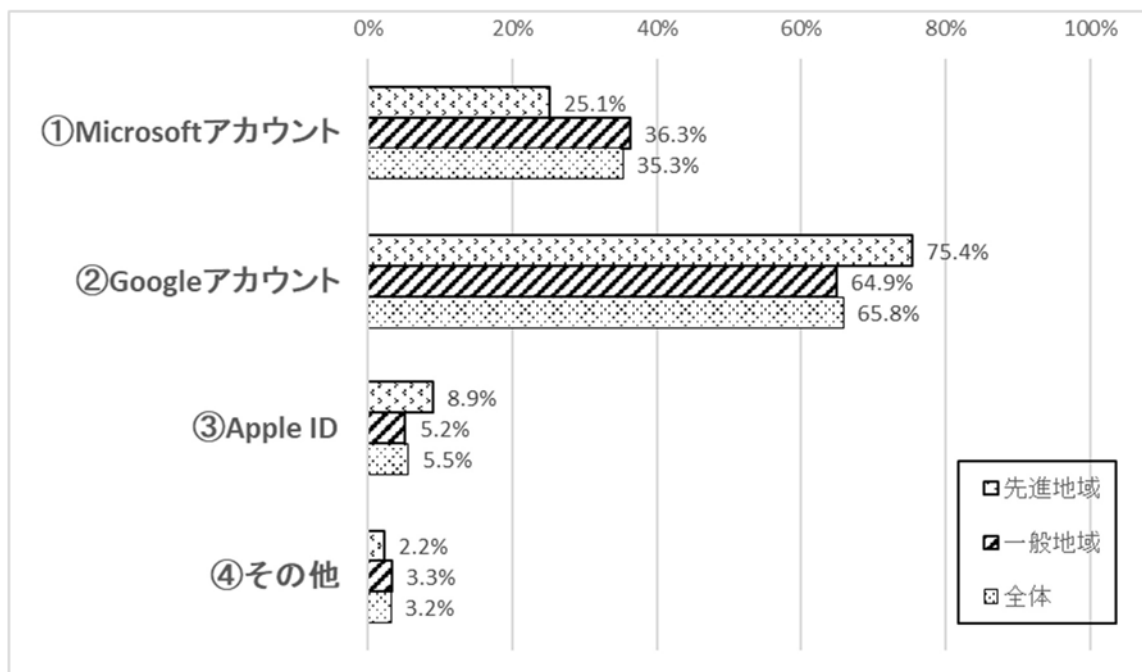


※「⑦校内で繋がりにくい(もしくは繋がらない)場所・時間がある」は先進地域が44.7%、一般地域が59.9%と先進地域の方が低い。

3-1-2 ハードウェアに関する項目

3-1-2-3 「2-1-2-1」で1人1台端末にログインする際の児童・生徒用アカウントは何を利用していますか。(いくつでも)

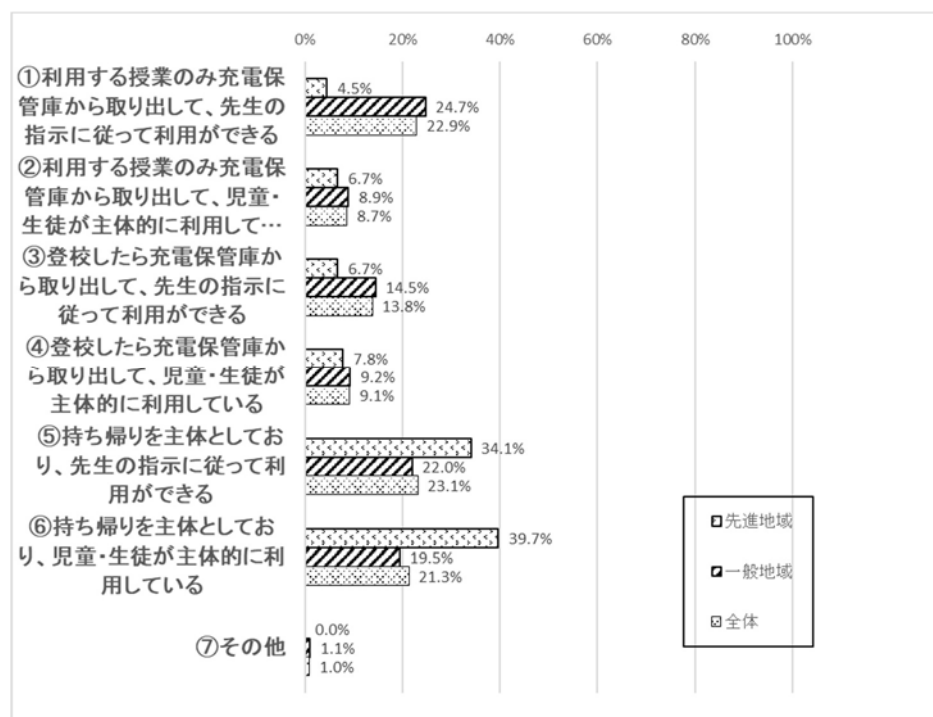
	先進地域		一般地域		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①Microsoftアカウント	45	25.1%	652	36.3%	697	35.3%
②Googleアカウント	135	75.4%	1,165	64.9%	1,300	65.8%
③Apple ID	16	8.9%	93	5.2%	109	5.5%
④その他	4	2.2%	59	3.3%	63	3.2%
無回答			8	0.4%	8	0.4%
回答数合計	200	111.7%	1,977	110.1%	2,177	110.2%
回答者数(母数)	179		1,796		1,975	



※先進地域は「②Google アカウント」が75.4%と一般地域より10ポイント以上高い。

3-1-2-4 児童・生徒用 1 人 1 台端末の学校での運用方法について伺います。

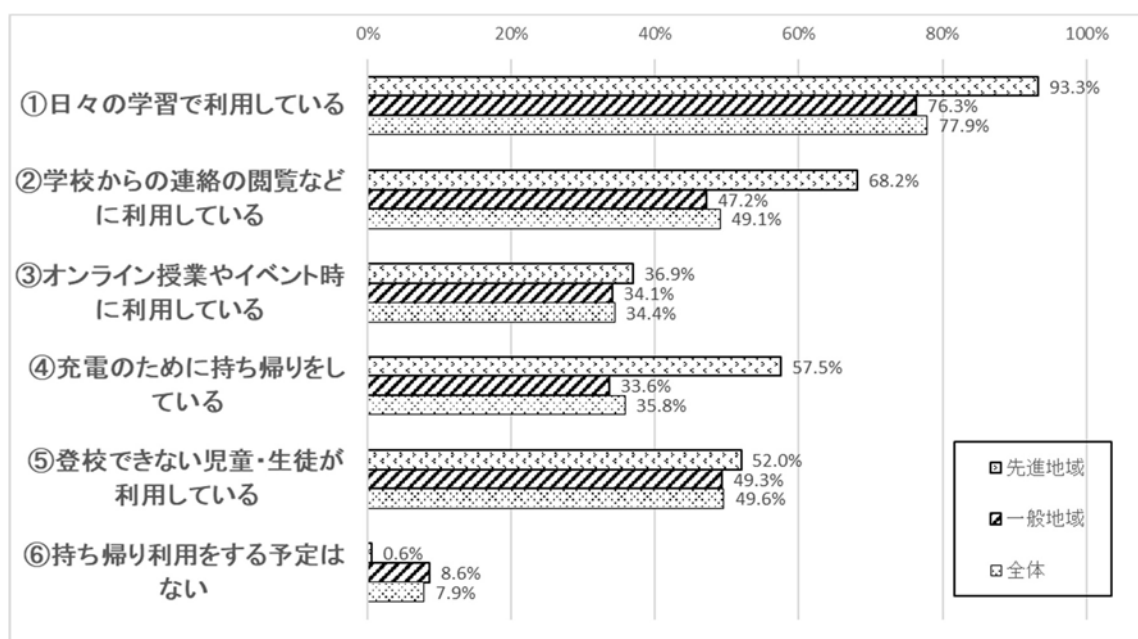
	先進地域		一般地域		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①利用する授業のみ充電保管庫から取り出して、先生の指示に従って利用ができる	8	4.5%	444	24.7%	452	22.9%
②利用する授業のみ充電保管庫から取り出して、児童・生徒が主体的に利用している	12	6.7%	159	8.9%	171	8.7%
③登校したら充電保管庫から取り出して、先生の指示に従って利用ができる	12	6.7%	261	14.5%	273	13.8%
④登校したら充電保管庫から取り出して、児童・生徒が主体的に利用している	14	7.8%	166	9.2%	180	9.1%
⑤持ち帰りを主体としており、先生の指示に従って利用ができる	61	34.1%	396	22.0%	457	23.1%
⑥持ち帰りを主体としており、児童・生徒が主体的に利用している	71	39.7%	350	19.5%	421	21.3%
⑦その他			19	1.1%	19	1.0%
無回答	1	0.6%	1	0.1%	2	0.1%
回答者数(母数)	179	100.0%	1,796	100.0%	1,975	100.0%



※「⑥持ち帰りを主体としており、児童・生徒が主体的に利用している」について、先進地域が 39.7%、一般地域が 19.5%と 20 ポイントを超える差がついており、他の活用を見ても先進地域で児童・生徒の主体的な利用が多くなっていることが分かる。

3-1-2-7 児童・生徒用 1 人 1 台端末の持ち帰り利用で行っていることについて伺います。(いくつでも)

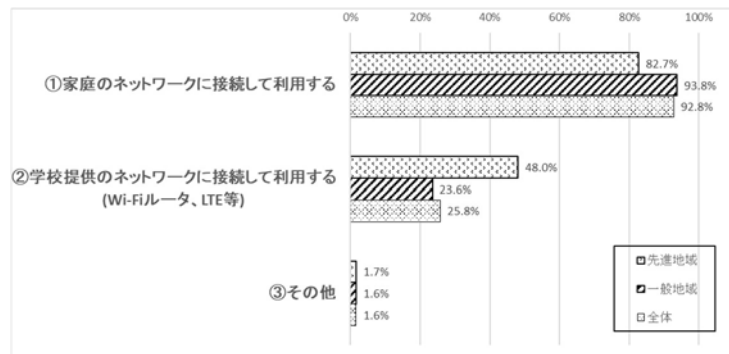
	先進地域		一般地域		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①日々の学習で利用している	167	93.3%	1,371	76.3%	1,538	77.9%
②学校からの連絡の閲覧などに利用している	122	68.2%	847	47.2%	969	49.1%
③オンライン授業やイベント時に利用している	66	36.9%	613	34.1%	679	34.4%
④充電のために持ち帰りをしている	103	57.5%	604	33.6%	707	35.8%
⑤登校できない児童・生徒が利用している	93	52.0%	886	49.3%	979	49.6%
⑥持ち帰り利用をする予定はない	1	0.6%	155	8.6%	156	7.9%
無回答			11	0.6%	11	0.6%
回答数合計	552	308.4%	4,487	249.8%	5,039	255.1%
回答者数(母数)	179		1,796		1,975	



※「①日々の学習で利用している」について、先進地域が 93.3%と一般地域より 17 ポイント高い。「②学校からの連絡の閲覧などに利用している」については先進地域が 68.2%と一般地域より 21 ポイント高く、先進地域の利用が日常化していることが分かる。

3-1-2-8 「2-1-2-7」の家庭で端末を使用する場合について伺います。(いくつでも)

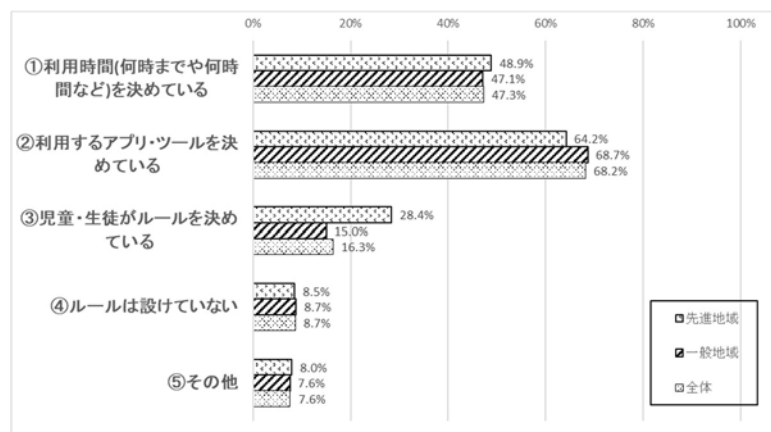
	先進地域		一般地域		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①家庭のネットワークに接続して利用する	148	82.7%	1,684	93.8%	1,832	92.8%
②学校提供のネットワークに接続して利用する(Wi-Fiルータ、LTE等)	86	48.0%	423	23.6%	509	25.8%
③その他	3	1.7%	29	1.6%	32	1.6%
無回答	1	0.6%	41	2.3%	42	2.1%
回答数合計	238	133.0%	2,177	121.2%	2,415	122.3%
回答者数(母数)	179		1,796		1,975	



※「②学校提供のネットワークに接続して利用する(Wi-Fiルータ、LTE等)」は先進地域が48.0%、一般地域が23.6%と20ポイント以上の差がみられる。

3-1-2-9 「2-1-2-7」で①～③と回答された方に伺います。学校として1人1台端末の利用にどのようなルールを設けていますか。(いくつでも)

	先進地域		一般地域		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①利用時間(何時までや何時間などを決めている)	86	48.9%	730	47.1%	816	47.3%
②利用するアプリ・ツールを決めている	113	64.2%	1,064	68.7%	1,177	68.2%
③児童・生徒がルールを決めている	50	28.4%	232	15.0%	282	16.3%
④ルールは設けていない	15	8.5%	135	8.7%	150	8.7%
⑤その他	14	8.0%	117	7.6%	131	7.6%
無回答			8	0.5%	8	0.5%
回答数合計	278	158.0%	2,286	147.6%	2,564	148.6%
回答者数(母数)	176		1,549		1,725	

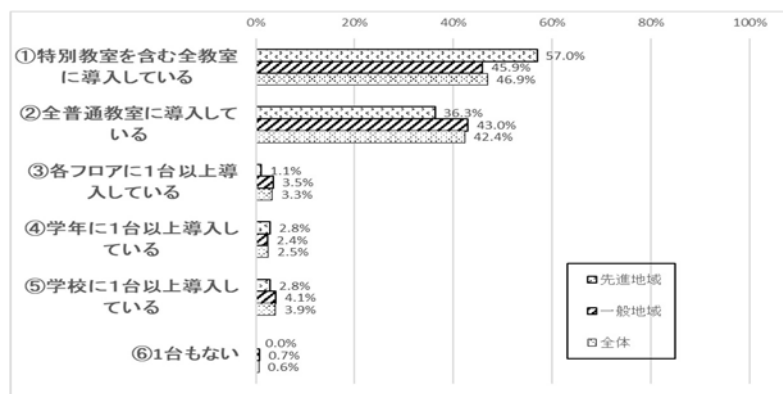


※「③児童・生徒がルールを決めている」が先進地域は28.4%、一般地域は15.0%と差がみられる。

3-1-2-13 授業で活用している ICT 機器の整備状況について伺います。

3-1-2-13(1) 大型提示装置

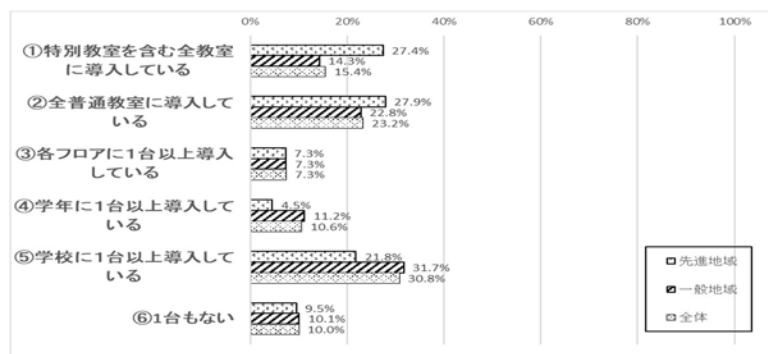
	先進地域		一般地域		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①特別教室を含む全教室に導入している	102	57.0%	824	45.9%	926	46.9%
②全普通教室に導入している	65	36.3%	772	43.0%	837	42.4%
③各フロアに1台以上導入している	2	1.1%	63	3.5%	65	3.3%
④学年に1台以上導入している	5	2.8%	44	2.4%	49	2.5%
⑤学校に1台以上導入している	5	2.8%	73	4.1%	78	3.9%
⑥1台もない			12	0.7%	12	0.6%
無回答			8	0.4%	8	0.4%
回答者数(母数)	179	100.0%	1,796	100.0%	1,975	100.0%



※「①特別教室を含む全教室に導入している」が先進地域で 57.0%、一般地域で 45.9%と差がある。

3-1-2-13(3) 実物投影機

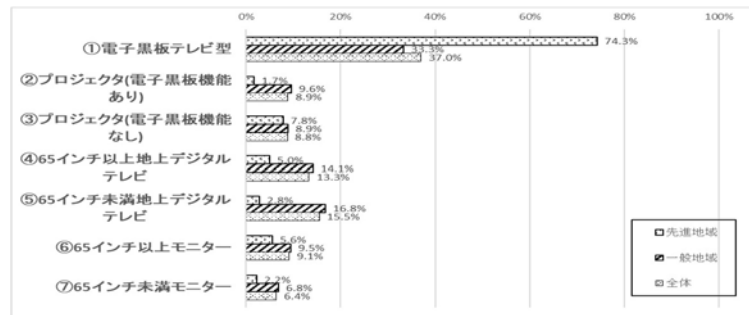
	先進地域		一般地域		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①特別教室を含む全教室に導入している	49	27.4%	256	14.3%	305	15.4%
②全普通教室に導入している	50	27.9%	409	22.8%	459	23.2%
③各フロアに1台以上導入している	13	7.3%	132	7.3%	145	7.3%
④学年に1台以上導入している	8	4.5%	201	11.2%	209	10.6%
⑤学校に1台以上導入している	39	21.8%	569	31.7%	608	30.8%
⑥1台もない	17	9.5%	181	10.1%	198	10.0%
無回答	3	1.7%	48	2.7%	51	2.6%
回答者数(母数)	179	100.0%	1,796	100.0%	1,975	100.0%



※「①特別教室を含む全教室に導入している」が先進地域で 27.4%、一般地域で 14.3%と差がある。

3-1-2-14 「2-1-2-13(1)」でお答えいただいた大型提示装置の種類について伺います。(主な整備機器について1種類)

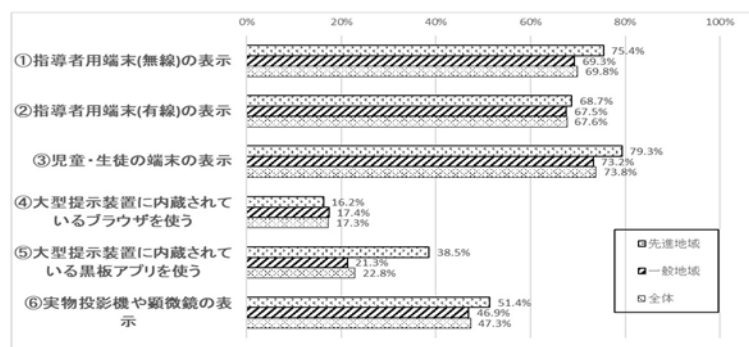
	先進地域		一般地域		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①電子黒板テレビ型	133	74.3%	598	33.3%	731	37.0%
②プロジェクタ(電子黒板機能あり)	3	1.7%	172	9.6%	175	8.9%
③プロジェクタ(電子黒板機能なし)	14	7.8%	159	8.9%	173	8.8%
④65インチ以上地上デジタルテレビ	9	5.0%	254	14.1%	263	13.3%
⑤65インチ未満地上デジタルテレビ	5	2.8%	302	16.8%	307	15.5%
⑥65インチ以上モニター	10	5.6%	170	9.5%	180	9.1%
⑦65インチ未満モニター	4	2.2%	123	6.8%	127	6.4%
無回答	1	0.6%	18	1.0%	19	1.0%
回答者数(母数)	179	100.0%	1,796	100.0%	1,975	100.0%



※「①電子黒板テレビ型」での整備が先進地域は74.3%、一般地域は33.3%と大きな差がみられる。前回調査より差が広がっている。

3-1-2-15 授業において、大型提示装置をどのように使っていますか。(いくつでも)

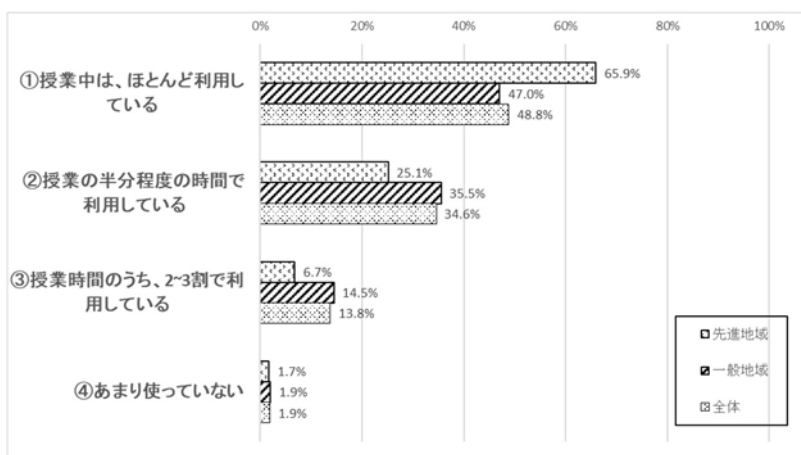
	先進地域		一般地域		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①指導者用端末(無線)の表示	135	75.4%	1,244	69.3%	1,379	69.8%
②指導者用端末(有線)の表示	123	68.7%	1,213	67.5%	1,336	67.6%
③児童・生徒の端末の表示	142	79.3%	1,315	73.2%	1,457	73.8%
④大型提示装置に内蔵されているブラウザを使う	29	16.2%	312	17.4%	341	17.3%
⑤大型提示装置に内蔵されている黒板アプリを使う	69	38.5%	382	21.3%	451	22.8%
⑥実物投影機や顕微鏡の表示	92	51.4%	842	46.9%	934	47.3%
無回答	3	1.7%	16	0.9%	19	1.0%
回答数合計	593	331.3%	5,324	296.4%	5,917	299.6%
回答者数(母数)	179		1,796		1,975	



※「⑤大型提示装置に内蔵されている黒板アプリを使う」で先進地域は38.5%、一般地域は21.3%と差がみられる。先進地域は電子黒板テレビ型の整備が多いため、利用率が高いと推測される。

3-1-2-16 授業において、大型提示装置の利用時間について伺います。

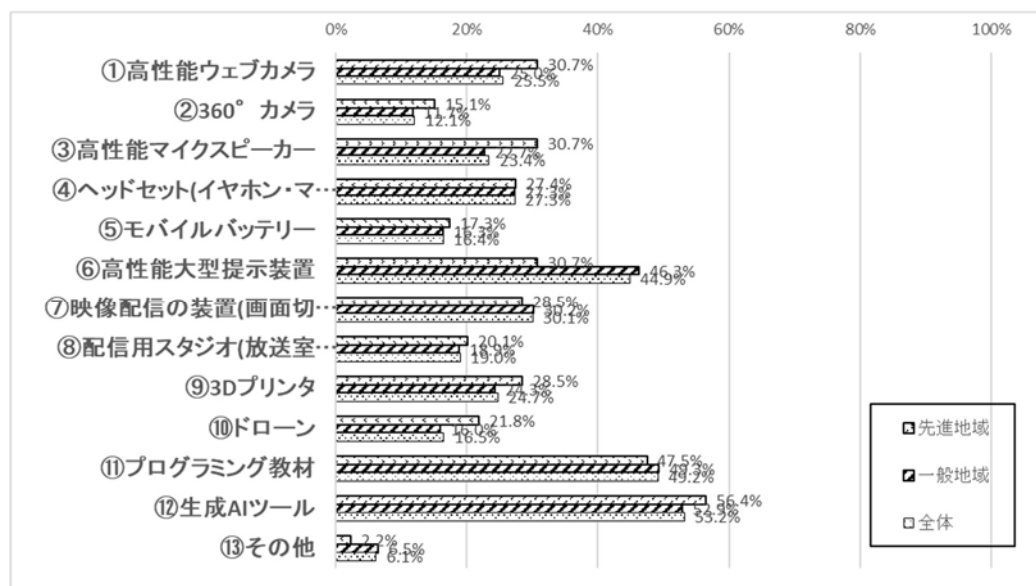
	先進地域		一般地域		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①授業中は、ほとんど利用している	118	65.9%	845	47.0%	963	48.8%
②授業の半分程度の時間で利用している	45	25.1%	638	35.5%	683	34.6%
③授業時間のうち、2~3割で利用している	12	6.7%	260	14.5%	272	13.8%
④あまり使っていない	3	1.7%	35	1.9%	38	1.9%
無回答	1	0.6%	18	1.0%	19	1.0%
回答者数(母数)	179	100.0%	1,796	100.0%	1,975	100.0%



※「①授業中は、ほとんど利用している」が先進地域で 65.9%、一般地域で 47.0%と差がみられる。

3-1-2-17 GIGA スクール構想で導入された端末をよりいっそう活用するために、今後整備を希望するものは次のどれですか。(いくつでも)

	先進地域		一般地域		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①高性能ウェブカメラ	55	30.7%	449	25.0%	504	25.5%
②360° カメラ	27	15.1%	211	11.7%	238	12.1%
③高性能マイクスピーカー	55	30.7%	407	22.7%	462	23.4%
④ヘッドセット(イヤホン・マイク)	49	27.4%	491	27.3%	540	27.3%
⑤モバイルバッテリー	31	17.3%	293	16.3%	324	16.4%
⑥高性能大型提示装置	55	30.7%	831	46.3%	886	44.9%
⑦映像配信の装置(画面切り替えなど)	51	28.5%	543	30.2%	594	30.1%
⑧配信用スタジオ(放送室の改修なども含む)	36	20.1%	339	18.9%	375	19.0%
⑨3Dプリンタ	51	28.5%	437	24.3%	488	24.7%
⑩ドローン	39	21.8%	287	16.0%	326	16.5%
⑪プログラミング教材	85	47.5%	886	49.3%	971	49.2%
⑫生成AIツール	101	56.4%	950	52.9%	1,051	53.2%
⑬その他	4	2.2%	116	6.5%	120	6.1%
無回答	9	5.0%	57	3.2%	66	3.3%
回答数合計	648	362.0%	6,297	350.6%	6,945	351.6%
回答者数(母数)	179		1,796		1,975	



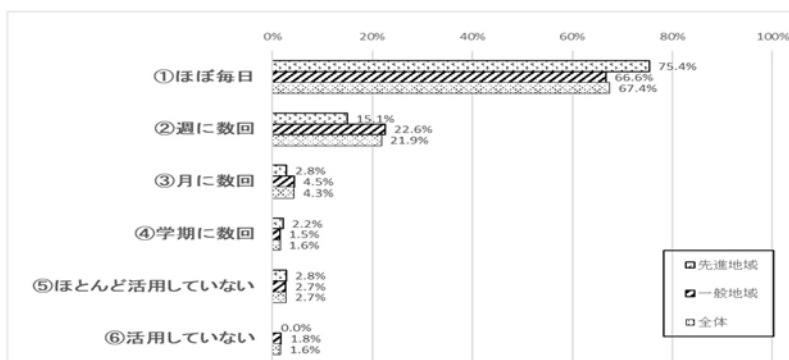
※「⑥高性能大型提示装置」について、先進地域で 30.7%、一般地域で 46.3%と大きな差がついている。「2-1-2-14」の項目で見られたように、先進地域は電子黒板テレビ型の整備が 74.3% に対して一般地域は 33.3%に留まる状況に起因するものと考えられる。

3-1-3 ソフトウェアに関する項目

3-1-3-1 教科指導において、以下の学習用アプリ・ツールをどの程度活用していますか。

3-1-3-1(1) 指導者用デジタル教科書・教材

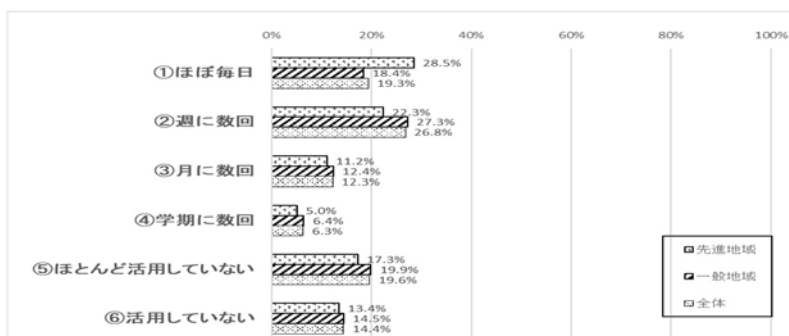
	先進地域		一般地域		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①ほぼ毎日	135	75.4%	1,197	66.6%	1,332	67.4%
②週に数回	27	15.1%	405	22.6%	432	21.9%
③月に数回	5	2.8%	80	4.5%	85	4.3%
④学期に数回	4	2.2%	27	1.5%	31	1.6%
⑤ほとんど活用していない	5	2.8%	49	2.7%	54	2.7%
⑥活用していない			32	1.8%	32	1.6%
無回答	3	1.7%	6	0.3%	9	0.5%
回答者数(母数)	179	100.0%	1,796	100.0%	1,975	100.0%



※「①ほぼ毎日」が一般地域で66.6%。先進地域では75.4%となっており、より活用が進んでいる。

3-1-3-1(2) 学習者用デジタル教科書・教材

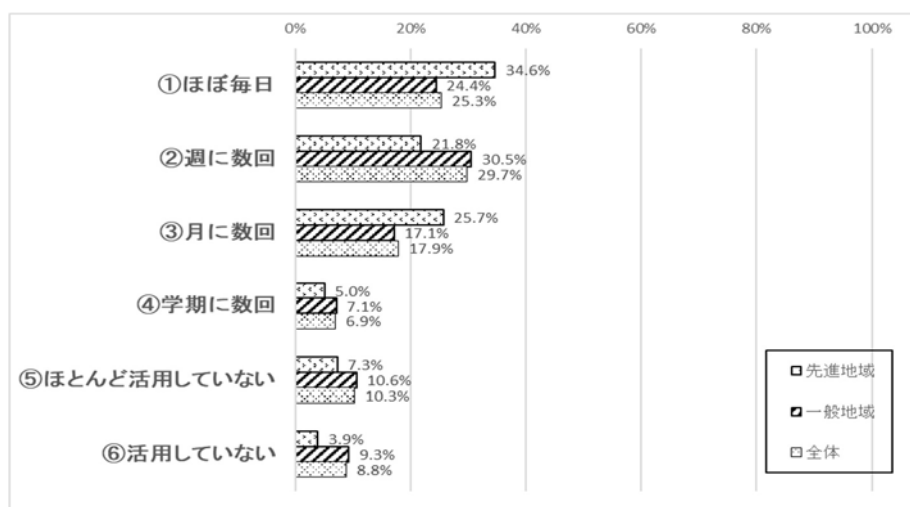
	先進地域		一般地域		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①ほぼ毎日	51	28.5%	331	18.4%	382	19.3%
②週に数回	40	22.3%	490	27.3%	530	26.8%
③月に数回	20	11.2%	222	12.4%	242	12.3%
④学期に数回	9	5.0%	115	6.4%	124	6.3%
⑤ほとんど活用していない	31	17.3%	357	19.9%	388	19.6%
⑥活用していない	24	13.4%	260	14.5%	284	14.4%
無回答	4	2.2%	21	1.2%	25	1.3%
回答者数(母数)	179	100.0%	1,796	100.0%	1,975	100.0%



※「①ほぼ毎日」が先進地域では28.5%、一般地域では18.4%となっている。

3-1-3-1(7) 協働学習支援ツール

	先進地域		一般地域		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①ほぼ毎日	62	34.6%	438	24.4%	500	25.3%
②週に数回	39	21.8%	548	30.5%	587	29.7%
③月に数回	46	25.7%	307	17.1%	353	17.9%
④学期に数回	9	5.0%	128	7.1%	137	6.9%
⑤ほとんど活用していない	13	7.3%	190	10.6%	203	10.3%
⑥活用していない	7	3.9%	167	9.3%	174	8.8%
無回答	3	1.7%	18	1.0%	21	1.1%
回答者数(母数)	179	100.0%	1,796	100.0%	1,975	100.0%

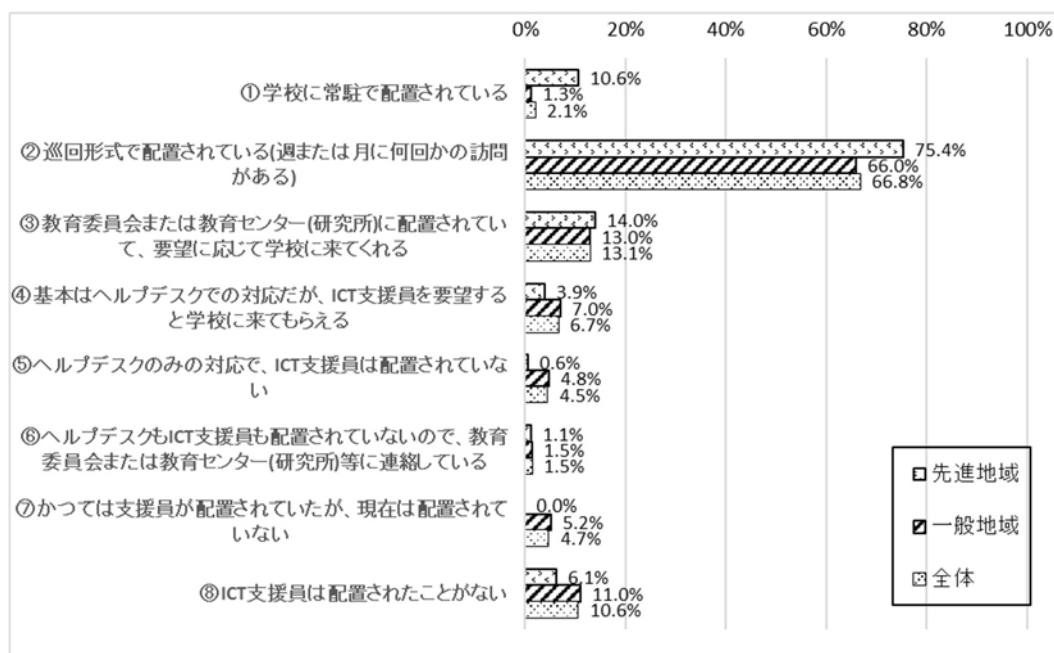


※先進地域では一般地域と比べ、「①ほぼ毎日」が10.2ポイント高くなっており、1人1台端末を協働的な学習に活用していることがうかがえる。

3-2 ICT に関する保守サポートの項目

3-2-1 ICT 支援員の配置について伺います。(いくつでも)

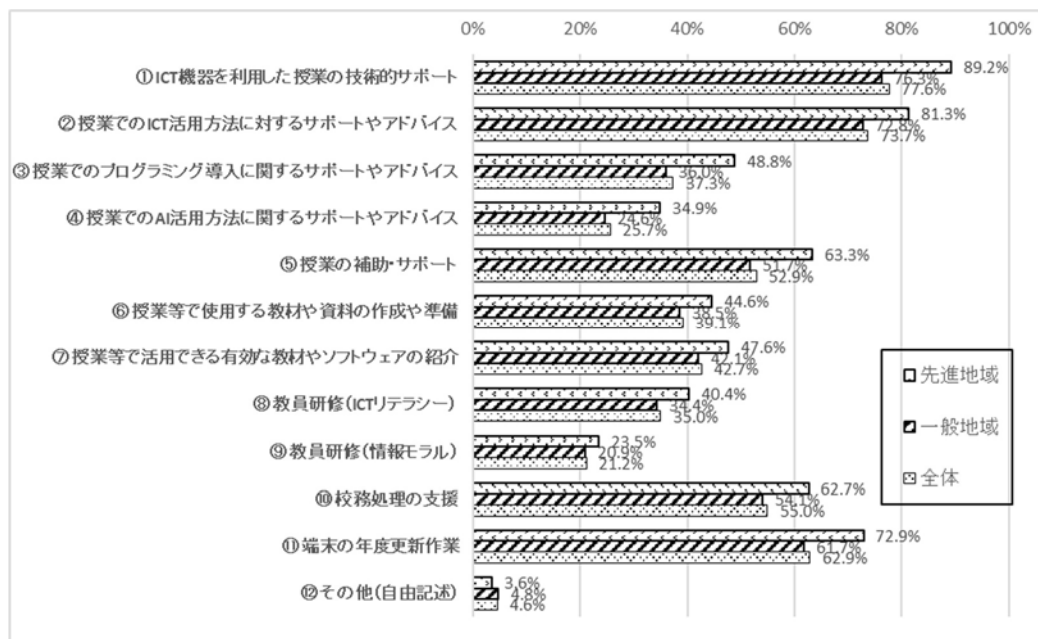
	先進地域		一般地域		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①学校に常駐で配置されている	19	10.6%	23	1.3%	42	2.1%
②巡回形式で配置されている(週または月に何回かの訪問がある)	135	75.4%	1,185	66.0%	1,320	66.8%
③教育委員会または教育センター(研究所)に配置されていて、要望に応じて学校に来てくれる	25	14.0%	233	13.0%	258	13.1%
④基本はヘルプデスクでの対応だが、ICT支援員を要望すると学校に来てもらえる	7	3.9%	125	7.0%	132	6.7%
⑤ヘルプデスクのみの対応で、ICT支援員は配置されていない	1	0.6%	87	4.8%	88	4.5%
⑥ヘルプデスクもICT支援員も配置されていないので、教育委員会または教育センター(研究所)等に連絡している	2	1.1%	27	1.5%	29	1.5%
⑦かつては支援員が配置されていたが、現在は配置されていない			93	5.2%	93	4.7%
⑧ICT支援員は配置されたことがない	11	6.1%	198	11.0%	209	10.6%
無回答	1	0.6%	12	0.7%	13	0.7%
回答数合計	201	112.3%	1,983	110.4%	2,184	110.6%
回答者数(母数)	179		1,796		1,975	



※先進地域と一般地域で 10 ポイント以上の差がある項目はないが、「①学校に常駐で配置されている」と「②巡回形式で配置されている(週または月に何回かの訪問がある)」では先進地域の方が高い値となっている。

3-2-2 「2-2-1」で①～④と回答された方に伺います。ICT 支援員にどのようなサポートを依頼していますか。(いくつでも)

	先進地域		一般地域		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①ICT機器を利用した授業の技術的サポート	148	89.2%	1,089	76.3%	1,237	77.6%
②授業でのICT活用方法に対するサポートやアドバイス	135	81.3%	1,040	72.8%	1,175	73.7%
③授業でのプログラミング導入に関するサポートやアドバイス	81	48.8%	514	36.0%	595	37.3%
④授業でのAI活用方法に関するサポートやアドバイス	58	34.9%	351	24.6%	409	25.7%
⑤授業の補助・サポート	105	63.3%	738	51.7%	843	52.9%
⑥授業等で使用する教材や資料の作成や準備	74	44.6%	550	38.5%	624	39.1%
⑦授業等で活用できる有効な教材やソフトウェアの紹介	79	47.6%	601	42.1%	680	42.7%
⑧教員研修(ICTリテラシー)	67	40.4%	491	34.4%	558	35.0%
⑨教員研修(情報モラル)	39	23.5%	299	20.9%	338	21.2%
⑩校務処理の支援	104	62.7%	772	54.1%	876	55.0%
⑪端末の年度更新作業	121	72.9%	881	61.7%	1,002	62.9%
⑫その他(自由記述)	6	3.6%	68	4.8%	74	4.6%
無回答	2	1.2%	11	0.8%	13	0.8%
回答数合計	1,019	613.9%	7,405	518.6%	8,424	528.5%
回答者数(母数)	166		1,428		1,594	

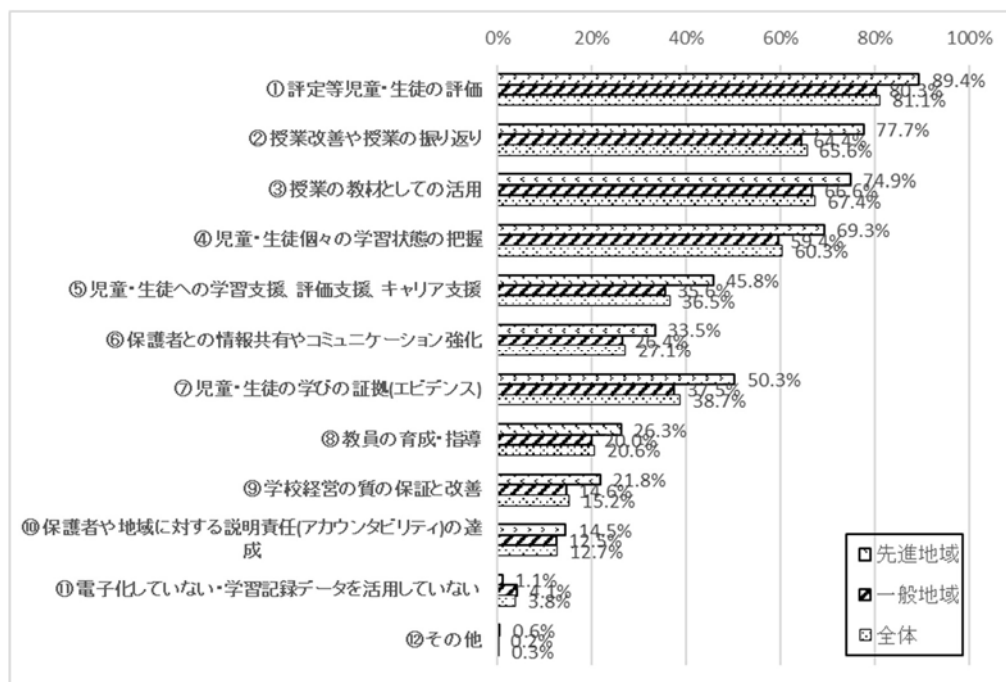


※先進地域では一般地域と比べ、「①ICT 機器を利用した授業の技術的サポート」、「③授業でのプログラミング導入に関するサポートやアドバイス」、「④授業での AI 活用方法に関するサポートやアドバイス」、「⑤授業の補助・サポート」、「⑪端末の年度更新作業」などへのサポート依頼が 10 ポイント以上高くなっている。

3-3 データの利活用に関する項目

3-3-1 電子化された学習記録の活用について、既に利用しているものをすべて選択してください。
(いくつでも)

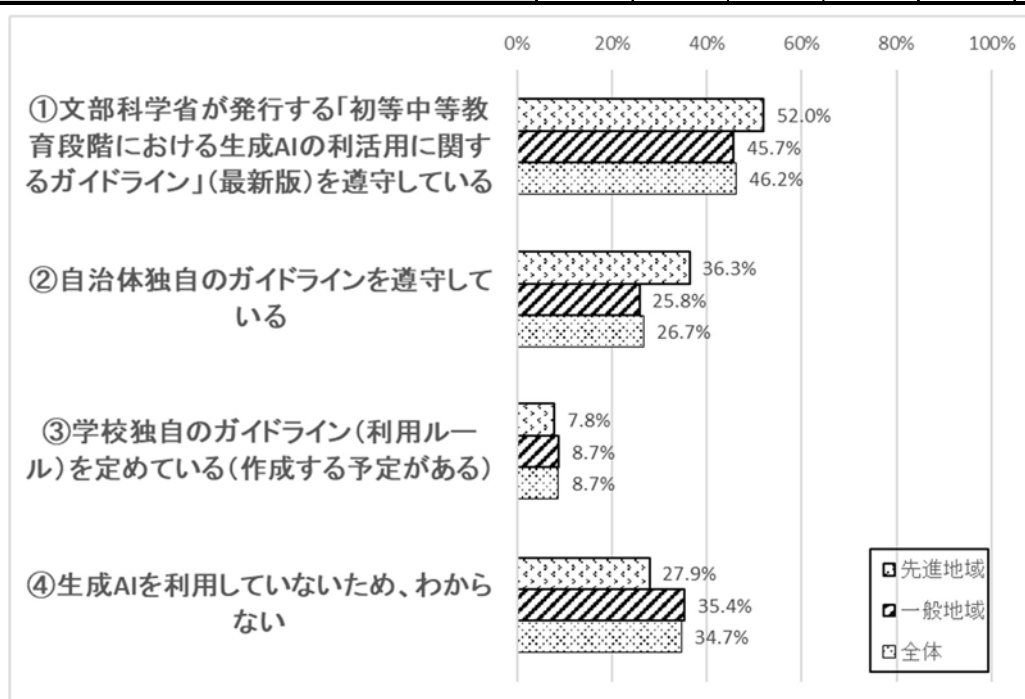
	先進地域		一般地域		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
① 評定等児童・生徒の評価	160	89.4%	1,442	80.3%	1,602	81.1%
② 授業改善や授業の振り返り	139	77.7%	1,157	64.4%	1,296	65.6%
③ 授業の教材としての活用	134	74.9%	1,197	66.6%	1,331	67.4%
④ 児童・生徒個々の学習状態の把握	124	69.3%	1,067	59.4%	1,191	60.3%
⑤ 児童・生徒への学習支援、評価支援、キャリア支援	82	45.8%	639	35.6%	721	36.5%
⑥ 保護者との情報共有やコミュニケーション強化	60	33.5%	475	26.4%	535	27.1%
⑦ 児童・生徒の学びの証拠(エビデンス)	90	50.3%	674	37.5%	764	38.7%
⑧ 教員の育成・指導	47	26.3%	359	20.0%	406	20.6%
⑨ 学校経営の質の保証と改善	39	21.8%	262	14.6%	301	15.2%
⑩ 保護者や地域に対する説明責任(アカウンタビリティ)の達成	26	14.5%	225	12.5%	251	12.7%
⑪ 電子化していない・学習記録データを活用していない	2	1.1%	74	4.1%	76	3.8%
⑫ その他	1	0.6%	4	0.2%	5	0.3%
無回答	2	1.1%	33	1.8%	35	1.8%
回答数合計	906	506.1%	7,608	423.6%	8,514	431.1%
回答者数(母数)	179		1,796		1,975	



※先進地域と一般地域で有意差がある項目として、「②授業改善や授業の振り返り」「⑤児童・生徒への学習支援、評価支援、キャリア支援」「⑦児童・生徒の学びの証拠（エビデンス）」の3つが挙げられる。

3-3-17 生成 AI に関するガイドラインについて伺います。(いくつでも)

	先進地域		一般地域		全体	
	回答数	回答比	回答数	回答比	回答数	回答比
①文部科学省が発行する「初等中等教育段階における生成AIの利活用に関するガイドライン」(最新版)を遵守している	93	52.0%	820	45.7%	913	46.2%
②自治体独自のガイドラインを遵守している	65	36.3%	463	25.8%	528	26.7%
③学校独自のガイドライン(利用ルール)を定めている(作成する予定がある)	14	7.8%	157	8.7%	171	8.7%
④生成AIを利用していないため、わからない	50	27.9%	635	35.4%	685	34.7%
無回答	6	3.4%	91	5.1%	97	4.9%
回答数合計	228	127.4%	2,166	120.6%	2,394	121.2%
回答者数(母数)	179		1,796		1,975	



※「②自治体独自のガイドラインを遵守している」は一般地域と比べて先進地域は 10.5 ポイント高く、先進地域ほど自治体独自のガイドラインが作成されている傾向にあると言える。

3-4 教育の情報化に対する意識に関する項目

※3-4 の全質問項目については有意差がなく、掲載していない。

あとがき

本調査は今回で第 15 回となりました。隔年で実施している調査ですので、30 年もの継続調査活動となっております。この間、膨大な設問に真摯にご回答いただいた学校現場で日々の教育を実践する中、ご回答に貴重なお時間をいただいた教育委員会の担当の方、教員の皆様に深く感謝申し上げます。近年、教育現場でも働き方改革が提唱され、外部からの調査やアンケートに対し、回答を控える流れの中で、ご回答いただいた教育委員会の担当の方や先生方には重ねて御礼申し上げます。そして、この調査報告をまとめるにあたり、ご尽力、ご協力いただいた国内調査部会の JAPET&CEC 会員企業の皆様、事務局の皆様に感謝申し上げます。

この調査活動を始めた当時は、「ハードウェア」「ソフトウェア」に関するものだけでしたが、時代の変化とともに「ネットワーク」「保守・サポート」「教育の情報化への意識」等と調査の幅を広げてまいりました。統合型校務支援システムの導入や、セキュリティに関する設問も追加するなど現状に対応した設問を検討し、普及・定着したと思われる設問は省き、より教育の情報化、教育 DX の進捗状況が見えるよう様々な角度から工夫を重ねました。今回は GIGA スクール構想に伴い学校現場が大きく変化したことに加え、生成 AI の発達で、現場での ICT の活用に影響が出ているものと推察し、データの利活用を確認する新しい設問も加えました。新設の設問だけではなく、経年変化を見るために同じ設問を続けているものもあります。回答される方々の負担を考慮し、これまでよりも設問数を削減する努力をいたしましたが、設問数は前回よりも増える結果となりました。特に教育委員会様には 100 を超える設問となり、ご負担をおかけすることとなりました。

前回に引き続き、GIGA スクール構想以前に児童・生徒用コンピュータのほぼ 1 人 1 台環境を実現し、充実した ICT 環境の学校様 179 校からご回答をいただきました。前回までと同様に一般的な学校様との比較を行いました。差はかなり無くなりました。一般地域での活用が進んだことが推察できる結果となりました。

しかしながら、調査結果を見直すと、自治体間の格差はまだ大きく、傾向として、大規模自治体と小規模自治体との差が広がっているように感じています。

教育現場を取り巻く環境はますます変化していくものと思われます。国内調査部会は、教育現場の状況の変化に対応しながら、この調査事業を継続、発展させていく所存です。皆様方のより一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

一般社団法人 日本教育情報化振興会
情報化調査委員会 国内調査部会
部会長 井上 義裕

情報化調査委員会 国内調査部会メンバー

部会長	井上 義裕	株式会社 J M C
副部会長	岩脇 崇	テクノホライゾン株式会社
委員	稲富 裕也	エプソン販売株式会社
委員	小田 宥司	株式会社エスシーシー
委員	加藤 達也	株式会社文溪堂
委員	川久保アンソニージェイ太稀	スズキ教育ソフト株式会社
委員	迫 芳和	N E C パーソナルコンピュータ株式会社
委員	西田 理乃	株式会社教育家庭新聞社
委員	久松 雅美	株式会社教育家庭新聞社
委員	森田 憲治	N E C フィールドディング株式会社
事務局	岩瀬 幹彦	一般社団法人 日本教育情報化振興会

第 15 回 教育用コンピュータ等に関するアンケート調査 報告書

令和 8 年 6 月 1 日発行

編集・発行 一般社団法人 日本教育情報化振興会

〒105-0001

東京都港区虎ノ門 2-10-1 虎ノ門ツインビルディング 1 F

電話 03-5575-5365 FAX 03-5575-5366

URL: <https://www.japet.or.jp/>

禁無断転載

COPYRIGHT © 2026 一般社団法人 日本教育情報化振興会



Japan Association for Promotion of Educational Technology

一般社団法人 **日本教育情報化振興会**